

令和4年度

佐賀大学 授業アンケート・授業改善に関する報告書

令和6年4月

佐賀大学教育委員会

教育質保証専門委員会

はじめに

平成 18 年 10 月 1 日に施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき学部・大学院の全授業科目を対象として授業アンケートが実施され今年で 16 年目になりました。さらに、平成 23 年度にはポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ (TP) 作成機能も組み込みました。平成 27 年度には簡易版 TP の作成率 100%を達成し、平成 28 年度からは本学のすべての教員公募要領において教育業績評価に標準版 TP を活用することを明記してきました。これらの教員個人の教育改善を支援するシステムの整備に加え、平成 27 年度には「佐賀大学学生による授業評価実施要領」を改訂し、授業アンケートの目的を「授業の評価」から「教育の質の改善・向上」のために実施するものと明示しアンケート項目も大幅に見直すとともに、名称も「授業評価アンケート」から「授業アンケート」とし、授業アンケートの目的や質問項目そのものの改善も進めてきました。授業アンケートは各々の授業科目の計画 (P)、実行 (D)、点検・評価 (C)、改善 (A) のサイクルにおける点検・評価 (C) の一つの指標となる重要な評価項目と認識しております。

本学における授業アンケートはオンラインによる回答であるにも関わらず履修者総数 97,094 名に対し総回答数は 57,493 件、回答率 59.2 %と高い回答率を維持しております。また、全授業科目（独自アンケートを実施している授業科目を除く）に対して授業アンケートの回答のあった科目の割合を回答科目率として算出し、その割合も 83.0 %と高い割合を維持しています。また、授業アンケートの結果を用いた授業点検・改善報告の実施率は 100%に到達し、授業アンケートの実施とその結果を用いた授業点検と改善のプロセスが本学の全ての教員に浸透したことが伺えます。

このように全学的な教育改善システムは整って参りました。今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

佐賀大学教育委員会委員長

山下 宗利

目次

はじめに	1
目次	2
I. 経過	3
II. 回答状況	4
III. 授業アンケートの結果と分析	8
III- (1) 学部別の結果と分析	8
III- (2) 教育学部・学校教育学研究科の結果と分析	22
III- (3) 芸術地域デザイン学部の結果と分析	40
III- (4) 経済学部の結果と分析	49
III- (5) 理工学部・理工学研究科・工学系研究科 の結果と分析	63
III- (6) 農学部・農学研究科の結果と分析	102
III- (7) 地域デザイン研究科の結果と分析	116
III- (8) 先進健康科学研究科の結果と分析	126
III- (9) 全学教育機構の結果と分析	134
おわりに	144
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	145
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	147
資料3 学生による授業アンケート様式	148
資料4 項目の基礎集計表	150

I. 経過

佐賀大学では平成12年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成13年度より授業アンケートが本格導入された。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成15年11月26日開催）において「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に授業アンケートを実施する体制が整えられた。法人化後の平成17年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目を対象に授業アンケートの100%実施を目標に定めた。翌平成18年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することを定めた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成18年10月1日施行）（資料1）が新たに制定され、佐賀大学の全ての授業科目において、授業アンケートもしくは独自アンケートにより学生の意見を聴く機会が設けられた。

さらに、収集されたアンケート結果に基づき教員自らが授業改善に利用できる仕組みも構築した。アンケート結果は自動的に集計され全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し教員へフィードバックすることで、自らの授業改善に活かせる工夫が施された。その後、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成18年12月22日施行）（資料2）が制定され、この授業アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・改善報告書を提出することが義務づけられた。平成27年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」に変更した。

また、アンケートの収集方法の改善やアンケートの多角化も試み、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を進めた。平成22年度後学期以降には、アンケート用紙への直接記入方式から、LiveCampus を利用したアンケートのオンライン回答方式を導入した。一方、この授業アンケートと並行して佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたり広く学生の声を取り入れるための学生対象アンケートも試行した。さらに、教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施した。これらのアンケート等の実施により佐賀大学の教育活動を多方面から分析し、教育活動を改善する準備を整備しつつある。

本報告では令和4年度に実施した授業アンケートの結果および結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部およびeラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

II. 回答状況

令和4年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、本学の統合型オンラインコミュニケーションシステム LiveCampus 上の共通アンケートシステムを用いて行った。また、科目によっては共通アンケートシステムを用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、まずアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業アンケートは以下の2つに大別される。

- 1) 授業アンケートシステム (資料3)
- 2) 独自形式アンケート

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的なFD活動を展開しており、授業アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているため本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なるため別項とし、概要をまとめ分析した。

表1に部局毎の回答率をまとめた。回答率の高い部局は、学部課程では教育学部、経済学部で、研究科では学校教育学研究科であった。

表1 部局別の授業アンケート回答科目率(独自形式アンケートは除く)

	令和4年度前学期			令和4年度後学期			合計
	回答している科目数	対象科目数	回答科目率	回答している科目数	対象科目数	回答科目率	回答科目率
教育学部	208	212	98.1%	179	188	95.2%	96.8%
芸術地域デザイン学部	72	77	93.5%	81	87	93.1%	93.3%
経済学部	131	137	95.6%	144	151	95.4%	95.5%
理工学部	267	346	77.2%	236	303	77.9%	77.5%
農学部	100	137	73.0%	94	119	79.0%	75.8%
全学教育機構	271	282	96.1%	227	242	93.8%	95.0%
学士課程全体	1,049	1,191	88.1%	961	1,090	88.2%	88.1%
学校教育学研究科	50	62	80.6%	30	32	93.8%	85.1%
地域デザイン研究科	30	56	53.6%	28	56	50.0%	51.8%
先進健康科学研究科	79	118	66.9%	68	109	62.4%	64.8%
理工学研究科	122	141	86.5%	114	147	77.6%	81.9%
工学系研究科	2	3	66.7%	3	3	100.0%	83.3%
農学研究科	73	109	67.0%	73	121	60.3%	63.5%
自然科学系研究科共通科目	10	11	90.9%	11	12	91.7%	91.3%
大学院教養教育プログラム	6	6	100.0%	8	8	100.0%	100.0%
大学院課程全体	372	506	73.5%	335	488	68.6%	71.1%
全体	1,421	1,697	83.7%	1,296	1,578	82.1%	83.0%

※開講学期での集計

※受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2 部局別の独自形式アンケート実施科目数

	令和4年度
経済学部	7
全学教育機構	1
全体	8

大学全体の傾向

(1) 経年変化の分析

A-1「出席率はどのくらいでしたか」に対する回答の「80%以上」が90%以上を占める中で（図1）、C-2「この授業の学習目標を達成できましたか」に対する回答及びの「全くその通りだと思う」「その通りだと思う」を合わせた回答や C-4「理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていきましたか」に対する回答の「全くその通りだと思う」の回答が2019年から2022年に掛けて継続して増加していること（図2、3）、さらにD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」における「全くその通りだと思う」の合計の回答が2020年から2022年の中で継続して増加していることを総合的に判断すると佐賀大学における授業は全体として健全に実施されている、授業は確実に改善されているものと判断できる。



図1 出席率「出席率はどのくらいですか」に対する回答

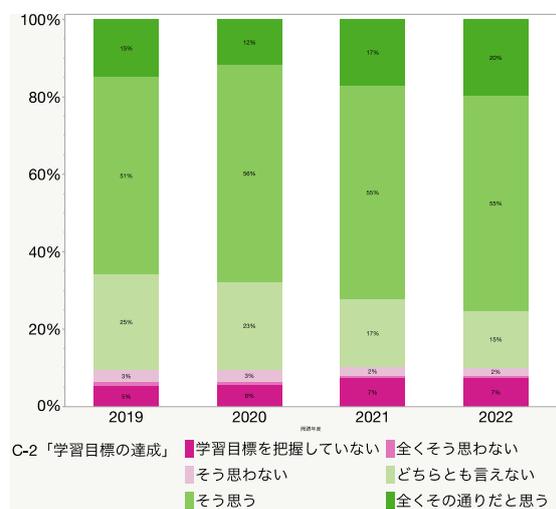


図2 学習目標の達成度「この授業の学習目標を達成できましたか」に対する回答

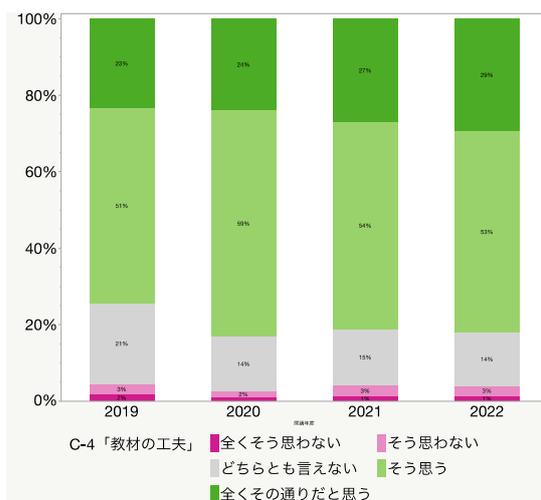


図3 教材の工夫「理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていきましたか」に対する回答

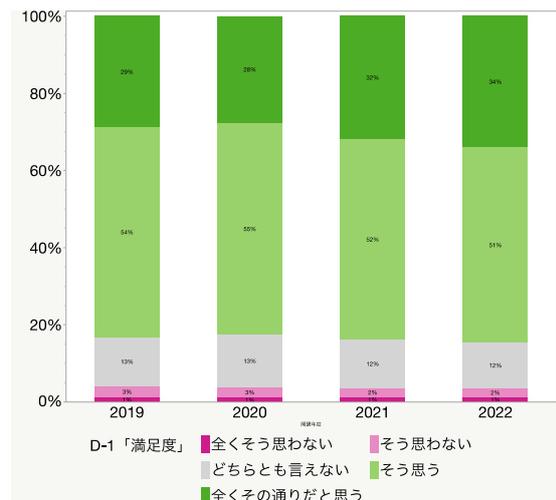


図4 満足度「この授業は全体として満足できるものでしたか」に対する回答

一方で、B-2「担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」に対する「質問・相談をしなかった」の回答が2019年度から増加している。新型コロナウイルスの感染拡大による遠隔授業を経験した学生の授業に対する姿勢が変化したことが窺える結果と判断している。

また、C-5「この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか」に対する「全くそう思わない」「そう思わない」の回答率が2020年度に増加したものの、それ以降は2019年度の結果までは回復していないものの回復傾向にある。授業におけるアクティブラーニング導入100%を目指す佐賀大学において、このようなコミュニケーション量の低下を示唆する結果は見過ごすことのできない結果である。

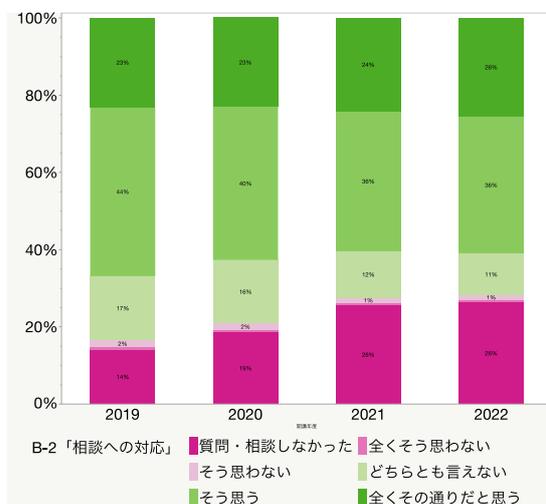


図5 相談への対応「担当教員はあなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」に対する回答

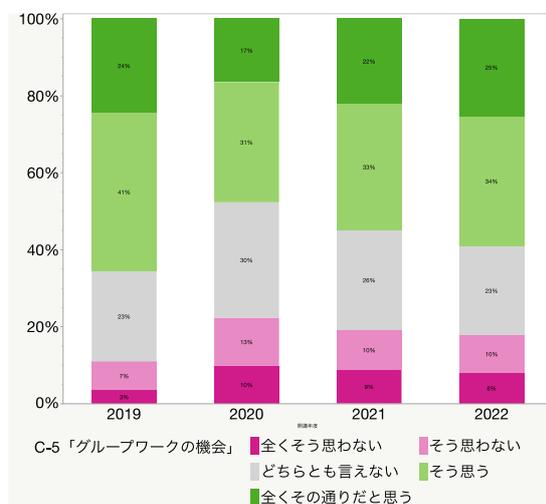


図6 グループワークの機会「この授業では学生が主体的に学べるように他者と一緒に「書く」「話す」「発表する」といった活動が行われていましたか」に対する回答

III. 授業アンケートの結果と分析

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
教育学部			教育学部では多くの授業科目が教科によって分かれているため、履修者が数名だったりするものが大半を占めている。そのため、統計量として取り扱うことができない。したがって高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。以上のことから選定基準を設けていない。
芸術地域デザイン学部			特に実施していない。
経済学部			経済学部では行っていない。
理工学部	数理科学科		以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。
	物理科学科		履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断していたが、在籍者が少なくなったので選考を中止している。
	知能情報システム学科		特に実施していない。
	機能物質化学科		理工学科生命化学コースに準じる。
	機械システム工学科		各科目の履修者は10名以下であり、授業評価アンケート対象の19科目について、回収率は、平均で18%であった。このうち、10科目で0%であったが、これらを除いても約38%と、回収率は芳しくない。そのため、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。
	電気電子工学科		特に実施していない。
	都市工学科		特に実施していない。
	理工学科	共通教育	初年次共通教育においては、学生から高い評価を得ることよりも、基礎学力を涵養するための工夫に重点をおいているため、特に実施していない。
	理工学科	数理サイエンスコース	特に実施していない。
	理工学科	知能情報システム工学コース	特に実施していない。
	理工学科	情報ネットワーク工学コース	特に実施していない。
	理工学科	生命化学コース	満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。
	理工学科	応用化学コース	理工学科生命化学コースに準じる。
	理工学科	物理学コース	履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。
	理工学科	機械エネルギー工学コース	授業評価アンケートの対象59科目に対して、その回収率は、63%から19%の幅があり、平均で概ね42%と5割を切っている。こうした状況を鑑み、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。
	理工学科	メカニカルデザインコース	授業評価アンケートの対象59科目に対して、その回収率は、63%から19%の幅があり、平均で概ね42%と5割を切っている。こうした状況を鑑み、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。
	理工学科	電気エネルギー工学コース	アンケート回答数が20以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-5(学生自身が考えることを促す配慮)、C-6(適切なフィードバック) D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム4年目のため、上位評価科目に変えて、前期は必修科目、後期は選択の授業参観を実施した。
	理工学科	電子デバイス工学コース	アンケート回答数が20以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-5(学生自身が考えることを促す配慮)、C-6(適切なフィードバック) D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム4年目のため、上位評価科目に変えて、前期は必修科目、後期は選択の授業参観を実施した。
	理工学科	都市基盤工学コース	特に実施していない。
	理工学科	建築環境デザインコース	特に実施していない。

III. 授業アンケートの結果と分析

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
農学部			選考基準の1つとして、教員の対応に関する質問事項（B-1、B-2）、授業内容および授業法方法に関する質問事項（C-4、C-5、C-6）、授業の満足度に関する質問事項（D-1）において高い評価を得ている科目が挙げられる。一方、各授業の性質（必須科目、選択科目、座学中心または実習・実験中心の違いなど）や受講生数の違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際は、これらの点について考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えられる。
全学教育機構			全学教育機構では、この項目に対する科目の選考は行っていない。
学校教育学研究科			学校教育学研究科においては、そもそもの対象科目が少ないこと、共通必修科目であっても受講人数が20名と非常に少数であること、また対象となっている科目がいずれも高い評価を得ており、その中から選定することに無理もあることから、高い評価を得ている科目の選定は行わなかった。以上のことから選定基準も設けていない。
地域デザイン研究科			地域デザイン研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。
先進健康科学研究科			先進健康科学研究科では、コースにより授業内容、授業方法が大幅に異なるため、統一的な比較は適切でなく、「学生から高い評価を得ている授業科目」を、授業評価アンケートの回答結果から選考することは困難と考えている。
工学系研究科	数理学専攻		以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。
	物理学専攻		履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。（ただし、昨年度は受講者はいなかった。）
	循環物質科学専攻		特に実施していない。
	機械システム工学専攻		特に実施していない。
	電気電子工学専攻		特に実施していない。
	都市工学専攻		特に実施していない。
理工学研究科	理工学専攻	数学コース	Webで収集する授業評価アンケートは、回収率が悪く参考にしにくいいため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。
	理工学専攻	物理学コース	履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。
	理工学専攻	データサイエンスコース	特に実施していない。
	理工学専攻	知能情報工学コース	特に実施していない。
	理工学専攻	機能材料化学コース	特に実施していない。
	理工学専攻	機械エネルギー工学コース	授業評価アンケートの対象37科目について、アンケートの回収率は、100%から0%と科目間で大幅に異なり、平均で53%と5割程度に留まる。履修者が1桁の科目ほど、回収率が高い傾向にあるものの、こうした状況を踏まえ、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。
	理工学専攻	機械システム工学コース	授業評価アンケートの対象45科目について、アンケートの回収率は、100%から0%と科目間で大幅に異なり、平均で50%と半数程度に留まる。履修者が1桁の科目ほど、回収率が高い傾向にあるものの、こうした状況を踏まえ、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。
	理工学専攻	電気電子工学コース	特に実施していない。
	理工学専攻	都市基盤工学コース	特に実施していない。
理工学専攻	建築環境デザインコース	特に実施していない。	
工学系研究科博士後期課程			博士後期課程については、講座単位では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。
農学研究科			選考基準の1つとして、教員の対応に関する質問事項（B-1、B-2）、授業内容および授業法方法に関する質問事項（C-4、C-5、C-6）、授業の満足度に関する質問事項（D-1）において高い評価を得ている科目が挙げられる。一方、各授業の性質（必須科目、選択科目、座学中心または実習・実験中心の違いなど）や受講生数の違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際は、これらの点について考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えられる。

Ⅲ. 授業アンケートの結果と分析

(2) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

学部・研究科	内容
教育学部	なし
芸術地域デザイン学部	なし
経済学部	佐賀大学規定「佐賀大学学生による授業評価実施要項」第7条2に基づき、下記科目については授業評価アンケートを実施していない。 「演習2年」、「演習3年」、「演習4年」、「社会課題演習」
理工学部	なし
農学部	なし
全学教育機構	佐賀大学規定「佐賀大学学生による授業評価実施要項」第7条2に基づき、下記科目については授業評価アンケートを実施していない。 「大学入門科目Ⅰ」
学校教育学研究科	なし
地域デザイン研究科	なし
先進健康科学研究科	なし
理工学研究科	なし
工学系研究科博士後期課程	なし
農学研究科	なし

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科(課程)・専攻	コース等	内容
教育学部			<p>【優れた点】</p> <p>1) ティーチングポートフォリオ作成・更新率の維持と向上 R4年度の標準版及び簡易版ティーチングポートフォリオに関して、作成・更新の対象者の作成・更新率をどちらも100%を維持できている。また標準版ティーチングポートフォリオ作成者は学部教員全体の23.1%であり、目標の15%を達成している。標準版ティーチングポートフォリオワークショップに参加した教員にお願いして、標準版ティーチングポートフォリオの作成や利用法、授業・研究での活用法を毎年学部FD講演会にて、報告をしてもらってきたが、今年度はFD講演会として他に必要性の高いテーマが多く上がったため、学部FD講演会としてティーチングポートフォリオを取り上げることはしなかったが、各教員はティーチングポートフォリオワークショップの参加や他の内容のFD講演会を通して、各自授業の見直し、授業改善を行っている。</p> <p>2) 授業形態、学生の満足度 今年度は対面形式の授業が多くを占めるようになったが、コロナ禍の間に教員が身につけた遠隔授業の技術も引き続き利用することで、多様な授業形態を併用しながら効果的な教育を行うことが可能となった。そのためか、学生の授業アンケートの満足度は概して85～90%の高さの回答を得た。</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>1) 学生による授業評価アンケートの授業時間外学習 授業評価アンケートの回答率は全体では63%程度で必ずしも高くはないが、不満のない学生にとって回答するメリットがないことが障害となっている面も否めず、大学全体として制度的変更を検討すべきかもしれない。 授業への満足度が高い一方で、授業1回ごとの時間外学習は1時間未満が4割程度であることについては改善の努力が必要と思われる。</p>
芸術地域デザイン学部			<p>カリキュラムにおける課題抽出をおこない、令和元年からカリキュラム改定に取り組んでいる。そこで検討すべき主な内容として上がったのは、1年次と3年次に開講されているコア科目の運営方法や内容についてである。令和2年春からは1年次コア科目のスリム化が実施され、さらにその後、教員の負担軽減と負担の平均化を目的とする改善策を講じている。</p> <p>コア科目の運営検討において、1年次コア科目はこれ以上変えることは教育上の不利益をもたらすことになることが予想され、現状の方法で数年動かしてみたいと考える。3年次コア科目は、地域創生フィールドワーク、有田キャンパスプロジェクト、国内外芸術研修の3科目があり、設定された目的が違うため統一する運営や動きが難しい。プロジェクト数を減らす、担当教員を減らすなど案はあるが、地域での活動などの学部の目的を果たすためには現状での運営を続ける方が望ましいとも言える。</p>
経済学部			<p>全体として、比較的高い水準を保っている。</p> <p>改善すべき点としては次の点が挙げられる。シラバスの授業での活用において、そもそもシラバスを見ていないとする回答が一定数ある(A-3、C-3)。成績評価方法(B-1)や学習到達目標(C-2)などの基礎情報を把握していないとする回答が一定数ある。</p>
理工学部	数理科学科		学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。
	物理科学科		学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。
	知能情報システム学科		知能情報システム工学コースに準じる。
	機能物質化学科		理工学科生命化学コースに準じる。

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学部	機械システム工学科		授業評価アンケート対象科目の9科目について、平均回収率が38%程度であることを考慮する必要があるが、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標達成度の自己評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」を合わせた評価が90%以上であった。一方、授業時間外学習は、凡そ8割が「1時間程度」に留まった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」を通じて、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。加えて、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を含め、機械システム工学科の教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。
	電気電子工学科		JABEEの基準に従い、定期的に教育改善委員会・カリキュラム検討委員会（科目別会議を含む）・学生実験委員会を開催し、教育改善に取り組んでいる。教員各自は、共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。
	都市工学科		教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学科	共通教育	初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において改善点の抽出を行い、共通教育委員会で共有している。必要であれば、教務委員会、質保証委員会、組織運営委員会と連携して改善案の策定および実施のプロセスを踏むことにしている。数理AIデータサイエンス教育に関連した科目やシラバス設計の見直しを行った。これまで初年度として前期のみ出席課題提出状況を行っていたが、後期にもチェックし組織運営委員会と情報共有してチューター指導に結びつけるようにした。 なお、JABEEを実施しているコースもあるため、共通教育でもJABEEの基準に従った教育改善を進めている。
	理工学科	数理サイエンスコース	学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学部	理工学科	知能情報システム工学コース	<p>各教員が、以下に示すような様々な授業改善に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面授業、ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業の特長を組み合わせることで、学生が対面・遠隔の受講方式を自由に選択でき、かつ、教員の手間が抑えられる改良型ハイフレックス方式を導入した。学生からも高い評価を得た。（掛下） ・学生の細かいケアを行うため、自作の教務判定システムを活用している。 ・オンライン授業用や予習・復習用の教材、オンデマンド視聴できる授業ビデオを作成し、学生に公開した。プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習環境を整備した。（福田、中山） ・毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映されている。（掛下） ・Moodle 小テストを活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。（掛下） ・学習アドバイザーやTAを活用し、成績不振の学生を優先した学習支援を行った。（上田、皆本、福田） <p>（優れた点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブ・オンライン授業の実施により授業への学生の出席率が向上した。遅刻も減少した。また、チャットを活用することで、学生からの質問も増加した。（掛下） ・同期型のライブ・オンライン授業により、以下に挙げる効果が得られた。（掛下） <ul style="list-style-type: none"> ○学生のPC画面を共有した指導は、他の学生も見ることができ、学びが得られた。 ○ブレイクアウトセッションを活用することで小グループに分けて演習等ができた。 ・非同期型のオンデマンド授業により、以下に挙げる効果が得られた。（掛下、中山他） <ul style="list-style-type: none"> ○オンデマンドビデオの繰り返し視聴や、一時停止、倍速再生等により効率化できた。 ○インターネットが低速な環境でも、各自のPCにダウンロード視聴できる。 <p>（改善を要する点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていきたい。 ・グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。
	理工学科	情報ネットワーク工学コース	知能情報システム工学コースに準じる。
	理工学科	生命化学コース	<p>学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している・教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。</p>
	理工学科	応用化学コース	理工学科生命化学コースに準じる。
	理工学科	物理学コース	学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学部	理工学科	機械エネルギー工学コース	授業評価アンケート対象の37科目について、平均回収率が53%に留まることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」が9割を超えており、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が70%以上であった。一方、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説は、6割前後であった。また、授業時間外学習は、「全くしていない」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「1時間程度」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめるとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を含め、理工学科機械エネルギー工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。
	理工学科	メカニカルデザインコース	授業評価アンケート対象の59科目に対して、平均回収率が42%に留まることを考慮する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」が9割を超えており、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が70%以上であった。一方、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説は、6割前後であった。また、授業時間外学習は、「全くしていない」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「1時間程度」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめるとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を含め、理工学科メカニカルデザインコースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。
	理工学科	電気エネルギー工学コース	JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。
	理工学科	電子デバイス工学コース	JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。
	理工学科	都市基盤工学コース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学科	建築環境デザインコース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
農学部			アンケートのほぼ全ての項目で前年度と同程度もしくはそれ以上の高い評価を得ており、とりわけ、授業の内容はシラバスに基づくものか、教員の授業内容の工夫、及び学生の授業全体の満足度を回答するC-3、C-4及びD-1においても前後期を通じて8割程度の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答しており、学生にとってシラバスに基づいた質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れていると言える。一方、授業の選択・予習・復習などのシラバスの活用は4～5割程度にとどまっており、また、シラバスを見ていない学生は1割程度見られ、前年度よりは改善を要する点と言える。また、授業の内容のアンケートC-1によってコロナ以前のように対面授業へ戻ってきていることがうかがわれた。

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
全学教育機構			<p>・優れた点</p> <p>昨年度（令和3年度）の組織別授業評価報告書において次年度（令和4年度）の授業改善目標を「A-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）」は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の値を改善することを目標とする。」と設定した。</p> <p>特に共通教職科目「体育実技」科目群の時間外学習の少なさが露呈していたため、保健体育部会において、時間外学習の明確な指示を授業担当者に依頼した。その結果、令和4年度後学期では、「A-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）」は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答に大きな変化があり、「全くしていない」が4割程度に減少し、それ以外の回答が増加した。また、それに伴い「C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか」の回答も改善した。</p> <p>・改善を要する点</p> <p>A-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）」は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の分析から外国語科目以外の科目群で時間外学習の時間増をすることが明らかとなった。</p>

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
学校教育学研究科			<p>【優れた点】</p> <p>1) 毎学期の意見交換会の実施 学校教育学研究科では、大学院生の要望を直接聞き取ることを重視し、授業評価アンケート以外に、毎学期にそれぞれのコースにおいて大学院生と教員の意見交換会を実施している。令和4年度からFDに位置付け、学校教育学研究科で統一した対応方針をとることができるようにした。意見交換会では、講義・演習における改善点や、大学院生活（施設・環境面も含む）における課題の聞き取りを行なっている。 令和4年度も前学期、後学期の聞き取りを行い、改善点について検討した。授業面に関する改善点の例として、前学期は院生室の机の破損の報告があり、修繕するとともに適切な仕様についての指導を行った。また、授業時間割についての要望があったが、教員間での議論の結果、変更は行わずに、院生へもその旨説明を行った。後学期では、教職大学院の実習内容について、校長の理解を進めてほしいとの要望があった。ストレートマスターについて3月に実習校に挨拶に回るとともに5月に校長を集めた説明会を実施した。</p> <p>2) 修了生調査の実施 学校教育学研究科では令和2年度より、前年度の修了生とそれぞれの勤務校の管理職に対して、カリキュラム全体の評価、及び、2年間の各講義科目・実習科目の成果を尋ねる修了生調査（アンケート調査）を実施し、調査結果を振り返るFDを実施した。 令和4年度は、令和3年度（4期生対象）に実施した調査結果を受けて、カリキュラムの改善点を検討した。その結果を受けて各科目で改善が行われている。前後期の授業バランスについて、1年次前期に共通必修科目が多く、負担となっているという指摘があるものの、実習やコース専門科目等の時期との関連から、問題意識は持ちつつも、現状維持としている。 さらに、改善点や成果をより明確にするための質的調査を行った。修了生は経営コースにおける各種授業や実習、その他指導の教育効果について肯定的に評価していたことが明らかになった。 修了生調査の内容については、以下で公開を行なっている。なお、調査時期について、修了後1年経過したのちに実施するように変更したため、令和4年度には実施せず、令和5年5月に実施する計画としている。 https://doi.org/10.34551/00023240 第4期修了生追跡調査結果の概要 https://doi.org/10.34551/00023524 教育経営探究コースの教育効果に関する質的研究</p> <p>3) 修了生懇談会の実施 2022年8月に実施し、修了生（5期生）11名が参加（うち2名はコース別懇談会から）し、大学院で学んだことが活かされている（学んだことを教育実践に活かしている、俯瞰的に見ることができている、組織としての視点、研究の継続、同僚から意見を求められる、等）ことを確認した。修了生について保護者対応で苦慮している話が出たので、令和5年度より授業等で保護者対応について触れる予定としている。</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>1) について、意見交換会に挙げられる要望について個別に対応すべき案件もあり、FDで取り上げる内容の検討が必要である。 2) について、授業実態とアンケートの質問項目のズレが指摘されている。今後も継続して実施する予定であるため、実態に即した質問項目となるよう検討する。</p>

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
地域デザイン研究科			<p>授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第1に修士論文最終試験である。新型コロナウイルス感染症防止対策の終了にともない、公開・対面での最終試験を行った。審査対象学生による論文趣旨説明に続き、主査・副査の口頭試問と、参加した多くの教員による幅広い観点からの質疑応答を行い、学位授与の公正さを実現している。</p> <p>第2に、修士1年第2学期（4月入学生は後期、10月入学生は前期）に行っている研究進捗状況報告会である。入学から短期間であるので研究成果は期待されていないが、早期から研究プレゼンテーションを行うことによる、締め切りに合わせた研究の取りまとめとプレゼンテーションへの習熟が指導される。また、授業評価アンケートでわかるように少数であるが受け身の学習態度の学生が存在する。こういった学生の学習態度の改善に研究進捗状況報告会が役立っている。</p> <p>改善すべき点としては、第1に研究指導体制の不足への対応である。授業評価アンケートの満足度で「どちらともいえない」が前期に2名、学習到達目標の達成で「そう思わない」が後期に1名、それぞれ回答があった。大学院教育に問題がないか、検証し必要に応じて改善しなくてはならない。</p> <p>第2に研究設備への不足への対応である。昨年度の修了予定者アンケートで図書等資料の不足の回答があった。他大学や研究機関等の各種資料を学生自ら発見し、取り寄せたり閲覧したりする研究手法の指導不足を引き続き改善することが必要である。</p>
先進健康科学研究科			<p>授業の満足度が高く、概ね良好に授業が実施されていると考えられる。一方、シラバスを把握・活用していない学生がみられるため、周知を徹底するなど改善を要すると思われる。</p>
工学系研究科	数理科学専攻		<p>学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。</p>
	物理科学専攻		<p>専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。（ただし、昨年度は受講者がいなかった。）</p>
	循環物質科学専攻		<p>理工学研究科理工学専攻・機能材料化学コースに準じる。</p>
	機械システム工学専攻		<p>授業評価アンケート対象の37科目に対して、平均回収率が53%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」は、97%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が80%を超えていた。また、授業時間外学習は、「1時間未満」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「3時間以上」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告するとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を行い、機械エネルギー工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。</p>
	電気電子工学専攻		<p>教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。</p>
	都市工学専攻		<p>教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。また、教育システム委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。</p>
理工学研究科	理工学専攻	数学コース	<p>コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。</p>
	理工学専攻	物理学コース	<p>専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。</p>
	理工学専攻	データサイエンスコース	<p>学士課程（知能情報システム工学コース）での工夫は博士前期課程でも用いられている。</p>
	理工学専攻	知能情報工学コース	<p>学士課程（知能情報システム工学コース）での工夫は博士前期課程でも用いられている。</p>
	理工学専攻	機能材料化学コース	<p>学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。</p>

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学研究科	理工学専攻	機械エネルギー工学コース	授業評価アンケート対象の37科目に対して、平均回収率が53%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」は、97%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が80%を超えていた。また、授業時間外学習は、「1時間未満」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「3時間以上」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告するとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を行い、機械エネルギー工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。
	理工学専攻	機械システム工学コース	授業評価アンケート対象の45科目に対して、平均回収率が50%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」は、98%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が80%を超えていた。また、(B-2)質問・相談への適切な対応と(C-2)学習到達目標の達成度評価は、凡そ75%と79%であった。一方、授業時間外学習は、1%程度の「全くしていない」を除き、「1時間未満」から「3時間以上」に幅広く分布していたが、最多は「1時間程度」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告するとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を行い、機械システム工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。
	理工学専攻	電気電子工学コース	教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。
	理工学専攻	都市基盤工学コース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学専攻	建築環境デザインコース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
工学系研究科博士後期課程			優れた点として、授業アンケートに対する回答があった科目に関しては良好な評価を得ていることが挙げられる。一方、改善すべき点としては、回答率が低いことが挙げられる。
農学研究科			アンケートのほぼ全ての項目で前年度と同程度もしくはそれ以上の高い評価を得ており、とりわけ、授業の内容はシラバスに基づくものか、教員の授業内容の工夫、及び学生の授業全体の満足度を回答するC-3、C-4及びD-1においても前後期を通じて8割程度の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答しており、学生にとってシラバスに基づいた質の高い授業を提供できており、優れていると言える。一方、授業の選択・予習・復習などのシラバスの活用は4～5割程度にとどまっており、また、シラバスを見ていない学生は1から2割程度見られ、シラバスを見ることで、意義づける仕組みが必要と言える。また、授業の内容のアンケートC-1によってコロナ以前のように対面授業へ戻ってきていることがうかがわれた。

III. 授業アンケートの結果と分析

(4) 次年度の授業改善目標

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
教育学部			教員の教育力向上のためには、各講演会やティーチングポートフォリオワークショップへの参加を進めることで、維持・向上していきたい、時間外学習など、学生の学習への取り組みに関しても、教員からの働きかけを行うようにする。
芸術地域デザイン学部			手の付けられるいくつかのカリキュラム改善を終え、現在は次の改善を見定める期間である。学部全体においては、非常勤講師によって賄われている科目の見直しを迫られるなど、検討課題が多い。ただし、非常勤講師の科目は既に減らして来た経緯がある。教員が少ない学部の現状からすると非常勤講師が担当する科目は教育の幅を担保するためには重要であり、これ以上の削減は教育の質を考えると難しく、難題である。 令和4年度は、2名の退職教員の不在状況を賄うため、非常勤講師の手配や学生指導の分配などの喫緊の課題に追われ、それ以上の改善目標は無いといえる状態であった。R5以降は、新任の着任が続く予定である。この入れ替わりに合わせ、科目の見直しも検討されている。
経済学部			授業に関する基礎的情報につきシラバスの参照を促すだけでなく、授業でも用いることにより、受講者と基礎情報の共有を徹底する。シラバスの内容（特に成績評価基準や学習到達目標）を把握していない受講者の比率をさげること。
理工学部	数理科学科		学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。
	物理科学科		定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。
	知能情報システム学科		知能情報システム工学コースに準じる。
	機能物質化学科		理工学科生命化学コースに準じる。
	機械システム工学科		各教員は、担当科目のFDレポート、ならびに、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」に、授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である教務JABEEグループ会議と機械工学部門会議において、学科全体の教育改善課題について議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	電気電子工学科		教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。
	都市工学科		教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学科	共通教育	初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において不断に改善点の抽出と点検を行っており、部会にて適切に授業改善の対応を行う。大学入門科目においてルーブリック評価を導入したので、その継続をおこなう。理工リテラシーS1についてポストコロナとし対面を含めたハイブリッド運営を行う。2年次以上の専門教育において、基礎学力としての初年次共通教育の教育効果について、各部門・コースのフィードバックを教務委員会および教育質保証委員会にて検証し、必要であれば、共通教育委員会において改善策を実施する。
	理工学科	数理サイエンスコース	学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。
	理工学科	知能情報システム工学コース	学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。 また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。
	理工学科	情報ネットワーク工学コース	知能情報システム工学コースに準じる。
	理工学科	生命化学コース	教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、コース全体で継続的に行う。
	理工学科	応用化学コース	理工学科生命化学コースに準じる。
	理工学科	物理学コース	定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。
	理工学科	機械エネルギー工学コース	各教員は、担当科目のFDレポート、ならびに、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」に授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を通じて、コース内および関連のメカニカルデザインコースと連携を取りながら、教育改善課題に関して議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	理工学科	メカニカルデザインコース	各教員は、担当科目のFDレポート、ならびに、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」に授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を通じて、コース内および関連の機械エネルギーコースと連携を取りながら、教育改善課題に関して議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。
理工学科	電気エネルギー工学コース	教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。	
理工学科	電子デバイス工学コース	教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。	

III. 授業アンケートの結果と分析

(4) 次年度の授業改善目標

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学部	理工学科	都市基盤工学コース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学科	建築環境デザインコース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
農学部			シラバスを見ていない回答の学生がいまだに1割程度見られる。授業初回などでシラバスを提示するとともに、履修中も適宜活用する資料であることを学生に周知、説明し、シラバスの活用度をより重視する取り組みが必要と思う。
全学教育機構			全学教育機構の授業評価の結果、時間外学習の時間の少なさが改善を要する点であることが明らかとなった。令和4年度の授業ではA-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の値を改善することを目標とする。
学校教育学研究科			令和5年度も、令和4年度までの取り組みを継続し、意見交換会で聴取できた意見、修了生調査の結果、授業評価アンケートの結果について分析を行い、学校教育学研究科内へのフィードバックを随時行い、授業改善に努める。 この他、学校教育学研究科各コースのカリキュラムデザインを明確にするためのロードマップ作成にも着手する。令和3年度に、教育経営探究コースで、令和4年度は子ども支援探究コースで、ロードマップを作成した。令和5年度は、授業実践探究コースでも作成を行うよう準備を進め、大学院生にカリキュラムの目的や構造、各科目の位置付けを明確な形で示せるようにする。なおロードマップの例は、以下のリンクより参照可能である。 https://doi.org/10.34551/00023241 教育経営探究コースロードマップ https://doi.org/10.34551/00023525 子ども支援探究コースロードマップ
地域デザイン研究科			上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。 第1の研究指導体制の不足への対応として、M1の研究進捗状況報告会に向けて大学院生ガイダンスの実施を予定する。学位取得までのスケジュールを再確認し、入学時オリエンテーションでは話していない研究の遅れへの対応方法や指導教員との研究方針の不一致の場合の対応、アカデミック・ハラスメントへの対応を説明し、質疑応答を行う予定である。 第2の研究設備への不足への対応としては、研究科教員全員に対して基本的な研究手法指導の再確認によって改善する。
先進健康科学研究科			上記に示した改善を要する点の改善を次年度の目標とする。すなわち、シラバスの周知徹底を図る。
工学系研究科	数理学専攻		専攻として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。
	物理学専攻		定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。（ただし、昨年度は受講者がいなかった。）
	循環物質科学専攻		理工学研究科理工学専攻・機能材料化学コースに準じる。
	機械システム工学専攻		各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、専攻全体の教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	電気電子工学専攻		授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。
	都市工学専攻		教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。また、教育システム委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
理工学研究科	理工学専攻	数学コース	コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。
	理工学専攻	物理学コース	定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。
	理工学専攻	データサイエンスコース	学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。
	理工学専攻	知能情報工学コース	学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

III. 授業アンケートの結果と分析

(4) 次年度の授業改善目標

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学研究科	理工学専攻	機能材料化学コース	教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。
	理工学専攻	機械エネルギー工学コース	各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムを通じて報告するとともに、次年度の「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会において、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りつつ、教育改善課題について議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	理工学専攻	機械システム工学コース	各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムを通じて報告するとともに、次年度の「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会において、コース内および関連の機械エネルギー工学コースと連携を取りつつ、教育改善課題について議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	理工学専攻	電気電子工学コース	授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。
	理工学専攻	都市基盤工学コース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学専攻	建築環境デザインコース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
工学系研究科博士後期課程			授業アンケートに基づいて授業改善を進める。
農学研究科			シラバスを見ていない回答の学生がいまだに1から2割程度見られる。授業初回などでシラバスを提示するとともに、履修中も適宜活用する資料であることを学生に周知、説明し、シラバスの活用度をより重視する取り組みが必要と思う。

**令和4年度
組織別授業点検・評価報告書**

**教育学部
学校教育学研究科**

○ 教育学部

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準(とその活用方法)

教育学部では多くの授業科目が教科によって分かれているため、履修者が数名だったりするものが大半を占めている。そのため、統計量として取り扱うことができない。したがって高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。以上のことから選定基準を設けていない。

(2) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

なし

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

令和3年度は教育学部、学校教育学研究科、の2組織に対する組織別授業評価を実施した。その結果について報告する。

【優れた点】

1) ティーチングポートフォリオ作成・更新率の維持と向上

R4年度の標準版及び簡易版ティーチングポートフォリオに関して、作成・更新の対象者の作成・更新率をどちらも100%を維持できている。また標準版ティーチングポートフォリオ作成者は学部教員全体の23.1%であり、目標の15%を達成している。

標準版ティーチングポートフォリオワークショップに参加した教員にお願いして、標準版ティーチングポートフォリオの作成や利用法、授業・研究での活用法を毎年学部FD講演会にて、報告をしてもらってきたが、今年度はFD講演会として他に必要性の高いテーマが多く上がったため、学部FD講演会としてティーチングポートフォリオを取り上げることはしなかったが、各教員はティーチングポートフォリオワークショップの参加や他の内容のFD講演会を通して、各自授業の見直し、授業改善を行っている。

2) 授業形態、学生の満足度

今年度は対面形式の授業が多くを占めるようになったが、コロナ禍の間に教員が身につけた遠隔授業の技術も引き続き利用することで、多様な授業形態を併用しながら効果的な教育を行うことが可能となった。そのためか、学生の授業アンケートの満足度は概して85~90%の高さの回答を得た。

【改善を要する点】

1) 学生による授業評価アンケートの授業時間外学習

授業評価アンケートの回答率は全体では63%程度で必ずしも高くはないが、不満のない学生にとって回答するメリットがないことが障害となっている面も否めず、大学全体として制度的変更を

検討すべきかもしれない。

授業への満足度が高い一方で、授業1回ごとの時間外学習は1時間未満が4割程度であることについては改善の努力が必要と思われる。

(4) 次年度の授業改善目標

教員の教育力向上のためには、各講演会やティーチングポートフォリオワークショップへの参加を進めることで、維持・向上していきたい。時間外学習など、学生の学習への取り組みに関しても、教員からの働きかけを行うようにする。

○ 学校教育学研究科

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準(とその活用方法)

学校教育学研究科においては、そもそもの対象科目が少ないこと、共通必修科目であっても受講人数が20名と非常に少数であること、また対象となっている科目がいずれも高い評価を得ており、その中から選定することに無理もあることから、高い評価を得ている科目の選定は行わなかった。以上のことから選定基準も設けていない。

(2) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

なし

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

令和4年度の学校教育学研究科の授業改善の取り組み状況に係る優れた点について報告する。

【優れた点】

1) 毎学期の意見交換会の実施

学校教育学研究科では、大学院生の要望を直接聞き取ることが重視し、授業評価アンケート以外に、毎学期にそれぞれのコースにおいて大学院生と教員の意見交換会を実施している。令和4年度からFDに位置付け、学校教育学研究科で統一した対応方針をとることができるようにした。意見交換会では、講義・演習における改善点や、大学院生活(施設・環境面も含む)における課題の聞き取りを行なっている。

令和4年度も前学期、後学期の聞き取りを行い、改善点について検討した。授業面に関する改善点の例として、前学期は院生室の机の破損の報告があり、修繕するとともに適切な仕様についての指導を行った。また、授業時間割についての要望があったが、教員間での議論の結果、変更は行わずに、院生へもその旨説明を行った。後学期では、教職大学院の実習内容について、校長の理解を進めてほしいとの要望があった。ストレートマスターについて3月に実習校に挨拶に回るとともに5月に校長を集めた説明会を実施した。

2) 修了生調査の実施

学校教育学研究科では令和2年度より、前年度の修了生とそれぞれの勤務校の管理職に対して、カリキュラム全体の評価、及び、2年間の各講義科目・実習科目の成果を尋ねる修了生調査(アンケート調査)を実施し、調査結果を振り返るFDを実施した。

令和4年度は、令和3年度(4期生対象)に実施した調査結果を受けて、カリキュラムの改善点を検討した。その結果を受けて各科目で改善が行われている。前後期の授業バランスについて、1年次前期に共通必修科目が多く、負担となっているという指摘があるものの、実習やコース専門科目等の時期との関連から、問題意識は持ちつつも、現状維持としている。

さらに、改善点や成果をより明確にするための質的調査を行った。修了生は経営コースにおける各種授業や実習、その他指導の教育効果について肯定的に評価していたことが明らかになった。

修了生調査の内容については、以下で公開を行なっている。なお、調査時期について、修了後1年経過したのちに実施するように変更したため、令和4年度には実施せず、令和5年5月に実施す

る計画としている。

<https://doi.org/10.34551/00023240> 第4期修了生追跡調査結果の概要

<https://doi.org/10.34551/00023524> 教育経営探究コースの教育効果に関する質的研究

3) 修了生懇談会の実施

2022年8月に実施し、修了生(5期生)11名が参加(うち2名はコース別懇談会から)し、大学院で学んだことが活かされている(学んだことを教育実践に活かしている、俯瞰的に見ることができている、組織としての視点、研究の継続、同僚から意見を求められる、等)ことを確認した。修了生について保護者対応で苦慮している話が出たので、令和5年度より授業等で保護者対応について触れる予定としている。

【改善を要する点】

1)について、意見交換会に挙げられる要望について個別に対応すべき案件もあり、FD で取り上げる内容の検討が必要である。

2)について、授業実態とアンケートの質問項目のズレが指摘されている。今後も継続して実施する予定であるため、実態に即した質問項目となるよう検討する。

(4) 次年度の授業改善目標

令和5年度も、令和4年度までの取り組みを継続し、意見交換会で聴取できた意見、修了生調査の結果、授業評価アンケートの結果について分析を行い、学校教育学研究科内へのフィードバックを随時行い、授業改善に努める。

この他、学校教育学研究科各コースのカリキュラムデザインを明確にするためのロードマップ作成にも着手する。令和3年度に、教育経営探究コースで、令和4年度は子ども支援探究コースで、ロードマップを作成した。令和5年度は、授業実践探究コースでも作成を行うよう準備を進め、大学院生にカリキュラムの目的や構造、各科目の位置付けを明確な形で示せるようにする。なおロードマップの例は、以下のリンクより参照可能である。

<https://doi.org/10.34551/00023241> 教育経営探究コースロードマップ

<https://doi.org/10.34551/00023525> 子ども支援探究コースロードマップ

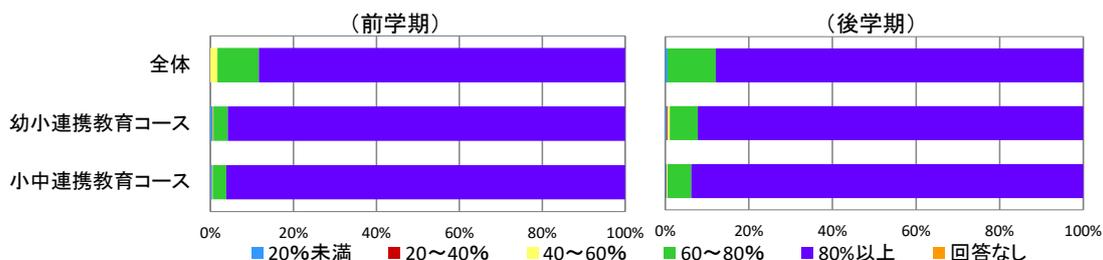
このデータはR4年度在籍した教育学部全学年のすべての科目を対象に4学年の学生からのアンケートを集計したものである。データ区分が3つあって、「全体」、「幼小連携教育」、小中連「携教育コース」と区分けをしており、全体の区分の科目は小中連携教育学や小中連携教育内容研究であり、実施時期が教員により異なるために一般科目と分離し、前期と後期で分けることに意味はないので分析の対象とはしない。したがって今回は”幼小連携教育コース”と”小中連携教育コース”のみ言及したい。

回答数は延べ数にして、前期においては幼小連携教育コースが2428人×科目分、小中連携教育コースでは3130人×科目分の回答数である。後期においては幼小連携教育コース1334人×科目分、小中連携教育コースでは1550人×科目分の回答数である。

なお、今年度から文化教育学部の在籍者が全て卒業ないしは退学して、「文化教育学部」の区分はなくなっている。

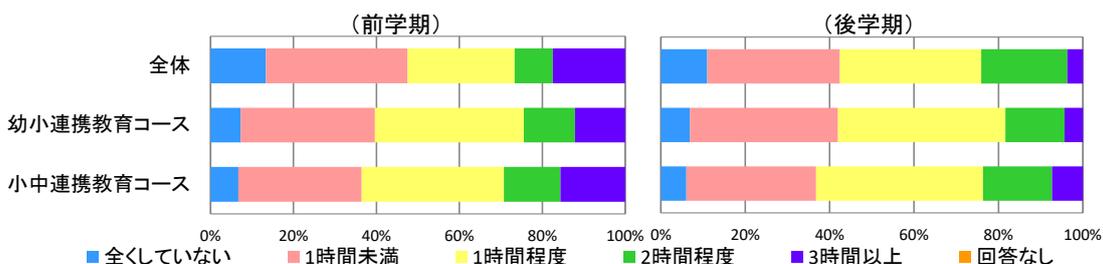
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



80%以上出席の回答が90%以上に達しており、残りのほとんどが60~80%以上の出席率となっている。コースによる違いは大きくない。一方前学期と後学期では、明らかに後学期の方が前学期に比べて出席率が低下している。冬の朝に起床することの難しさが影響している可能性がある。いずれにしても休みが多くなると成績不振や不登校になる可能性があり注意を要する。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



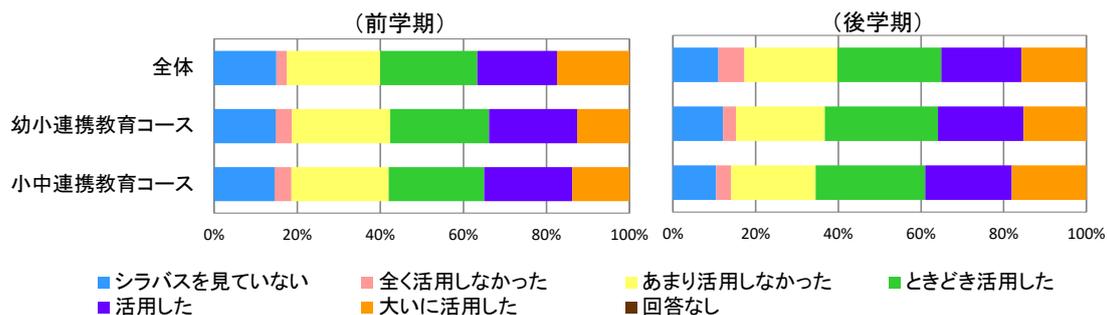
“全くしていない”の科目が前期、後期ともに10%弱あり、コースによる違いは小さい。全くしていない科目は課題がなく、比較的授業時間だけで理解できる内容であると推察されるが、学力の向上のために課題を課すと同時に、内容自体の高度化を進める余地があるかも知れない。

一方、授業時間外学習の時間が最も長い「3時間以上」に着目してみると、前期の方が時間外の学習時間は長くなっている。

最初に掲げた回答者数でも、前期と後期で延べ数に大きな開きがあり、前期は後期の2倍程にもなっている。順調に単位取得が進むと3年次生の後期から時間割が空いてくる傾向はあるものの、それ以上の開きがあることから考えても、学生から見た授業科目の性質が前期と後期で違っている可能性がある。

前学期の終わりの時期(9月)に行われる教育実習の準備を、前期授業の一環として進めることによって、時間外学習が増える効果もあるかも知れない。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

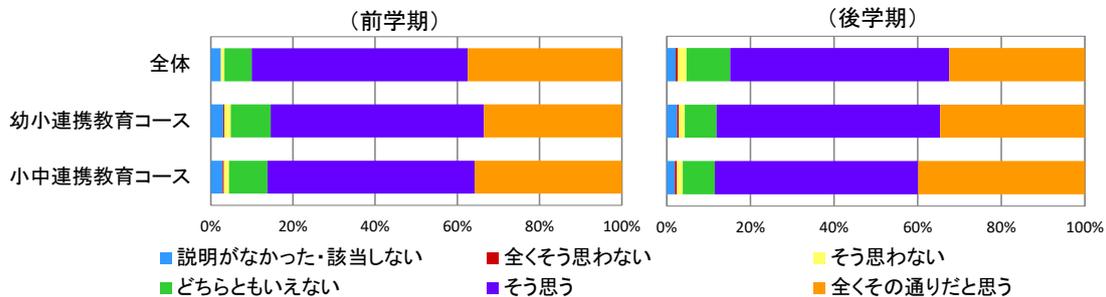


前期・後期ともに“シラバスを見ていない”が15%弱ある。自発的に閲覧してもらうのはなかなか難しい。“全く活用しなかった”を含めると約20%程度は閲覧されていないことになる。シラバスの入力をかなり詳しくやっているのに、学生のニーズには合っていないようである。

次の質問項目の“教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか”に対しては有益との回答が多く、授業の初回で行われる説明によって学生は授業に関する情報を得ている様子が見受けられる。あるいは授業初回の説明を省けば、シラバスの活用については数値が上昇するかも知れないが、それは目的と手段を取り違えるようなもので本末転倒であろう。

B. 教員の対応

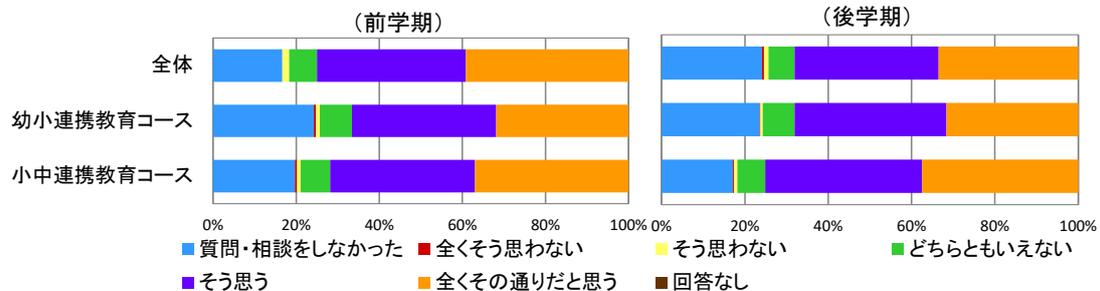
B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



前期・後期とも“説明がなかった・該当しない”，“全くそう思わない”，“そう思わない”を合わせた否定的な意見は、5%程である。それに対して，“全くそう思う”と，“そう思う”を合わせた肯定的意見は 85%以上である。コースによる差は認められず、共に高い満足度が窺える。

“どちらともいえない”の回答が前期よりも後期において減少し、後期授業の方が更に高い結果になっているのは、A-2の項目で推測した「授業の質の違い」を反映している可能性がある。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

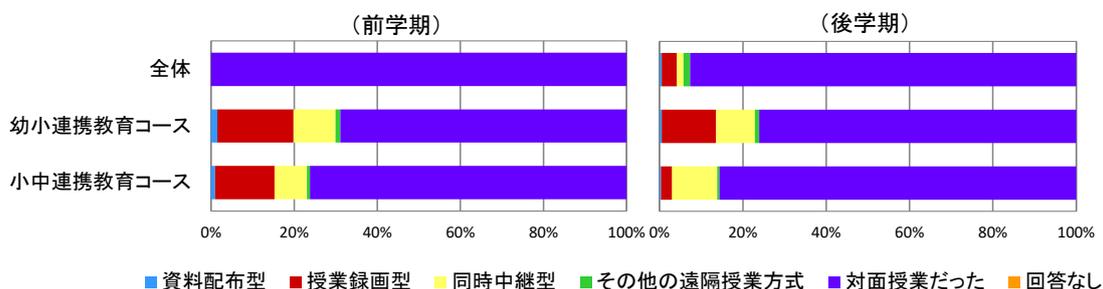


幼小連携教育コースの方が肯定的回答，即ち“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和が少し低いように見えるが、ここでは“質問・相談しなかった”を除いた比率で見べきだろう。

そうすると両コースとも 9 割程度が肯定的回答をしていることになり、残りの 1 割もほとんどが“どちらとも言えない”であり、教員の対応に失望したケースは極めて少ないことが分かる。その少ないケースで、原因が教員側にあるのか学生側にあるのか、この設問からは読み取れない。

C. 授業内容および授業方法について

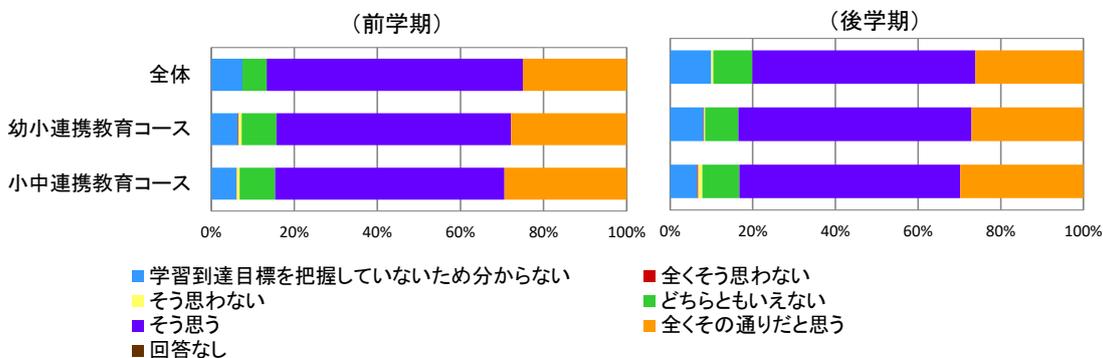
C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



前期と後期で特に小中連携コースで、“授業録画型”の遠隔授業が激減している。また昨年度と比較しても、前後期とも遠隔授業全般が減っている。コロナ禍の警戒レベルの変化によるものと思われる。

幼小連携教育コースの方より小中連携教育コースの方が前期後期にかかわらず、対面授業の比率が高い。実験・実習・実技などの、授業科目の性質によるものだと見て説明できる程度の違いと考えられる。

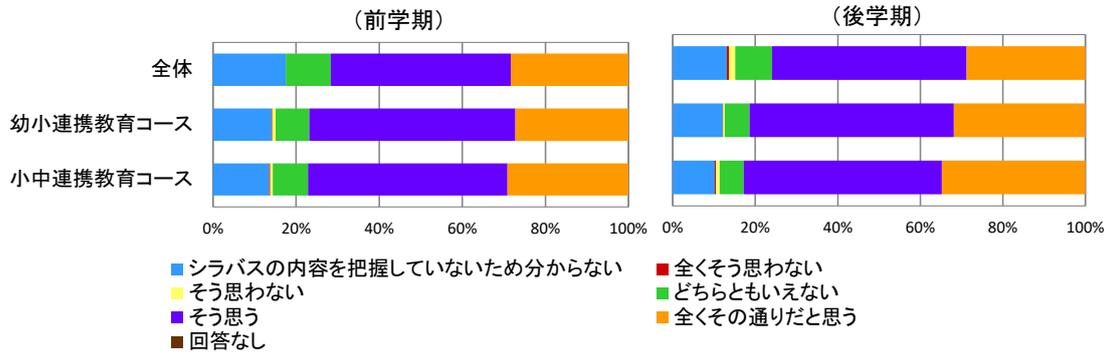
C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



前・後学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和はどちらのコースでも 80%以上であり、多くの学生が学習目標が達成できたと感じている。一方“全くそう思わない”と“そう思わない”の純粋な否定的回答はごく少ない。

しかしながら“学習到達目標を把握していないため分からない”が 10%近くあり、学習目標を把握しないまま授業を受けてしまう「受動的態度」が垣間見える。その中には教員による授業の説明そのものがなかった（更に学生もシラバスを見なかった）場合があるかも知れない。その場合には教員側にも責任がある。

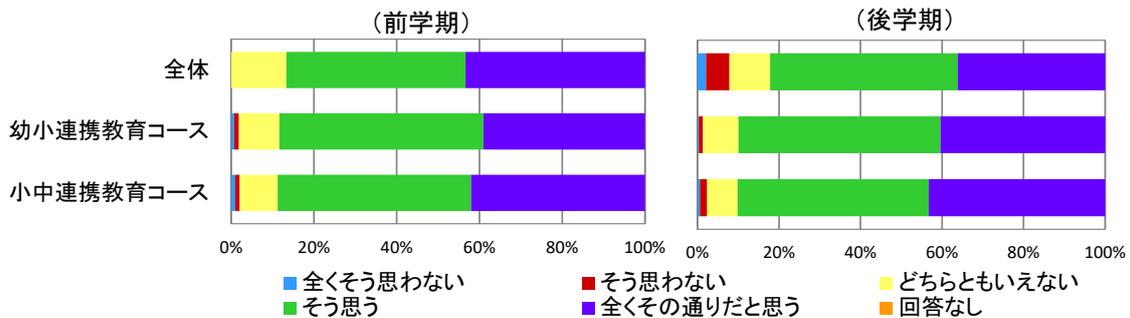
G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は80%弱である。後期は更に高く80%を超える。否定的回答の“全くそう思わない”と“そう思わない”はごく少数で、“シラバスの内容を把握していないため分からない”が10-15%，“どちらとも言えない”が5-10%ある。これらはもともとA-3項でシラバスを“見ていない”と“全く活用しなかった”という回答が15%程度あったので、それに対応する結果がでていると見なして良いだろう。

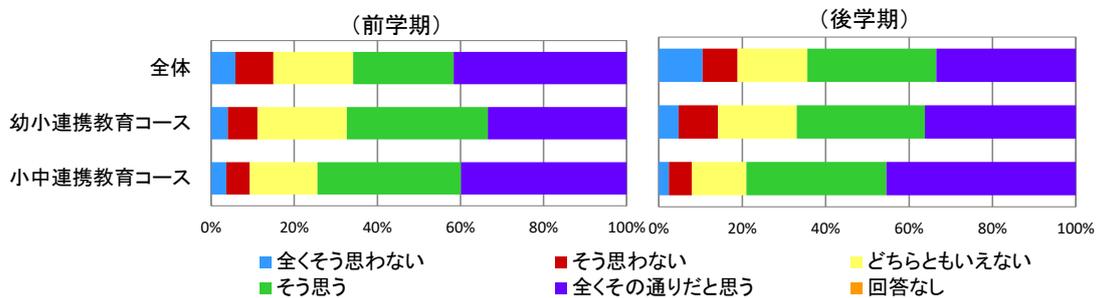
少数の授業科目で、シラバス通りに授業を行わなかった教員がいるということを意味するが、シラバスの改訂など、何らかの改善を要する。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



前後期とも肯定的回答の“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は90%近くに近いのぼり、教員による授業の工夫が学生に伝わっている。後学期の授業方が若干その率が高まっている。一方コースによる違いはほとんど認められない。

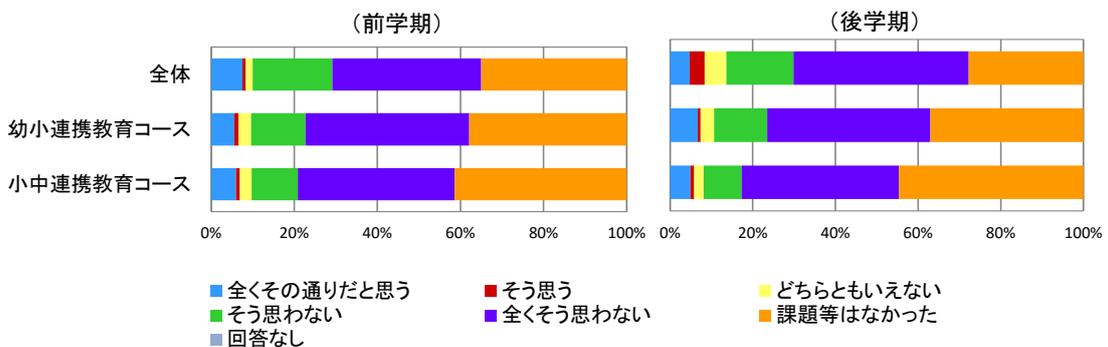
C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



幼小連携教育コースでは、前・後学期ともに回答の比率に学期による違いは小さい。肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は65%程度である。一方、小中連携教育コースの肯定的回答の比率は更に高く、前期で75%近くに、後期では80%近くに達している。

このことは設問が「書く」「話す」「発表する」と言った授業の形態によってほぼ決まるので、実験・実習・実技のような、その傾向が強い科目が小中連携教育コースの方に多いこと反映であろう。アンケートの意図がよくわからない。授業形態に依存して決まる事柄を聞いているに過ぎないのではなからうか。

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

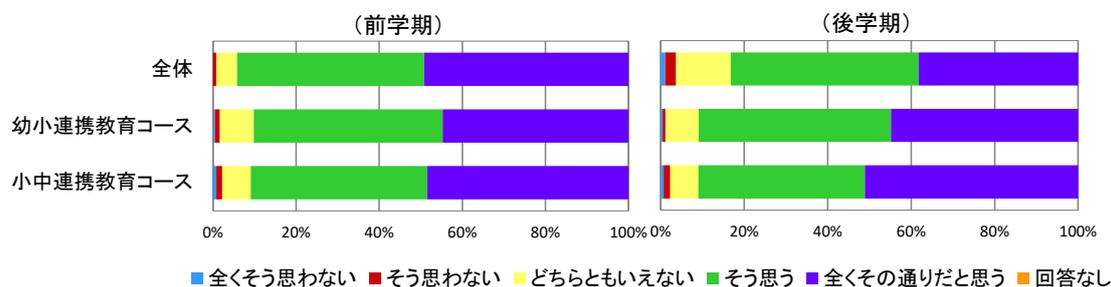


設問と回答の関係があまり明確ではないが肯定的回答は“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は10%程度、前期後期を比較してそれほど変化はない。

学期末に試験の答案やレポートの提出を行う場合が多い筈だが、それに対するフィードバックがあるためには、学生は授業時間外に教員に接触する必要がある、これが高い比率になる状況は異常事態と思われる。この設問では「否定的回答が多いことが望ましい」と解釈するのであろうか。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



肯定的回答である“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和に付いてみると、前後期においても、コース別に見ても、90%を超える辺りにあり、違いがないと同時に満足度が高いことが見て取れる。内訳を見ると“全くその通りだと思う”の比率が僅かに小中連携コースの方が高い一方、不満を意味する“そう思わない”の比率も小中連携コースの方が後学期において高い。

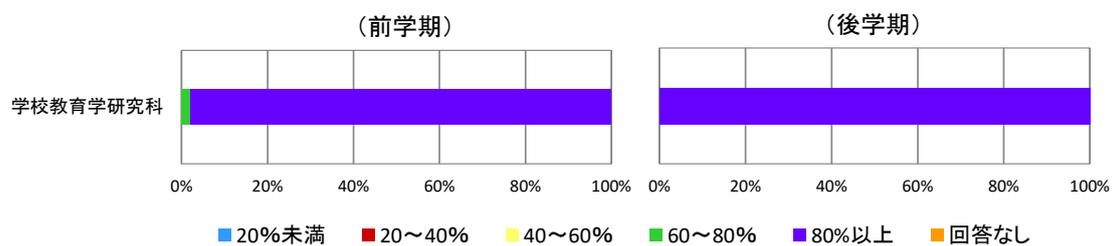
全体に昨年度よりも若干上昇した項目が多いようである。コロナ禍の警戒度を低下させて、遠隔授業が更に減ったことがプラスに作用している可能性がある。しかし一方、警戒を緩めたことが原因なのか、コロナ感染での学生の欠席も増えた印象があり、この結果を単純に喜ぶのは間違いなのかも知れない。

このデータは R4 年度在籍した学生が受講した学校教育学研究科の科目を対象に、学生からのアンケートを集計したものである。前学期 7 科目と後学期 1 科目の結果であり、統計数には問題がある。特に後学期のデータはほとんど意味がないものと思われるため、以下の分析では前学期を中心に見ていく。

履修者数・回答者数ともほとんどの科目で同じになっていて、それぞれ 20 人、14 人である。従って回答率は 70%ということになる。

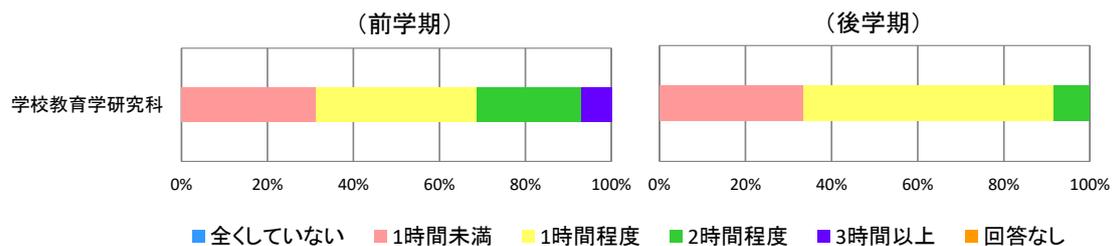
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



ほとんどが出席率 80-100%の回答であり、非常に良好な出席率となっている。学生の勉強意欲を示す結果である。

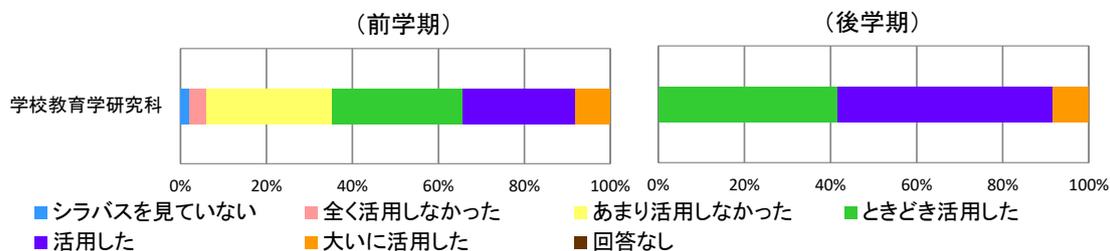
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



授業時間外学習は“全くしていない”の回答がないものの、前後期とも 1 時間未満が 30% 程度ある（前期 31.1%（昨年度 13.7%），後期 33.3%）。以下前期についてだけ見ていくと，“1 時間程度”が 37.4%（昨年度 44.3%），“2 時間程度”が 24.2%（昨年度 28.0%），“3 時間以上”が 7.1%（昨年度 9.2%）となっている。この分布の全体的傾向は教育学部学生の回答と似ており、また、昨年度と比べて 1 時間未満が増加し、それ以上が軒並み減少している。大学院においても時間外学習が不足している可能性がある。授業形式等や実習との関連などによって左右されると考えられ、更に結果の評価に当たっても考慮に入れな

ればならない。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

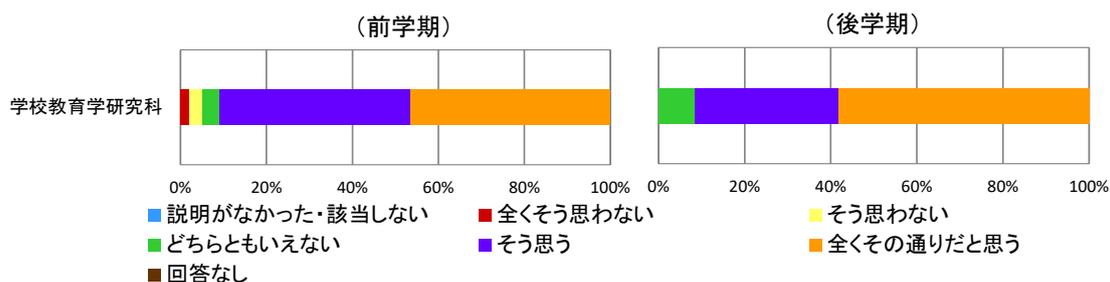


教職大学院においてはシラバス活用率に関して、“シラバスを見ていない”や“全く活用しなかった”が少ないことが分かる。また“ときどき活用した”，“活用した”，“大いに活用した”を合わせると，前学期 64.6%・後学期 100%であり，全体的にシラバスが積極的に参照されていることが窺える。

共通必修の授業が開講されており，所属コースの教員ではない科目を履修することから，シラバスの活用に繋がっている可能性がある。一方，選択必修などの科目が少なく，選択の際に活用する必要がないことに起因することが，余り活用しない場合の要因として推察される。

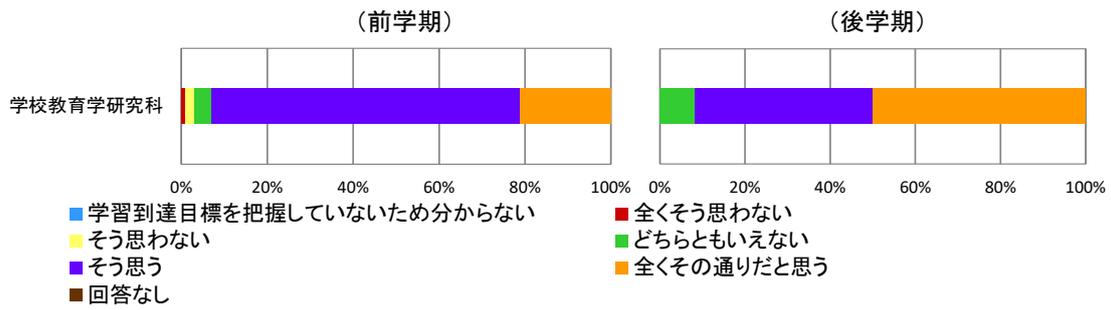
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



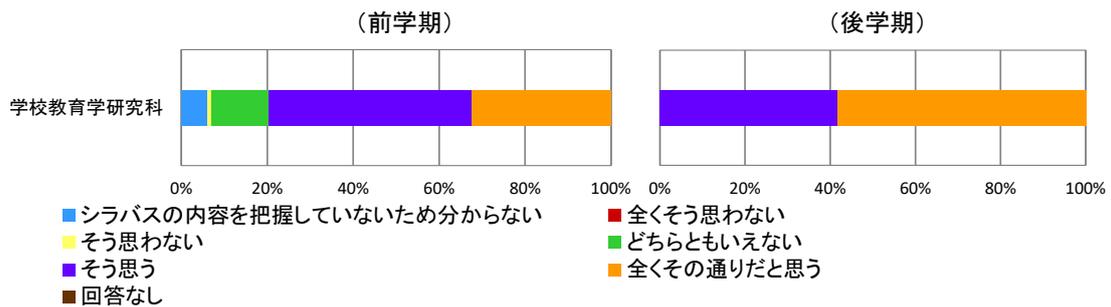
教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明については，“全くその通りだと思う”と“そう思う”の合計，即ち有益であったと回答をしているものが，前学期 90.9%（昨年度 98.5%），後学期 91.4%（昨年度 100%）両学期とも 90%程度である。前年度よりは低下しているものの高い水準を維持している。各科目において教育方法や成績評価方法について十分な説明がなされ，それによって学習が充実したと感じていることが推察される。

G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



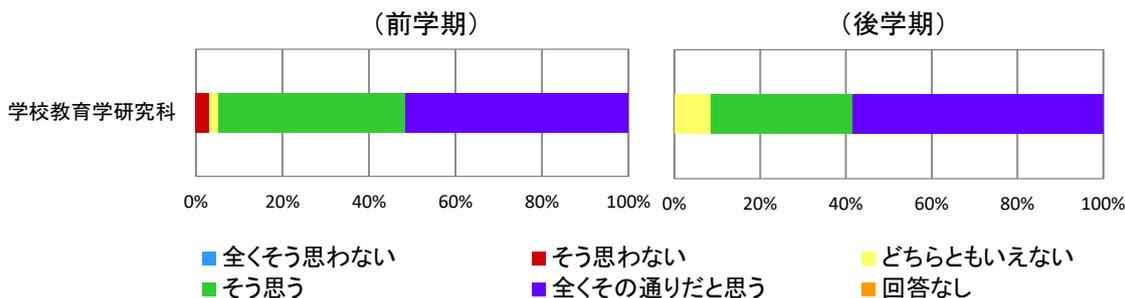
学習到達目標達成に関する自己認識に関して、“全くその通りだと思う”と“そう思う”の合計、即ち肯定的な回答が前後期とも90%強であり、高い比率を示している。ごく少数ではあるが、前学期に学習目標を達成できなかったと回答する学生がいたが、これは昨年度にはなかった回答であるから、学生個人の要因なのか推移を見守る必要がある。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



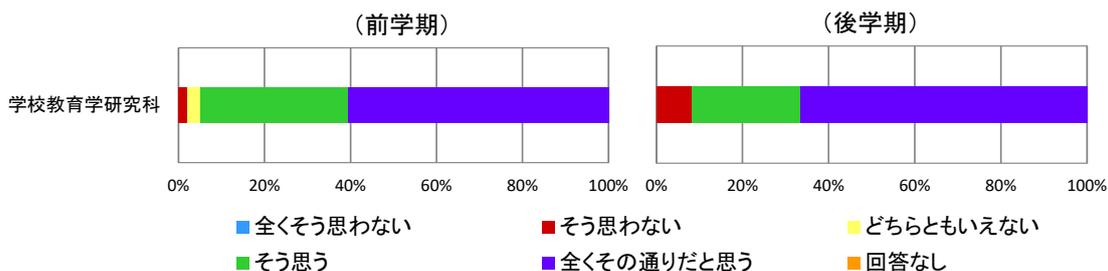
授業内容とシラバスの対応に関しては、“全くその通りだと思う”と“そう思う”の合計が前学期で80%程度(後学期100.0%)となっており、肯定的回答が多いものの、昨年度と比べると悪化している。この辺がやはり統計数の足りないデータである事の限界かも知れない。

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



理解しやすいように教え方や教材の工夫がなされていたという回答が前学期 95%程度で、高い水準を維持している。細かく見ると前期の“そう思わない”や後学期の“どちらとも言えない”が昨年度より増えているが、統計的揺らぎの範囲とみて良いだろう。

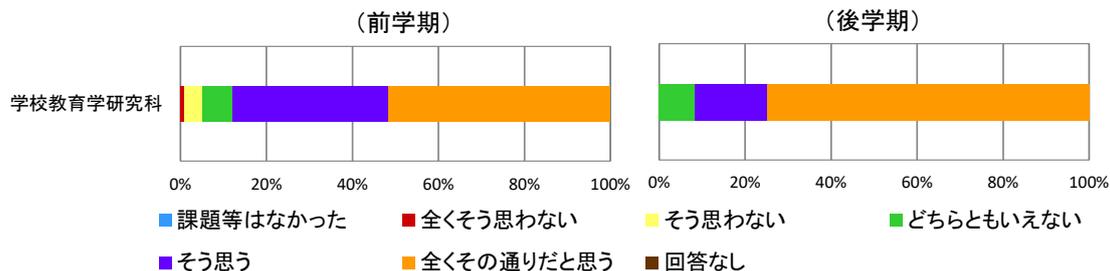
C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていたという回答が90%を超えていて高い。

この質問項目では教育学部と大きく異なる傾向を示しているが、教職大学院の授業の特質を反映したものと理解した方がよい。教職大学院では多人数の一斉授業はなく、講義形式であっても、現職院生とストレートマスターのペアでの発表やグループワークを実施し、現職院生は現任校の課題分析も行うなど、ほぼ全ての授業で、アクティブ・ラーニングの手法を導入しているためと考えられる。

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

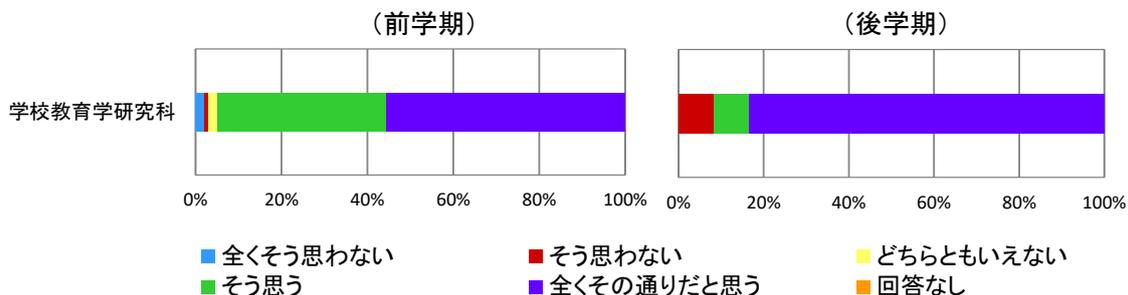


課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説があったという回答（“全くその通りだと思う”と“そう思う”の合計）が90%程度であり、肯定的回答が高くなっている。

この項目の回答も教育学部との違いが際立つが、同じく授業形態の違いが要因であろう。教職大学院においては適切なフィードバックが行われていたことで、目標達成や教え方・教材の工夫、主体的・対話的に学ぶ活動等の高評価に関連していたと推察される。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業の満足度に関しても、依然として高い水準を維持しているものの、やはり昨年度と比べると低下している。特に後学期では明らかに学生1名の回答が全体に影響しており、これを以てすぐに判断するのは早計だろう。今後の推移を見ながら、必要となれば対応を検討するようにしたい。

**令和 4 年度
組織別授業点検・評価報告書**

芸術地域デザイン学部

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

特に実施していない。

(2) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

なし

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

カリキュラムにおける課題抽出をおこない、令和元年からカリキュラム改定に取り組んでいる。そこで検討すべき主な内容として上がったのは、1年次と3年次に開講されているコア科目の運営方法や内容についてである。令和2年春からは1年次コア科目のスリム化が実施され、さらにその後、教員の負担軽減と負担の平均化を目的とする改善策を講じている。

コア科目の運営検討において、1年次コア科目はこれ以上変えることは教育上の不利益をもたらすことになることが予想され、現状の方法で数年動かしてみたいと考える。3年次コア科目は、地域創生フィールドワーク、有田キャンパスプロジェクト、国内外芸術研修の3科目があり、設定された目的が違うため統一する運営や動きが難しい。プロジェクト数を減らす、担当教員を減らすなど案はあるが、地域での活動などの学部の目的を果たすためには現状での運営を続ける方が望ましいとも言える。

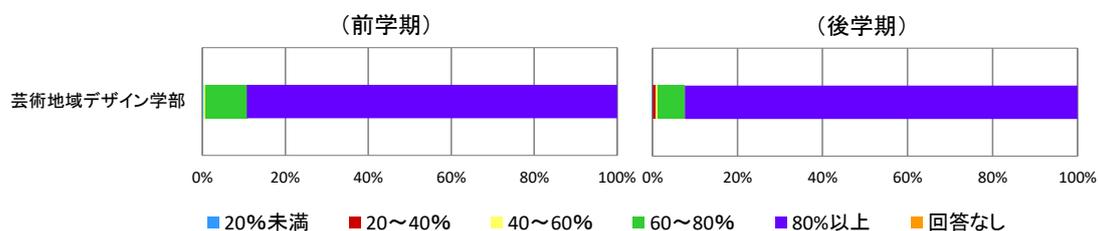
(4) 次年度の授業改善目標

手の付けられるいくつかのカリキュラム改善を終え、現在は次の改善を見定める期間である。学部全体においては、非常勤講師によって賄われている科目の見直しを迫られるなど、検討課題が多い。ただし、非常勤講師の科目は既に減らして来た経緯がある。教員が少ない学部の現状からすると非常勤講師が担当する科目は教育の幅を担保するためには重要であり、これ以上の削減は教育の質を考えると難しく、難題である。

令和4年度は、2名の退職教員の不在状況を賄うため、非常勤講師の手配や学生指導の分配などの喫緊の課題に迫られ、それ以上の改善目標は無いといえる状態であった。R5年以降は、新任の着任が続く予定である。この入れ替わりに合わせ、科目の見直しも検討されている。

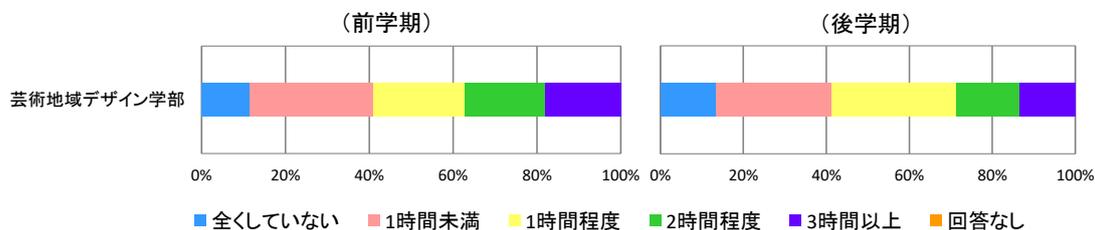
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



前後期ともに約9割の学生が出席率80%以上と良好である。

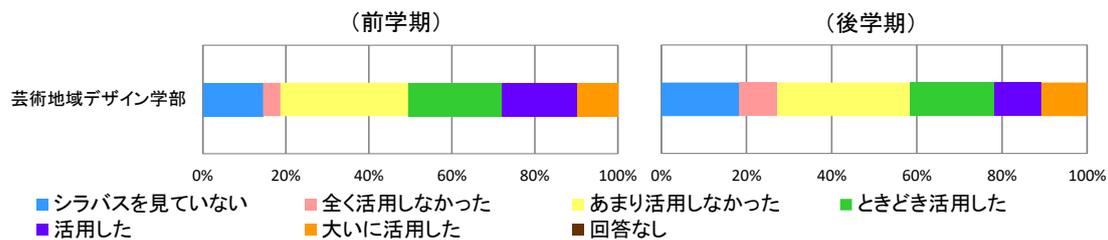
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



1時間未満の学生が前後期共に4割というのは良い数字とは言えない。さらに、昨年度比からしても、1時間未満の学生の割合が増えている。また、6割を超える学生が1時間程度に収まっている。実際の印象としても、時間外学習に対する意識は低いように感じられ、本数値の低さは気がかりである。

ただし、学部特性上、課外において自主的な制作（研究）活動を行うことも多いため、「1回の授業ごとの予習復習」という設問が自主的な学習という意味では正しい状況を反映していないかもしれないことを考慮に入れておきたい。

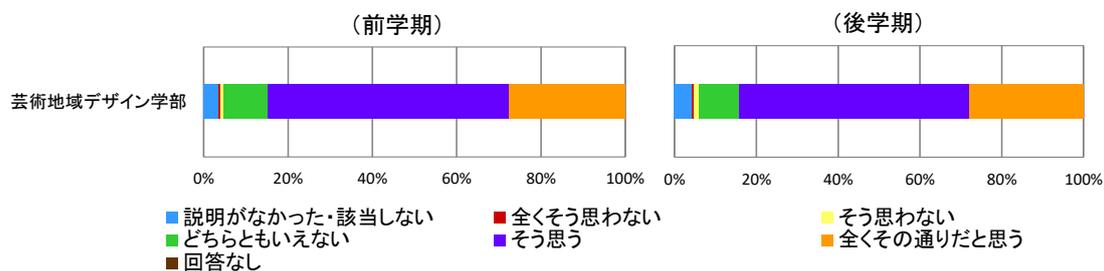
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを活用について、「見ていない」から「ときどき活用した」までの活用意識の低い段階の学生が7割以上を占める。これは例年同様の傾向で、実習科目が多いことや少人数の科目が多いことなどの本学部の特徴を反映しているように思われる。いずれにせよ、引き続き教員側はしっかりとしたシラバスを作成し、方針、計画を明示しておくことに変わりはない。また、近年のシラバス点検に伴い、学部全体のシラバスは以前と比較して的確な内容記述隣より充実したものになっている。

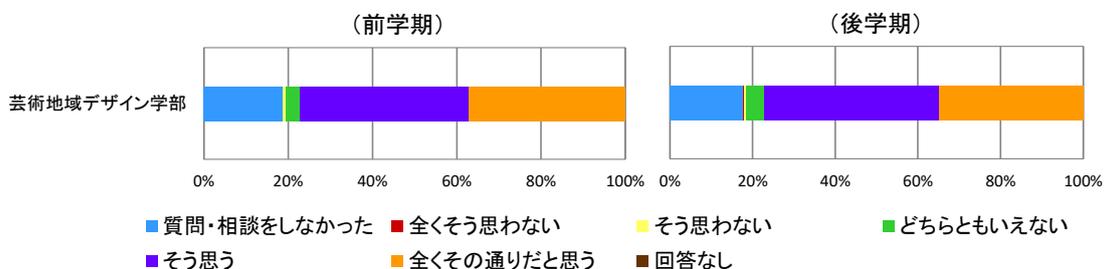
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の合計が8割以上あり、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は学生に評価されている。評価は良好である。

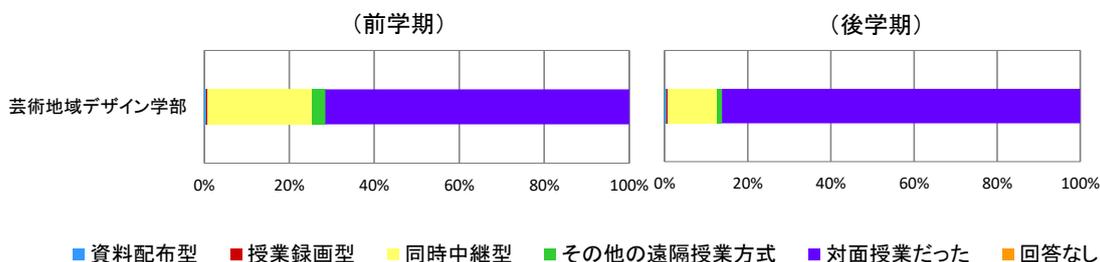
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問・相談をしなかった学生を含め、「全くその通りだと思う」「そう思う」の計は概ね9割5分を超えており、担当教員は学生に対して適切に相談に応じていると言って良い。評価は良好であるが、1パーセント未満とはいえ「そう思わない」「全くそう思わない」という意見があることも見落としてはならないだろう。

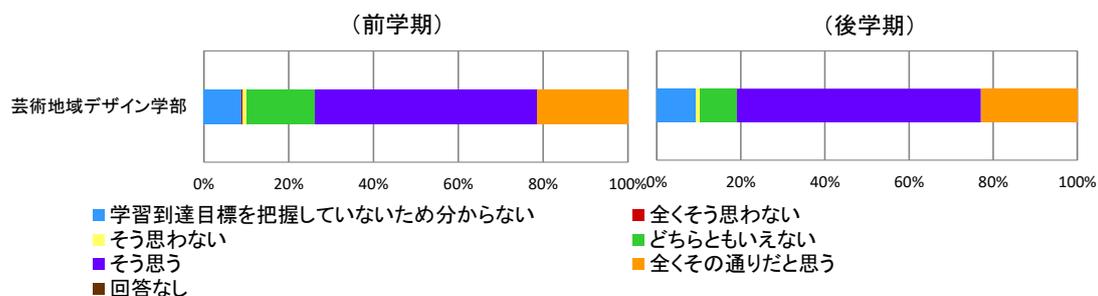
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



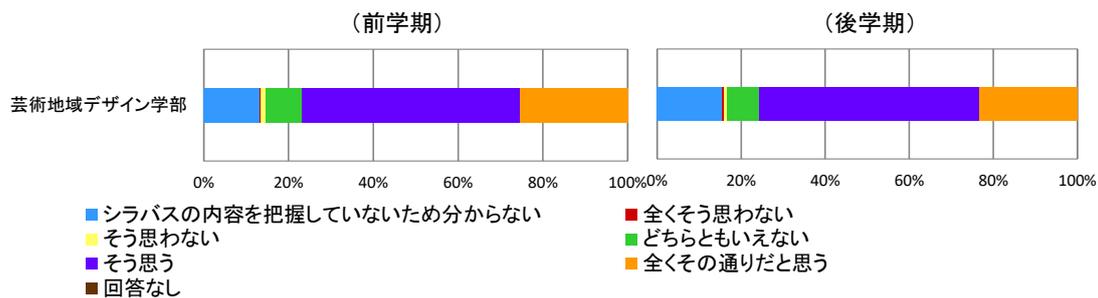
大学の方針に従い、対面授業中心に戻って授業が行われたことが分かる。コロナ禍初年度には一定数見られた資料配布型や録画型はほぼ行われなくなっている。前期にはまだ2割を超える授業が同時中継型により遠隔授業を行っているが、後期には1割程度に減少している。後期の数字が示すように、今後も一定数の遠隔授業活用は残ると思われる。対面授業の実施を実現する上では、教室への入室者数を半減させ2教室で開講するなど、さまざまな工夫と努力が行われた。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



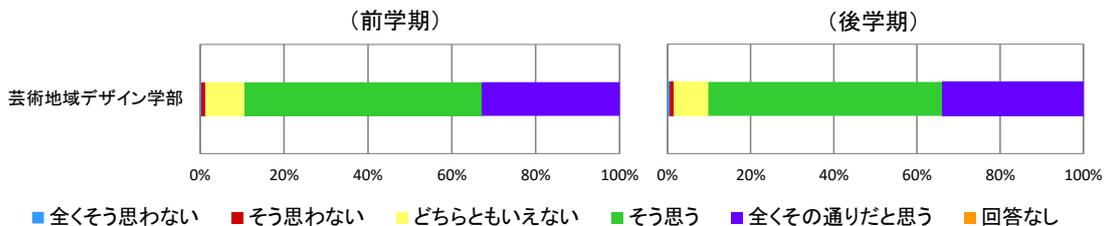
前後期ともに8割近くが「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好と言える。ただし、把握していない学生も1割程おり、シラバスの活用を促すなど改善課題である。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



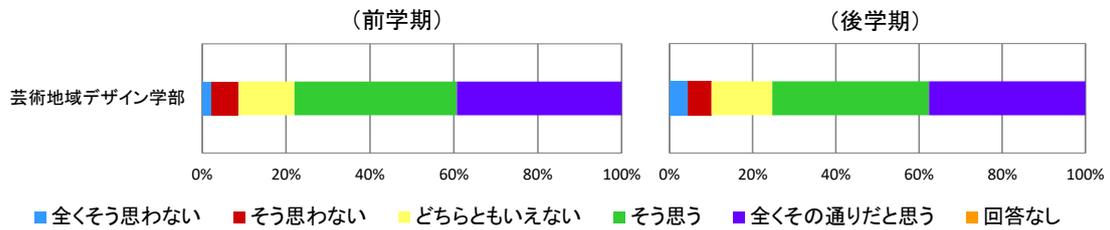
前後期ともに、8割近くの学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好と言える。ただし、昨年は9割を超える学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えていたので、その割合は1割程度減少している。また、シラバスを把握せずに受講する学生に対し対策の余地がある。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



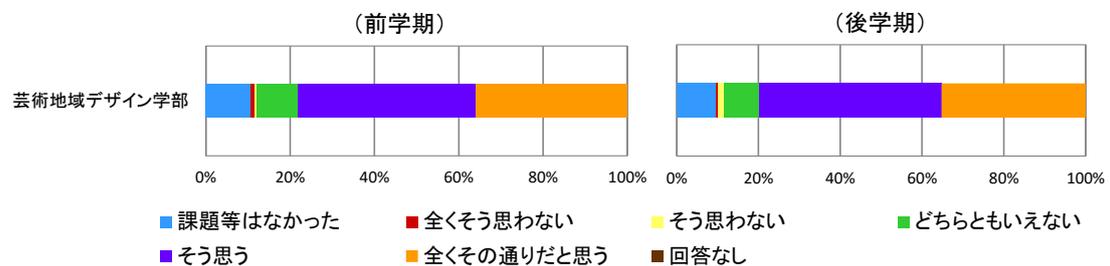
前後期ともに、8割～9割近くの学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好である。しかし、「そうは思わない」「全くそうは思わない」と答えた学生も居ることを忘れずに、教え方や教材の工夫には毎年取り組む必要がある。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



前後期ともに、7割5分以上の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えており、学部全体で学生の主体性が発露できるような授業運営が行われている割合は高い。学生主体の実技実習が多いこともあるが、ここで示される比率はそれ以上のものであり講義系の科目においても工夫がなされていることが伺える。

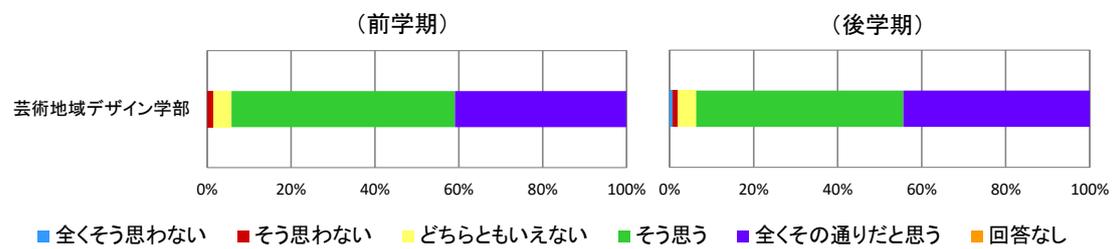
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前後期ともに約8割の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。教員が丁寧に学生に接している結果であるといえ、評価は良好である。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前学期ともに9割を超える学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答しており、良好である。

**令和 4 年度
組織別授業点検・評価報告書**

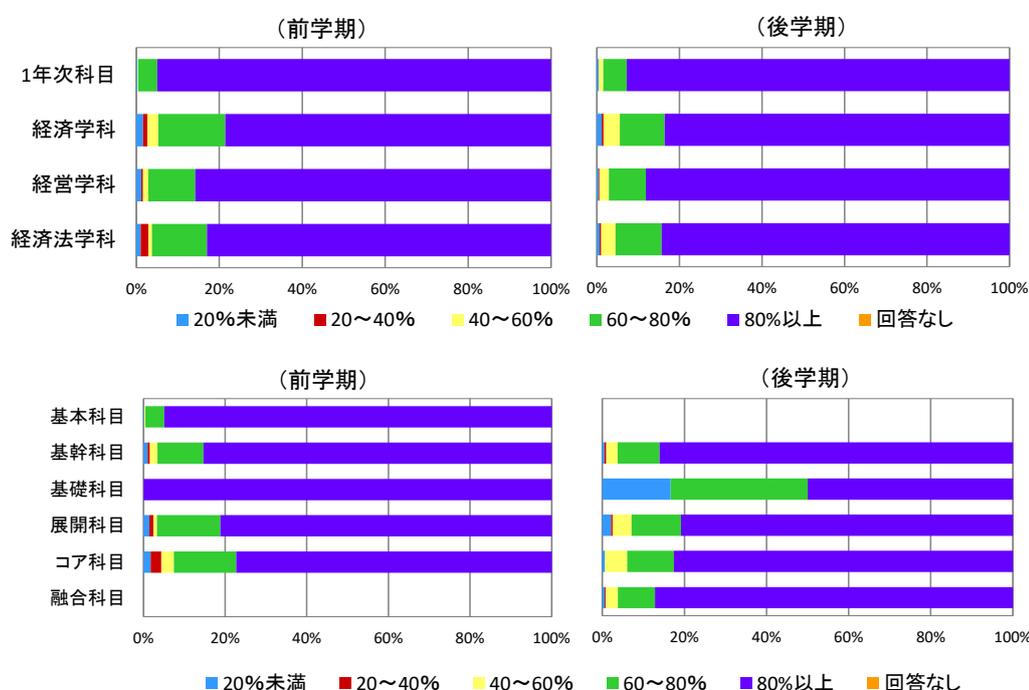
経済学部

(1) 学生授業評価アンケートの結果と分析

回答総数は前学期3550、後学期4062である。以下、アンケート項目ごとに分析と問題点の指摘をおこなう。なお個別の授業に関するものは、問題があると考えられる場合、適宜触れる。

A. あなた自身について

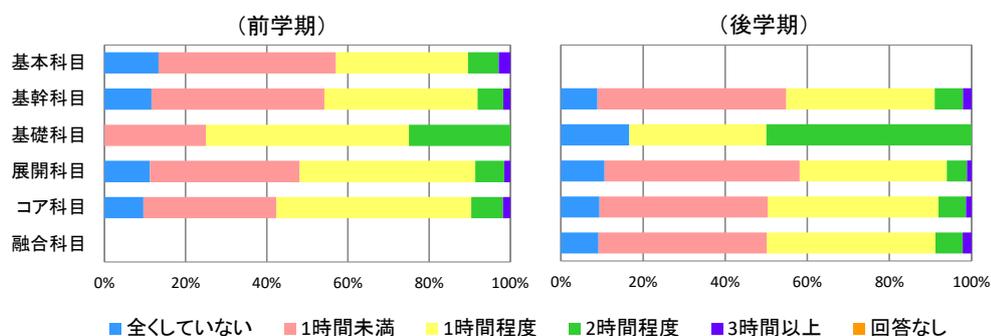
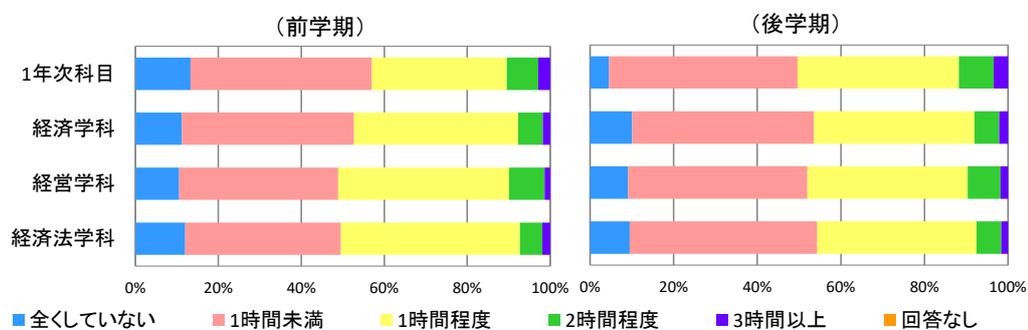
A-1 出席率はどのくらいですか



	20%未満	20~40%	40~60%	60~80 未満	80%以上
前学期	0.8%(27)	0.5%(18)	1.0%(36)	9.4%(333)	88.3%(3136)
後学期	0.7%(30)	0.3%(12)	2.7%(109)	9.8%(399)	86.5%(3519)

87%の回答が出席率 80%以上としている。例年並みの数値である。

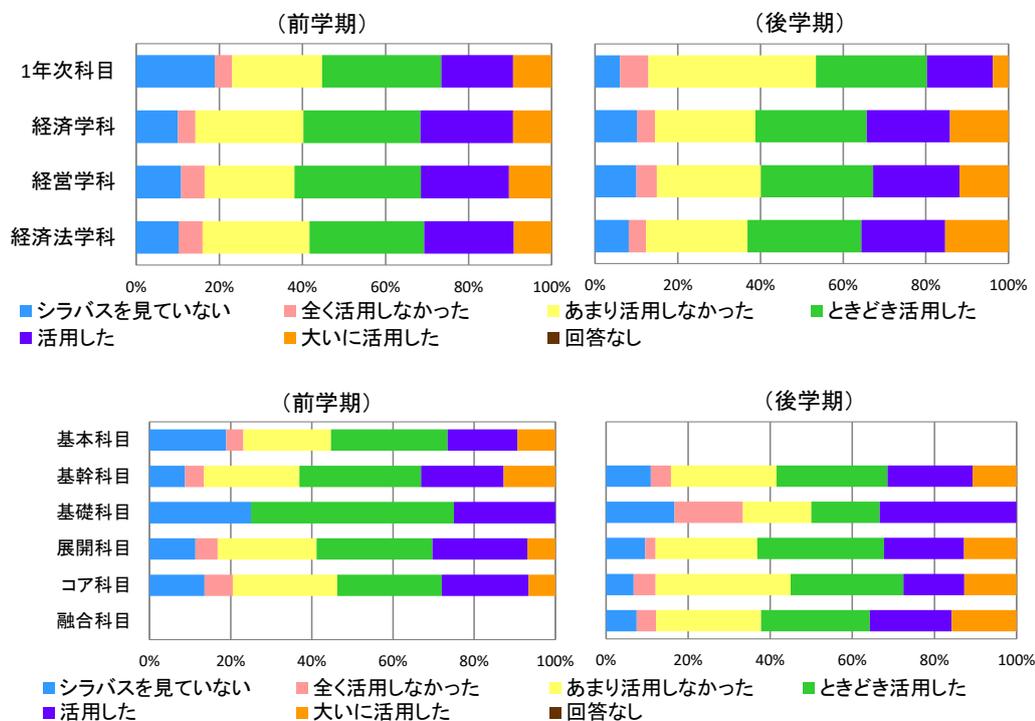
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
前学期	12.0%(425)	39.8%(1413)	37.3%(1325)	8.3%(293)	2.6%(94)
後学期	8.6%(351)	41.5%(1687)	38.9%(1582)	8.0%(326)	3.0%(123)

授業外学習を全くしていないとする回答が10%程度ある。授業科目の特性を踏まえた検討が必要である。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

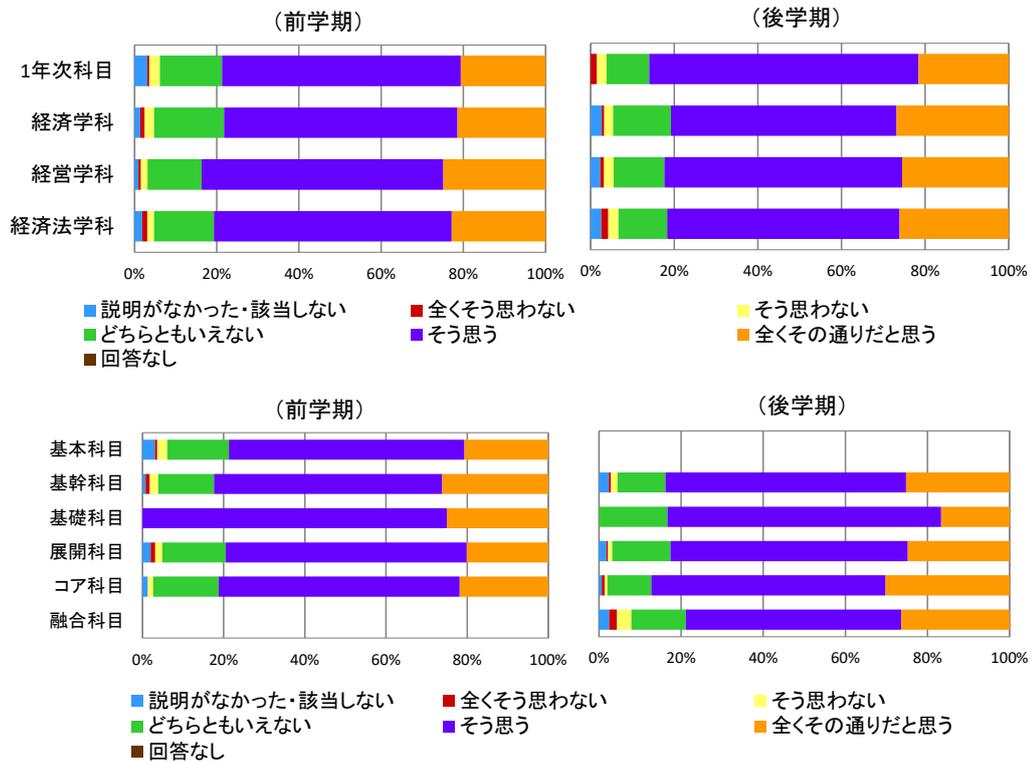


	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	時々活用した	活用した	大いに活用した
前学期	14.6%(520)	5.2%(185)	23.7%(843)	27.6%(981)	19.3%(685)	9.5%(336)
後学期	10.5%(427)	5.3%(217)	26.3%(1069)	26.1%(1061)	19.0%(773)	12.8%(522)

全学的にシラバスの活用が求められているが、「シラバスを見ていない」という回答が10%を超えている。「全く活用しなかった」を含めると20%に迫っている点は改善すべき点である。

B. 教員の対応

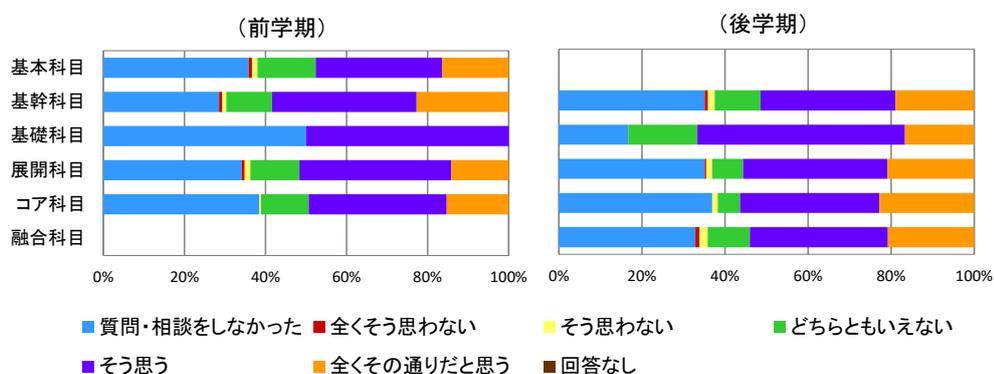
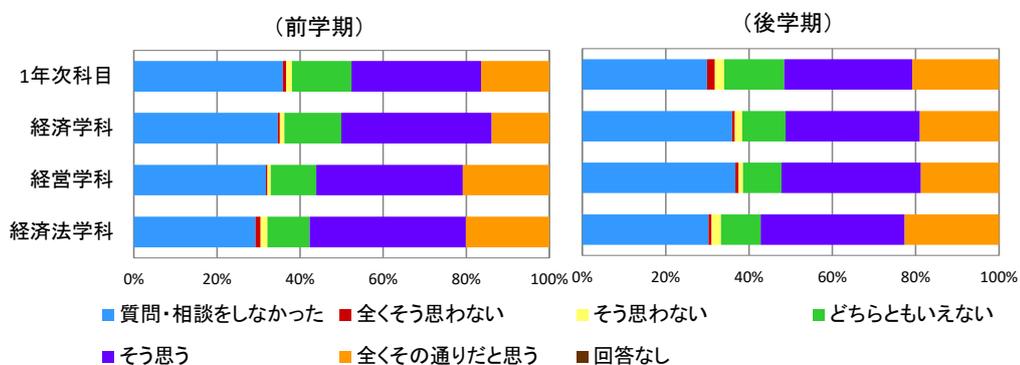
B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



	説明がなかった・該当なし	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	2.5%2(87)	0.7%(26)	2.0%(70)	14.4%(512)	56.7%(2013)	23.7%(842)
後学期	2.5%(101)	0.9%(36)	1.9%(78)	12.2%(495)	55.0%(2238)	27.5%(1121)

A-3の質問項目にも関連するが、「教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明」はシラバス記載事項であるから、「説明がなかった」というのはシラバスを見ていないことに他ならない。そうであるならシラバスを参照するよう開講時や最終講義日に指示することで、回避可能である。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

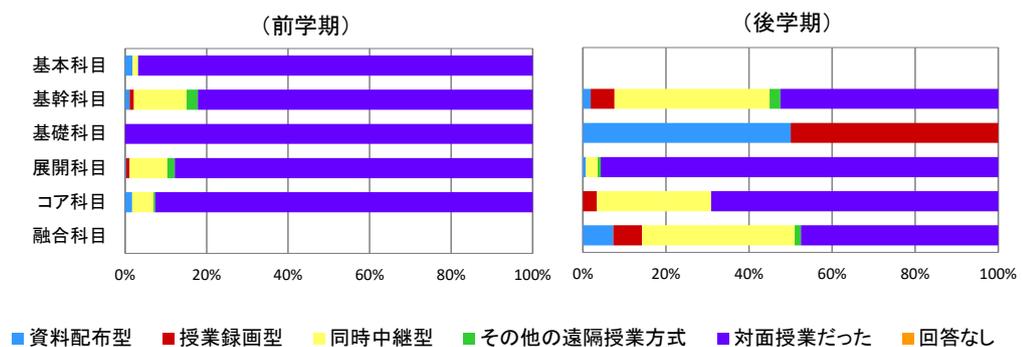
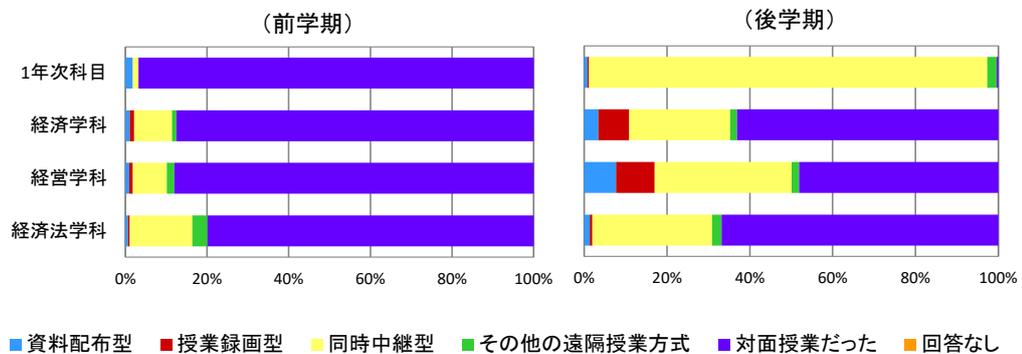


	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	30.5%(1083)	0.7%(24)	1.1%(39)	11.4%(406)	34.8%(1234)	21.5%(764)
後学期	31.0%(1262)	0.7%(27)	1.4%(59)	8.9%(363)	33.8%(1376)	24.1%(982)

「質問・相談をしなかった」を除くと、「そう思う」「全くその通りだと思う」の回答割合は前学期81%、後学期84%となり、概ね適切な対応がなされている。

C. 授業内容および授業方法について

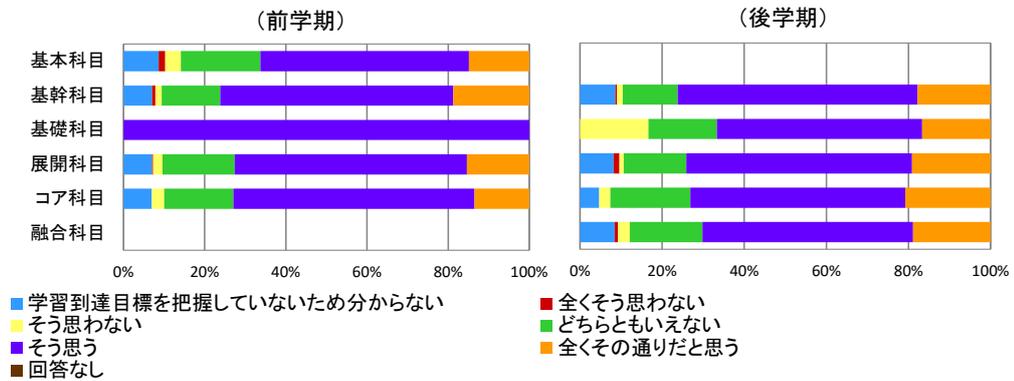
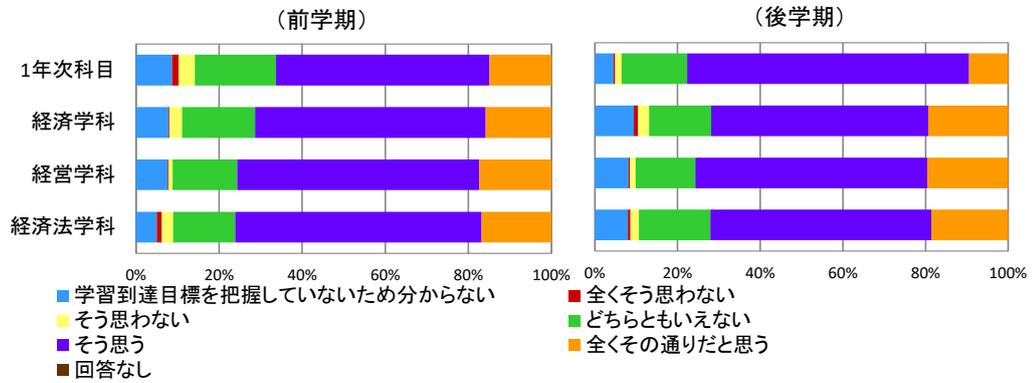
C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



	資料配型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業
前学期	1.2%(42)	0.4%(15)	6.0%(213)	1.2%(42)	91.2%(3238)
後学期	3.5%(143)	4.8%(197)	29.4%(1197)	2.0%(80)	60.3%(2452)

教室収容人員の関係で「対面授業」の一部は「同時中継型」とのハイブリッドで実施された。したがって一部「同時中継型」の形式で実施されているが、「対面授業」扱いである。これは対面授業で実施するとの大学方針に沿ったものである。

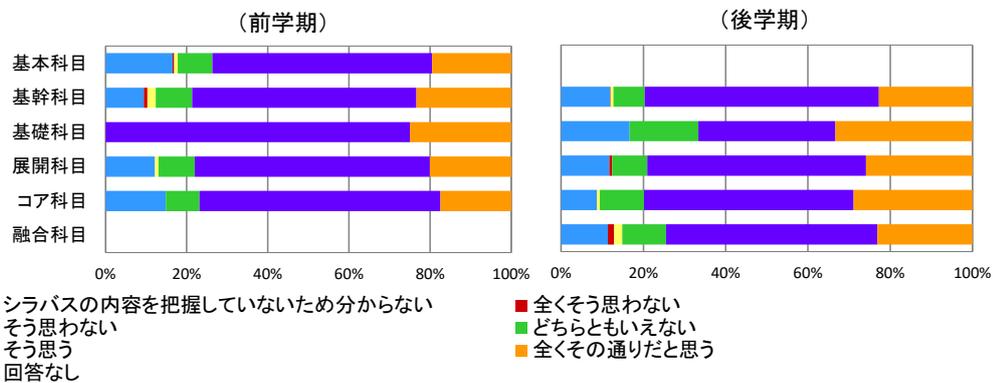
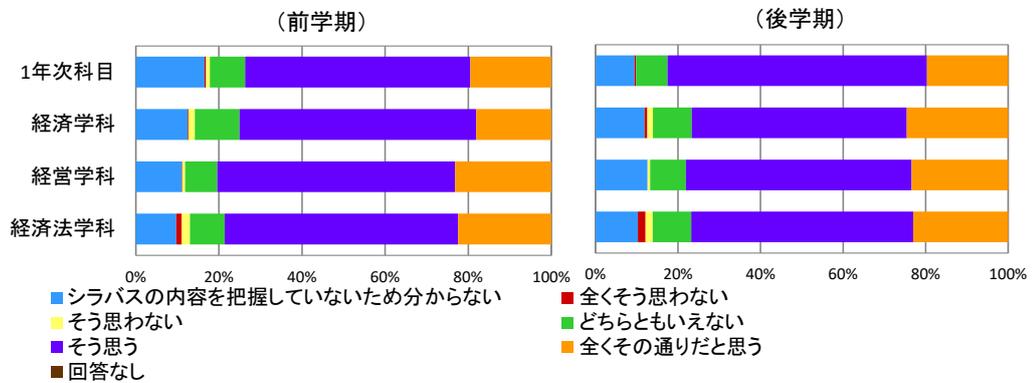
C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



	学習到達目標を把握していない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	8.0%(285)	0.9%(32)	2.5%(90)	16.7%(593)	54.5%(1935)	17.3%(615)
後学期	8.1%(330)	0.6%(23)	1.8%(74)	14.6%(595)	54.6%(2221)	20.3%(826)

学習到達目標を達成できたとする回答は70%をこえており、妥当な数値である。学習到達目標を把握していないとする回答が8%ほどみられる点は改善点である。学習到達目標はシラバス記載事項である。

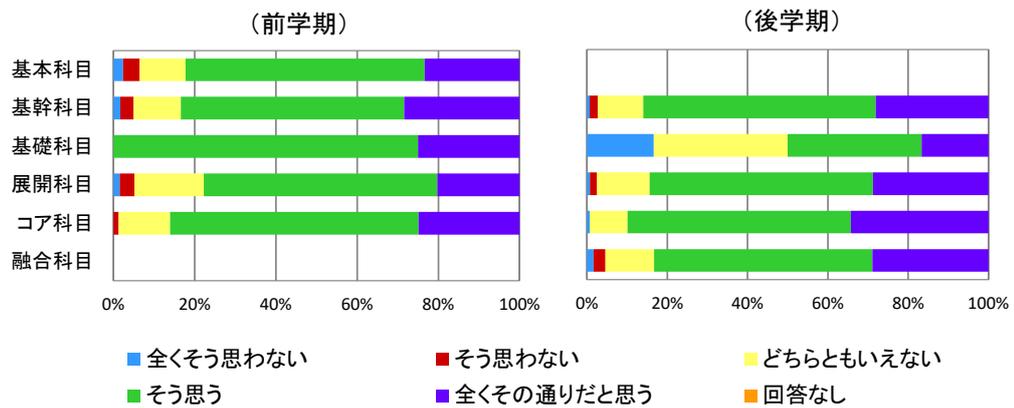
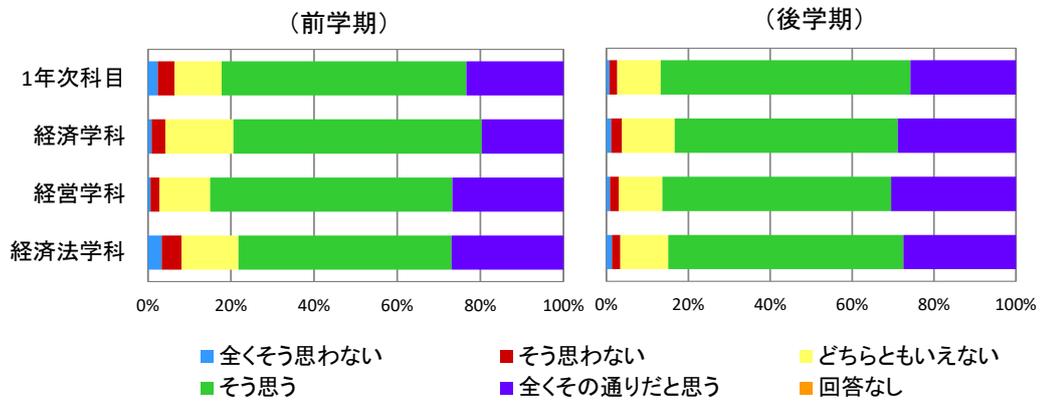
C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



	シラバスの内容を 把握していない	全くそう思 わない	そう思わ ない	どちらとも いえない	そう思 う	全くその通りだ と思う
前学期	14.0%(498)	0.4%(14)	1.1%(39)	8.8%(312)	54.1%(1922)	21.5%(765)
後学期	12.1%(494)	0.6%(26)	1.1%(43)	8.8%(359)	52.5%(2137)	24.8%(1010)

75%を超える肯定的な回答が得られており、概ねシラバスが授業にそった授業がなされている。シラバスの内容を把握していないとする回答がやや多くみられる点は改善すべき点である。

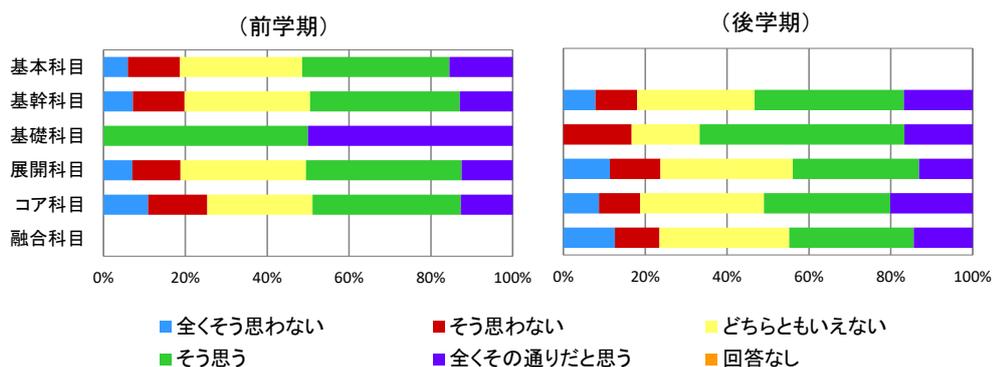
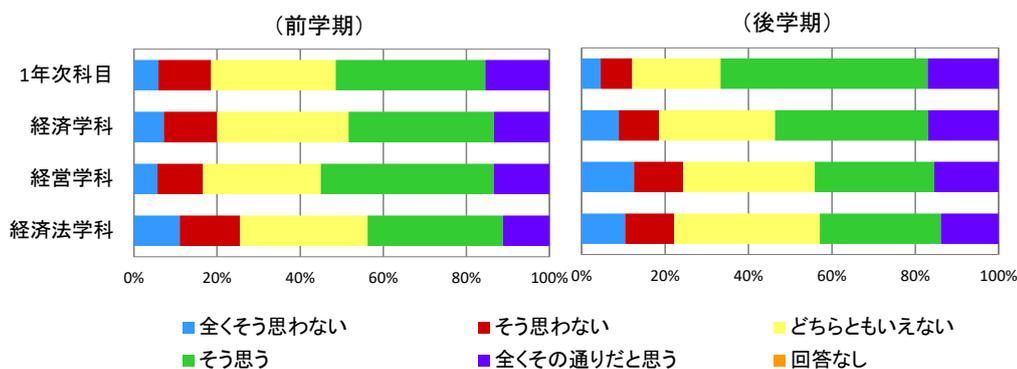
C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていました



	全くそう思わない	2 そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	1.7%(61)	3.2%(114)	12.3%(435)	56.5%(2007)	26.3%(933)
後学期	1.0%(41)	2.0%(81)	11.3%(460)	54.9%(2235)	30.8%(1252)

例年通りであるが、80%を超える学生が「工夫されていた」と肯定的に回答しており、これは積極的に評価されるべき点である。

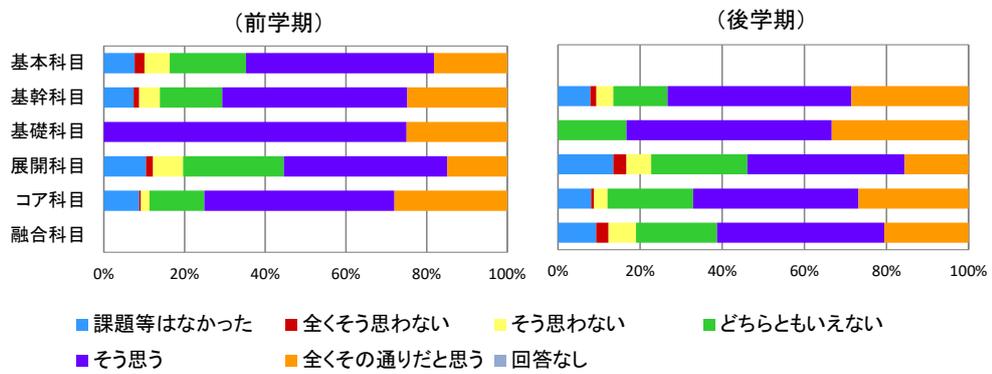
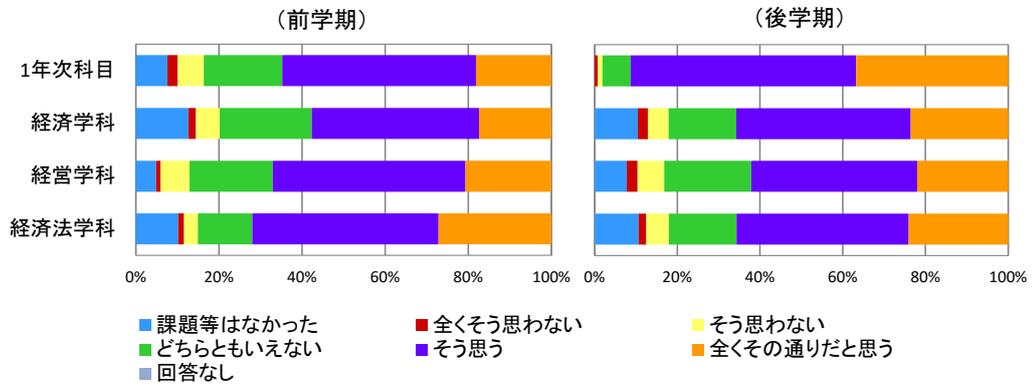
C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



	全くそう思わない	2 そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	6.1%(218)	11.1%(395)	26.6%(943)	36.0%(1279)	20.1%(715)
後学期	8.7%(352)	9.2%(374)	26.4%(1076)	33.2%(1352)	22.5%(915)

講義の形式、内容に応じて、回答にはばらつきがみられる。個々の授業科目で評価すべき問題ではなく、学部の教育課程全体において評価すべき項目のように思われる。ちなみに、演習科目だけを見ると、前学期「全くその通り(68.3%)」「そう思う(29.6%)」が計 97.9%、後学期「全くその通り(65.6%)」「そう思う(30.6%)」が計 96.2%である。したがって、開講される全科目にアクティブラーニングの導入が求めているわけではない現状において、全体として 56%という数値は妥当な値であると考えられる。

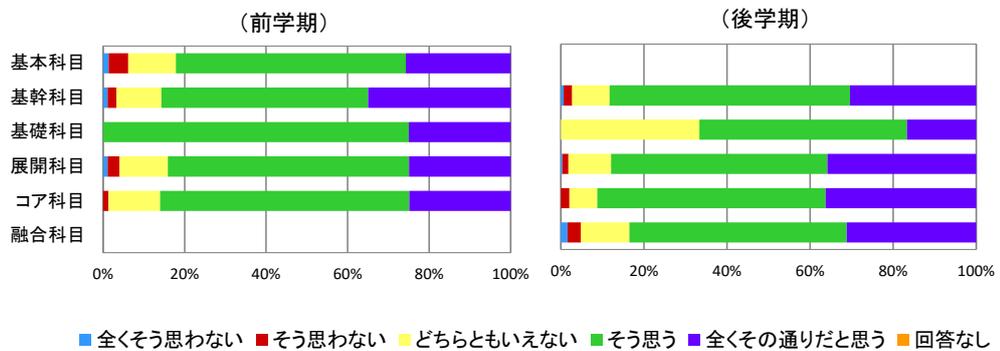
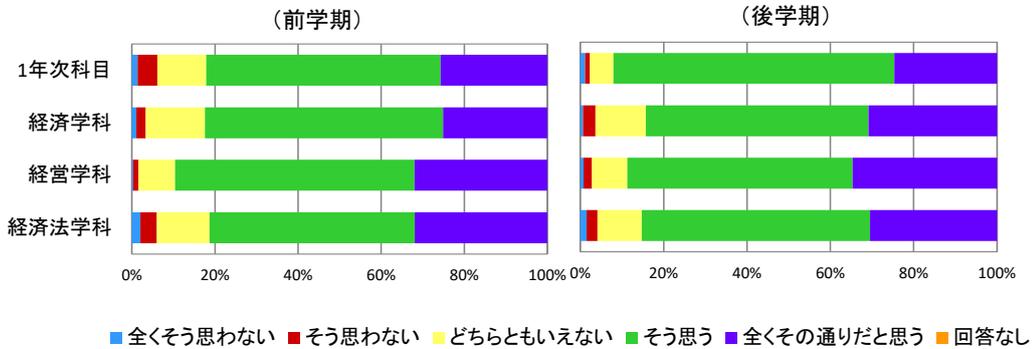
C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



	課題等はなかつた	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	8.5%(301)	1.7%(59)	5.3%(187)	17.4%(618)	44.2%(1570)	23.0%(815)
後学期	8.3%(336)	2.0%(80)	4.7%(193)	15.7%(638)	42.3%(1720)	27.1%(1102)

例年通りである。「課題等はなかつた」を除けば、前学期 73%、後学期 76%が適切なフィードバックや解説があったとしている。

D. 満足度



D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
前学期	1.1%(40)	3.0%(106)	10.4%(369)	54.0%(1917)	31.5%(1118)
後学期	0.8%(33)	2.1%(84)	9.0%(367)	53.3%(2167)	34.8%(1418)

85%をこえる回答が「満足できる」と評価している。例年通りの数値であり良好と考えられる。「全くそう思わない」、「そう思わない」との回答のうち1年生の割合が、前学期54%(80/146)、後学期30%(35/117)、前・後期全体で43%(115/263)であった。今後注視しておくべき数値である。

(2) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準(とその活用方法)
経済学部では行っていない。

(3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目
「演習2年」、「演習3年」、「演習4年」、「社会課題演習」

(4) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点
全体として、比較的高い水準を保っている。

改善すべき点としては次の点が挙げられる。シラバスの授業での活用において、そもそもシラバスを見ていなとする回答が一定数ある(A-3、C-3)。成績評価方法(B-1)や学習到達目標(C-2)などの基礎情報を把握していないとする回答が一定数ある。

(5) 次年度の授業改善目標

授業に関する基礎的情報につきシラバスの参照を促すだけでなく、授業でも用いることにより、受講者と基礎情報の共有を徹底する。シラバスの内容(特に成績評価基準や学習到達目標)を把握していない受講者の比率をさげること。

令和 4 年度

組織別授業点検・評価報告書

理工学部

理工学研究科

工学研究科

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

理工学部，工学系研究科，理工学研究科

(1) 学士課程

数理科学科

以前は，授業評価アンケートの「満足度」を利用して，学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが，授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く，参考にならないため，現在，学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学科

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から，満足度を中心に，アンケート結果から総合的に判断していたが，在籍者が少なくなったので選考を中止している。

知能情報システム学科

特に実施していない。

機能物質化学科

理工学科生命化学コースに準じる。

機械システム工学科

各科目の履修者は10名以下であり，授業評価アンケート対象の19科目について，回収率は，平均で18%であった。このうち，10科目で0%であったが，これらを除いても約38%と，回収率は芳しくない。そのため，「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。

電気電子工学科

特に実施していない。

都市工学科

特に実施していない。

理工学科共通教育

初年次共通教育においては，学生から高い評価を得ることよりも，基礎学力を涵養するための工夫に重点をおいているため，特に実施していない。

理工学科数理サイエンスコース

特に実施していない。

理工学科知能情報システム工学コース

特に実施していない。

理工学科情報ネットワーク工学コース

特に実施していない。

理工学科生命化学コース

満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い，特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し，次年度の活動の参考にしている。

理工学科応用化学コース

理工学科生命化学コースに準じる。

理工学科物理学コース

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から，満足度を中心に，アンケート結果から総合的に判断する。

理工学科機械エネルギー工学コース

授業評価アンケートの対象59科目に対して、その回収率は、63%から19%の幅があり、平均で概ね42%と5割を切っている。こうした状況を鑑み、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。

理工学科メカニカルデザインコース

授業評価アンケートの対象59科目に対して、その回収率は、63%から19%の幅があり、平均で概ね42%と5割を切っている。こうした状況を鑑み、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。

理工学科電気エネルギー工学コース

アンケート回答数が20以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-5(学生自身が考えることを促す配慮)、C-6(適切なフィードバック)D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム4年目のため、上位評価科目に変えて、前期は必修科目、後期は選択の授業参観を実施した。

理工学科電子デバイス工学コース

アンケート回答数が20以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-5(学生自身が考えることを促す配慮)、C-6(適切なフィードバック)D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム4年目のため、上位評価科目に変えて、前期は必修科目、後期は選択の授業参観を実施した。

理工学科都市基盤工学コース

特に実施していない。

理工学科建築環境デザインコース

特に実施していない。

(2) 博士前期課程・修士課程

工学系研究科

数理科学専攻

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートをwebで収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学専攻

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。(ただし、昨年度は受講者はいなかった。)

循環物質化学専攻

特に実施していない。

機械システム工学専攻

特に実施していない。

電気電子工学専攻

特に実施していない。

都市工学専攻

特に実施していない。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

Webで収集する授業評価アンケートは、回収率が悪く参考にしにくいため、現在、学生か

ら高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理学コース

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

データサイエンスコース

特に実施していない。

知能情報工学コース

特に実施していない。

機能材料化学コース

特に実施していない。

機械エネルギー工学コース

授業評価アンケートの対象37科目について、アンケートの回収率は、100%から0%と科目間で大幅に異なり、平均で53%と5割程度に留まる。履修者が1桁の科目ほど、回収率が高い傾向にあるものの、こうした状況を踏まえ、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。

機械システム工学コース

授業評価アンケートの対象45科目について、アンケートの回収率は、100%から0%と科目間で大幅に異なり、平均で50%と半数程度に留まる。履修者が1桁の科目ほど、回収率が高い傾向にあるものの、こうした状況を踏まえ、「学生から高評価を得ている授業科目の選考基準」としての利用を控えた。

電気電子工学コース

特に実施していない。

都市基盤工学コース

特に実施していない。

建築環境デザインコース

特に実施していない。

(3) 博士後期課程

工学系研究科

博士後期課程については、講座単位では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

理工学部

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学科

知能情報システム工学コースに準じる。

機能物質化学科

理工学科生命化学コースに準じる。

機械システム工学科

授業評価アンケート対象科目の9科目について、平均回収率が38%程度であることを考慮する必要があるが、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標達成度の自己評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」を合わせた評価が90%以上であった。一方、授業時間外学習は、凡そ8割が「1時間程度」に留まった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」を通じて、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。加えて、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を含め、機械システム工学科の教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。

電気電子工学科

JABEEの基準に従い、定期的に教育改善委員会・カリキュラム検討委員会（科目別会議を含む）・学生実験委員会を開催し、教育改善に取り組んでいる。教員各自は、共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

都市工学科

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科共通教育

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において改善点の抽出を行い、共通教育委員会で共有している。必要であれば、教務委員会、質保証委員会、組織運営委員会と連携して改善案の策定および実施のプロセスを踏むことにしている。数理AIデータサイエンス教育に関連した科目やシラバス設計の見直しを行った。これまで初年度として前期のみ出席課題提出状況を行なっていたが、後期にもチェックし組織運営委員会と情報共有してチューター指導に結びつけるようにした。

なお、JABEEを実施しているコースもあるため、共通教育でもJABEEの基準に従った教育改善を進めている。

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

理工学科知能情報システム工学コース

(取り組み状況)

各教員が、以下に示すような様々な授業改善に取り組んでいる。

- 対面授業、ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業の特長を組み合わせることで、学生が対面・遠隔の受講方式を自由に選択でき、かつ、教員の手間が抑えられる改良型ハイフレックス方式を導入した。学生からも高い評価を得た。(掛下)
- 学生の細かいケアを行うため、自作の教務判定システムを活用している。
- オンライン授業用や予習・復習用の教材、オンデマンド視聴できる授業ビデオを作成し、学生に公開した。プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習環境を整備した。(福田, 中山)
- 毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映されている。(掛下)
- Moodle 小テストを活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。(掛下)
- 学習アドバイザーやTAを活用し、成績不振の学生を優先した学習支援を行った。(上田, 皆本, 福田)

(優れた点)

- ライブ・オンライン授業の実施により授業への学生の出席率が向上した。遅刻も減少した。また、チャットを活用することで、学生からの質問も増加した。(掛下)
- 同期型のライブ・オンライン授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下)
 - 学生のPC画面を共有した指導は、他の学生も見ることができ、学びが得られた。
 - ブレイクアウトセッションを活用することで小グループに分けて演習等ができた。
- 非同期型のオンデマンド授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下, 中山他)
 - オンデマンドビデオの繰り返し視聴や、一時停止、倍速再生等により効率化できた。
 - インターネットが低速な環境でも、各自のPCにダウンロード視聴できる。

(改善を要する点)

- 学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていきたい。
- グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム工学コースに準じる。

理工学科生命化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している・教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。

理工学科応用化学コース

理工学科生命化学コースに準じる。

理工学科物理学コース

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

理工学科機械エネルギー工学コース

授業評価アンケート対象の37科目について、平均回収率が53%に留まることに留意する必要がある

あるが、(A-1)出席率「80%以上」が9割を超えており、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が70%以上であった。一方、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説は、6割前後であった。また、授業時間外学習は、「全くしていない」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「1時間程度」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめるとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を含め、理工学科機械エネルギー工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。

理工学科メカニカルデザインコース

授業評価アンケート対象の59科目に対して、平均回収率が42%に留まることを考慮する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」が9割を超えており、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が70%以上であった。一方、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説は、6割前後であった。また、授業時間外学習は、「全くしていない」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「1時間程度」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめるとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を含め、理工学科メカニカルデザインコースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。

理工学科電気エネルギー工学コース

JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。

理工学科電子デバイス工学コース

JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。

理工学科都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(2) 博士前期課程

数理学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。（ただし、昨年度は受講者がいなかった。）

循環物質化学専攻

理工学研究科理工学専攻・機能材料化学コースに準じる。

機械システム工学専攻

授業評価アンケート対象の37科目に対して、平均回収率が53%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」は、97%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が80%を超えていた。また、授業時間外学習は、「1時間未満」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「3時間以上」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告するとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を行い、機械エネルギー工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。

電気電子工学専攻

教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市工学専攻

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。また、教育システム委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学コース

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

データサイエンスコース

学士課程（知能情報システム工学コース）での工夫は博士前期課程でも用いられている。

知能情報工学コース

学士課程（知能情報システム工学コース）での工夫は博士前期課程でも用いられている。

機能材料化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門に近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械エネルギー工学コース

授業評価アンケート対象の37科目に対して、平均回収率が53%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」は、97%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が80%を超えていた。また、授業時間外学習は、「1時間未満」から「3時間以上」に広く分散していたが、最多は「3時間以上」であった。このような授業評価アンケート

ートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告するとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を行い、機械エネルギー工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。

機械システム工学コース

授業評価アンケート対象の45科目に対して、平均回収率が50%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率「80%以上」は、98%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が80%を超えていた。また、(B-2)質問・相談への適切な対応と(C-2)学習到達目標の達成度評価は、凡そ75%と79%であった。一方、授業時間外学習は、1%程度の「全くしていない」を除き、「1時間未満」から「3時間以上」に幅広く分布していたが、最多は「1時間程度」であった。このような授業評価アンケートの結果も踏まえ、各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告するとともに、理工学部・質保証委員会依頼の「組織的な成績評価の分布の点検」を行い、機械システム工学コースの教育を担当する機械工学部門で組織的な点検と改善の取り組みを進めている。

電気電子工学コース

教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(3) 博士後期課程

優れた点として、授業アンケートに対する回答があった科目に関しては良好な評価を得ていることが挙げられる。一方、改善すべき点としては、回答率が低いことが挙げられる。

(3) 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

理工学部

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学科

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

知能情報システム学科

知能情報システム工学コースに準じる。

機能物質化学科

理工学科生命化学コースに準じる。

機械システム工学科

各教員は、担当科目のFDレポート、ならびに、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」に、授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である教務JABEEグループ会議と機械工学部門会議において、学科全体の教育改善課題について議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。

電気電子工学科

教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。

都市工学科

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科共通教育

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において不断に改善点の抽出と点検を行っており、部会にて適切に授業改善の対応を行う。大学入門科目においてルーブリック評価を導入したので、その継続をおこなう。理工リテラシーS1についてポストコロナとし対面を含めたハイブリッド運営を行う。2年次以上の専門教育において、基礎学力としての初年次共通教育の教育効果について、各部門・コースのフィードバックを教務委員会および教育質保証委員会にて検証し、必要であれば、共通教育委員会において改善策を実施する。

理工学科数理サイエンスコース

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

理工学科知能情報システム工学コース

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム工学コースに準じる。 72

理工学科生命化学コース

教育プログラム委員会，分野別教員会議，教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき，コース全体で継続的に行う。

理工学科応用化学コース

理工学科生命化学コースに準じる。

理工学科物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し，物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い，授業改善を検討する。

理工学科機械エネルギー工学コース

各教員は，担当科目のFDレポート，ならびに，ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」に授業改善目標を掲げている。また，教育に関わる内部質保証関連組織である，教務グループ会議，教育会議，教育FD委員会，教育改善委員会を通じて，コース内および関連のメカニカルデザインコースと連携を取りながら，教育改善課題に関して議論を重ね，組織的な授業改善に取り組んでいる。

理工学科メカニカルデザインコース

各教員は，担当科目のFDレポート，ならびに，ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」に授業改善目標を掲げている。また，教育に関わる内部質保証関連組織である，教務グループ会議，教育会議，教育FD委員会，教育改善委員会を通じて，コース内および関連の機械エネルギーコースと連携を取りながら，教育改善課題に関して議論を重ね，組織的な授業改善に取り組んでいる。

理工学科電気エネルギー工学コース

教育改善委員会，カリキュラム検討委員会，科目別グループ会議，学生実験委員会において，定期的に教育改善等について検討を行う。

理工学科電子デバイス工学コース

教育改善委員会，カリキュラム検討委員会，科目別グループ会議，学生実験委員会において，定期的に教育改善等について検討を行う。

理工学科都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり，学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し，学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり，学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し，学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

専攻として組織的には行っていないが，各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し，物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い，授業改善を検討する。（ただし，昨年度は受講者がいなかった。）

循環物質化学専攻

理工学研究科理工学専攻・機能材料化学コースに準じる。

機械システム工学専攻

各教員は，ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報

告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、専攻全体の教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む

都市工学専攻

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。また、教育システム委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

データサイエンスコース

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

知能情報工学コース

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

機能材料化学コース

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

機械エネルギー工学コース

各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムを通じて報告するとともに、次年度の「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会において、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りつつ、教育改善課題について議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。

機械システム工学コース

各教員は、担当科目の点検結果を、ポートフォリオ学習支援統合システムを通じて報告するとともに、次年度の「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織である教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会において、コース内および関連の機械エネルギー工学コースと連携を取りつつ、教育改善課題について議論を重ね、組織的な授業改善に取り組んでいる。

電気電子工学コース

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デ

ザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告している。教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(3) 博士後期課程

授業アンケートに基づいて授業改善を進める。

独自アンケートを実施した科目数

(1) 学士課程

理工学部

数理科学科：なし

物理科学科：なし

知能情報システム学科：なし

機能物質化学科：前年度と同様，授業評価アンケートの独自質問項目を設定した科目が3科目，独自形式のアンケートを実施した科目が4科目であった。

機械システム工学科：なし

電気電子工学科：なし

都市工学科：なし

理工学科共通教育：なし

理工学科数理サイエンスコース：なし

理工学科知能情報システム工学コース：なし

理工学科情報ネットワーク工学コース：なし

理工学科生命化学コース：なし

理工学科応用化学コース：なし

理工学科物理学コース：なし

理工学科機械エネルギー工学コース：なし

理工学科メカニカルデザインコース：なし

理工学科電気エネルギー工学コース：なし

理工学科電子デバイス工学コース：なし

理工学科都市基盤工学コース：なし

理工学科建築環境デザインコース：なし

(2) 博士前期課程・修士課程

工学系研究科

数理科学専攻：なし

物理科学専攻：なし

循環物質化学専攻：4科目

機械システム工学専攻：なし

電気電子工学専攻：なし

都市工学専攻：なし

理工学研究科理工学専攻

数学コース：なし

物理学コース：なし

データサイエンスコース：なし

知能情報工学コース：なし

機能材料化学コース：3科目

機械エネルギー工学コース：なし

機械システム工学コース：なし

電気電子工学コース：なし

都市基盤工学コース：なし

建築環境デザインコース：なし

(3) 博士後期課程

なし

2022年度 理工学部・工学系研究科組織別授業評価報告書

(4) 授業アンケート結果と分析)

2022年度組織別授業評価報告書

(1) 学士課程

学生による授業評価は、「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に従い、共通のアンケート様式を用いて実施された。また、いくつかの科目では、共通のアンケート様式の使用が適さないとの判断から、独自様式でのアンケートが実施された。平成22年度後学期からは、Live Campusを活用した Web 形式を採用しているため、すべての科目で実施していることとなる。2022年度については、理工学部で開講している科目数が533件あり、授業アンケートが行われた科目数は398件、回答率は59%であり、昨年度より10%減少した。なお、教職科目は、除外して集計している。

各学科・コースの状況は以下のとおりである。

数理科学科

学生による授業評価アンケート結果は、概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。

物理科学科

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、良好な結果を得ている。科目によるばらつきもとくに見られない。

知能情報システム学科

知能情報システム工学コースに準じる。

機能物質化学科

理工学科生命化学コースに準じる。

機械システム工学科

授業評価アンケートの対象9科目について、平均回収率が約38%であることに留意する必要があるが、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性や(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標達成度の自己評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の6項目について、「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた評価が、いずれも、96%、また、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説が、92%と高評価であった。一方、授業時間外学習は、83%が「1時間程度」に留まった。

電気電子工学科

(回答者数：前期8，後期3)

(A-2) 授業時間外学習：「1時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期0.0% (0/8)，後期0.0% (0/3) であり、前年度に比べ改善されている。

(B-2) 質問への対応：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期100% (8/8)，後期100% (3/3) であり、昨年度に比べ改善がされている。

(C-2) 目標の達成：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期87.5% (7/8)，後期66.6% (2/3) であり、前年度に比べ、前期5.2%増、後期10.9%減であった。

(C-5) 発言の促進，グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期87.5% (7/8)，後期100% (3/3) であり、前年度に比べ、前期6.3%減、後期42.8%増であった。

(C-6) 適切なフィードバック：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期87.5% (7/8)，後期100% (3/3) であり、良好な結果が得られている。

(D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期100% (8/8)，後期100% (3/3) であり、良好な結果が得られている。

都市工学科

(A-2) 授業時間外の学習については、「1時間以上」と回答した学生は前期40%後期57.5%であり、前年度よりもやや少なくなった。

(B-2) 担当教員の質問や相談対応について、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期60%後期25%となった。

(C-2) 学習到達目標の達成については、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期55%後期0%である。

(C-5) 学生の主体的な学びについて、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期60%、後期0%である。

(D-1) 講義に関する満足度は、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期70%後期0%である。

理工学科共通教育

大学入学初年度として、前期はB-2の教員へ相談をしなかったが高いといった傾向があるが、後期これらの項目が改善されており、大学生としての順応が見て取れる。共通教育の性質上で授業録画型がコース配属後より多いが、達成度評価や満足度が平均的であることから教育手法上の問題とはなっていない。C-5のアクティブラーニングについて前期は40%近く否定的である。後期には改善されていることから、特に前期は基礎学力を涵養するためやむを得ない部分と考える。

理工学科数理サイエンスコース

学生による授業評価アンケート結果は、概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。

理工学科知能情報システム工学コース

授業評価の結果は、学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える。コース内の教育改善委員会により教育の改善を図っている。

理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム工学コースに準じる。

理工学科生命化学コース

学生による授業評価アンケート結果からは、ほぼ全ての項目で概ね良好な結果が得られている。具体的には、前期で77%、後期で80%の学生が、満足度の項目において肯定的な回答をしていた。前後期の否定的な満足度は6%程度であったことから概ね満足度は良好である。

しかしながら、いくぶん気がかりな課題は以下の通り。

「B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」に対し、前期で4%、後期で4.3%の否定的な意見が見られた。

「C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか」に対し、前期で2.3%、後期で3.5%の否定的な意見が見られた。

「C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか」に対し、前期で8%、後期で6.9%の否定的な意見が見られた。

「C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか」に対し、前期で13.2%、後期で13.1%の否定的な意見が見られた。

「C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか」に対し、前期で9.2%、後期で10.6%の否定的な意見が見られた。

自分の希望が叶わず、このコースに配属されている学生も若干名いることを配慮すれば、否定的な意見が生じるのはやむを得ない感がある。しかし、学生の感じている現状を教員に伝え、学生との双方向でのやり取りする機会を増やすように喚起を促すことを継続したい。さらに、学科内の教育FD委員会による点検と教育改善委員会による改善提案により、学習成果の向上に向けた継続的改善を図っている。

理工学科応用化学コース

理工学科生命化学コースに準じる。

理工学科物理学コース

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、概ね良好な結果を得ている。科目によるばらつきもとくに見られない。

理工学科機械エネルギー工学コース

授業評価アンケート対象の37科目について、平均回収率が53%に留まることを考慮する必要があるが、(A-1)出席率は「80%以上」が92%と高かった。(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の各項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が、それぞれ、71%、73%、74%、73%、75%となっており、いずれも7割を超えている。一方、(B-2)質問・相談への適切な対応と、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説は、59%と65%であり、6割前後であった。また、授業時間外学習は、「全くしていない」(12%)から「3時間以上」(9%)の間で分散していたが、最多は「1時間程度」(35%)であった。

理工学科メカニカルデザインコース

授業評価アンケート対象の59科目について、平均回収率が42%に留まることを考慮する必要があるが、(A-1)出席率は「80%以上」が92%と高かった。(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(D-1)授業の満足度の5項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が、それぞれ、71%、73%、74%、73%、75%となっており、いずれも7割を超えている。一方、(B-2)質問・相談への適切な対応と、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説は、59%と65%であり、6割前後であった。また、授業時間外学習は、「全くしていない」(12%)から「3時間以上」(9%)の間で分散していたが、最多は「1時間程度」(35%)であった。

理工学科電気エネルギー工学コース

- (A-2) 授業時間外学習：「1時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期34.4%（昨年度35.4%）、後期33%（昨年度27.1%）であり、昨年度と比較すると大幅な増減は無く、ほぼ学科平均相当であった。
- (B-2) 質問への対応：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期65.7%、後期63.2%であり、昨年と比べると前期13%、後期5.6%改善されている。
- (C-2) 目標の達成：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期71.6%（昨年48.1%）、後学期68.8%（昨年57.6%）であり、昨年と比べると前期23.5%、後期11.2%改善されており、ほぼ学科平均相当であった。
- (C-5) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期60.7%、後期54.7%であり、前年度に比べ前期19.1%増、後期2.2%増と改善された。しかし、後期については、学科平均56.7%を若干下回っており、改善の余地があると考えられる。上まわった。
- (C-6) 適切なフィードバック：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期80.7%（前年60.5%）、（課題無し1.3%）、後期67%（前年65.7%）（課題無し5.6%）であり、前年度に比べ前期20.2%増、後期1.3%増と改善された。前期は、学科平均を15%ほど上まわっているが、後期は若干下回っており、改善の余地があると考えられる。
- (D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、83.6%前期65.8%、75.5%後期74.1%であった。前年度に比べ前期17.8%増、後期1.4%増と改善されているが、後期については4%ほど学科平均を下回っており、改善の余地があると考えられる。

理工学科電子デバイス工学コース

- (A-2) 授業時間外学習：「1時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期34.4%（昨年度35.4%）、後期33%（昨年度27.1%）であり、昨年度と比較すると

大幅な増減は無く、ほぼ学科平均相当であった。

(B-2) 質問への対応：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期65.7%、後期63.2%であり、昨年に比べると前期13%、後期5.6%改善されている。

(C-2) 目標の達成：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期71.6%（昨年48.1%）、後学期68.8%（昨年57.6%）であり、昨年に比べると前期23.5%、後期11.2%改善されており、ほぼ学科平均相当であった。

(C-5) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期60.7%、後期54.7%であり、前年度に比べ前期19.1%増、後期2.2%増と改善された。しかし、後期については、学科平均56.7%を若干下回っており、改善の余地があると考えられる。上まわった。

(C-6) 適切なフィードバック：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期80.7%（前年60.5%）、（課題無し1.3%）、後期67%（前年65.7%）（課題無し5.6%）であり、前年度に比べ前期20.2%増、後期1.3%増と改善された。前期は、学科平均を15%ほど上まわっているが、後期は若干した回っており、改善の余地があると考えられる。

(D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、83.6%前期65.8%、75.5%後期74.1%であった。前年度に比べ前期17.8%増、後期1.4%増と改善されているが、後期については4%ほど学科平均を下回っており、改善の余地があると考えられる。

理工学科都市基盤工学コース

(A-1) 出席率については、「80%以上」と回答した学生が、前期89.5%後期90.3%であり、良好である。

(A-2) 授業時間外の学習については、「1時間以上」と回答した学生が、前期62.7%後期63%である。

(B-2) 担当教員の質問や相談対応について、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期65.3%後期59.9%である。

(C-2) 学習到達目標の達成については、そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期71%後期75.8%であり、おおむね達成できている。

(C-5) 学生の主体的な学びについて、そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期59.4%後期57.6%である。昨年度よりも改善されており、各教員による授業点検や教育システム委員会等による教育の点検・改善等の成果も現れている。

(D-1) 講義に関する満足度は、そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期82%後期83.8%であり、高い満足度が得られている。

理工学科建築環境デザインコース

(A-1) 出席率については、「80%以上」と回答した学生が、前期89.5%後期90.3%であり、良好である。

(A-2) 授業時間外の学習については、「1時間以上」と回答した学生が、前期62.7%後期63%である。

(B-2) 担当教員の質問や相談対応について、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期65.3%後期59.9%である。

(C-2) 学習到達目標の達成については、そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期71%後期75.8%であり、おおむね達成できている。

(C-5) 学生の主体的な学びについて、そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期59.4%後期57.6%である。昨年度よりも改善されており、各教員による授業点検や教育システム委員会等による教育の点検・改善等の成果も現れている。

(D-1) 講義に関する満足度は、そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期82%後期83.8%であり、高い満足度が得られている。

(2) 博士前期課程

2022年度については、理工学研究科で開講している科目数は370件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は297件、回答率は36%であった。2022年度の工学系研究科博士前期課程の科目については、受講生が少ないため、授業アンケート結果の分析対象から除外されている。工学系研究科（博士後期課程）で開講している科目数は6件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は5件、回答率は75%であった。

各専攻・コースの状況は以下のとおりである。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

学生による授業評価アンケート結果は、非常に高い評価を得ている。

物理学コース

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、概ね良好な結果を得ている。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないが、科目による大きなばらつきは見られない。

データサイエンスコース

授業評価の結果は、学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える。回答率の低い科目や受講者数の少ない科目が少なくないため、科目ごとのデータの有効性は高くないように思われる。

知能情報工学コース

授業評価の結果は、学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える。回答率の低い科目や受講者数の少ない科目が少なくないため、科目ごとのデータの有効性は高くないように思われる。

機能材料化学コース

専攻開講科目の満足度は良好であり、前期は97%、後期は91%が肯定的な回答をしており、問題はない。学生と教員の議論を中心とした指導形態の循環物質化学特別実習・演習等の科目を通じて、学生の要望等を組み入れた教育環境の改善に専攻独自で取り組んでいる。しかしながら、「C-5この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか。」では前期は6%弱、後期は7%弱の否定的な回答もあったため、改善に努め、より高いレベルでの講義を展開していきたい。

機械エネルギー工学コース

授業評価アンケート対象の37科目に対して、平均回収率が53%であることを考慮する必要があるが、(A-1)出席率は「80%以上」が97%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(B-2)質問・相談への適切な対応、(C-2)学習到達目標の達成度評価、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の7項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が、それぞれ、88%、81%、90%、90%、90%、84%、92%であり、いずれも80%を超えていた。また、(A-2)授業時間外学習は、「1時間未満」(15%)から「3時間以上」(43%)の間に広く分散していたが、最多は「3時間以上」であった。

機械システム工学コース

授業評価アンケート対象の45科目に対して、平均回収率が50%であることに留意する必要があるが、(A-1)出席率は「80%以上」が98%と高く、(B-1)教育方法・成績評価方法等説明の有益性、(C-3)シラバスに基づく授業実施状況、(C-4)教え方・教材の工夫、(C-6)提出課題へのフィードバック・解説、(D-1)授業の満足度の5項目について「そう思う」と「全くその通りだと思う」をあわせた回答が、それぞれ、81%、81%、80%、81%、90%と、いずれも80%以上であった。また、(B-2)質問・相談への適切な対応と(C-2)学習到達目標の達成度評価は、それぞれ75%と79%であった。一方、(A-2)授業時間外学習は、1%程度の「全くしていない」を除き、「1時間未満」(19%)から「3時間以上」(27%)の間で幅広く分散していたが、最多は「1時間程度」(30%)であった。

電気電子工学コース

学生による授業評価では、いずれの科目においても高い評価が得られている。満足度では、「全くそう思う」または「そう思う」と答えた学生は前期83.6%、後期98.3%であり、良好な結果が得られている。

都市基盤工学コース

(A-1) 出席率については、「80%以上」と回答した学生が、前期100%後期95.7%であり、良好である。

(A-2) 授業時間外の学習については、「1時間以上」と回答した学生が、前期81.8%後期95.7%である。

(B-2) 担当教員の質問や相談対応について、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期95.5%後期78.3%である。

(C-2) 学習到達目標の達成については、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期88.6%後期87%であった。

(C-5) 学生の主体的な学びについて、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期95.5%後期87%である。

(D-1) 講義に関する満足度は、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期97.7%後期95.7%であり、高い満足度が得られている。コロナ禍にあっても教員による工夫が学生から高い評価を得ていることが分かる。

建築環境デザインコース

(A-1) 出席率については、「80%以上」と回答した学生が、前期100%後期100%であり、良好である。

(A-2) 授業時間外の学習については、「1時間以上」と回答した学生が、前期91.8%後期88.9%である。

(B-2) 担当教員の質問や相談対応について、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期98%後期66.7%である。

(C-2) 学習到達目標の達成については、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期89.8%後期100%であり、ほぼ達成できている。

(C-5) 学生の主体的な学びについて、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期100%後期88.9%である。昨年度よりも改善されており、各教員による授業点検や教育システム委員会等による教育の点検・改善等の成果も現れている。

(D-1) 講義に関する満足度は、「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期100%後期100%であり、高い満足度が得られている。コロナ禍にあっても教員による工夫が学生から高い評価を得ていることが分かる。

(3) 博士後期課程

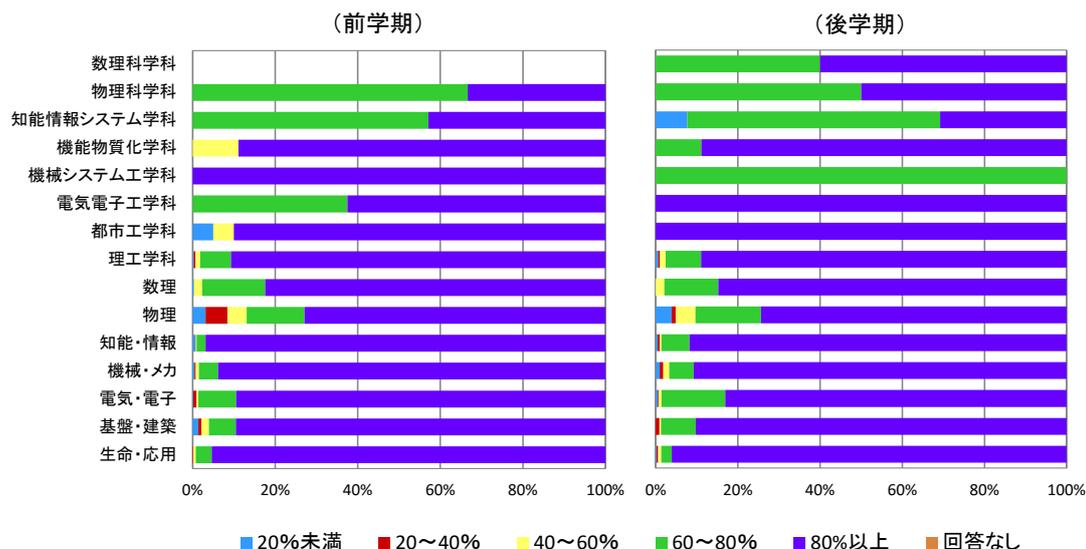
2022年度の博士後期課程の科目については、受講生が少ないため、授業アンケート結果の詳細な分析対象からは除外している。

理工学部の場合

2022 年度については、理工学部で開講している科目数が 533 件あり、授業アンケートが行われた科目数は 398 件、回答率は 59%であり、昨年度より 10%減少した。なお、教職科目は、除外して集計している。

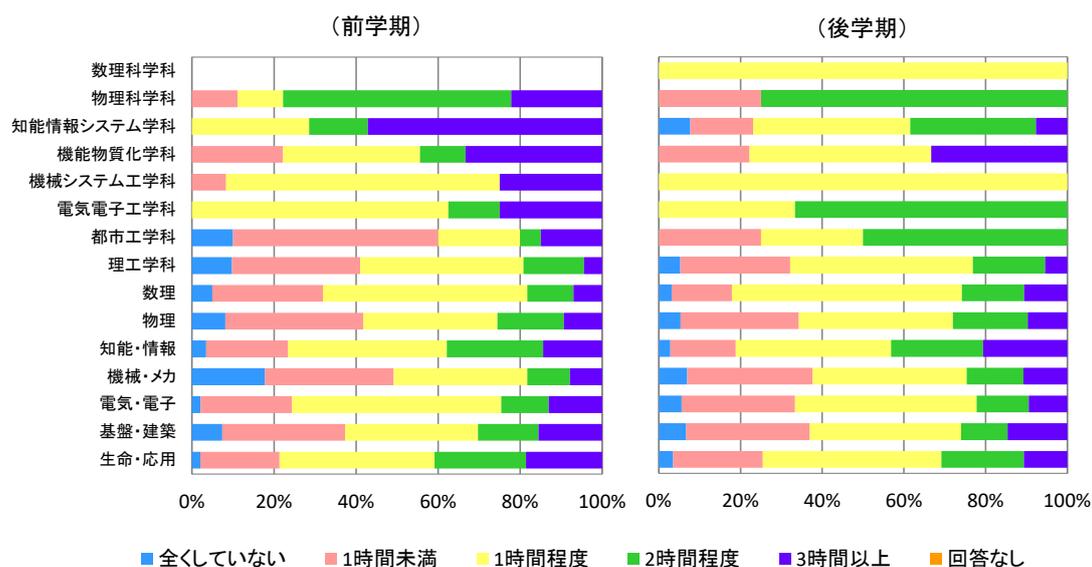
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



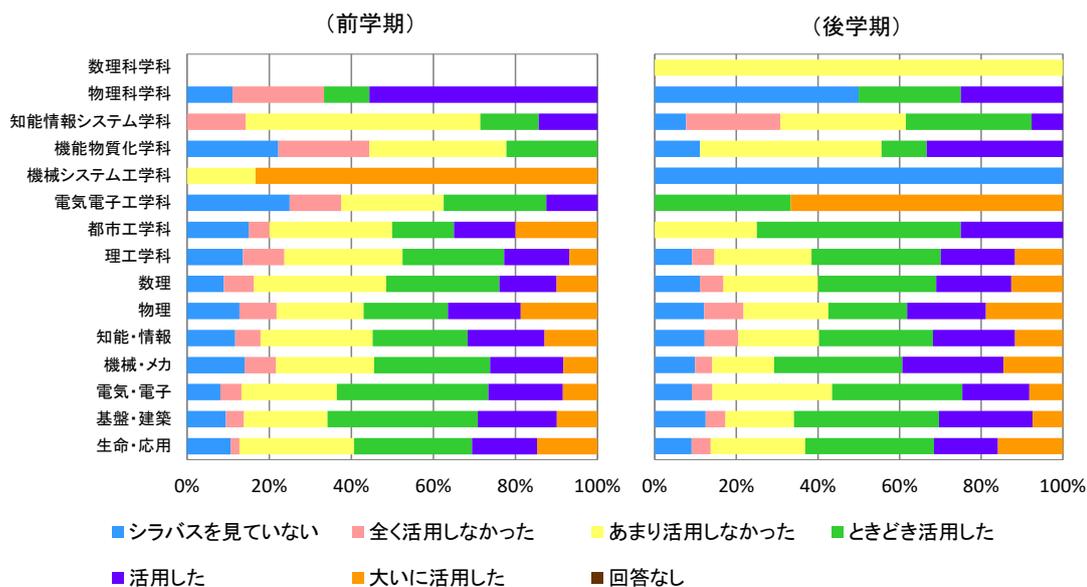
一部を除いて、出席率 80 以上の学生がほとんどであることがわかる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



ほとんどの学科において、70%程度の学生が1時間程度授業外学習を行っている。しかしながら、1コマ2単位の授業科目に対して、予習・復習をそれぞれ1時間以上行う必要があることを考えると、かなり少ない時間数である。課題を課す方法にも工夫が必要であると考えられる。

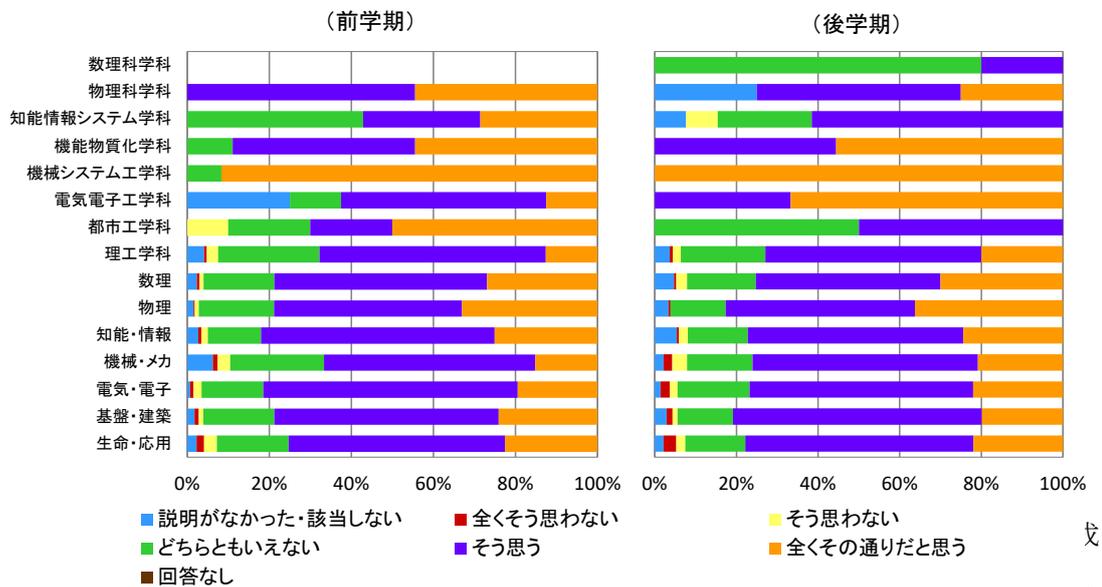
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



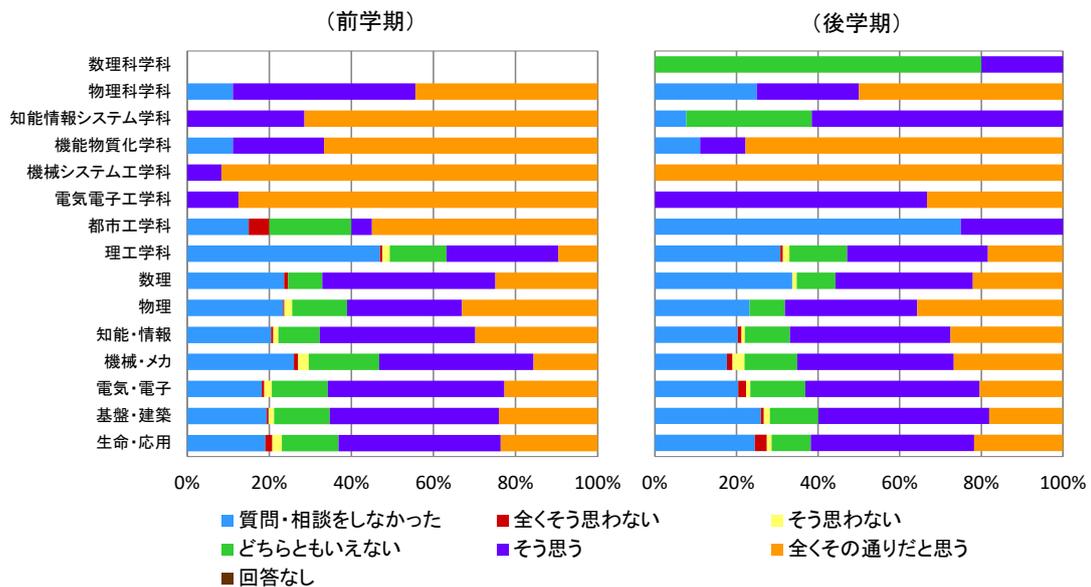
ほとんどの学科において、50%以上の学生が授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用している。

B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



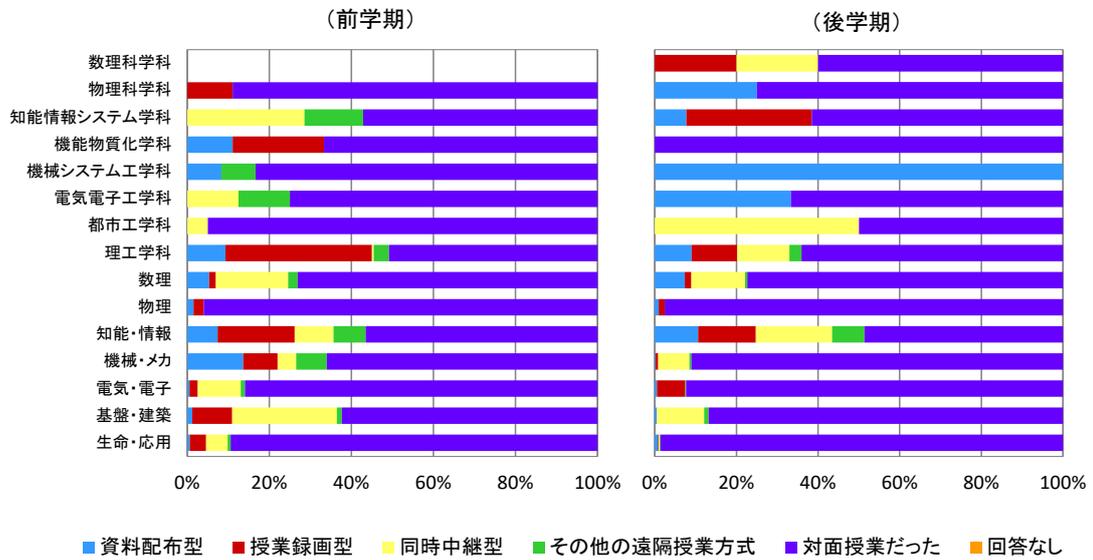
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



学科やコースによって多少ばらつきがあり、15%程度の学生は質問や相談をしていないが、60%以上の学生は質問や相談に適切に対応してくれたと回答している。したがって、教員の対応は概ね適切に行われていると判断できる。

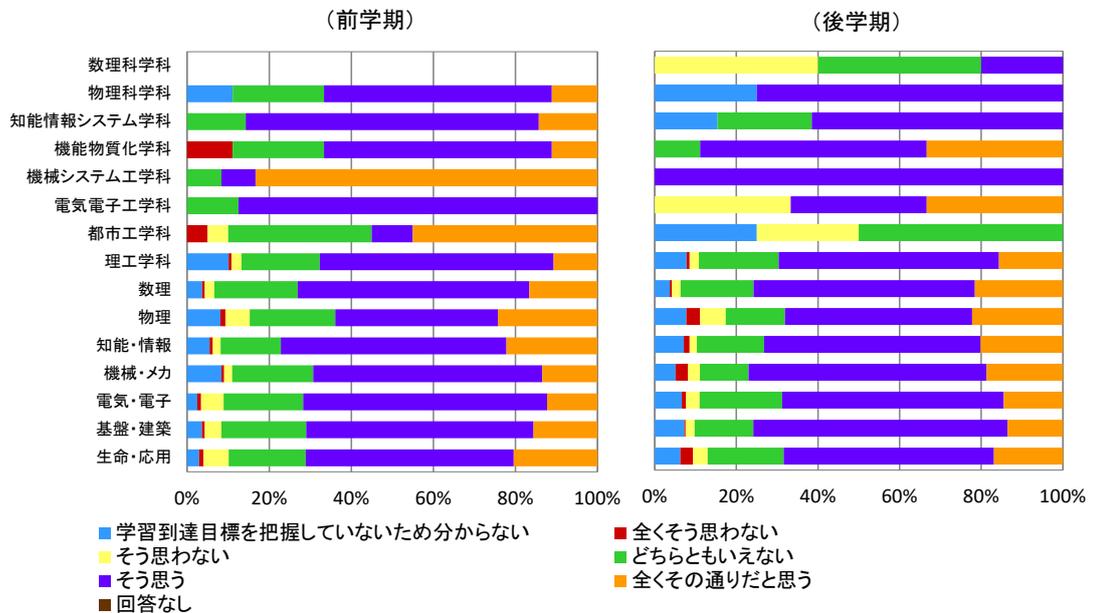
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



前学期では、学科・コースによってばらつきはあるが、60%以上が対面授業で実施された。後学期では、学科・コースによってばらつきはあるが、80%以上が対面授業で実施され、オンライン授業が減少した。

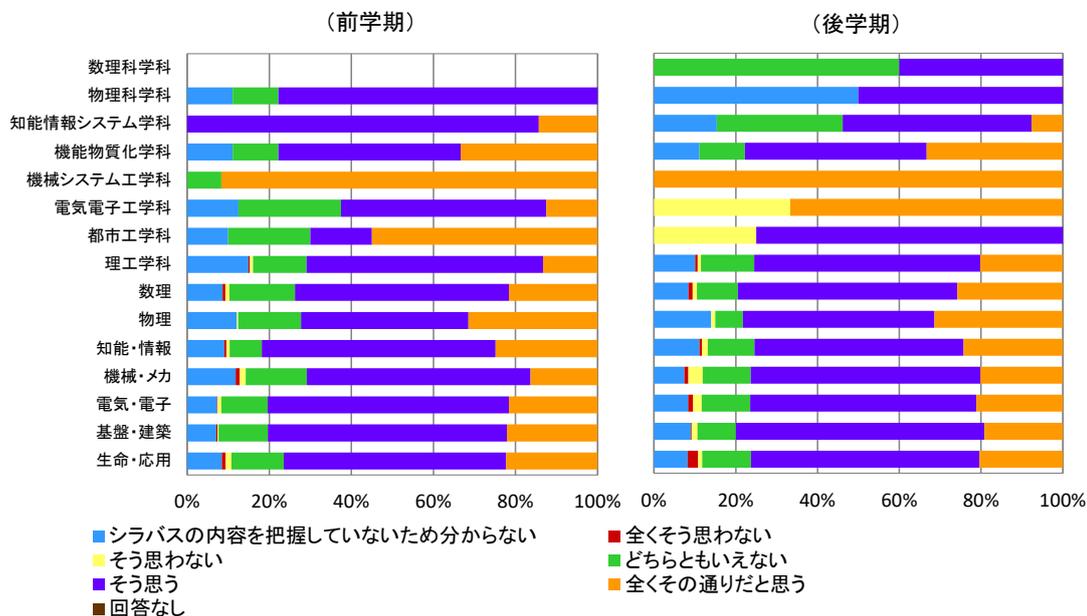
C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



学科・コースによってばらつきはあるが、70%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。どちらともいえないと回答している学生が20%程度はいることから、学

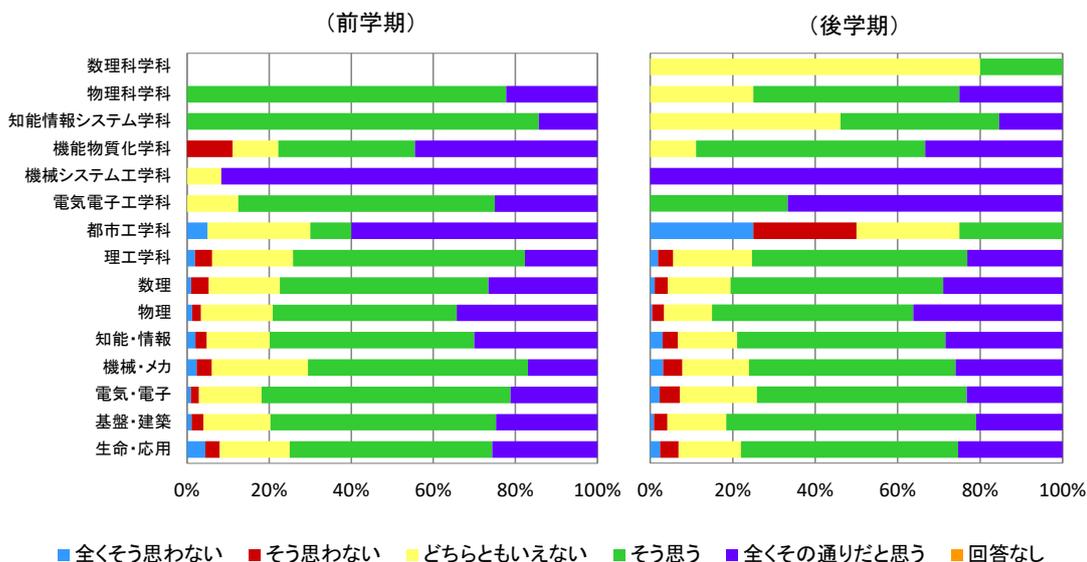
習到達目標の周知を繰り返し行う必要があると思われる。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



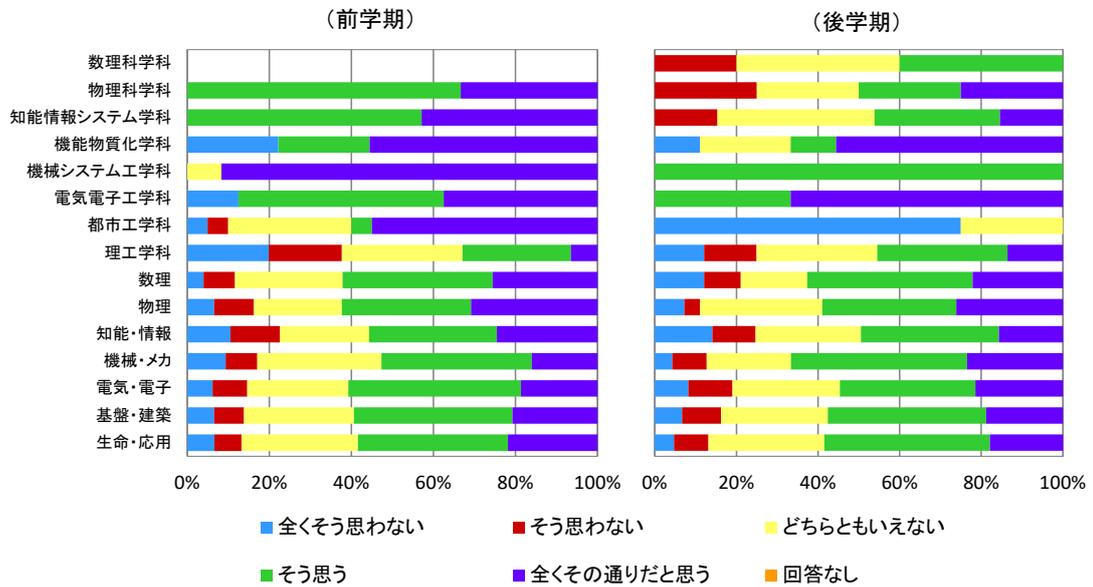
学科やコース、学期によって多少のばらつきはあるが、70%程度の学生が、授業内容がシラバスに基づいていたと回答している。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



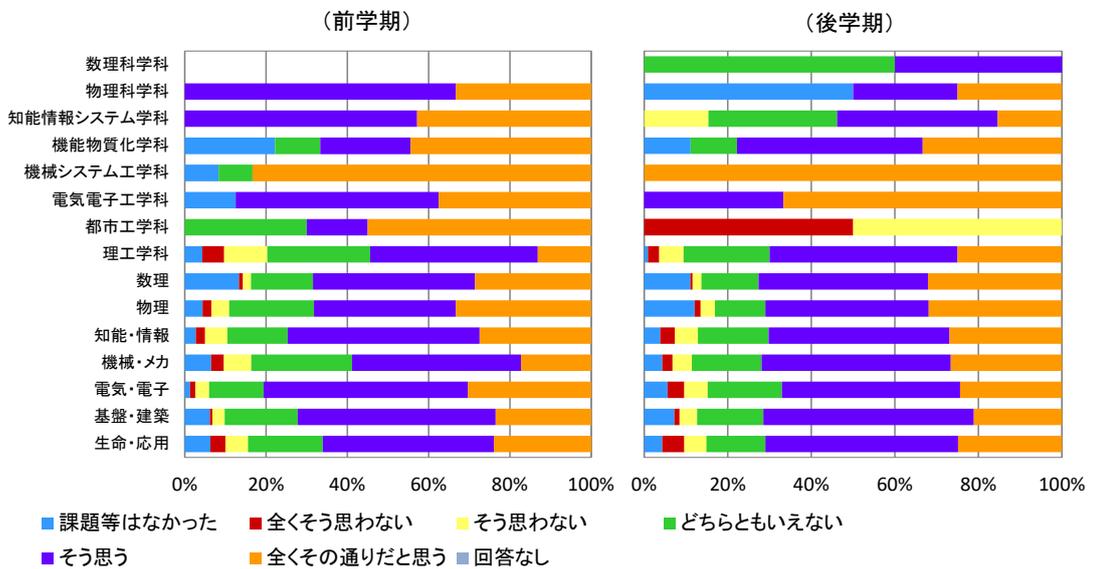
80%程度の学生が理解しやすいように教え方や教材の工夫がなされていたと回答している。概ね、適切な教え方や教材を工夫されていたといえる。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、そう思うと回答している学生が60%程度である。

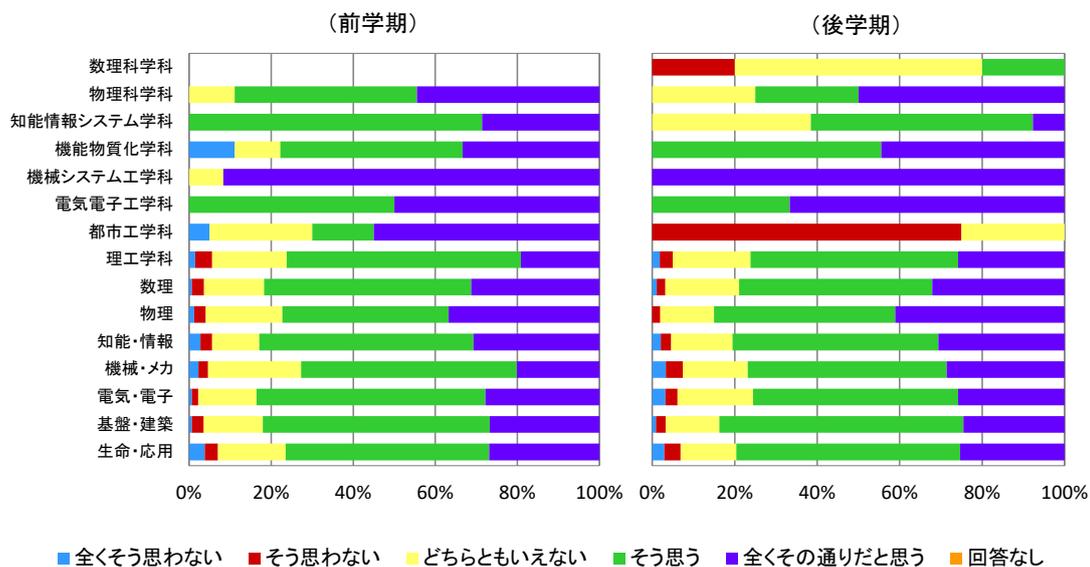
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、70%程度の学生が課題などの提出物に対して適切なフィードバックや解説があったと回答している。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



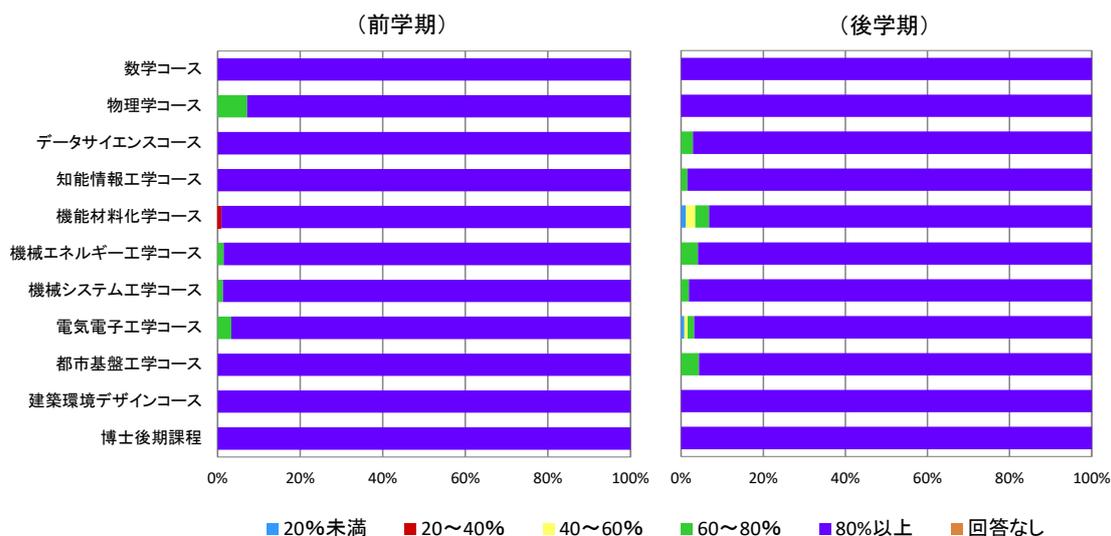
学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、80%程度の学生が授業全体に対して満足できると回答している。教員は適切に授業を行っていると考えられる。

理工学研究科の状況

理工学研究科で開講している科目数は 370 件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は 297 件、回答率は 36%であった。以下の各項目について分析を行う

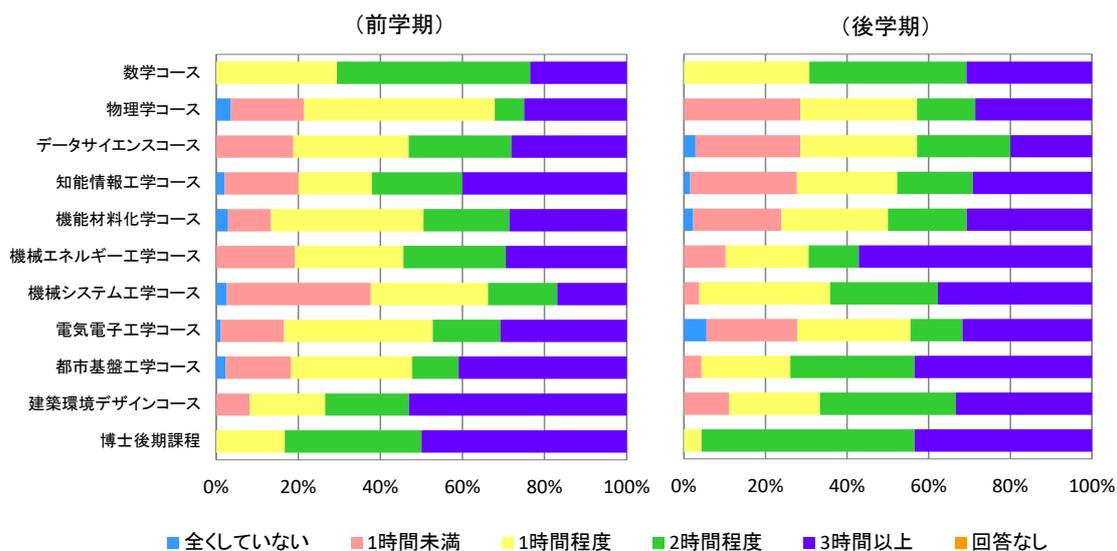
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



大半のコースにおいて、ほぼ 100%の学生が出席している。

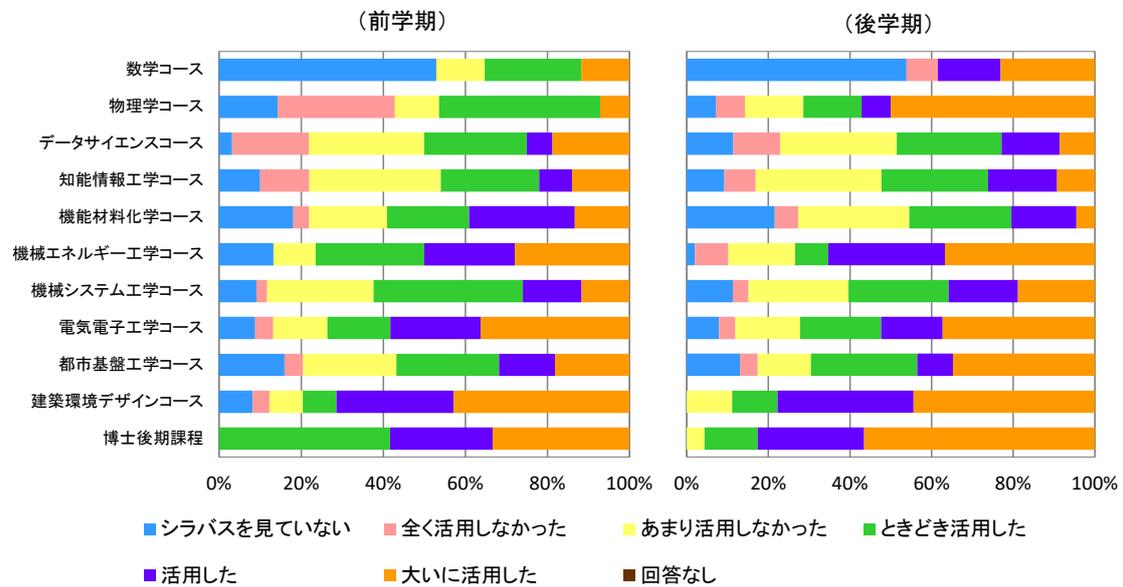
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



授業時間外学習の時間は、コースや学期によってばらつきがある。大半の場合、1 時間以

上を行っている学生の割合が80%以上である。特定のコースでは、学生の60%前後が年間を通じて3時間以上学習している。

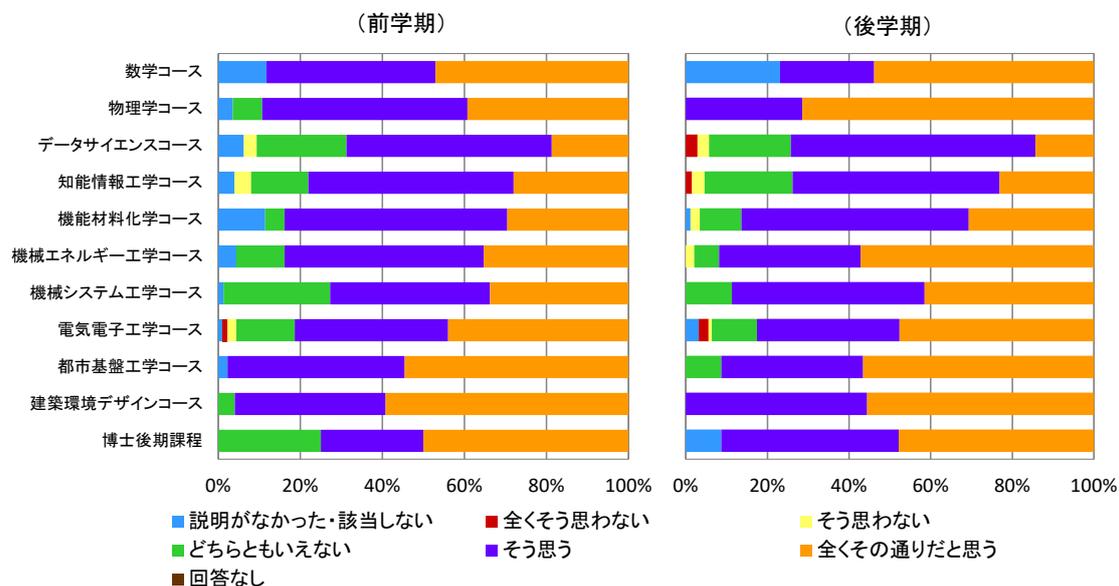
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



一部のコースを除いて、授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用した学生は60%以上である。しかしながら、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

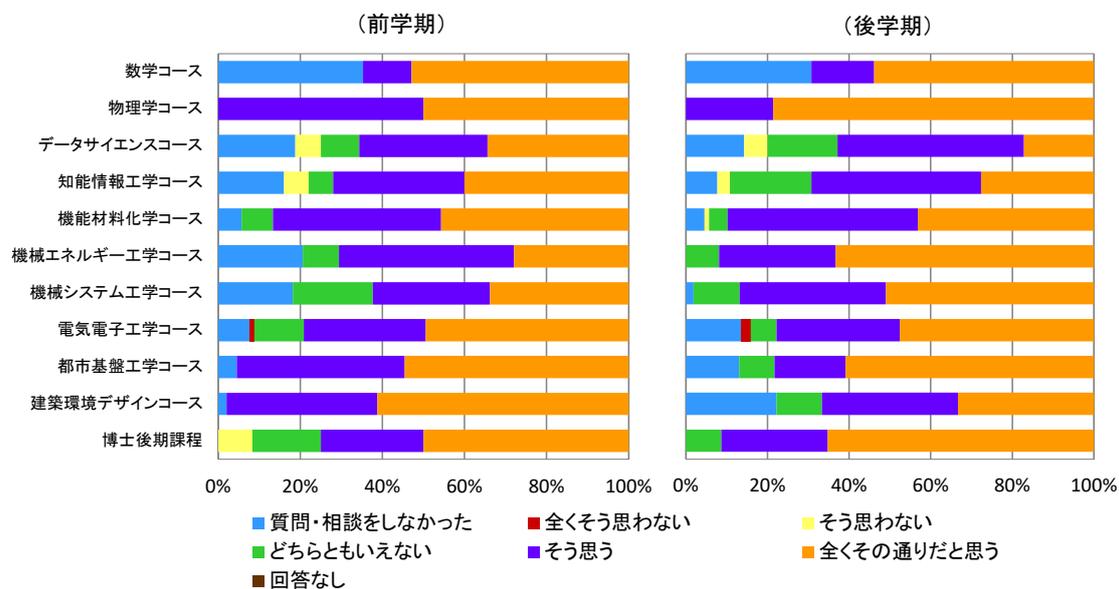
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



一部のコースを除いて、教員による教育方法や成績評価方法などの説明については、80%以上の学生が有益であったと回答しており、十分な説明がなされていると言える。博士後期課程においては、100%と有益であったと回答している。

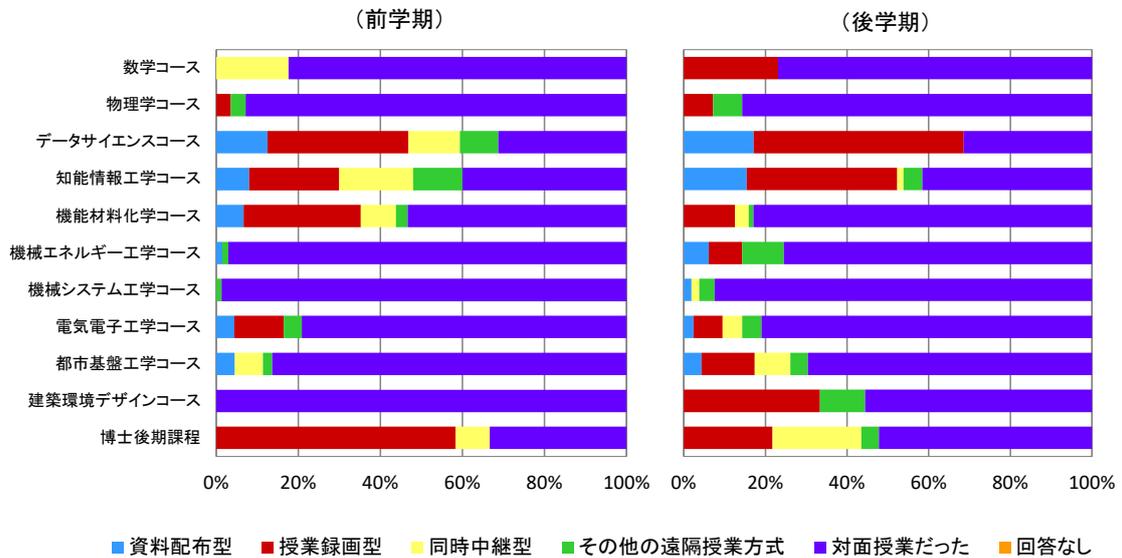
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



概ね、各コースの教員は、学生の質問や相談に対して概ね適切に対応している。

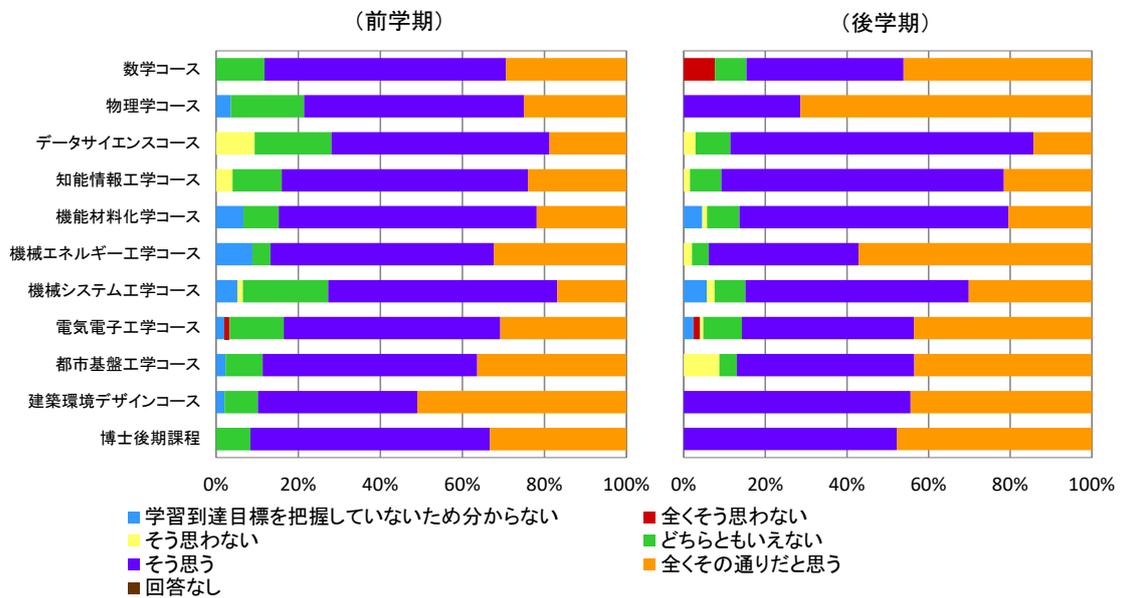
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



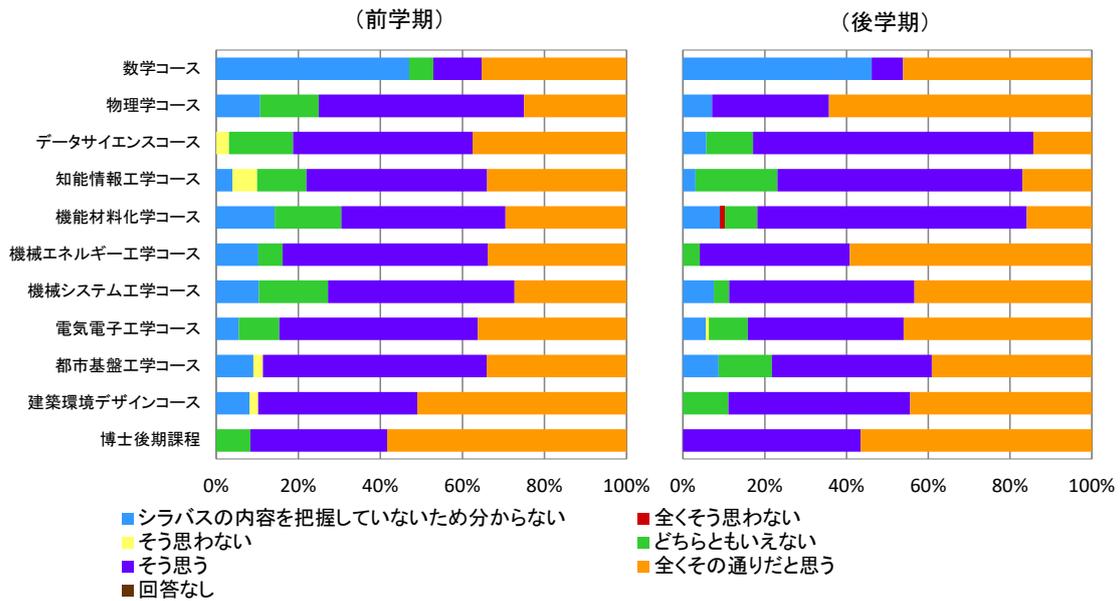
コースによって多少ばらつきがあるが、80%程度対面授業で実施された。博士後期課程の後学期では、50%程度が対面授業であった。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



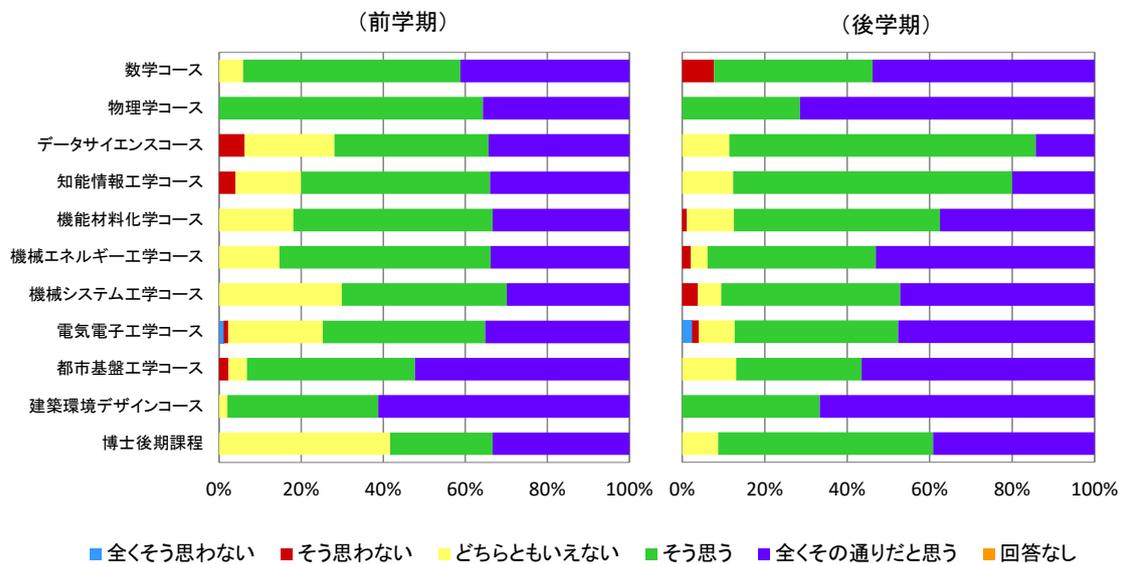
大半のコースにおいて、80%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。博士後期課程では、後学期ではほぼ100%の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



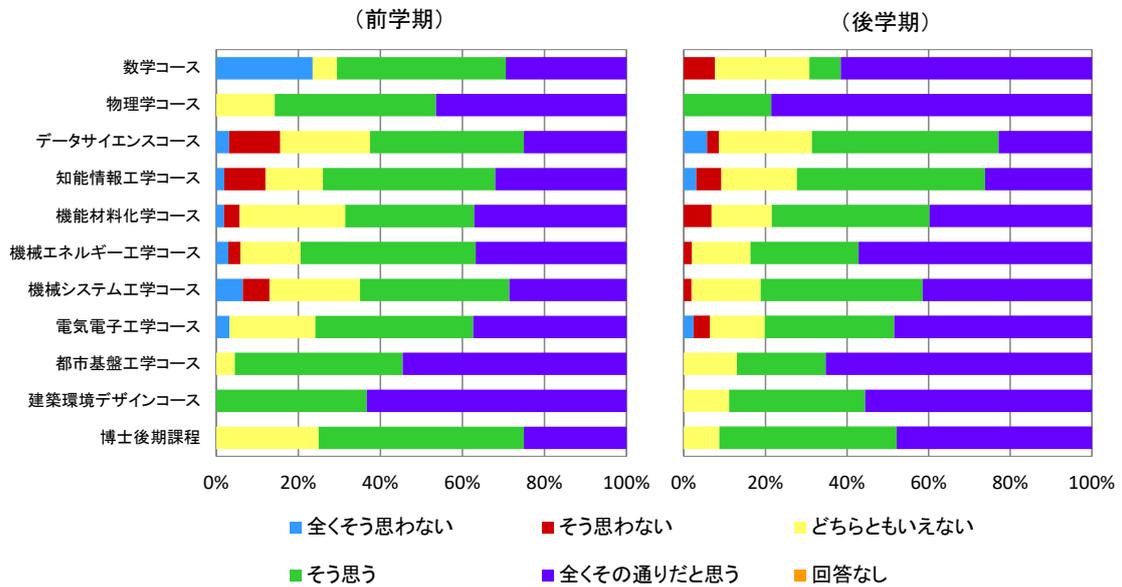
一部を除いて、80%以上の学生が授業内容はシラバスに基づいていたと回答している。博士後期課程では、後学期ではほぼ100%の学生が授業内容はシラバスに基づいていると回答している。したがって、シラバスどおりに授業が行われている。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



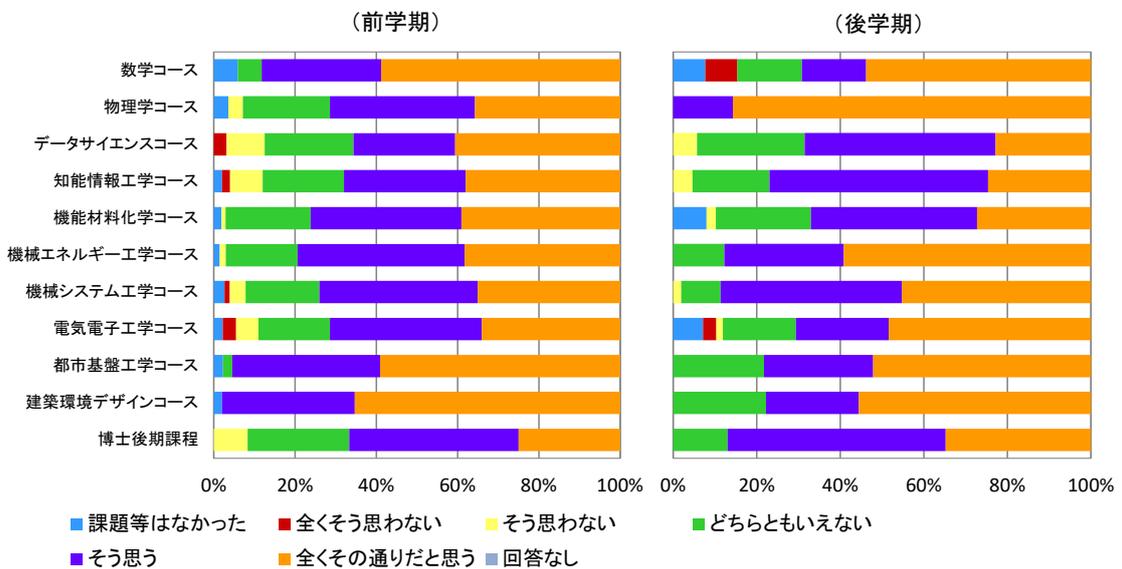
コースによって多少ばらつきがあるが、90%以上の学生が理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていたと回答している。博士後期課程では、後学期では90%程度の学生がそのように回答している。各教員がわかりやすく授業を行っているといえる。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



コースによって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が主体的に学べるよう他者と一緒に活動できる取り組みがなされたと回答している。博士後期課程では前期は80%、後期は90%の学生がそのような取り組みがなされたと回答している。

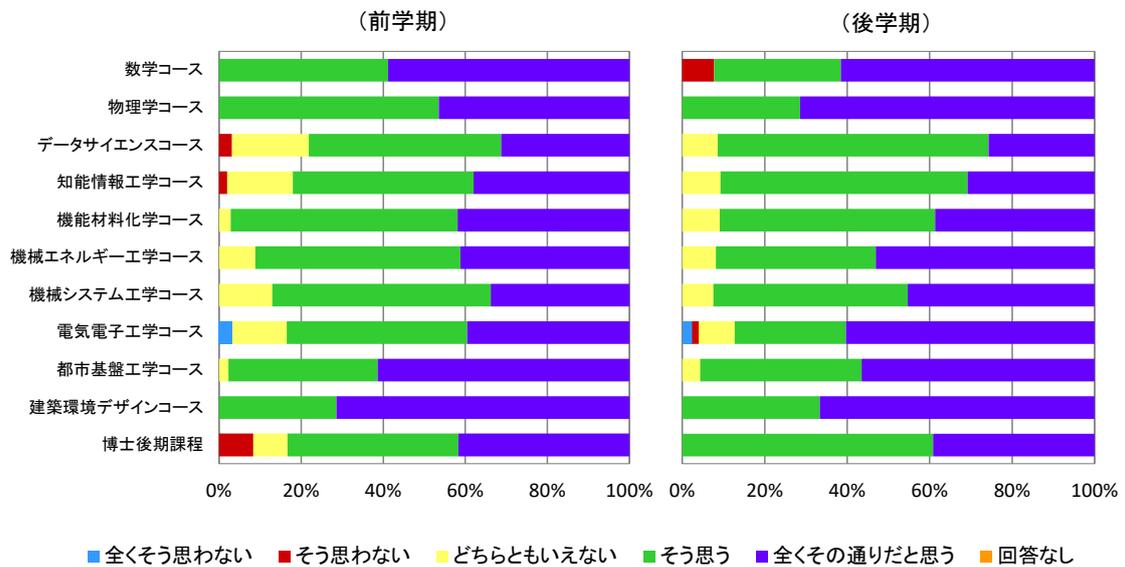
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



コースによって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が課題などの提出物に対するフィードバックや解説がなされたと回答している。博士後期課程では、前期が90%、後期が100%の学生がそのように回答している。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



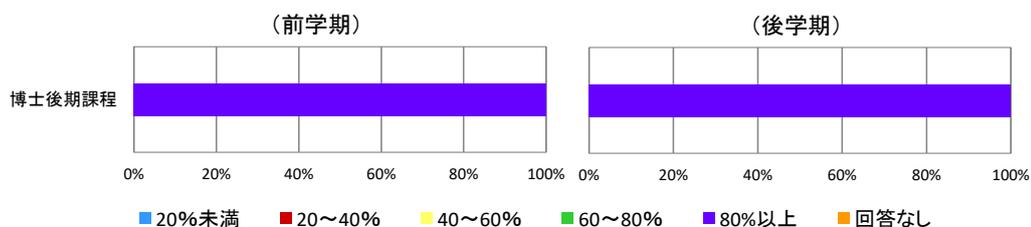
各コースとも、90%程度の学生が満足したと回答している。博士後期課程では、前期で90%で、後期でほぼ100%の学生が満足したと回答している。各教員が学生に興味を聞くような授業内容や対応をしているといえる。

工学系研究科（博士後期課程）の状況

工学系研究科（博士後期課程）で開講している科目数は6件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は5件、回答率は75%であった。以下の各項目について分析を行う。

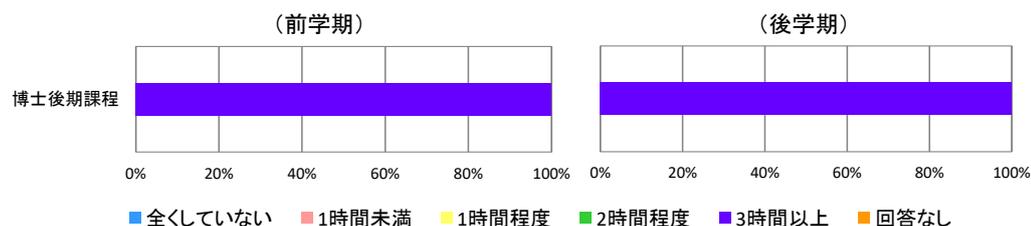
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



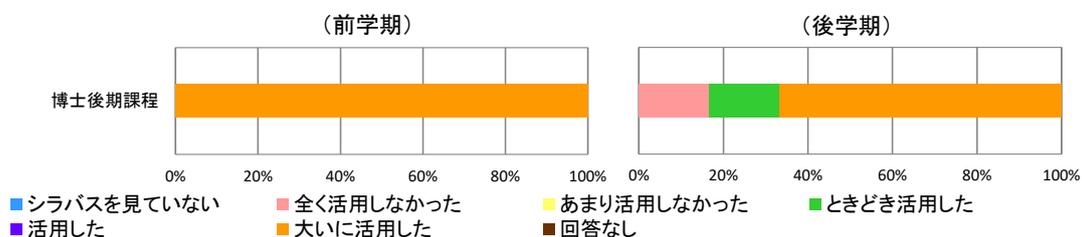
すべての学生が100%出席したと回答している。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



100%の学生が3時間以上授業時間外学習を行ったと回答している。

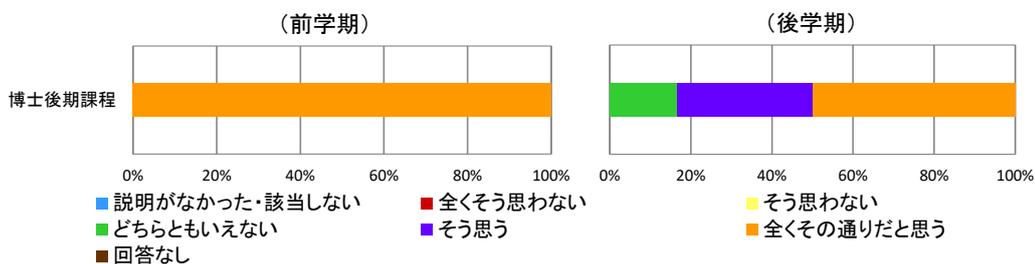
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



前学期では、100%の学生がシラバスを活用したと回答し、後学期では80%以上の学生がシラバスを活用したと回答している。

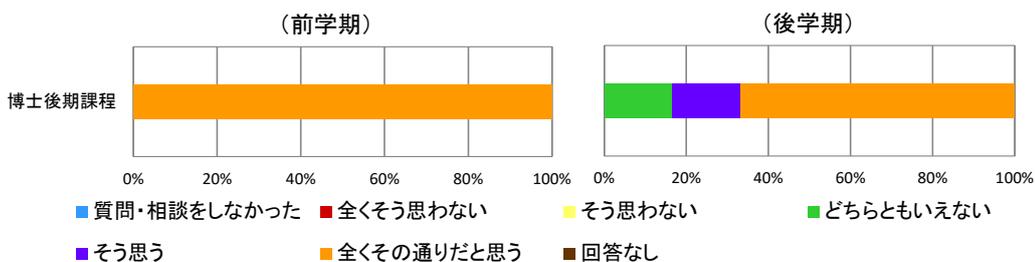
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



前学期では、100%の学生が教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であったと回答し、後学期では、80%以上の学生がそのように回答している。

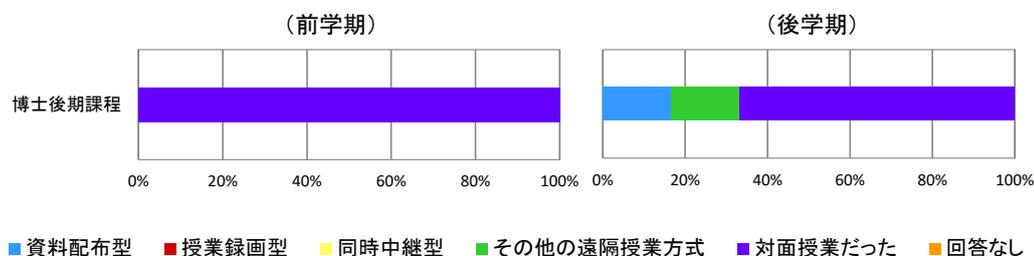
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



前学期では、100%程度の学生が質問や相談に適切に対応してくれたと回答し、後学期では、80%以上の学生がそのように回答している。

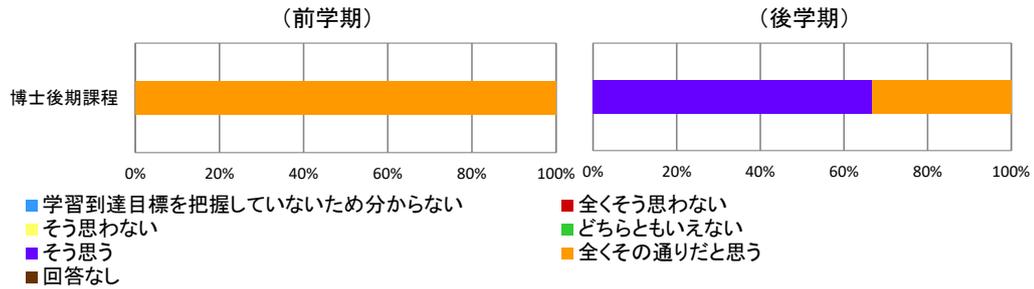
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



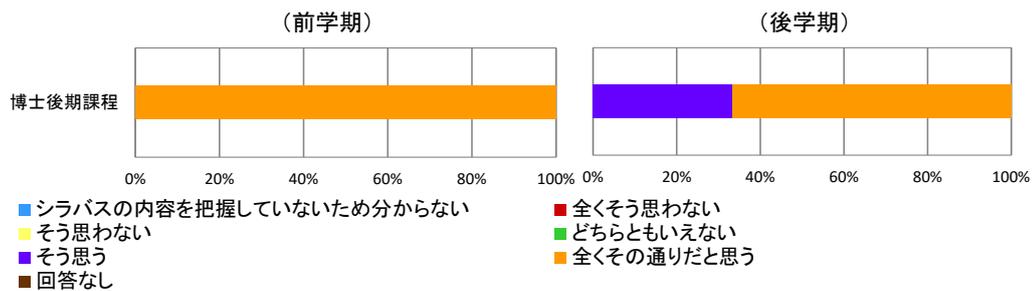
前学期では、100%が対面授業で実施され、後学期では、60%以上が対面授業で実施された。

G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



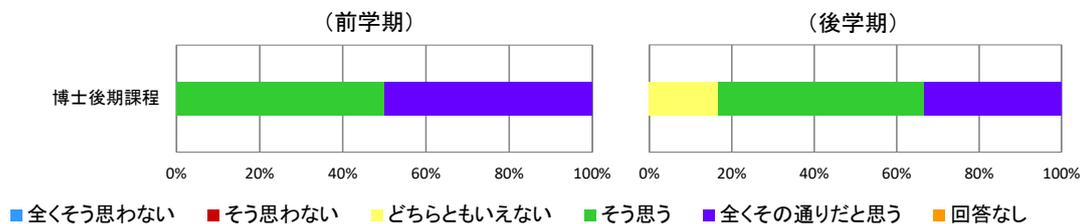
前学期では、100%の学生が学習到達目標を達成できたと回答し、後学期では、100%の学生が概ねそのように回答している。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



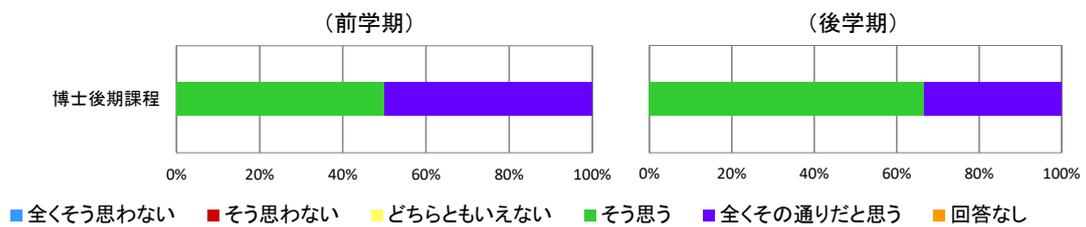
前・後学期でも、100%の学生が授業の内容はシラバスに基づいていたと回答している。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか



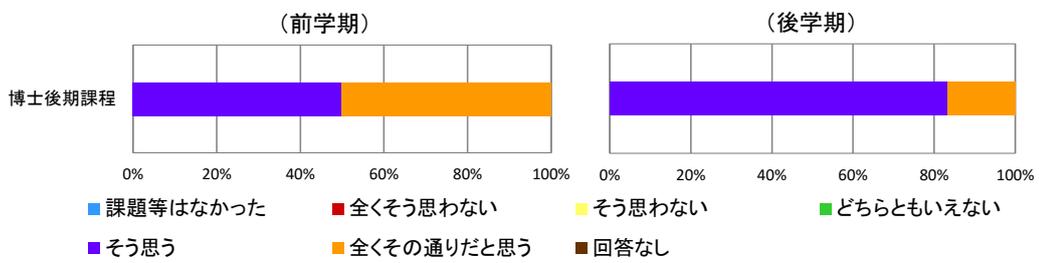
前学期では、100%の学生が理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていたと回答し、後学期では80%以上の学生がそのように回答している。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



前・後学期とも、ほとんどの学生が主体的に学べるように他者と一緒に学習する活動がなされたと回答している。

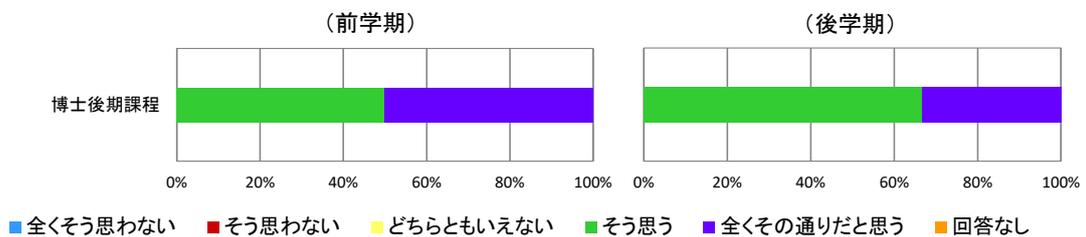
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前・後学期とも、ほとんどの学生が課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がなされたと回答している。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前・後学期とも、ほとんどの学生が満足できると回答しており、各教員が丁寧な授業を行っているといえる。

**令和 4 年度
組織別授業点検・評価報告書**

農学部

農学研究科

令和4年度 組織別授業評価報告書（農学部）

令和5年7月 教育質保証専門委員 辻田忠志

・学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

選考基準の1つとして、教員の対応に関する質問事項（B-1, B-2）、授業内容および授業方法に関する質問事項（C-4, C-5, C-6）、授業の満足度に関する質問事項（D-1）において高い評価を得ている科目が挙げられる。一方、各授業の性質（必須科目、選択科目、座学中心または実習・実験中心の違いなど）や受講生数の違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際は、これらの点について考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えられる。

・授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

アンケートのほぼ全ての項目で前年度と同程度もしくはそれ以上の高い評価を得ており、とりわけ、授業の内容はシラバスに基づくものか、教員の授業内容の工夫、及び学生の授業全体の満足度を回答する C-3、C-4 及び D-1 においても前後期を通じて 8 割程度の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答しており、学生にとってシラバスに基づいた質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れていると言える。一方、授業の選択・予習・復習などのシラバスの活用は 4～5 割程度にとどまっており、また、シラバスを見ていない学生は 1 割程度見られ、前年度よりは改善を要する点と言える。また、授業の内容のアンケート C-1 によってコロナ以前のように対面授業へ戻ってきていることがうかがわれた。

・「次年度の授業改善目標」

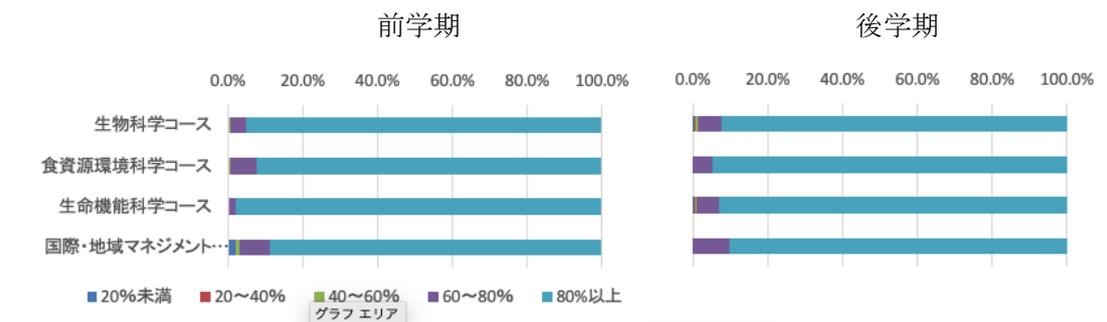
シラバスを見ていない回答の学生がいまだに 1 割程度見られる。授業初回などでシラバスを提示するとともに、履修中も適宜活用する資料であることを学生に周知、説明し、シラバスの活用度をより重視する取り組みが必要と思う。

・授業評価のアンケート結果と分析

旧カリキュラム(過年度生のみとなり、データ数が少ない)の学生についてはデータ数が少ないので割愛した。新カリキュラム(4年次生以下)のいずれにおいても、講義主担当の教員の所属によってデータの取りまとめた。

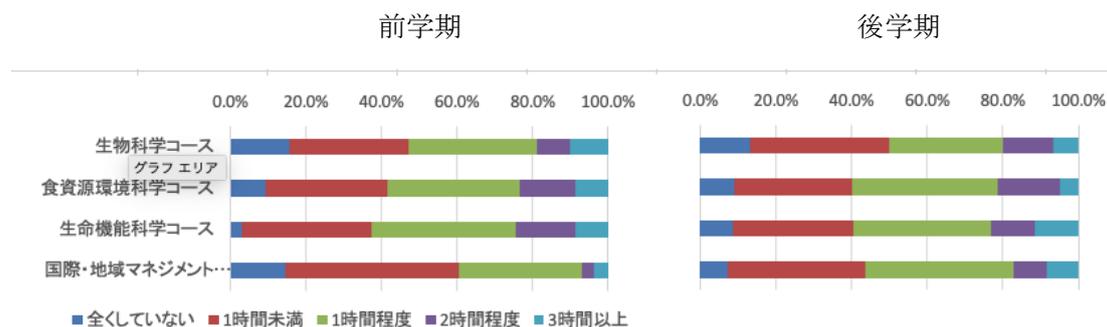
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



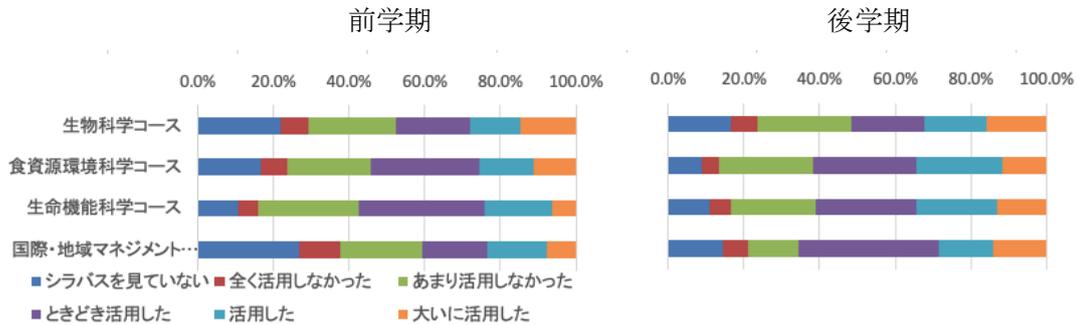
出席率が80%以上の学生が概ね90%以上であり、高い水準であるといえる。令和4年度は対面授業が多くなったものの、非常に高い水準と言える。今後も引き続き、連絡通知の徹底、手助けが必要な学生に対するケア、成績評価における配慮等、柔軟な対応を続ける必要があると思われる。

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前期の授業時間外学習は令和3年前期と比較して向上し、後期は授業時間外学習が多くなっている。これは、オンデマンド型やオンライン型の授業もあるが、対面授業が多くなり、課題等が出るようになったことが影響していると考えられる。また、成績評価のため、対面のテストも実施されているので、時間外学習は単位制度の担保、教育効果の向上のためには一定量必要と認識される。ただ、安易な課題発出は組織的に検討する必要がある。

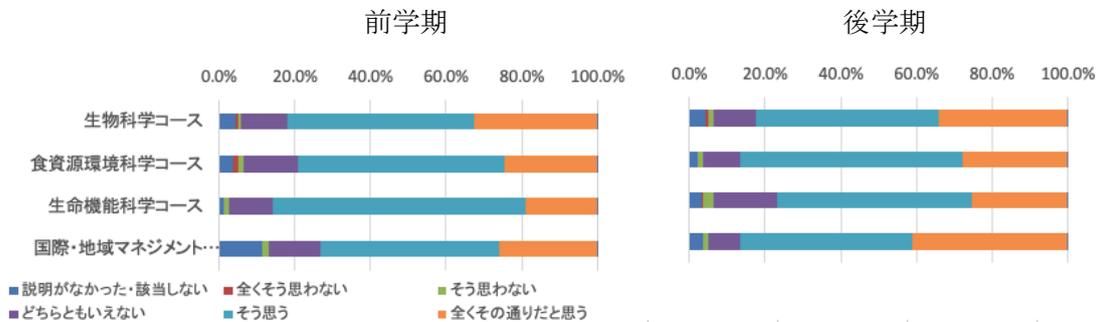
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」では40-55%であった。数値に関しては例年と同水準とされる。シラバスの活用が低い科目は、科学英語や卒業研究などコースで共通の必須科目や研究室と関連する科目で多く見られ、学生はシラバスを見ずそのまま履修することが多いと考えられる。授業の意義や達成目標をシラバスで確認することは最大限の教育効果を生むために重要であり、評価方法（ルーブリックなど）など学生側に明示する必要もあると思われる。

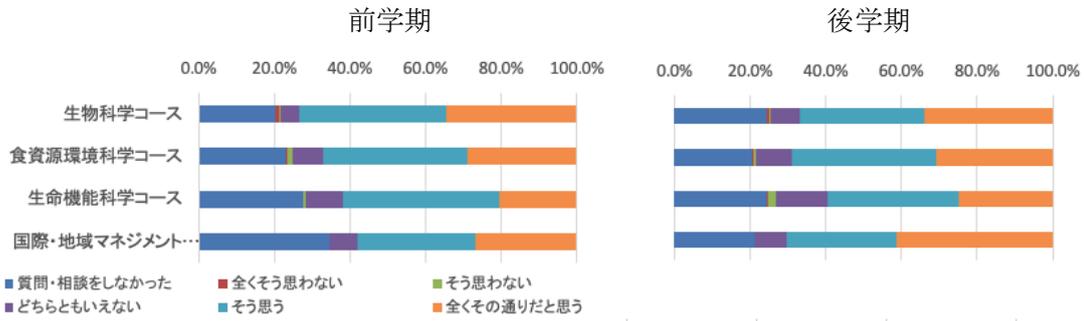
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



概ね前年度と同程度であり、約80%の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した。前項と同様に、シラバス活用率を上回る結果が得られていることから、授業内において教員が教育方法や成績評価方法等の説明を丁寧にした結果であると判断される。できることなら、シラバスも同時に説明するなどして、本値が向上するのではないかと考えている。

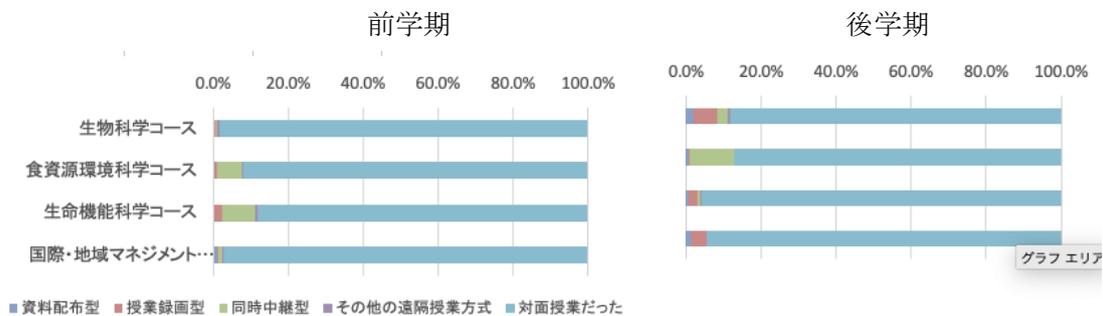
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合は、昨年と同程度であった。また、「質問・相談をしなかった」学生の割合が高い。対面講義の割合が増えたにも関わらず、質問しない理由は、理解できていないのか、よくわかったのかどちらかなど、理由についてもう少し詳細に確認する必要がある。何れにしても今後は、教員との接点を増やすなど、質問しやすいようにできれば良いと考える。

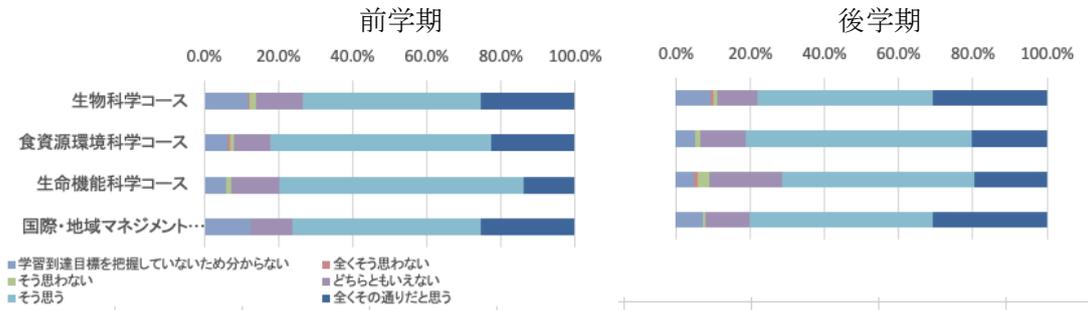
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



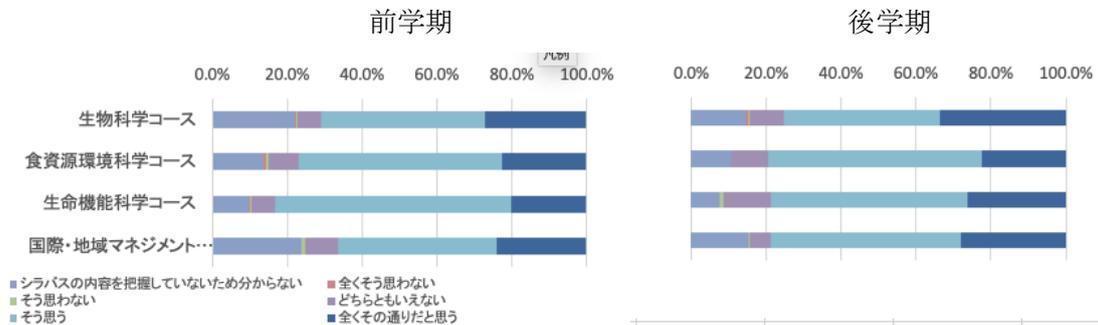
前後期を通じて、ほとんどが対面授業となっている。with コロナや自由な履修形態を求める風潮もあるので、その環境に適した授業形態で提供されると思われる。そのため、教員は引き続き、対面・遠隔どちらでも教育の質を担保した授業が提供できるように準備に努めることが肝要である。

G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



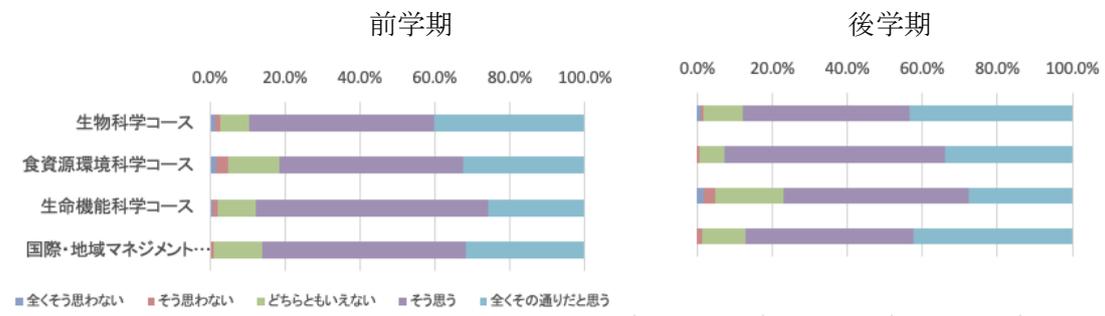
学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した。これは、対面授業が主体となったことと考えられる。今後、対面と遠隔授業双方の良い点を組み合わせたハイブリッド型授業などでも、更なる教育効果が期待できる可能性が考えられる。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



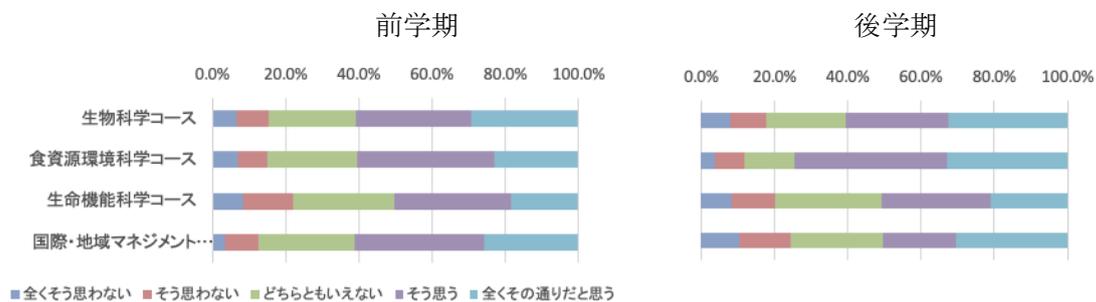
前後期を通じて、7割以上の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答していることから、シラバスに基づいた内容を提供できていると判断できるが、さらなる周知努力が必要である。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



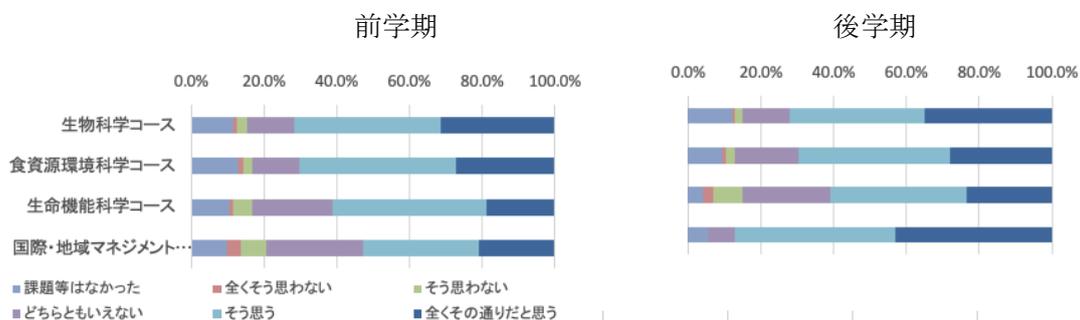
平均で8割程度の学生が、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答している。このことから、教員が学生のレベルに応じた教え方などの工夫が十分なされた結果と考えられる。

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



昨年と比較して「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合は、前期、後期ともに上昇傾向であった。この原因としては対面授業による、アクティブラーニングを取り入れた講義数が増えたためと考えられる。また、教員のオンライン授業への適応から講義資料のシェアなどが進み、臨機応変なグループワークやディスカッション等が進んだと可能性がある。今後も、ポストコロナを見据えてオンライン併用の積極的なアクティブラーニングを実施するように努める必要がある。

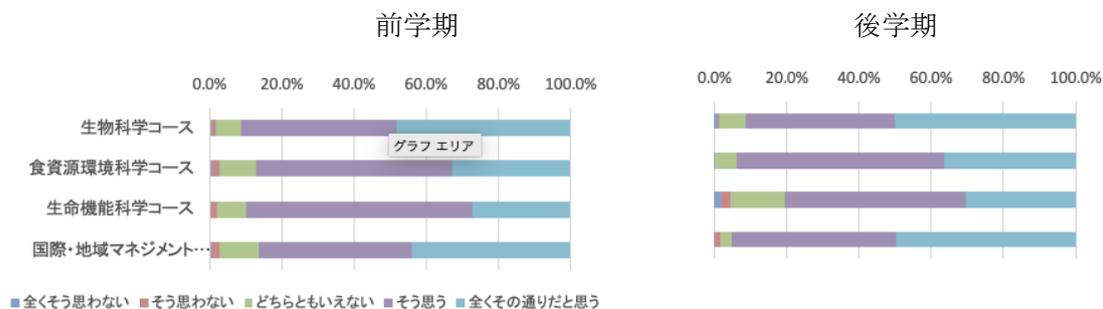
C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前後期を通じて、平均約6から7割程度の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。一方、「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生は、1割以下であった。このことから、概ね課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がなされていたと判断されるが、学生の講義内容の理解の深化を促すうえで今後も課題等の提出物に対して適切なフィードバック等を務める必要がある。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



昨年と比較して「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合は、前期、後期ともに同等かそれ以上であり、いずれも高い水準であった。アンケートの中でもこの質問は授業を評価するうえで最も重要なものと考えられ、その数値が高い水準であったことは、質の高い授業を提供できたと判断できる。

令和4年度 組織別授業評価報告書（農学研究科）

令和5年7月 教育質保証専門委員 辻田忠志

・学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

選考基準の1つとして、教員の対応に関する質問事項（B-1, B-2）、授業内容および授業方法に関する質問事項（C-4, C-5, C-6）、授業の満足度に関する質問事項（D-1）において高い評価を得ている科目が挙げられる。一方、各授業の性質（必須科目、選択科目、座学中心または実習・実験中心の違いなど）や受講生数の違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際は、これらの点について考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えられる。

・授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

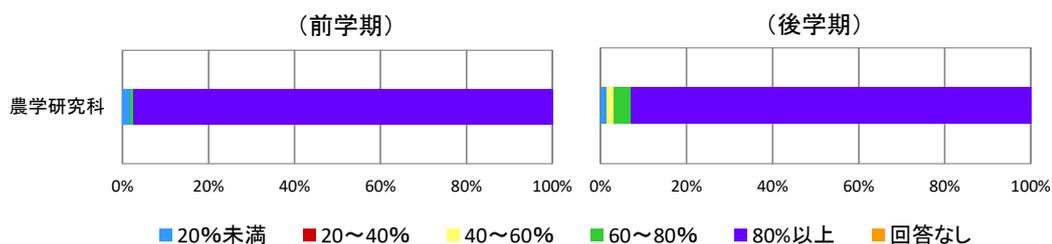
アンケートのほぼ全ての項目で前年度と同程度もしくはそれ以上の高い評価を得ており、とりわけ、授業の内容はシラバスに基づくものか、教員の授業内容の工夫、及び学生の授業全体の満足度を回答する C-3, C-4 及び D-1 においても前後期を通じて8割程度の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答しており、学生にとってシラバスに基づいた質の高い授業を提供できており、優れていると言える。一方、授業の選択・予習・復習などのシラバスの活用は4～5割程度にとどまっており、また、シラバスを見ていない学生は1から2割程度見られ、シラバスを見ることで、意義づける仕組みが必要と言える。また、授業の内容のアンケート C-1 によってコロナ以前のように対面授業へ戻ってきていることがわかった。

・「次年度の授業改善目標」

シラバスを見ていない回答の学生がいまだに1から2割程度見られる。授業初回などでシラバスを提示するとともに、履修中も適宜活用する資料であることを学生に周知、説明し、シラバスの活用度をより重視する取り組みが必要と思う。

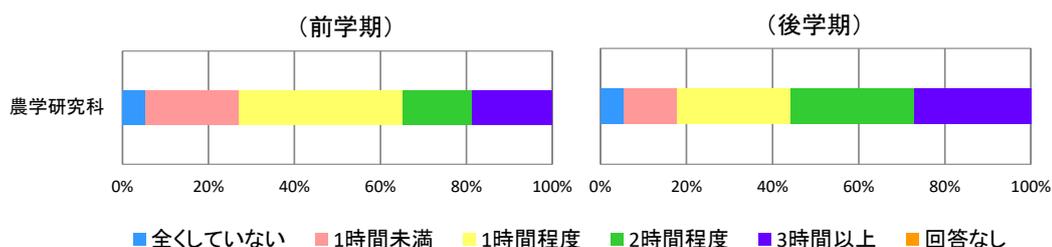
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



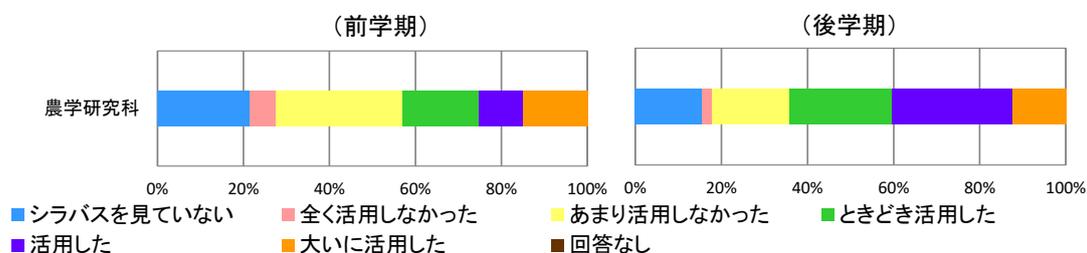
出席率が80%以上の学生が前後期を通じて95%以上であり、高い水準である。令和4年度は、対面授業が7割以上になっていることと、大学院授業は比較的小人数による授業が大半であることから高い出席率になったと考えられる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前後期通じて1時間以上の時間外学習の学生は約78%を超え、昨年よりも増加傾向であった。これは、令和3年度は遠隔授業が多く、例年よりも課題提出の回数や量が多かったが、令和4年度は対面授業が増えてきたため、例年と同程度の時間外学習になったと考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

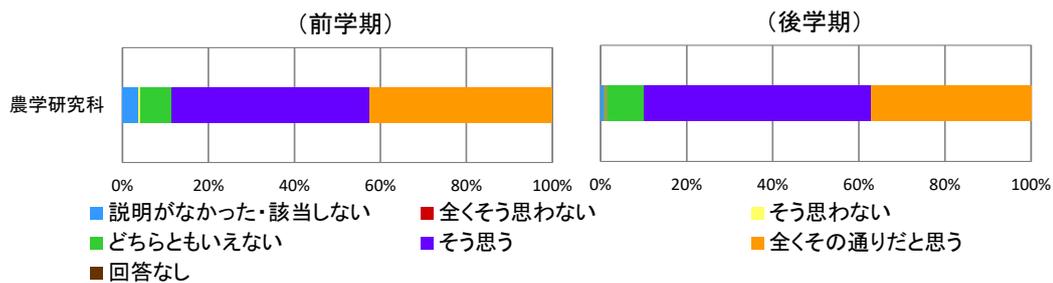


シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「とくとき活用した」割合は前期43%程度、後期で64%程度と、令和3年度よりも減少した。一方、シラバスを見ていない学生の割合

は、前後期を通して1-2割程度おり、今後シラバスの意義と活用を学生に周知する必要があると考えられる。また、授業で周知をしていることを見ていないと回答している学生もいることから、全く見ていない学生についてはさほど多くないと思われる。

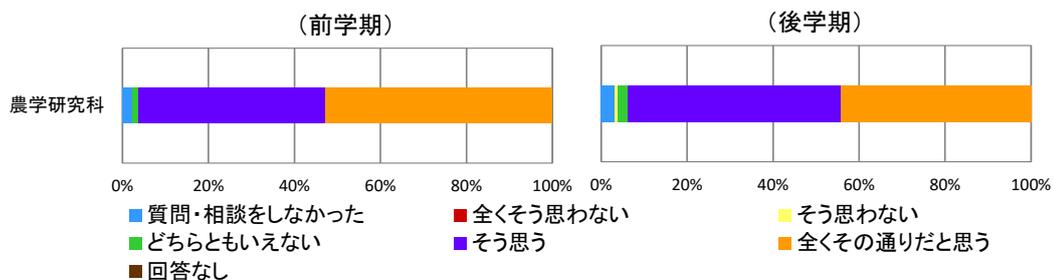
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



前後期ともに90%近く学生が有益であったと回答した。シラバス活用率を上回る結果が得られていることから、授業内において教員が教育方法や成績評価方法等の説明を丁寧にした結果であると判断される。この傾向は今後も継続できると思う。

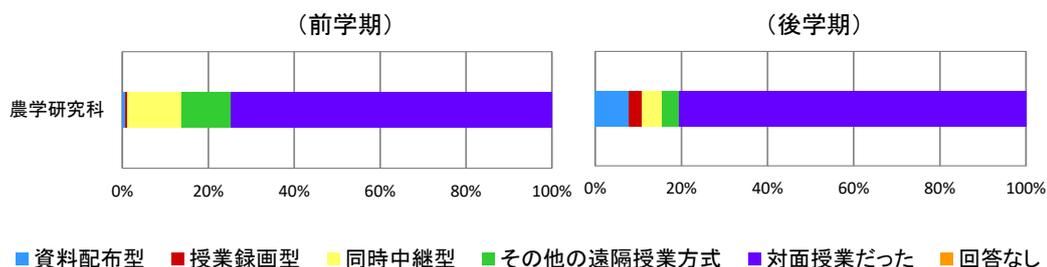
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」と回答した学生が前期では7%、後期では3%であったため、質問や相談に対して適切に対応がなされたと考えられる。大学院においては、比較的少人数での授業が多いため、教員が個々の質問に対して十分な時間を使って説明していると考えられる。

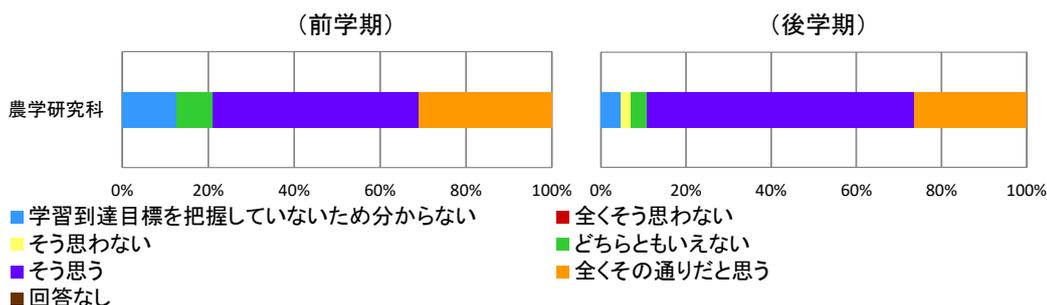
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



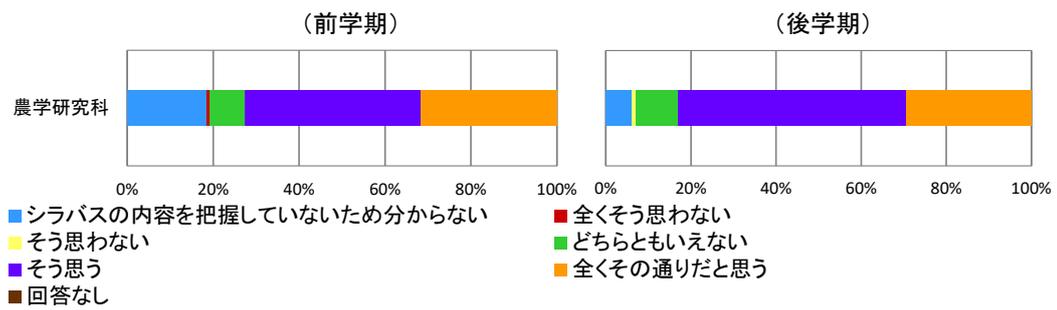
新型コロナウイルス感染症の状況の落ち着きのため、「対面授業」の割合が前期で74%、後期で80%と昨年度に比べて大幅に増加した。一方で post コロナを見据えて、その時の状況に応じて、多様な授業形態が出てくると思う。そのため、教員は引き続き、対面・遠隔どちらでも教育の質を担保した授業が提供できるように準備に努めることが肝要である。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



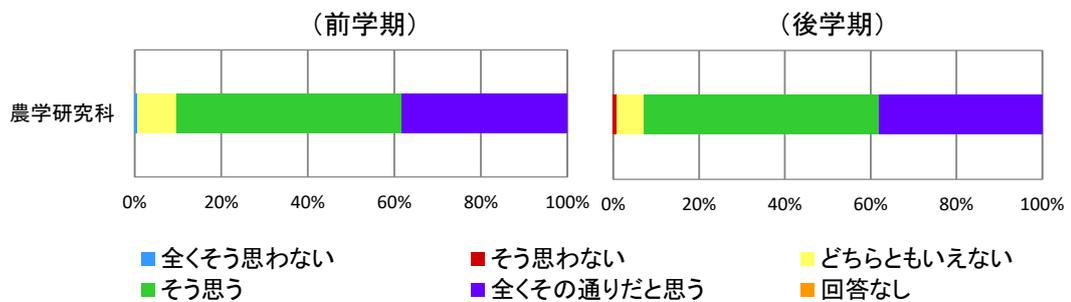
前期、後期ともに約80%以上の学生が学習目標を達成できたと回答した。教員が学生の目標達成のために十分な時間かけて工夫を行ったことによって前年度と同様の高い水準を維持することができたと考える。なお、「学習到達目標を把握していないため分からない」の回答が18%程度あることから、シラバスの活用等をさらに進める必要があると考えられる。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



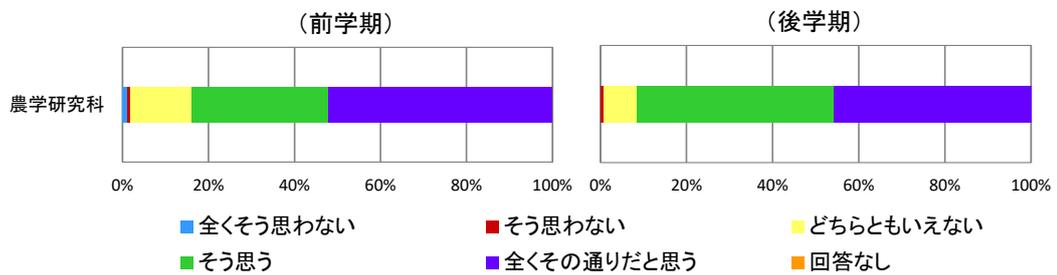
バス通りに授業が進められたと回答した。このことから、授業の内容はシラバスに基づいて適切に実施されたと考えられる。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



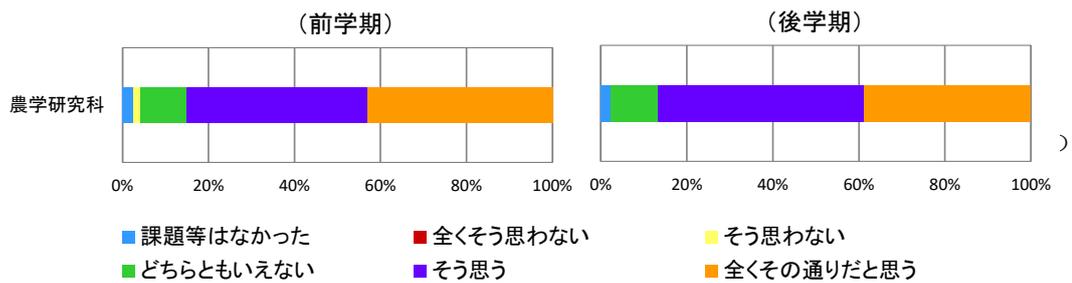
9割に近い学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。大学院は、比較的少人数での授業が多いため、教員が個々のレベルに応じた教え方などの工夫が十分なされた結果と考えられる。

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



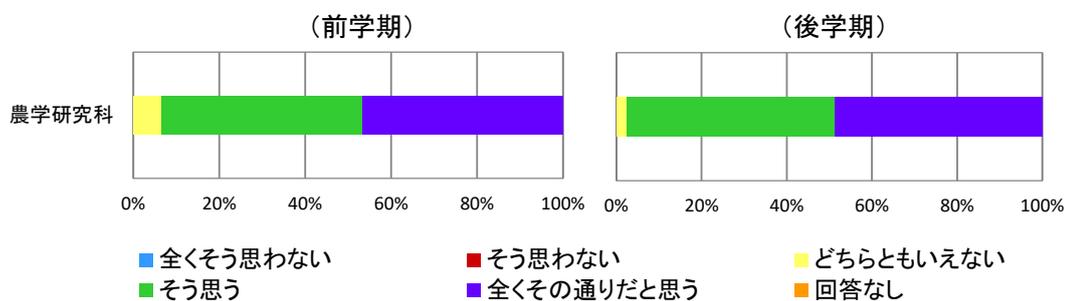
前後期を通して約8割近くの学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。大学院は、比較的少人数での授業が多く、グループワークやディスカッションなどのアクティブラーニングを促す授業が展開しやすい環境のためと考えられる。

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



約93%以上の学生が授業に満足できたという例年通り高い水準を維持できた。授業はpost コロナのに向けて、多くの形態で実施されたが、例年と同様に学生が満足できる授業を提供できたと考える。

**令和 4 年度
組織別授業点検・評価報告書**

地域デザイン研究科

令和4年度 地域デザイン研究科組織別授業評価報告書

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

地域デザイン研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

(2) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

なし

(3) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第1に修士論文最終試験である。新型コロナウイルス感染症防止対策の終了にともない、公開・対面での最終試験を行った。審査対象学生による論文趣旨説明に続き、主査・副査の口頭試問と、参加した多くの教員による幅広い観点からの質疑応答とを行い、学位授与の公正さを実現している。

第2に、修士1年第2学期（4月入学生は後期、10月入学生は前期）に行っている研究進捗状況報告会である。入学から短期間であるので研究成果は期待されていないが、早期から研究プレゼンテーションを行うことによる、締め切りに合わせた研究の取りまとめとプレゼンテーションへの習熟が指導される。また、授業評価アンケートでわかるように少数であるが受け身の学習態度の学生が存在する。こういった学生の学習態度の改善に研究進捗状況報告会が役立っている。

改善すべき点としては、第1に研究指導体制の不満足への対応である。授業評価アンケートの満足度で「どちらともいえない」が前期に2名、学習到達目標の達成で「そう思わない」が後期に1名、それぞれ回答があった。大学院教育に問題がないか、検証し必要に応じて改善しなくてはならない。

第2に研究設備への不満足への対応である。昨年度の修了予定者アンケートで図書等資料の不満足の回答があった。他大学や研究機関等の各種資料を学生自ら発見し、取り寄せたり閲覧したりする研究手法の指導不足を引き続き改善することが必要である。

(4) 次年度の授業改善目標

上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。

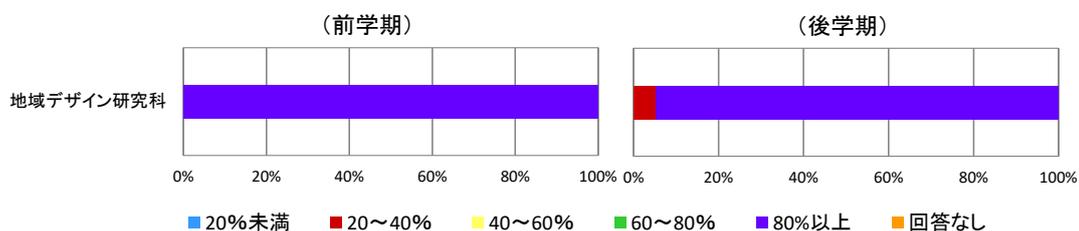
第1の研究指導体制の不満足への対応として、M1の研究進捗状況報告会に向けて大学院生ガイダンスの実施を予定する。学位取得までのスケジュールを再確認し、入学時オリエンテーションでは話していない研究の遅れへの対応方法や指導教員との研究方針の不一致の

場合の対応、アカデミック・ハラスメントへの対応を説明し、質疑応答を行う予定である。

第 2 の研究設備への不満足への対応としては、研究科教員全員に対して基本的な研究手法指導の再確認によって改善する。

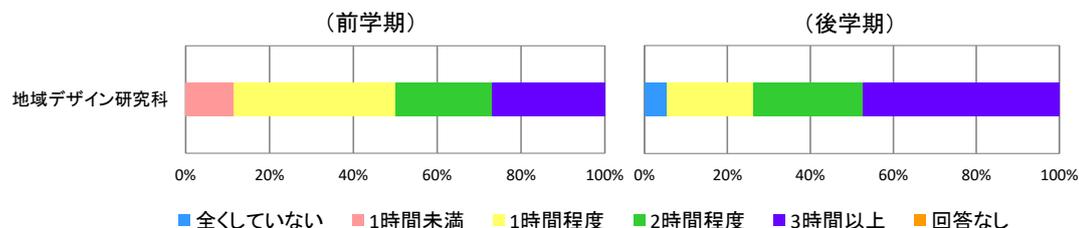
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



良好な出席率であり、研究科の教育が良好であることを示す。

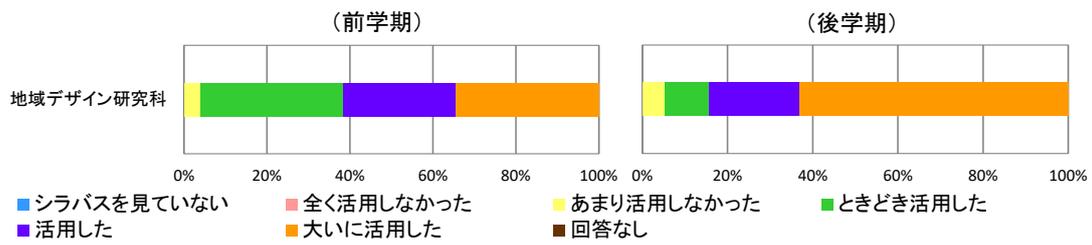
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



50%~75%の学生が2時間程度以上の時間を授業時間外学習にあてていて、研究科の教育が良好なことを示す。

授業時間外学習を全くしていないという回答が後期に5パーセントある。研究科の教育として少数であるが受け身の受講態度の学生が存在するのは改善を要する。また、本研究科は芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。修士論文執筆とともに、芸術デザインコースの学生は卒業制作の作成、地域マネジメントコースの学生はフィールド調査・アンケート調査なども授業時間外学習の時間となる。大きく特徴の異なる研究方法の学生の混在が上記のような結果となったと考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

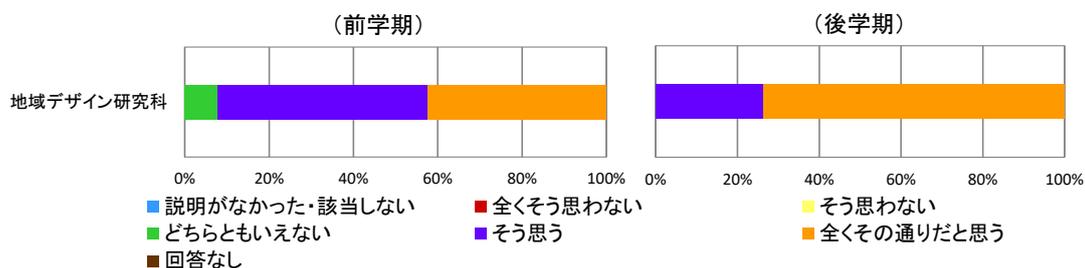


95%以上の学生がシラバスを活用したと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

あまり活用しなかったという回答が5パーセントある。シラバスは科目選択の重要な情報源であり、履修中の学習内容の位置づけの重要な情報源であるので、シラバスを活用しない学生が存在するのは研究指導の改善を要する。

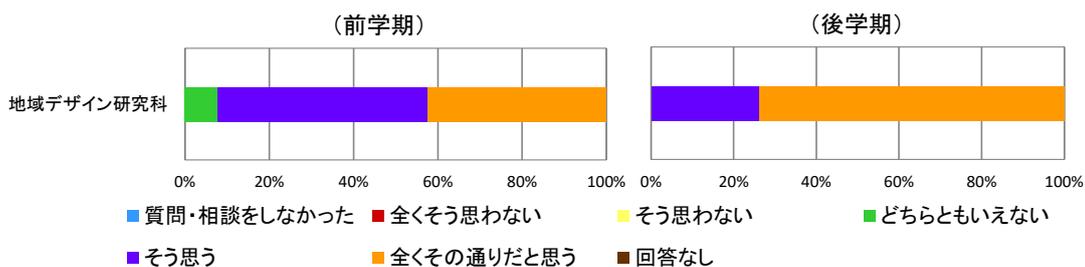
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



ほとんどの学生が教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であると回答しており、教育を通じた教員と学生とのコミュニケーションが良好なことを示す。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

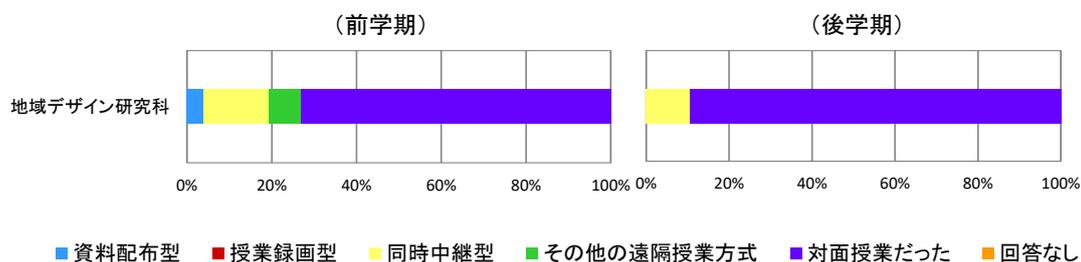


ほとんどの学生が質問や相談に適切に対応したと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前期に、「どちらともいえない」という回答が数パーセントある。「そう思わない」ではないため質問や相談に応じなかったというわけではないと考えられるが、期待した回答を得られなかったと推定され、教員のコミュニケーション能力の改善を要する。

C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



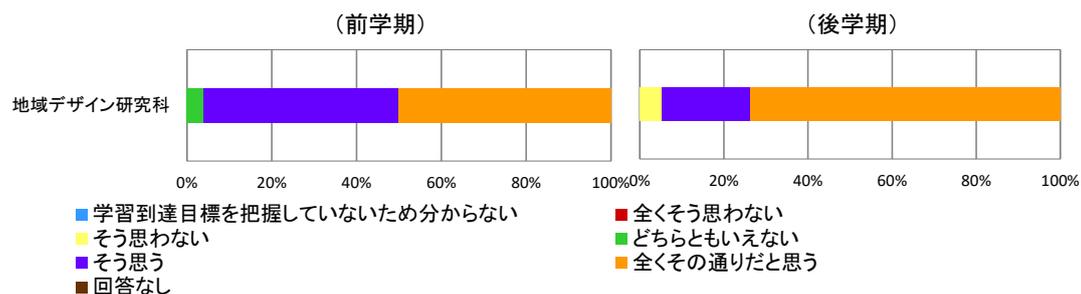
今年度は前期 6 月 7 日に活動制限レベルが 2 から 1 になり、対面授業を中心に講義が行われた。

アンケートに回答のある資料配布型も実際には実施はなかった。今年度は資料配布型や授業録画型の講義の実施がひとつもなく、すべての講義が同期型対話型の講義を実現した。これは研究科の教員が令和 3 年度以降に IT スキルや重症化リスクなどの阻害要因を解決した活動の結果であり、教員全員が良好な教育効果の実現に真摯に取り組んだことの証拠である。

表 1 令和 4 年度の活動制限

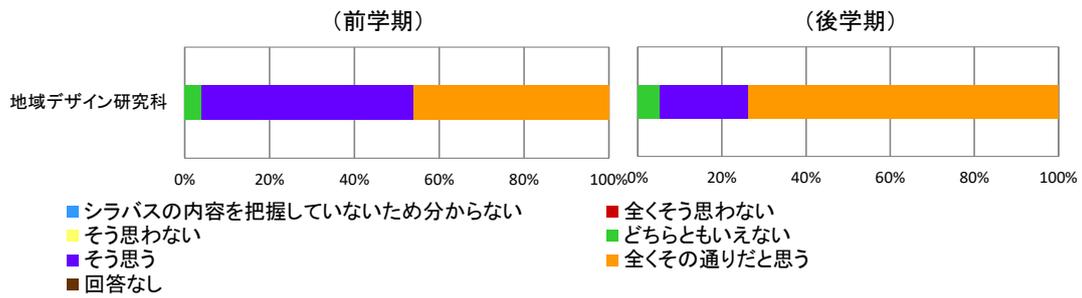
前年度 3 月 23 日	レベル 2	対面と遠隔の併用
6 月 7 日	レベル 1	対面授業の実施、遠隔授業の活用

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



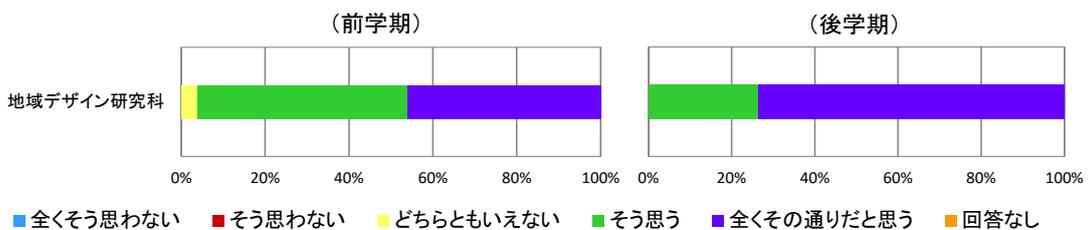
前学期で 97%、後学期で 95% の学生が学習到達目標を達成できたと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



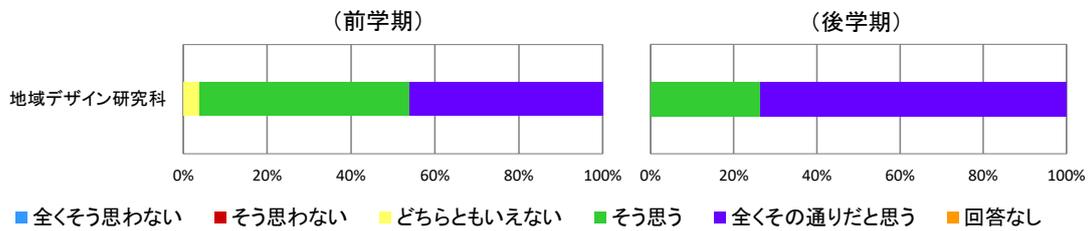
前学期で 97%、後学期で 95% の学生がシラバスに基づいた授業だったと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



ほとんどの学生が、教え方や教材が工夫され授業の理解の役立つと回答しているため、研究科の教育が良好なことを示す。

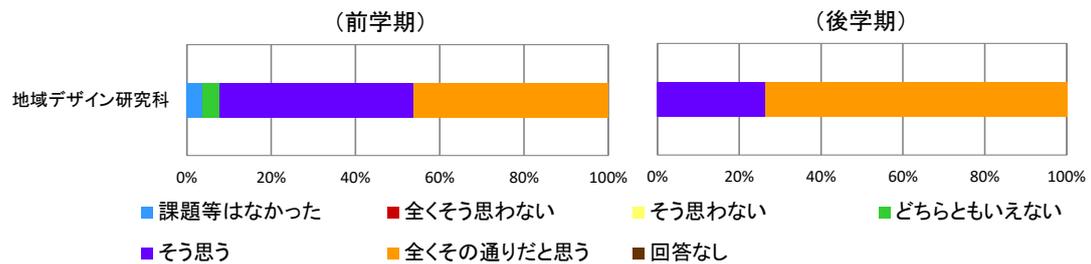
G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



ほとんどの学生が、主体的に学べるような活動があったと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

特に、令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策での遠隔授業が前学期で20%、後学期で10%あり、コミュニケーション手段に制約のある状況での上記の回答結果は研究科の教育がとも良好なことを示している。

G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

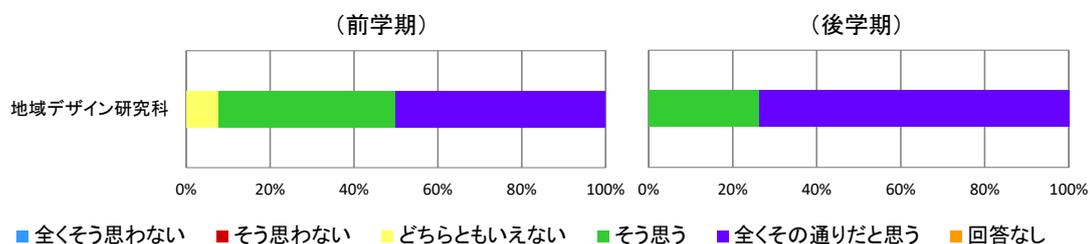


ほとんどの学生が、主体的に学べるような活動があったと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

特に、令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策での遠隔授業が前学期で20%、後学期で10%あり、コミュニケーション手段に制約のある状況での上記の回答結果は研究科の教育がとも良好なことを示している。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



ほとんどの学生が、全体として満足できると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

後期の「全くその通りだと思う」と答えた割合を令和3年度と比べると10ポイント増と大きく増加している。6月に活動制限レベルが1となり、後期は研究指導が平常時に戻ったと考えられる。

また、令和2年度には前学期と後学期とともに「そう思わない」の回答があったが、今年度はなくなった。令和2年度の授業評価分析の結果を研究科教員内で共有することが、教員個人の振り返りをうながし、教育効果が改善されたものと考えられる。

**令和 4 年度
組織別授業点検・評価報告書**

先進健康科学研究科

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果すことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

先進健康科学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

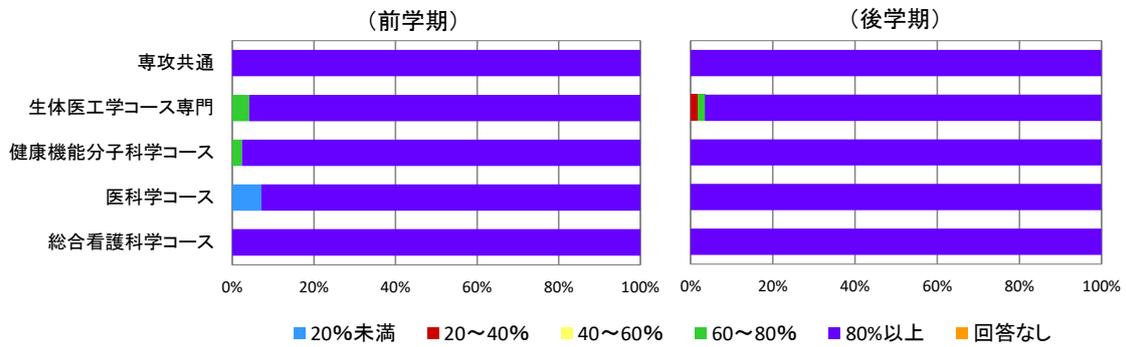
本報告には、令和4年度先進健康科学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、学習到達目標の達成度について調査し、分析した。教員側の課題としては、授業形態、教育方法や成績評価方法の説明、質問や相談への対応、シラバスに準拠した授業の実施、教え方や教材の工夫、アクティブラーニングへの配慮、課題等の提出物に対するフィードバックや解説などについて調査し、分析した。最後に、学生の満足度について調査し、分析した。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、先進健康科学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

令和5年7月
大学院先進健康科学研究科

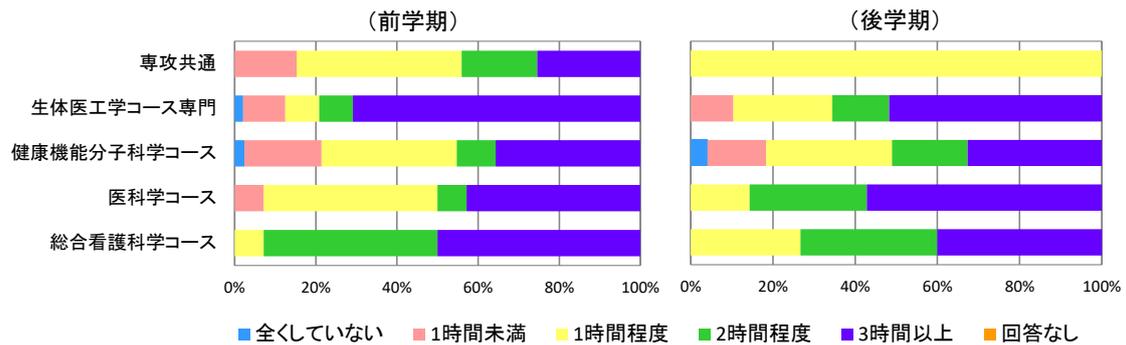
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



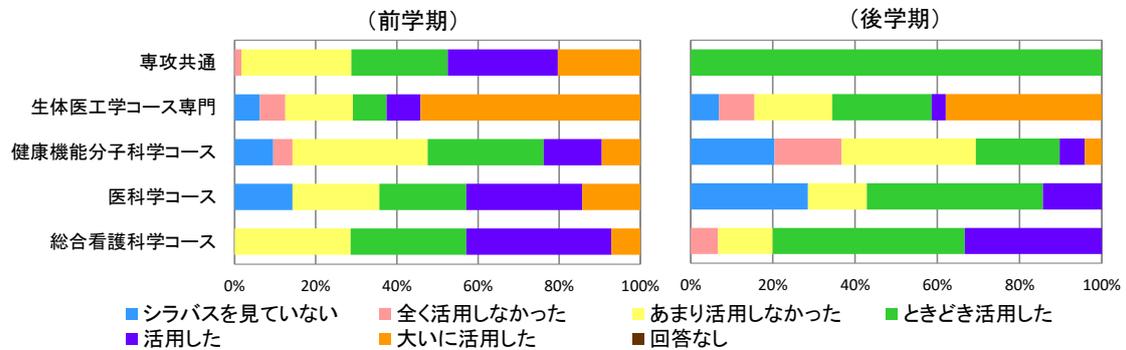
全体として概ね高い出席率であると考えられる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



全体として概ねしっかりした授業時間外学習の時間をとっていると考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

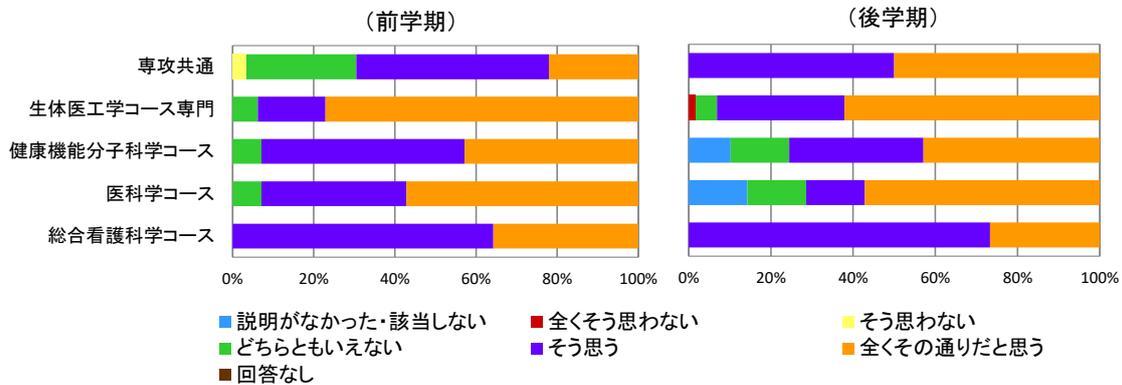


全体として概ねシラバスを活用していると考えられる。一部に、シラバスを見ていないも

しくは全く活用しなかった学生がみられたことから、さらなる周知が必要であると考えられる。

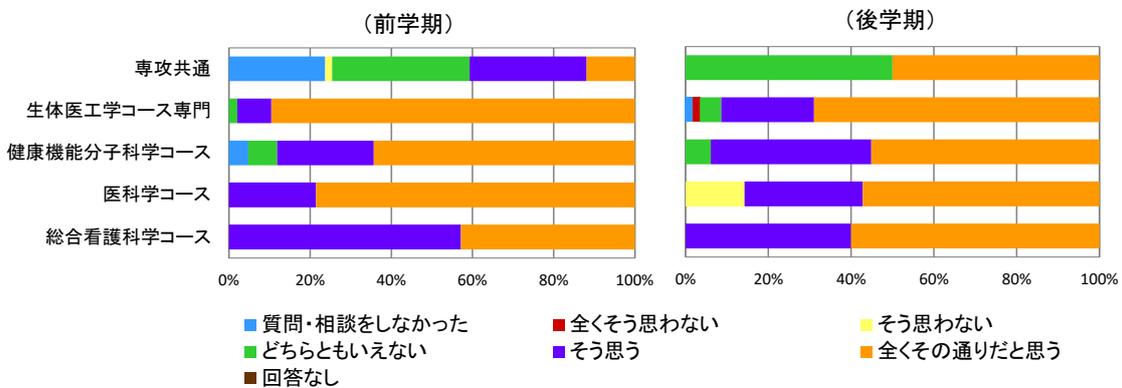
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



全体として概ね有益であるとの意見が得られている。

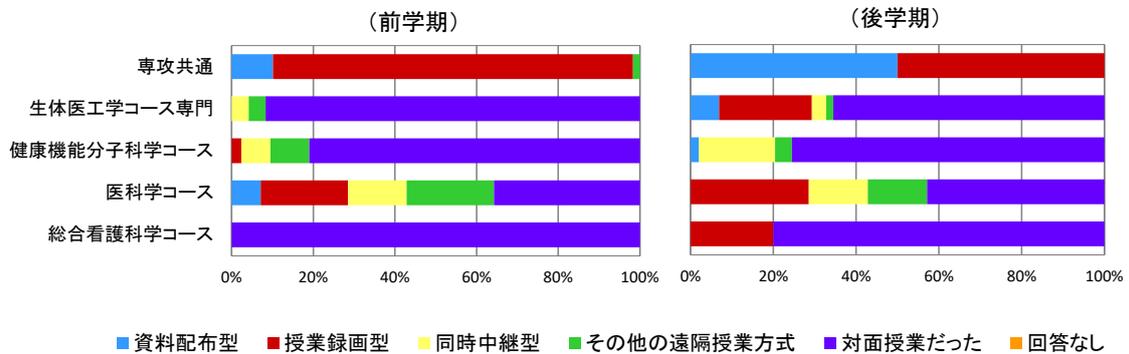
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



全体として概ね適切に対応してくれたという意見が得られている。

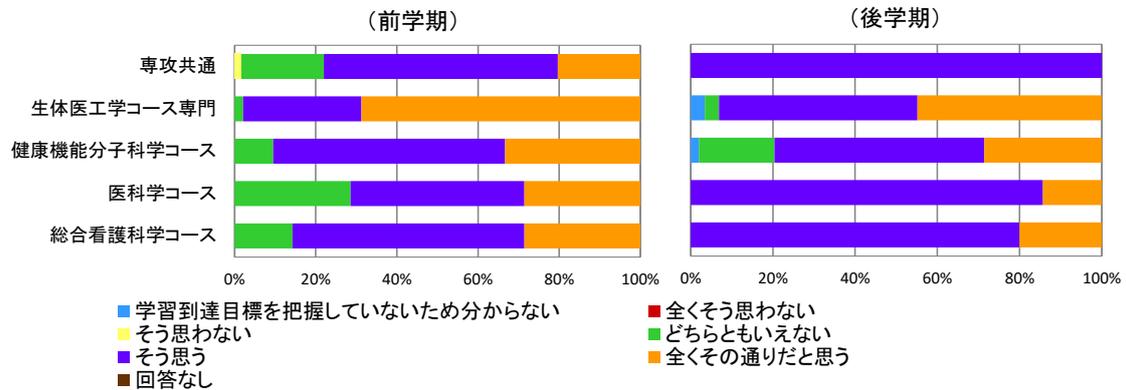
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



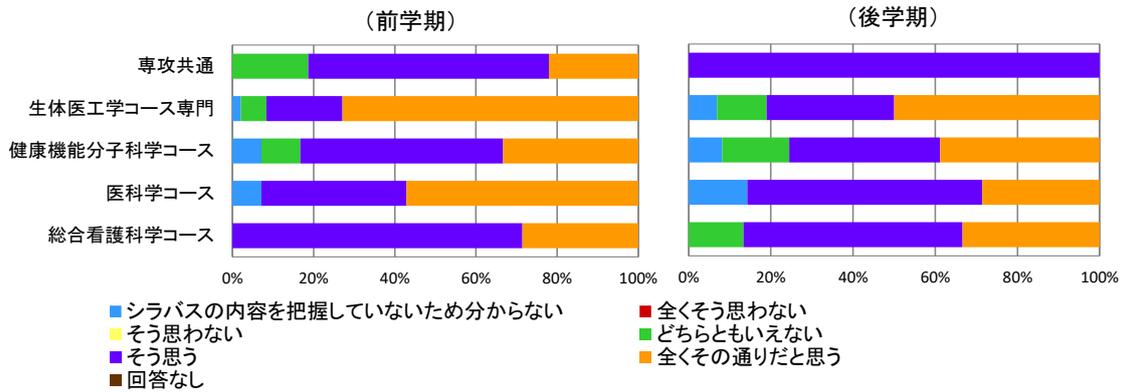
新型コロナウイルス蔓延防止の解除により、対面授業が増えている。また、先進健康科学研究科は、本庄キャンパスと鍋島キャンパスに分かれているため、資料配布型や授業録画型、同時中継型などの遠隔方式も多い。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



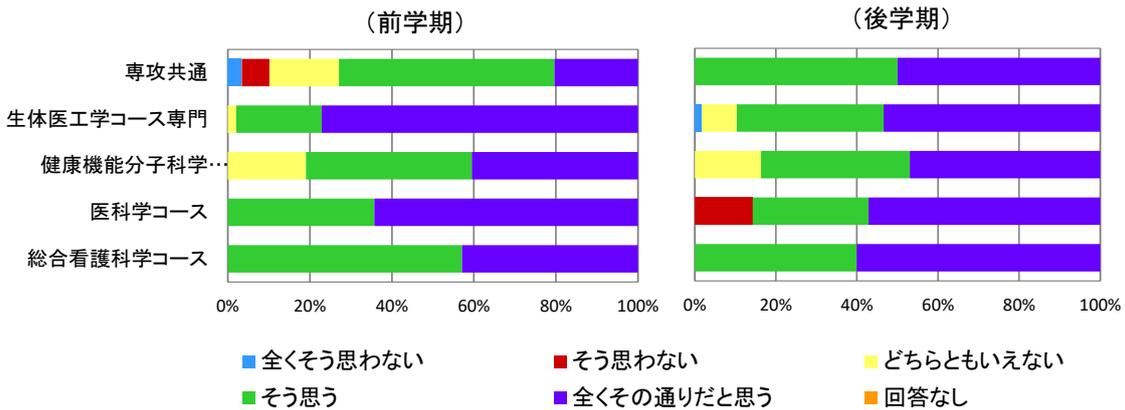
全体として概ね授業の学習到達目標を達成できたという意見が得られている。

G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



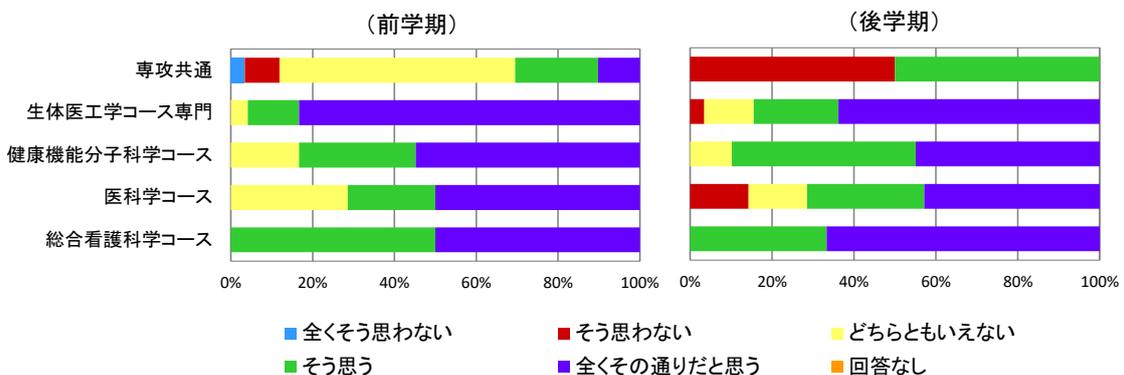
全体として概ねシラバスに基づいていたという意見が得られている。一部に、シラバスの内容を把握していない学生がみられたことから、さらなる周知が必要であると考えられる。

G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



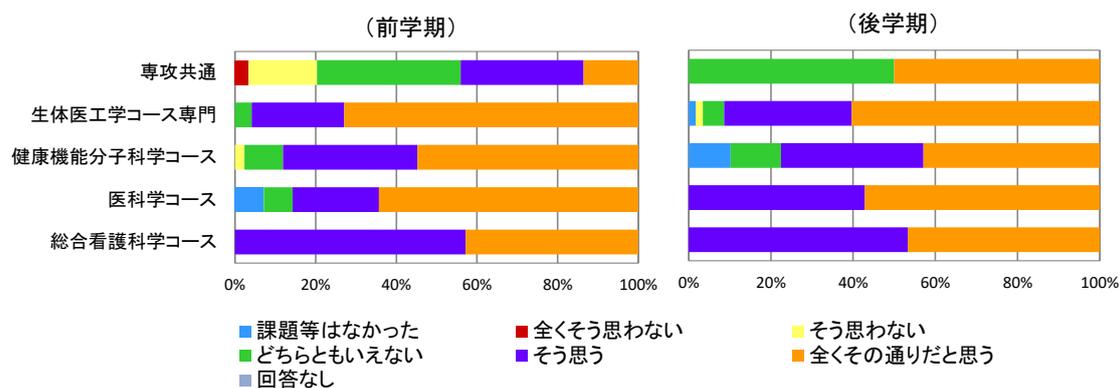
全体として概ね工夫がされていたという意見が得られている。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



全体として概ね主体的に学べる活動が行われていたという意見が得られている。一方、専攻共通科目でそう思わない回答が見受けられるが、これは、資料配布型や授業録画型、同時中継型などの遠隔方式が多いためと考えられる。

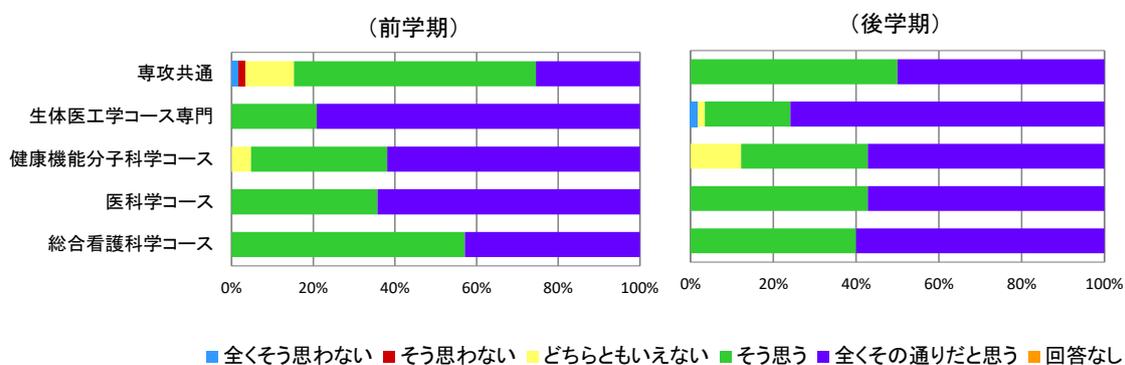
C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



全体として概ね適切なフィードバックや解説があったという意見が得られている。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



全体として概ね満足できるという意見が得られている。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

先進健康科学研究科では、コースにより授業内容、授業方法が大幅に異なるため、統一的な比較は適切でなく、「学生から高い評価を得ている授業科目」を、授業評価アンケートの回答結果から選考することは困難と考えている。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

授業の満足度が高く、概ね良好に授業が実施されていると考えられる。一方、シラバスを把握・活用していない学生がみられるため、周知を徹底するなど改善を要すると思われる。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を次年度の目標とする。すなわち、シラバスの周知徹底を図る。

**令和 4 年度
組織別授業点検・評価報告書**

全学教育機構

1 全学教育機構の回答状況

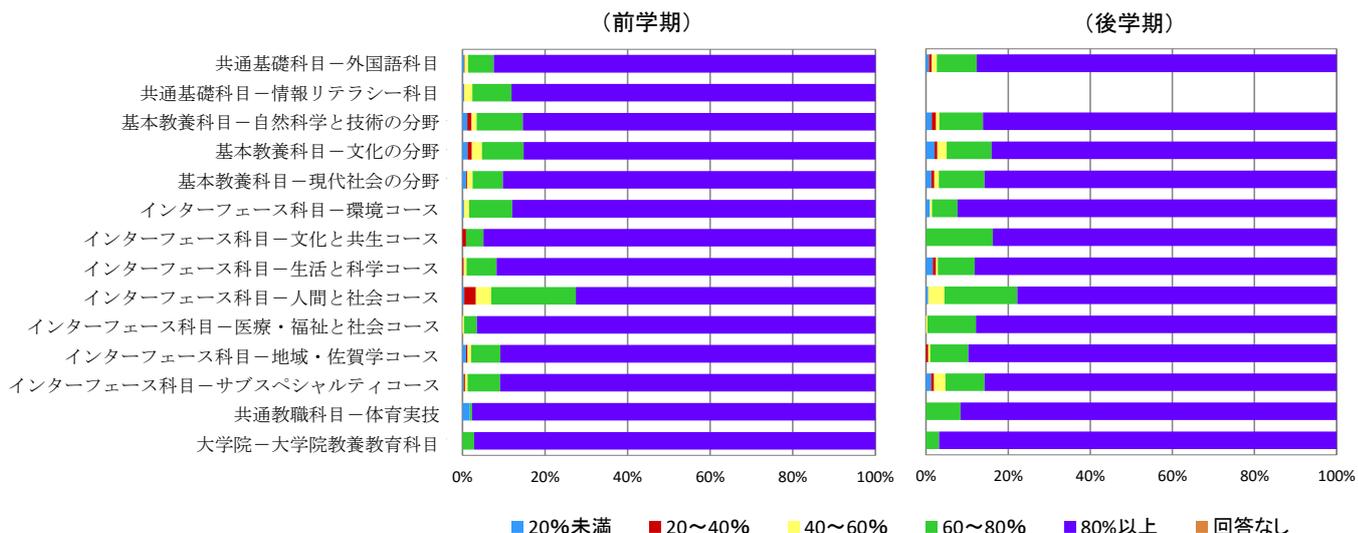
全学教育機構が開講する授業科目の授業評価と分析は、学期毎に行われた学生の授業アンケートを集計し下記の表に記載された分類に基づいて実施した。また、科目群毎の履修者数、授業アンケートの回答者数及び回答率は以下のとおりである。

	科目群	履修者数	回答者数	回答率
共通基礎科目	・外国語科目	5522	3962	71.7%
	・健康・スポーツ科目（現：共通教職科目 体育実技）	395	314	79.5%
	・情報リテラシー科目	1748	1534	87.8%
基本教養科目	・自然科学と技術の分野	2866	2046	71.4%
	・文化の分野	2778	1694	61.0%
	・現代社会の分野	4165	2908	69.8%
インターフェース 科目	・環境コース	913	458	50.2%
	・文化と共生コース	416	204	49.0%
	・生活と科学コース	1121	559	49.9%
	・医療・福祉と社会コース	624	559	89.6%
	・地域・佐賀学コース	748	434	58.0%
	・サブスペシャリティコース	966	572	59.2%
	・人間と社会コース	757	395	52.2%
大学院教養科目	・大学院教養科目	1071	376	35.1%
	合計	48210	32030	66.4%

2 授業アンケート結果の分析

A. あなた自身について

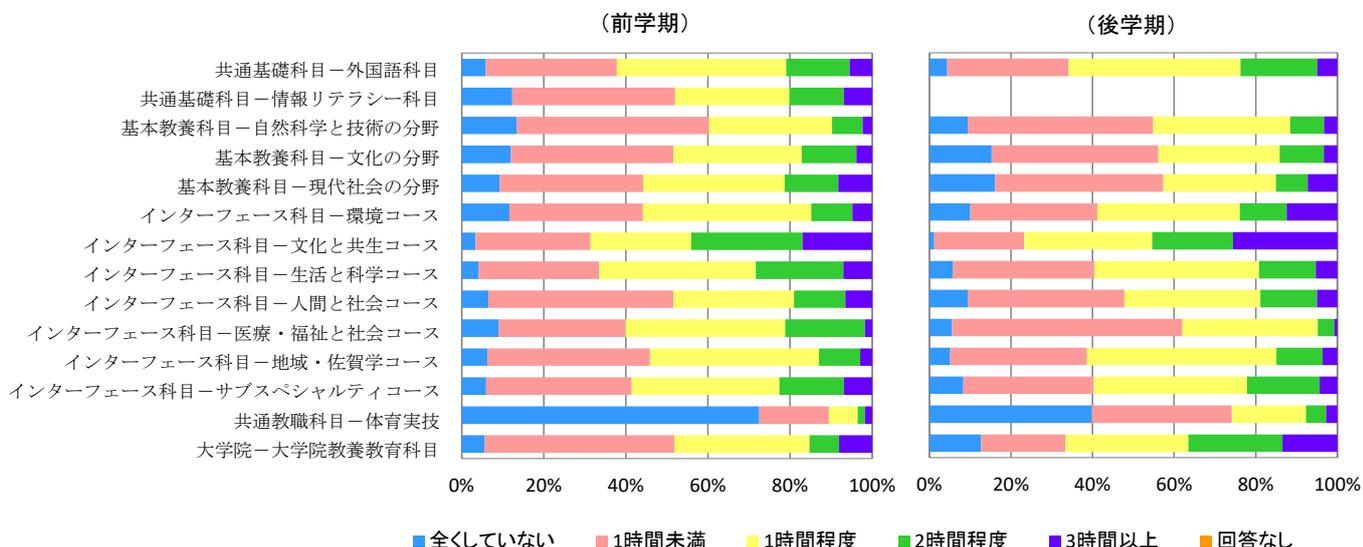
A-1 出席率はどのくらいですか



全学教育機構において授業に関わる出席数や出席率に関する規定等はなく、授業等における出席に関する条件（2/3以上の出席がない場合には、成績評価の対象としない）は授業担当者の判断に任せられている。このことから、どの程度の値が問題となるかならぬかについては判断の基準等が明確ではないものの他大学の中では成績評価の対象となる出席率は2/3以上とする大学も存在するようである。

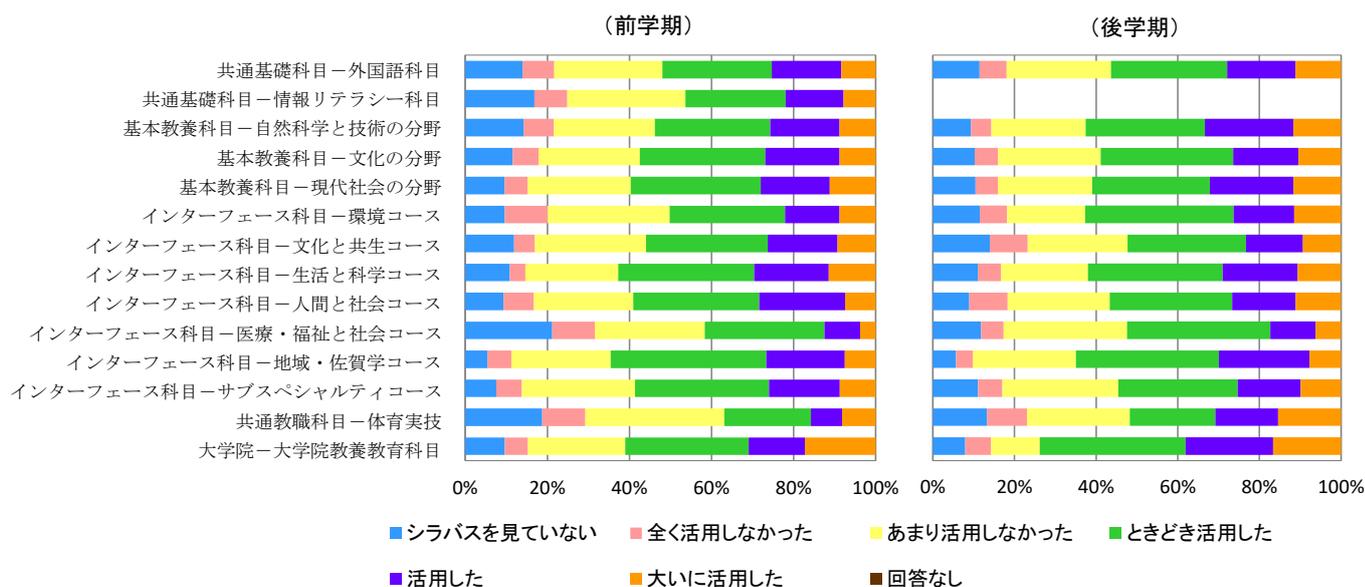
インターフェース科目人間と社会コース以外の科目群の回答において8割以上の学生が80%以上出席したと回答している。また、人間と社会コースにおいても7割以上の学生が80%以上出席したと回答している。これらの結果から全学教育機構の全科目群において出席に関して問題があるとは判断できない。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



講義・演習科目であれば2単位90時間の学習時間のうち時間外学習は60時間必要と考えられる。また、実験、実習及び実技であれば1単位45時間の学習時間のうち時間外学習は15時間必要と考えられる。全学教育機構の開講する授業科目のうち外国語科目と体育実技を除く科目群は講義・演習が中心であり「3時間以上」の回答が多くを占める必要がある。また、実験、実習及び実技では「1時間程度」の回答が多くを占める必要がある。これらを基準に判断すると前・後学期の外国語科目以外の科目群に分類される授業科目には時間外学習を促すための授業内容の改善が求められる。

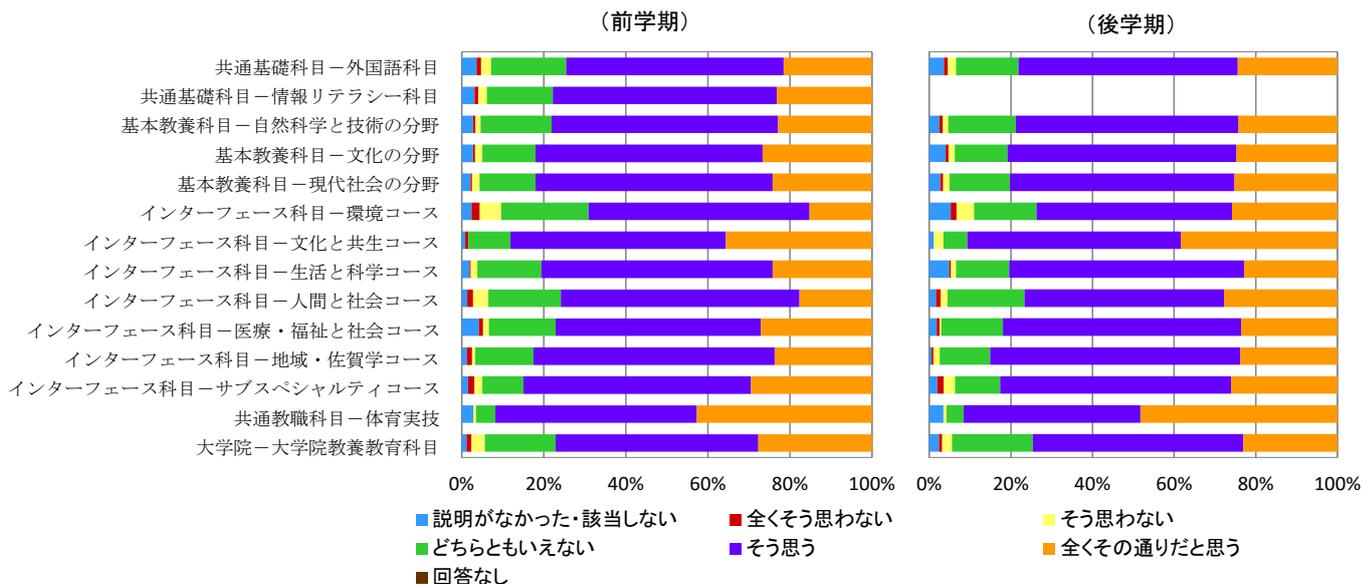
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



活用の度合いは異なるものの全体的に8割程度の方がシラバスを授業の選択や予習・復習に活用した経験があると判断できる。一方でシラバスを見ていない、全く活用しなかったと答えた学生も1割から2割程度存在した。これらの結果は、科目やコースの選択の自由がある基本教養科目やインターフェース科目でさえもシラバス以外の情報を基に選択している学生が一定数は存在することが考えられる。

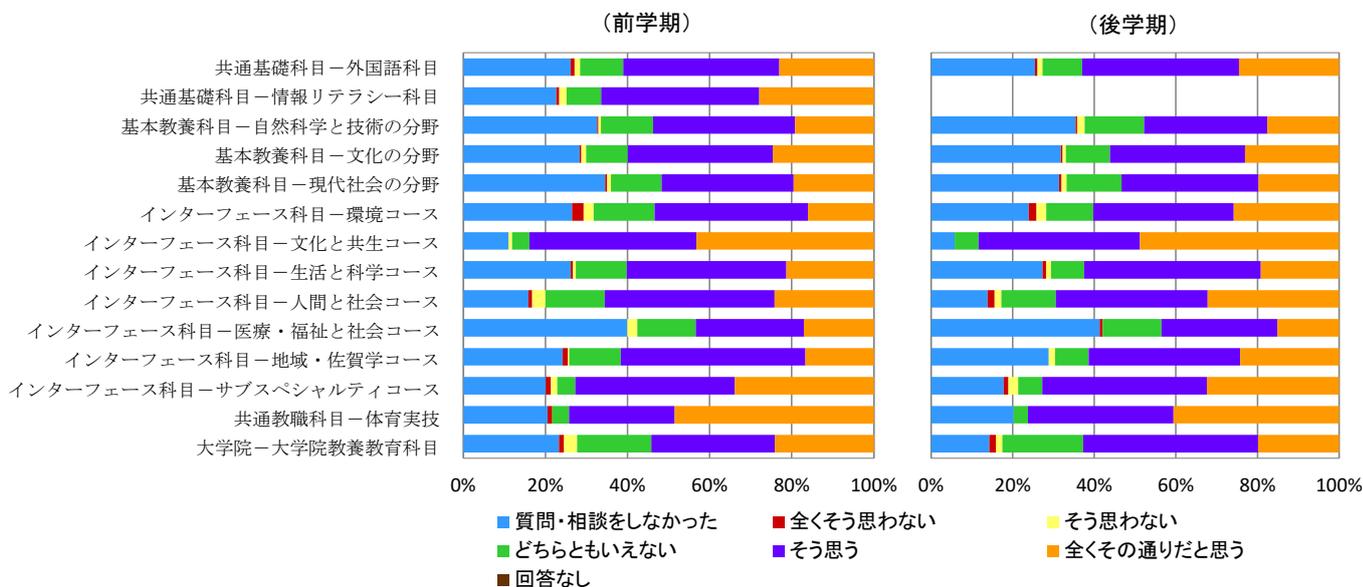
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



全ての科目群において教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であると認識している学生が7割以上を占めた。これらの結果から多くの科目において学生にとって有益な説明が行われているものと判断できる。ただし、かなり少数ではあるものの有益ではないと認識する学生もいることは考慮すべきである。

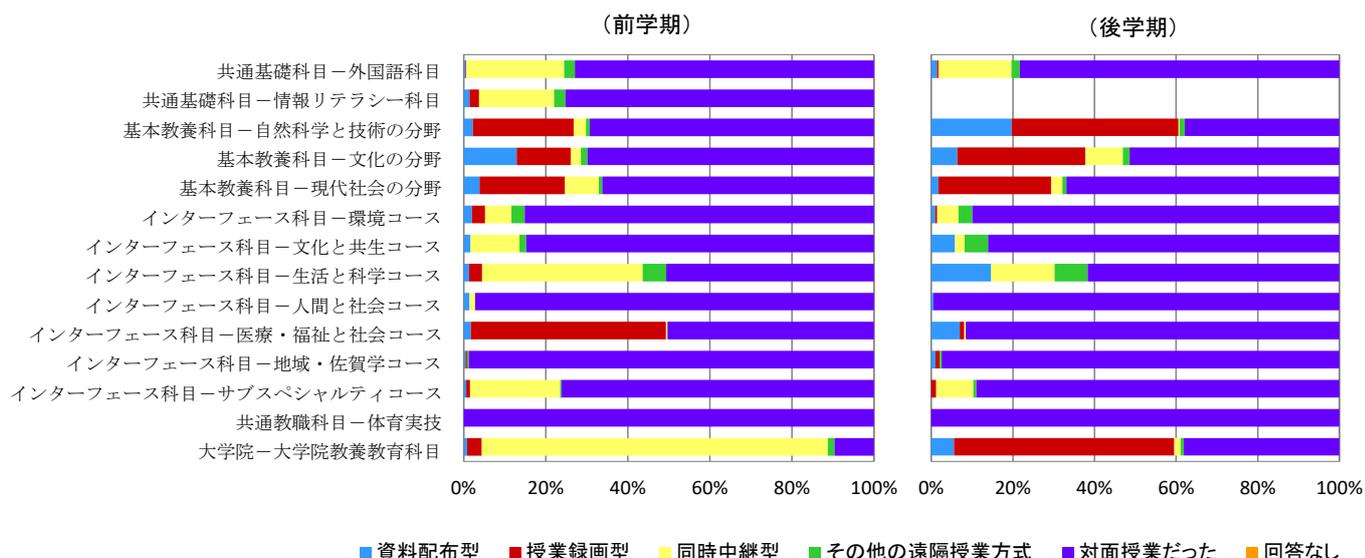
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



全ての科目群において相談や質問をしなかったと答えた学生を除くと学生の質問や相談に適切には対応しなかったと回答した学生はかなり少数であり、全体としては適切に対応していると判断できる。ただし、少数ではあるが適切に対応しなかったと回答した学生がいることも考慮すべきである。

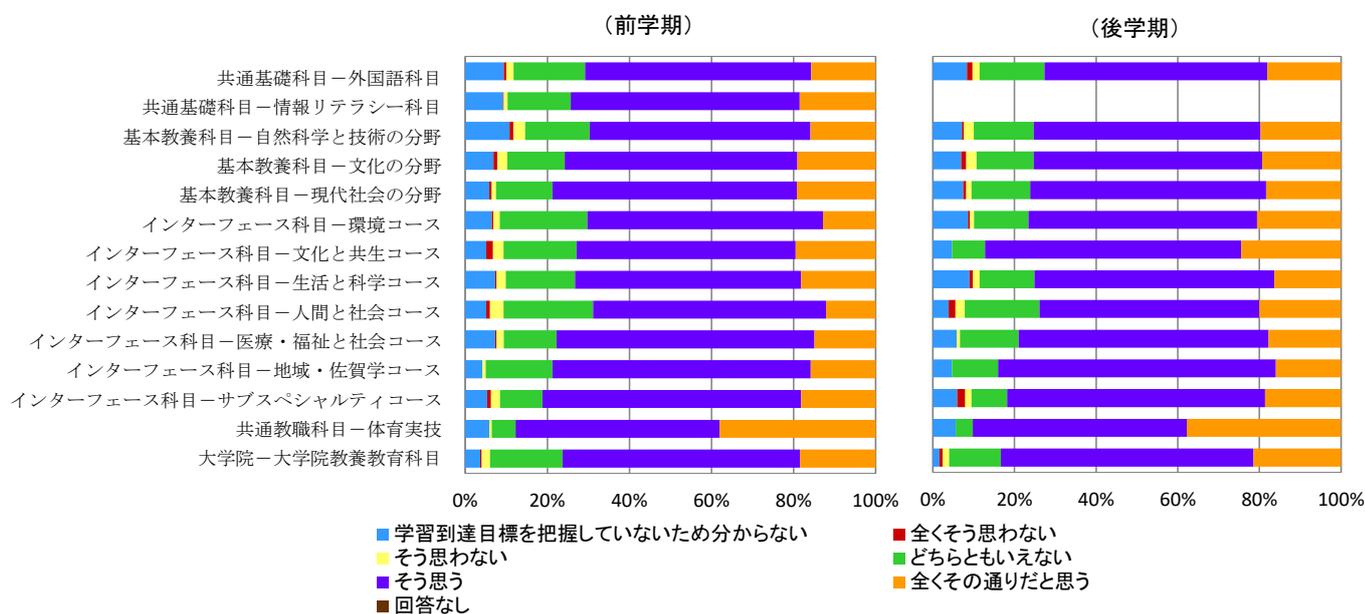
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



全ての科目群においてコロナウイルスの感染拡大を受けて遠隔授業が大半を占めていたものの、徐々に対面授業が大幅に増加している。

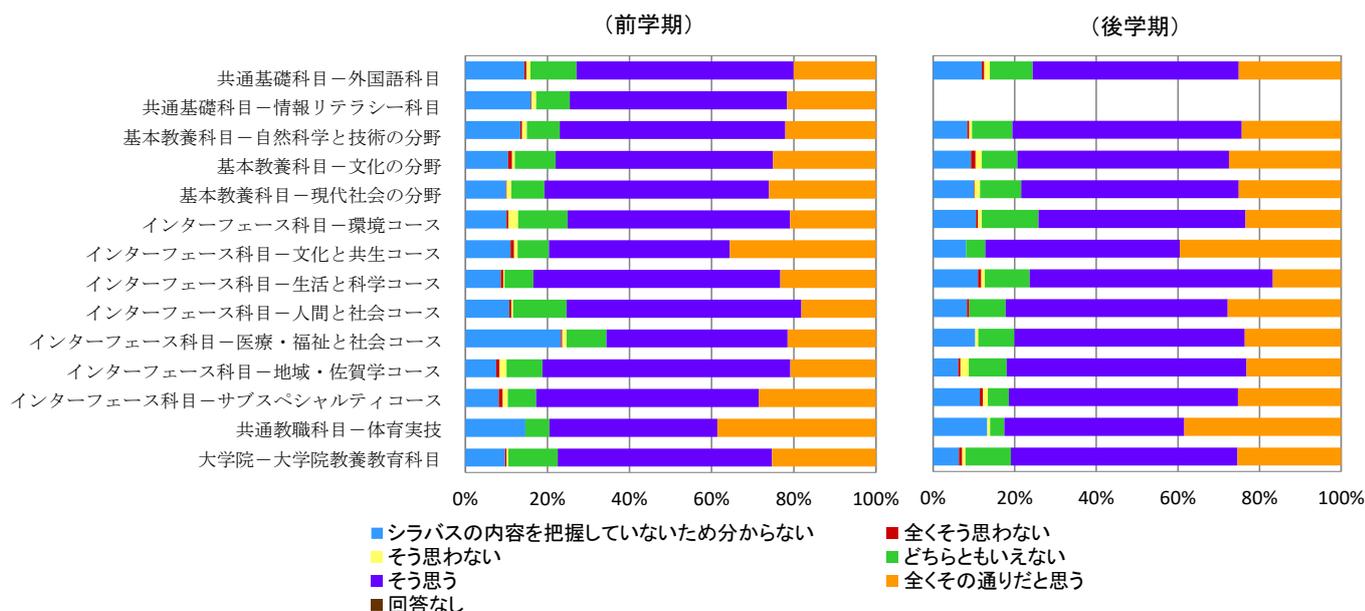
C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



全ての科目群において学習目標を達成したとの回答がおおむね7割以上を占め、授業ごとに設定されている学習目標が達成できる授業内容であったことが伺える。

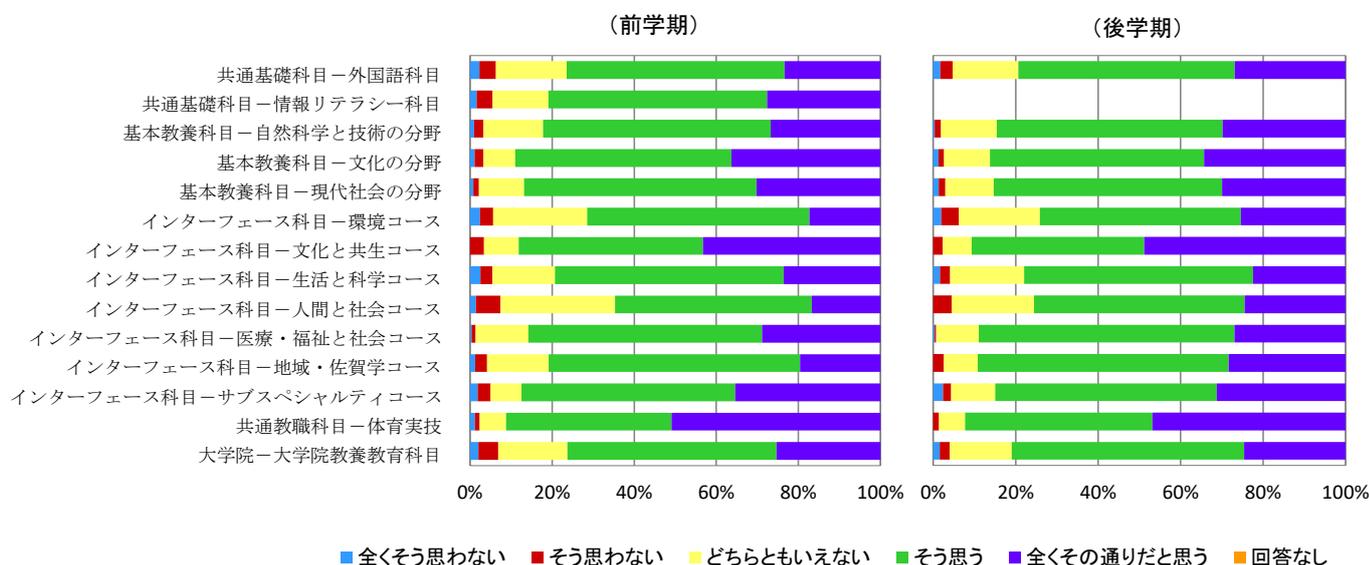
また、学習目標を把握していないという回答も一定数ある。何が目標で授業を受けているのか理解しないまま授業を履修する学生も全ての科目群に存在することは考慮すべきである。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



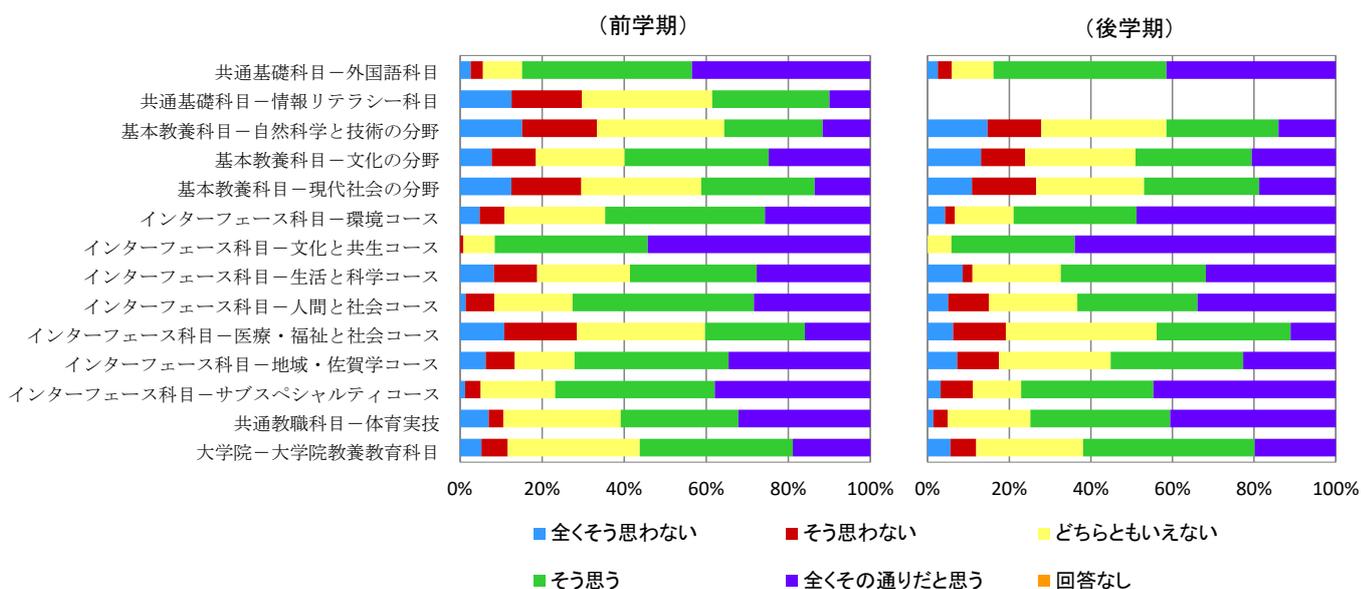
全ての科目群においてシラバスに基づいて実施されたとの回答がおおむね7割以上を占め、シラバスに基づいた授業が実施されたことが伺える。

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



全ての科目群の回答が理解しやすいような工夫を実感したとの回答が概ね7割を占めた。多くの授業科目において、理解を促進する工夫がなされていたと判断できる。一方で工夫がないと回答する学生も少なからず存在することは考慮すべき点である。

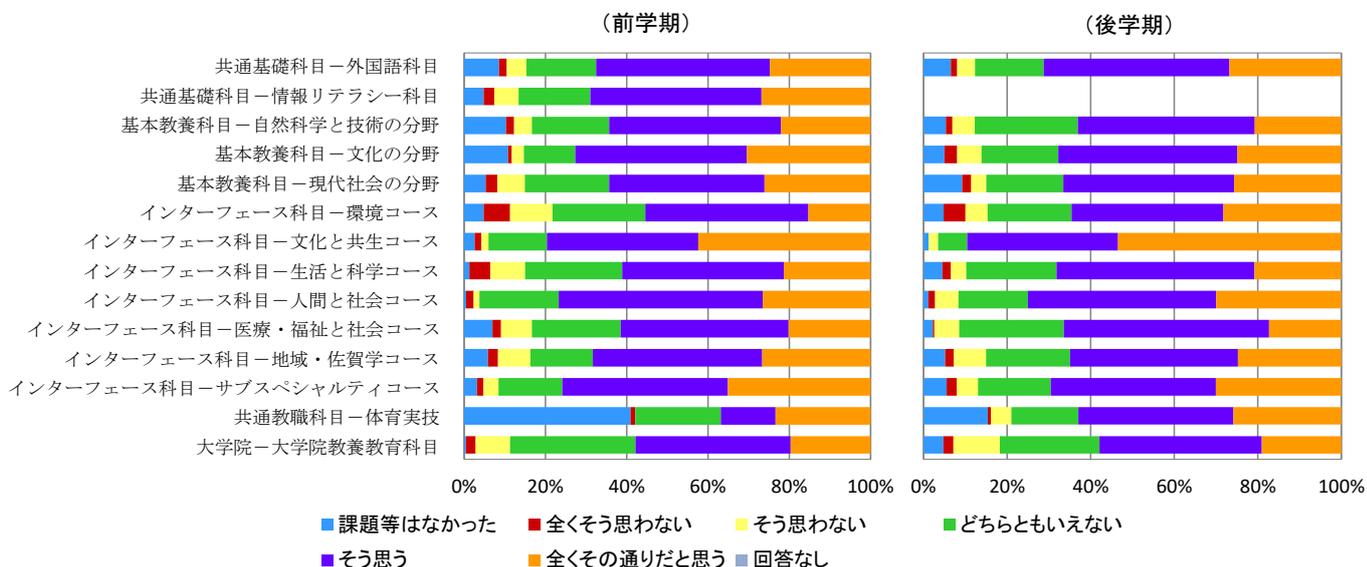
C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



佐賀大学では全ての授業科目でアクティブラーニングを導入することとなっているが、他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」などの活動を全ての授業科目に求めてはいないため、少なからず全くそう思わない、そう思わないという回答が一定数あることは問題ない。

また、遠隔授業の中で他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」などの活動を取り込むことは機器の操作などの難点があるが、前学期の文化と共生コースは遠隔授業と回答した学生が8割近くいたものの、「書く」、「話す」、「発表する」などの活動も他科目群と比較しても高値であり、遠隔授業の中でも他者との「書く」、「話す」、「発表する」などの活動を行う工夫が授業内で実施されたものと推測できる。

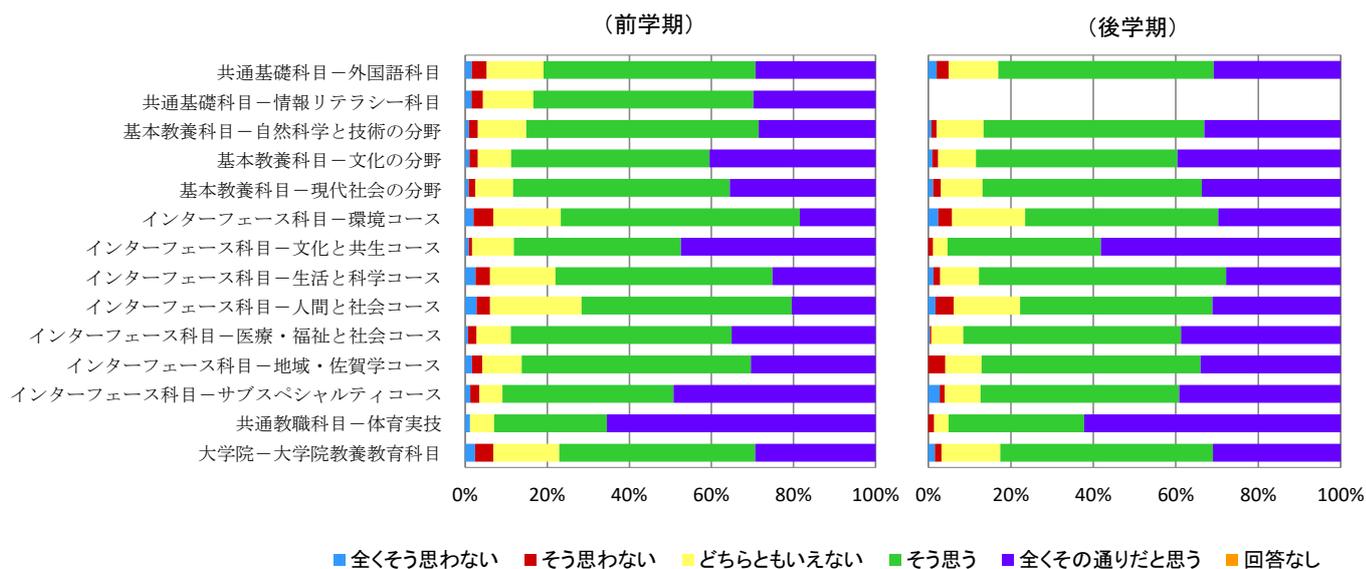
C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



適切なフィードバックや解説がないとの回答は全ての科目群の中に少数ではあるが存在した。どの程度の値が問題となるかならぬかについては判断の基準等が明確ではないため、どのように判断するのかが検討する必要があるものの、フィードバックや解説が適切ではないと認識することは授業に対する満足度の低下にもつながる可能性があるため今後も調査を続ける必要がある。これらの回答の中で突出しているのは実技科目である体育実技の課題等の提出物がなかったと答える割合が他科目群と比較して高値であることである。実技科目であるため課題等の提出物がないとの回答が増えることは問題ないと判断する。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



全体的に概ね8割の回答が授業に対して満足と評価し、満足できる授業内容であったことが推測できる。一方で、満足できるものではなかったとの回答も一定数存在することは常に考慮し、この値を低下させるための授業改善は常に行うべきである。

おわりに

授業アンケートは学生の主観をまとめたものであり授業の実態を完全に反映するものではないことを考慮すべきではあるが、2019年からの授業アンケートの経年変化の結果からは大学全体の授業は健全に開講され、授業改善も確実に実行されているものと考えられる。平成20年度から義務化されたFD活動においても、単なるFD講演会の開催・聴講に留まらず、平成24年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定や参加型FDワークショップの開催などFD活動全般の改善を図っている。その結果、簡易版TPの作成率は平成28年度末時点で100%を達成し、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施される「授業点検・評価報告書」の作成率も100%となっている。今後は、これらの活動を有機的に結び付け、大学全体として教育力の向上を図る必要がある。

令和元年度には前年度に規定された教育コーディネーターを中心とした組織的な教育点検システムの構築が進められ、各教育課程では「教育課程点検・改善実施要項」を定め、教育課程の計画（P）、実行（D）、点検・評価（C）、改善（A）を担当する組織を要項に沿って規定し組織的な内部質保証体制の構築を行った。このシステムを有機的に機能させ、各教員、各部局、大学全体の教育力の向上を図ることを目指している。

佐賀大学学生による授業評価実施要項

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要項に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、学期毎、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げはない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、佐賀大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査項目等)

第6条 授業評価アンケートシステムを利用した調査項目等は別紙のとおりとする。

2 前項に規定する調査項目等を変更する場合（次項の規定により調査項目等を追加する場合を除く。）は、佐賀大学教育委員会において審議する。

3 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 学部が開設する授業科目

(2) 全学教育機構が開設する授業科目

(3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評価アンケートシステムを用いない授業担当者は、佐賀大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教育企画課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、佐賀大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げない。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、授業評価の実施に関して必要な事項は、佐賀大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

- 1 この要項は、平成18年10月1日から実施する。
- 2 この要項は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則（平成22年11月22日改正）

この要項は、平成22年11月22日から実施する。

附 則（平成25年2月5日改正）

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則（平成26年2月18日改正）

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

附 則（平成26年4月25日改正）

この要項は、平成26年4月25日から実施し、平成26年4月1日から適用する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は、令和元年8月21日から実施し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和3年7月9日改正）

この要項は、令和3年7月9日から実施し、令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和4年3月30日改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

別紙（第6条関係）授業アンケート

別紙（第6条関係）授業アンケート（PDF）

佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要項

(平成18年12月22日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要項(平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要項」という。)第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要項に定めるもののほか、この要項の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

(報告)

第2条 授業を担当する教員(非常勤講師を含む。)は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、学期ごとに、教学マネジメントシステムを利用して、授業全体について又は授業科目別に報告する。

2 前項の規定にかかわらず、非常勤講師については、同項中「教学マネジメントシステムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

3 学部又は学科等(以下「教育組織」という。)は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

(1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果

(2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目

(3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

(4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

(5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第3項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

2 前条第1項及び第2項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第3項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。

3 前条第3項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

1 この要項は、平成18年12月22日から実施する。

2 この要項は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない

附 則

この要項は、平成20年2月8日から実施する。

附 則(平成25年9月12日改正)

この要項は、平成25年9月12日から実施する。

附 則(令和元年8月21日改正)

この要項は、令和元年8月21日から実施し、平成31年4月1日から適用する。

付 則(令和5年8月17日改正)

この要項は、令和5年8月18日から実施する。

別紙（第6条関係）

設問Aあなた自身について

設問A-1

出席率はどのくらいですか。 / What is the percentage of your own class attendance during the whole class?

選択肢A-1

・ 20%未満 (under 20%) ・ 20～40%未満 (20～40%) ・ 40～60%未満 (40～60%) ・ 60～80%未満 (60～80%) ・ 80%以上 (more than 80%)

設問A-2

授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。 / How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?

選択肢A-2

・ 全くしていない (0 hours) ・ 1時間未満 (under 1 hour) ・ 1時間程度 (about 1 hour) ・ 2時間程度 (about 2 hours) ・ 3時間以上 (more than 3 hours)

設問A-3

この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。 / Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?

選択肢A-3

・ シラバスを見ていない (no idea) ・ 全く活用しなかった (never) ・ あまり活用しなかった (little) ・ ときどき活用した (sometimes) ・ 活用した (to some extent) ・ 大いに活用した (much)

設問B教員の対応

設問B-1

教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。 / The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.

選択肢B-1

説明がなかった・該当しない (no idea) ・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問B-2

担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。 / The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.

選択肢B-2

・ 質問・相談をしなかった (no idea) ・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C授業内容および授業方法について

設問C-1

この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか。 / Which of the following was closest type for this lecture?

選択肢C-1

資料配布型・・・メールやファイルサービスなどを用いて、資料が配布される方法です（資料・教材の動画や音声などによる解説を含まないもの） / Material distribution type・・・Materials distributed using email, file service, or etc.

授業録画型・・・講義自動録画システムなどを用いて録画した講義を視聴する方法です（Streamによる動画の配信、音声付きPowerPointを含む） / Video on-demand type・・・Content provided through watching a recorded lecture.

同時中継型・・・Webexなどのライブ配信ツールを用いて生放送される講義を受講する方法です / Live lecture type・・・ Content received by joining in a lecture using a live distribution tool such as Webex.

その他の遠隔授業方式 / Other online lecture type.

対面授業だった / It was a face-to-face lecture type.

設問C-2

この授業の学習到達目標を達成できましたか。 / I reached the class objectives.

選択肢C-2

・ 学習到達目標を把握していないため分からない (no idea) ・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-3

授業の内容はシラバスに基づいていましたか。 / The class was conducted based on the syllabus.

選択肢C-3

・ シラバスの内容を把握していないため分からない (no idea) ・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-4

理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか。/Were the classes and materials designed to be easy to understand?

選択肢C-4

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-5

この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか。/To support learning autonomy, the teacher prepared "writing", "speaking", and "presentation" activities with other students.

選択肢C-5

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-6

課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか。/Did you receive effective feedback on your assignments?

選択肢C-6

・課題等はなかった(There were no assignments) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問D 満足度

設問D-1

・この授業は全体として満足できるものでしたか。/ Overall, the class was satisfactory.

選択肢D-1

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

自由記述欄

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。/ Please give your comments about this class freely.

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
教育学部	0.0%	0.0%	1.7%	10.0%	88.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.2%	0.0%	0.5%	10.0%	89.3%	0.0%
経済学部	0.8%	0.6%	1.0%	9.7%	87.9%	0.0%
理工学部	0.5%	0.6%	1.1%	6.9%	90.9%	0.0%
農学部	0.2%	0.1%	0.4%	4.2%	95.1%	0.0%
全学教育機構	0.7%	0.4%	1.3%	8.2%	89.5%	0.0%
学部全体	0.6%	0.5%	1.1%	7.6%	90.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
教育学部	13.3%	34.2%	25.8%	9.2%	17.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	11.4%	29.4%	22.0%	19.2%	18.0%	0.0%
経済学部	12.1%	41.1%	37.6%	7.2%	2.1%	0.0%
理工学部	8.6%	28.2%	38.7%	15.1%	9.5%	0.0%
農学部	9.7%	33.9%	35.7%	12.0%	8.7%	0.0%
全学教育機構	10.4%	36.8%	34.0%	13.2%	5.6%	0.0%
学部全体	9.9%	33.7%	36.1%	13.1%	7.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
教育学部	15.0%	2.5%	22.5%	23.3%	19.2%	17.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	14.5%	4.2%	30.8%	22.7%	18.0%	9.8%	0.0%
経済学部	13.9%	4.8%	23.0%	28.9%	19.8%	9.5%	0.0%
理工学部	12.1%	7.5%	26.2%	27.8%	17.1%	9.4%	0.0%
農学部	17.2%	6.7%	24.2%	26.2%	15.4%	10.3%	0.0%
全学教育機構	12.9%	7.1%	26.1%	28.6%	16.2%	9.0%	0.0%
学部全体	13.2%	6.9%	25.7%	28.0%	16.9%	9.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	2.5%	0.0%	0.8%	6.7%	52.5%	37.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	3.5%	0.5%	0.7%	10.5%	57.2%	27.6%	0.0%
経済学部	2.1%	0.8%	2.1%	14.9%	58.0%	22.2%	0.0%
理工学部	3.4%	0.9%	2.3%	20.5%	54.6%	18.4%	0.0%
農学部	3.8%	0.5%	1.2%	12.5%	56.7%	25.4%	0.0%
全学教育機構	2.8%	0.9%	2.0%	15.7%	54.7%	24.0%	0.0%
学部全体	3.0%	0.8%	2.0%	17.0%	55.3%	21.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	16.7%	0.0%	1.7%	6.7%	35.8%	39.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	18.7%	0.2%	0.5%	3.3%	40.2%	37.1%	0.0%
経済学部	33.6%	0.7%	1.2%	12.8%	34.1%	17.6%	0.0%
理工学部	31.4%	0.7%	1.8%	13.7%	34.3%	18.2%	0.0%
農学部	24.9%	0.4%	0.7%	7.6%	38.9%	27.5%	0.0%
全学教育機構	27.5%	0.7%	1.3%	10.9%	36.0%	23.5%	0.0%
学部全体	29.3%	0.7%	1.4%	11.7%	35.5%	21.4%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.5%	0.2%	24.5%	3.3%	71.5%	0.0%
経済学部	1.3%	0.5%	6.7%	1.3%	90.3%	0.0%
理工学部	7.0%	19.0%	6.7%	3.8%	63.5%	0.0%
農学部	0.5%	1.0%	4.8%	0.6%	93.1%	0.0%
全学教育機構	2.8%	9.8%	14.9%	1.8%	70.7%	0.0%
学部全体	3.9%	11.1%	10.0%	2.4%	72.7%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	7.5%	0.0%	0.0%	5.8%	61.7%	25.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	8.9%	0.2%	0.9%	16.1%	52.3%	21.5%	0.0%
経済学部	7.7%	1.0%	2.8%	17.5%	55.0%	16.0%	0.0%
理工学部	7.1%	0.8%	3.2%	19.0%	55.4%	14.5%	0.0%
農学部	8.7%	0.2%	1.4%	12.0%	57.1%	20.7%	0.0%
全学教育機構	7.9%	0.6%	1.8%	15.6%	56.6%	17.6%	0.0%
学部全体	7.6%	0.7%	2.4%	16.8%	56.0%	16.6%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	17.5%	0.0%	0.0%	10.8%	43.3%	28.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	13.1%	0.5%	1.2%	8.4%	51.4%	25.5%	0.0%

経済学部	13.4%	0.4%	1.2%	8.7%	55.7%	20.6%	0.0%
理工学部	11.4%	0.5%	0.9%	12.7%	56.1%	18.5%	0.0%
農学部	16.1%	0.3%	0.5%	6.8%	52.9%	23.4%	0.0%
全学教育機構	12.7%	0.5%	1.0%	9.3%	53.4%	23.1%	0.0%
学部全体	12.7%	0.4%	0.9%	10.2%	54.6%	21.1%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	0.0%	0.0%	13.3%	43.3%	43.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.2%	1.2%	9.3%	56.3%	32.9%	0.0%
経済学部	1.8%	3.6%	12.8%	57.7%	24.1%	0.0%
理工学部	1.9%	3.5%	18.6%	54.4%	21.6%	0.0%
農学部	1.0%	1.7%	10.2%	54.4%	32.6%	0.0%
全学教育機構	1.5%	3.0%	13.9%	53.8%	27.8%	0.0%
学部全体	1.6%	3.1%	15.1%	54.6%	25.6%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	5.8%	9.2%	19.2%	24.2%	41.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.3%	6.3%	13.3%	38.8%	39.3%	0.0%
経済学部	6.9%	12.6%	30.0%	36.7%	13.9%	0.0%
理工学部	12.5%	12.1%	27.4%	32.5%	15.5%	0.0%
農学部	6.9%	10.5%	25.7%	33.0%	23.8%	0.0%
全学教育機構	8.5%	11.2%	23.2%	32.9%	24.2%	0.0%
学部全体	9.5%	11.6%	25.7%	33.3%	19.9%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	7.5%	0.8%	1.7%	19.2%	35.8%	35.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	10.5%	0.9%	0.7%	9.8%	42.1%	36.0%	0.0%
経済学部	8.3%	1.8%	5.9%	18.9%	45.1%	20.0%	0.0%
理工学部	4.9%	3.4%	7.0%	21.2%	43.3%	20.3%	0.0%
農学部	11.2%	1.5%	4.0%	17.6%	40.8%	24.9%	0.0%
全学教育機構	7.3%	2.3%	5.4%	18.4%	41.0%	25.5%	0.0%
学部全体	6.9%	2.5%	5.8%	19.3%	42.4%	23.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	0.0%	0.8%	5.0%	45.0%	49.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	1.6%	4.2%	53.3%	40.9%	0.0%
経済学部	1.2%	3.3%	11.6%	55.8%	28.1%	0.0%
理工学部	1.7%	3.2%	17.1%	54.1%	23.9%	0.0%
農学部	0.6%	1.6%	8.4%	52.4%	37.0%	0.0%
全学教育機構	1.4%	2.6%	11.7%	51.8%	32.5%	0.0%
学部全体	1.4%	2.8%	13.3%	53.2%	29.4%	0.0%

学部全体（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
教育学部	0.5%	0.0%	0.0%	11.5%	88.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.2%	0.5%	0.6%	6.3%	92.4%	0.0%
経済学部	0.7%	0.3%	3.1%	10.0%	85.8%	0.0%
理工学部	0.6%	0.5%	1.2%	8.8%	88.8%	0.0%
農学部	0.3%	0.1%	0.4%	6.5%	92.7%	0.0%
全学教育機構	1.0%	0.6%	1.2%	10.4%	86.7%	0.0%
学部全体	0.7%	0.5%	1.4%	9.2%	88.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
教育学部	11.0%	31.4%	33.5%	20.4%	3.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	13.5%	27.9%	30.0%	15.3%	13.3%	0.0%
経済学部	9.2%	43.8%	38.3%	6.7%	2.0%	0.0%
理工学部	5.1%	25.8%	42.8%	17.1%	9.1%	0.0%
農学部	10.3%	33.9%	34.6%	12.7%	8.4%	0.0%
全学教育機構	10.3%	37.2%	34.6%	12.5%	5.4%	0.0%
学部全体	8.5%	33.7%	37.8%	13.3%	6.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
教育学部	11.0%	6.3%	22.5%	25.1%	19.4%	15.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	18.4%	8.9%	31.0%	20.0%	10.9%	10.8%	0.0%
経済学部	9.2%	4.7%	25.9%	27.1%	20.1%	13.0%	0.0%
理工学部	9.9%	5.6%	22.5%	31.1%	19.1%	11.8%	0.0%
農学部	13.0%	6.2%	22.9%	24.8%	19.1%	14.1%	0.0%
全学教育機構	10.6%	6.1%	24.3%	30.1%	18.0%	11.1%	0.0%
学部全体	10.7%	5.8%	24.1%	28.9%	18.5%	12.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	2.1%	0.5%	2.1%	10.5%	52.4%	32.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	4.2%	0.6%	1.2%	10.0%	56.1%	28.0%	0.0%
経済学部	2.3%	1.1%	2.2%	12.5%	56.0%	25.8%	0.0%
理工学部	3.3%	1.2%	2.0%	18.1%	53.7%	21.6%	0.0%
農学部	3.5%	0.4%	1.9%	12.9%	50.9%	30.4%	0.0%
全学教育機構	3.1%	0.8%	1.7%	14.6%	54.4%	25.4%	0.0%
学部全体	3.1%	0.9%	1.9%	15.0%	54.2%	24.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	24.1%	0.5%	1.0%	6.3%	34.6%	33.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	17.7%	0.4%	0.6%	4.2%	42.3%	34.9%	0.0%
経済学部	34.3%	0.8%	1.7%	10.1%	33.1%	20.0%	0.0%
理工学部	26.6%	1.0%	1.5%	12.9%	37.0%	21.1%	0.0%
農学部	23.5%	0.4%	1.1%	10.4%	34.0%	30.6%	0.0%
全学教育機構	28.3%	0.6%	1.3%	11.4%	35.3%	23.0%	0.0%
学部全体	27.8%	0.7%	1.4%	11.2%	35.7%	23.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
教育学部	0.5%	3.7%	1.6%	1.6%	92.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.1%	11.9%	1.2%	86.2%	0.0%
経済学部	3.9%	5.7%	33.7%	1.9%	54.7%	0.0%
理工学部	6.0%	7.8%	10.3%	2.4%	73.4%	0.0%
農学部	1.2%	3.8%	3.3%	0.3%	91.5%	0.0%
全学教育機構	5.2%	16.2%	7.8%	1.7%	69.2%	0.0%
学部全体	4.6%	9.4%	12.8%	1.8%	71.4%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	9.9%	0.0%	0.5%	9.4%	53.9%	26.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	9.3%	0.0%	1.2%	8.7%	58.0%	23.0%	0.0%
経済学部	8.3%	0.6%	2.1%	15.5%	55.0%	18.5%	0.0%
理工学部	7.1%	1.3%	2.6%	17.9%	54.6%	16.5%	0.0%
農学部	6.7%	0.7%	1.9%	14.5%	51.2%	24.9%	0.0%
全学教育機構	7.2%	0.9%	1.6%	14.2%	57.0%	19.1%	0.0%
学部全体	7.4%	0.9%	2.1%	15.4%	55.2%	18.9%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	13.1%	0.5%	1.6%	8.9%	47.1%	28.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	15.5%	0.6%	0.7%	7.6%	52.3%	23.3%	0.0%

経済学部	11.5%	0.7%	1.1%	9.0%	54.2%	23.4%	0.0%
理工学部	9.6%	0.8%	1.3%	12.1%	55.1%	21.1%	0.0%
農学部	11.4%	0.2%	0.6%	10.2%	49.0%	28.5%	0.0%
全学教育機構	10.2%	0.5%	1.2%	9.7%	53.1%	25.4%	0.0%
学部全体	10.6%	0.6%	1.1%	10.3%	53.4%	23.8%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	2.1%	5.8%	9.9%	46.1%	36.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.8%	8.4%	56.3%	33.8%	0.0%
経済学部	1.1%	2.3%	11.7%	56.2%	28.7%	0.0%
理工学部	2.0%	3.8%	17.4%	52.3%	24.4%	0.0%
農学部	1.0%	1.7%	12.8%	48.7%	35.9%	0.0%
全学教育機構	1.2%	2.2%	13.5%	53.8%	29.4%	0.0%
学部全体	1.4%	2.7%	14.2%	53.2%	28.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	10.5%	8.4%	16.8%	30.9%	33.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	4.3%	5.7%	14.6%	37.7%	37.6%	0.0%
経済学部	10.0%	10.7%	30.2%	33.4%	15.7%	0.0%
理工学部	10.1%	11.1%	27.4%	34.7%	16.8%	0.0%
農学部	7.6%	10.5%	23.7%	30.2%	27.9%	0.0%
全学教育機構	7.8%	9.1%	21.4%	33.3%	28.4%	0.0%
学部全体	8.8%	10.0%	24.9%	33.6%	22.6%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	4.7%	3.7%	5.2%	16.2%	42.4%	27.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	9.6%	0.6%	1.3%	8.8%	44.5%	35.2%	0.0%
経済学部	8.9%	2.2%	5.3%	17.0%	42.4%	24.3%	0.0%
理工学部	3.4%	2.9%	5.3%	18.3%	44.8%	25.4%	0.0%
農学部	8.2%	1.3%	4.2%	17.5%	38.6%	30.1%	0.0%
全学教育機構	6.3%	2.0%	4.8%	19.0%	42.6%	25.3%	0.0%
学部全体	6.1%	2.2%	4.8%	17.8%	43.0%	26.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	1.0%	2.6%	13.1%	45.0%	38.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.8%	1.1%	4.4%	49.3%	44.4%	0.0%
経済学部	0.9%	2.5%	10.1%	55.1%	31.4%	0.0%
理工学部	2.0%	3.1%	17.1%	50.8%	27.0%	0.0%
農学部	1.1%	1.2%	9.8%	47.5%	40.4%	0.0%
全学教育機構	1.3%	2.1%	10.8%	51.5%	34.4%	0.0%
学部全体	1.5%	2.4%	12.4%	51.3%	32.5%	0.0%

教育学部（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.0%	0.0%	1.7%	10.0%	88.3%	0.0%
幼小連携教育コース	0.5%	0.1%	0.1%	3.5%	95.8%	0.0%
小中連携教育コース	0.3%	0.1%	0.1%	3.3%	96.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	13.3%	34.2%	25.8%	9.2%	17.5%	0.0%
幼小連携教育コース	7.2%	32.4%	35.8%	12.4%	12.1%	0.0%
小中連携教育コース	6.7%	29.7%	34.3%	13.6%	15.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	15.0%	2.5%	22.5%	23.3%	19.2%	17.5%	0.0%
幼小連携教育コース	14.8%	3.9%	23.7%	23.8%	21.2%	12.6%	0.0%
小中連携教育コース	14.6%	4.1%	23.4%	23.0%	21.2%	13.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.5%	0.0%	0.8%	6.7%	52.5%	37.5%	0.0%
幼小連携教育コース	3.1%	0.2%	1.5%	9.8%	51.8%	33.6%	0.0%
小中連携教育コース	2.9%	0.3%	1.3%	9.3%	50.4%	35.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	16.7%	0.0%	1.7%	6.7%	35.8%	39.2%	0.0%
幼小連携教育コース	24.2%	0.6%	0.9%	7.7%	34.7%	31.9%	0.0%
小中連携教育コース	19.7%	0.5%	0.8%	7.2%	34.9%	37.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
全体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
幼小連携教育コース	1.5%	18.3%	10.1%	1.2%	68.9%	0.0%
小中連携教育コース	1.0%	14.3%	7.8%	0.7%	76.2%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないのだから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	7.5%	0.0%	0.0%	5.8%	61.7%	25.0%	0.0%
幼小連携教育コース	6.4%	0.2%	0.7%	8.4%	56.5%	27.8%	0.0%
小中連携教育コース	6.1%	0.1%	0.7%	8.6%	55.2%	29.4%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないのだから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	17.5%	0.0%	0.0%	10.8%	43.3%	28.3%	0.0%
幼小連携教育コース	14.0%	0.2%	0.8%	8.1%	49.6%	27.2%	0.0%
小中連携教育コース	13.5%	0.2%	0.6%	8.5%	48.0%	29.2%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.0%	0.0%	13.3%	43.3%	43.3%	0.0%
幼小連携教育コース	0.7%	1.1%	9.8%	49.3%	39.0%	0.0%
小中連携教育コース	1.0%	1.1%	9.2%	46.7%	42.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	5.8%	9.2%	19.2%	24.2%	41.7%	0.0%
幼小連携教育コース	4.0%	7.1%	21.5%	34.0%	33.4%	0.0%
小中連携教育コース	3.6%	5.7%	16.3%	34.6%	39.9%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	7.5%	0.8%	1.7%	19.2%	35.8%	35.0%	0.0%
幼小連携教育コース	5.6%	1.1%	3.0%	13.1%	39.4%	37.9%	0.0%
小中連携教育コース	6.0%	0.9%	2.8%	11.1%	37.7%	41.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.0%	0.8%	5.0%	45.0%	49.2%	0.0%
幼小連携教育コース	0.5%	1.2%	8.2%	45.5%	44.7%	0.0%
小中連携教育コース	0.8%	1.4%	6.8%	42.5%	48.5%	0.0%

教育学部（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.5%	0.0%	0.0%	11.5%	88.0%	0.0%
幼小連携教育コース	0.4%	0.1%	0.5%	6.7%	92.2%	0.0%
小中連携教育コース	0.3%	0.1%	0.2%	5.7%	93.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	11.0%	31.4%	33.5%	20.4%	3.7%	0.0%
幼小連携教育コース	6.9%	35.1%	39.7%	14.0%	4.3%	0.0%
小中連携教育コース	6.1%	30.7%	39.5%	16.4%	7.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	11.0%	6.3%	22.5%	25.1%	19.4%	15.7%	0.0%
幼小連携教育コース	12.1%	3.1%	21.5%	27.4%	20.7%	15.2%	0.0%
小中連携教育コース	10.5%	3.6%	20.5%	26.5%	20.9%	18.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.1%	0.5%	2.1%	10.5%	52.4%	32.5%	0.0%
幼小連携教育コース	2.5%	0.4%	1.4%	7.6%	53.4%	34.6%	0.0%
小中連携教育コース	1.9%	0.5%	1.4%	7.7%	48.6%	39.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	24.1%	0.5%	1.0%	6.3%	34.6%	33.5%	0.0%
幼小連携教育コース	23.5%	0.2%	0.5%	7.6%	36.4%	31.6%	0.0%
小中連携教育コース	17.1%	0.3%	0.8%	6.7%	37.6%	37.5%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
全体	0.5%	3.7%	1.6%	1.6%	92.7%	0.0%
幼小連携教育コース	0.5%	13.0%	9.3%	1.0%	76.1%	0.0%
小中連携教育コース	0.3%	2.7%	10.8%	0.6%	85.6%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	9.9%	0.0%	0.5%	9.4%	53.9%	26.2%	0.0%
幼小連携教育コース	8.0%	0.2%	0.2%	8.0%	56.4%	27.1%	0.0%
小中連携教育コース	6.6%	0.3%	1.0%	9.0%	53.4%	29.8%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	13.1%	0.5%	1.6%	8.9%	47.1%	28.8%	0.0%
幼小連携教育コース	12.1%	0.1%	0.4%	6.0%	49.6%	31.9%	0.0%
小中連携教育コース	10.2%	0.3%	0.9%	5.9%	48.0%	34.8%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.1%	5.8%	9.9%	46.1%	36.1%	0.0%
幼小連携教育コース	0.3%	1.0%	8.7%	49.6%	40.4%	0.0%
小中連携教育コース	0.6%	1.8%	7.4%	46.9%	43.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	10.5%	8.4%	16.8%	30.9%	33.5%	0.0%
幼小連携教育コース	4.7%	9.4%	18.9%	30.7%	36.2%	0.0%
小中連携教育コース	2.4%	5.5%	13.1%	33.6%	45.4%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	4.7%	3.7%	5.2%	16.2%	42.4%	27.7%	0.0%
幼小連携教育コース	6.7%	0.7%	3.3%	12.8%	39.5%	37.0%	0.0%
小中連携教育コース	4.9%	0.9%	2.3%	9.2%	38.1%	44.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.0%	2.6%	13.1%	45.0%	38.2%	0.0%
幼小連携教育コース	0.4%	0.7%	7.9%	46.1%	44.8%	0.0%
小中連携教育コース	0.7%	1.5%	6.8%	39.9%	51.1%	0.0%

芸術地域デザイン学部（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.2%	0.0%	0.5%	10.0%	89.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	11.4%	29.4%	22.0%	19.2%	18.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	14.5%	4.2%	30.8%	22.7%	18.0%	9.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	3.5%	0.5%	0.7%	10.5%	57.2%	27.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	18.7%	0.2%	0.5%	3.3%	40.2%	37.1%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.5%	0.2%	24.5%	3.3%	71.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	8.9%	0.2%	0.9%	16.1%	52.3%	21.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	13.1%	0.5%	1.2%	8.4%	51.4%	25.5%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.2%	1.2%	9.3%	56.3%	32.9%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.3%	6.3%	13.3%	38.8%	39.3%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	10.5%	0.9%	0.7%	9.8%	42.1%	36.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	1.6%	4.2%	53.3%	40.9%	0.0%

芸術地域デザイン学部（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.2%	0.5%	0.6%	6.3%	92.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	13.5%	27.9%	30.0%	15.3%	13.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	18.4%	8.9%	31.0%	20.0%	10.9%	10.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	4.2%	0.6%	1.2%	10.0%	56.1%	28.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	17.7%	0.4%	0.6%	4.2%	42.3%	34.9%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.1%	11.9%	1.2%	86.2%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	9.3%	0.0%	1.2%	8.7%	58.0%	23.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	15.5%	0.6%	0.7%	7.6%	52.3%	23.3%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.8%	8.4%	56.3%	33.8%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	4.3%	5.7%	14.6%	37.7%	37.6%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	9.6%	0.6%	1.3%	8.8%	44.5%	35.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.8%	1.1%	4.4%	49.3%	44.4%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次科目	0.2%	0.0%	0.2%	4.6%	94.9%	0.0%
経済学科	1.6%	1.1%	2.6%	16.2%	78.6%	0.0%
経営学科	1.2%	0.4%	1.3%	11.3%	85.8%	0.0%
経済法学科	1.0%	1.9%	0.8%	13.3%	83.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次科目	13.3%	43.8%	32.5%	7.6%	2.8%	0.0%
経済学科	11.2%	41.5%	39.5%	6.0%	1.8%	0.0%
経営学科	10.5%	38.3%	41.2%	8.6%	1.3%	0.0%
経済法学科	12.0%	37.6%	43.2%	5.4%	1.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次科目	18.9%	4.2%	21.6%	28.7%	17.3%	9.3%	0.0%
経済学科	10.0%	4.2%	26.0%	28.1%	22.3%	9.3%	0.0%
経営学科	10.8%	5.7%	21.6%	30.4%	21.2%	10.3%	0.0%
経済法学科	10.2%	5.8%	25.7%	27.6%	21.6%	9.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	3.1%	0.5%	2.5%	15.1%	58.1%	20.7%	0.0%
経済学科	1.4%	1.1%	2.3%	17.0%	56.8%	21.4%	0.0%
経営学科	0.9%	0.7%	1.6%	13.2%	58.8%	24.9%	0.0%
経済法学科	1.9%	1.2%	1.7%	14.5%	57.9%	22.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	35.9%	0.8%	1.4%	14.4%	31.2%	16.4%	0.0%
経済学科	34.6%	0.5%	1.1%	13.7%	36.2%	13.9%	0.0%
経営学科	31.8%	0.4%	0.8%	10.9%	35.3%	20.8%	0.0%
経済法学科	29.3%	1.2%	1.7%	10.2%	37.6%	20.1%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
1年次科目	1.8%	0.0%	1.3%	0.1%	96.8%	0.0%
経済学科	1.1%	1.1%	9.3%	1.1%	87.5%	0.0%
経営学科	0.9%	0.9%	8.3%	1.8%	88.0%	0.0%
経済法学科	0.6%	0.4%	15.4%	3.7%	79.9%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないためではない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	8.7%	1.6%	3.8%	19.6%	51.4%	14.9%	0.0%
経済学科	7.9%	0.2%	3.0%	17.6%	55.5%	15.8%	0.0%
経営学科	7.6%	0.3%	0.9%	15.5%	58.2%	17.4%	0.0%
経済法学科	5.0%	1.2%	2.7%	14.9%	59.3%	16.8%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないためではない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	16.5%	0.4%	0.9%	8.5%	54.1%	19.5%	0.0%
経済学科	12.5%	0.2%	1.6%	10.7%	56.9%	18.1%	0.0%
経営学科	11.1%	0.1%	0.7%	7.8%	57.2%	23.2%	0.0%
経済法学科	9.8%	1.2%	2.1%	8.3%	56.2%	22.4%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.4%	4.1%	11.3%	58.9%	23.3%	0.0%
経済学科	0.9%	3.3%	16.3%	59.8%	19.7%	0.0%
経営学科	0.7%	2.1%	12.3%	58.2%	26.7%	0.0%
経済法学科	3.3%	4.8%	13.7%	51.2%	27.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	5.9%	12.7%	30.0%	36.0%	15.4%	0.0%
経済学科	7.2%	12.8%	31.6%	35.0%	13.4%	0.0%
経営学科	5.7%	10.9%	28.3%	41.6%	13.4%	0.0%
経済法学科	11.0%	14.5%	30.7%	32.6%	11.2%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	7.6%	2.5%	6.3%	18.9%	46.6%	18.1%	0.0%
経済学科	12.7%	1.8%	5.8%	22.1%	40.2%	17.4%	0.0%

経営学科	4.9%	1.1%	7.0%	20.0%	46.4%	20.7%	0.0%
経済法学科	10.2%	1.5%	3.3%	13.1%	44.8%	27.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	1.4%	4.8%	11.8%	56.4%	25.7%	0.0%
経済学科	1.1%	2.3%	14.2%	57.3%	25.1%	0.0%
経営学科	0.3%	1.3%	8.8%	57.6%	32.0%	0.0%
経済法学科	2.1%	3.9%	12.7%	49.4%	32.0%	0.0%

経済学部（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次科目	0.4%	0.0%	1.1%	5.7%	92.8%	0.0%
経済学科	1.1%	0.5%	3.9%	10.9%	83.6%	0.0%
経営学科	0.4%	0.2%	2.3%	9.0%	88.1%	0.0%
経済法学科	0.7%	0.3%	3.4%	11.2%	84.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次科目	4.5%	45.1%	38.6%	8.3%	3.4%	0.0%
経済学科	10.1%	43.5%	38.4%	6.0%	2.1%	0.0%
経営学科	9.1%	42.9%	38.3%	7.9%	1.8%	0.0%
経済法学科	9.5%	44.9%	38.1%	5.9%	1.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次科目	6.1%	6.8%	40.5%	26.9%	15.9%	3.8%	0.0%
経済学科	10.1%	4.3%	24.3%	27.0%	20.1%	14.2%	0.0%
経営学科	10.0%	5.0%	25.2%	27.1%	20.9%	11.9%	0.0%
経済法学科	8.1%	4.2%	24.5%	27.6%	20.3%	15.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.0%	1.5%	2.3%	10.2%	64.4%	21.6%	0.0%
経済学科	2.7%	0.6%	2.1%	13.8%	53.9%	26.9%	0.0%
経営学科	2.3%	0.9%	2.3%	12.2%	56.9%	25.5%	0.0%
経済法学科	2.5%	1.7%	2.4%	11.7%	55.6%	26.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	29.9%	1.9%	2.3%	14.4%	30.7%	20.8%	0.0%
経済学科	36.0%	0.6%	1.8%	10.4%	32.3%	19.0%	0.0%
経営学科	36.8%	0.8%	1.0%	9.3%	33.5%	18.7%	0.0%
経済法学科	30.3%	0.7%	2.3%	9.5%	34.6%	22.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
1年次科目	0.8%	0.4%	96.2%	2.3%	0.4%	0.0%
経済学科	3.4%	7.5%	24.4%	1.7%	63.1%	0.0%
経営学科	7.7%	9.4%	33.1%	1.8%	48.1%	0.0%
経済法学科	1.4%	0.6%	28.9%	2.3%	66.8%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないためではない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	4.5%	0.4%	1.5%	15.9%	68.2%	9.5%	0.0%
経済学科	9.4%	1.0%	2.7%	15.0%	52.5%	19.4%	0.0%
経営学科	8.2%	0.3%	1.4%	14.4%	56.1%	19.6%	0.0%
経済法学科	8.0%	0.6%	2.1%	17.3%	53.4%	18.6%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないためではない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	9.5%	0.4%	0.0%	7.6%	62.9%	19.7%	0.0%
経済学科	11.9%	0.6%	1.4%	9.4%	52.1%	24.5%	0.0%
経営学科	12.6%	0.0%	0.6%	8.7%	54.7%	23.4%	0.0%
経済法学科	10.3%	1.8%	1.7%	9.4%	53.8%	23.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.8%	1.9%	10.6%	61.0%	25.8%	0.0%
経済学科	1.1%	2.7%	12.9%	54.5%	28.8%	0.0%
経営学科	0.9%	2.1%	10.7%	55.9%	30.5%	0.0%
経済法学科	1.4%	2.1%	11.7%	57.4%	27.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	4.5%	7.6%	21.2%	49.6%	17.0%	0.0%
経済学科	8.9%	9.7%	27.8%	36.8%	16.9%	0.0%
経営学科	12.5%	11.8%	31.6%	28.7%	15.4%	0.0%
経済法学科	10.4%	11.8%	34.9%	29.1%	13.8%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.0%	0.8%	1.1%	6.8%	54.5%	36.7%	0.0%
経済学科	10.5%	2.4%	5.0%	16.4%	42.2%	23.6%	0.0%

経営学科	7.8%	2.6%	6.5%	21.0%	40.1%	22.0%	0.0%
経済法学科	10.6%	1.8%	5.5%	16.4%	41.6%	24.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	1.1%	1.1%	5.7%	67.4%	24.6%	0.0%
経済学科	0.6%	3.0%	12.1%	53.5%	30.8%	0.0%
経営学科	0.8%	2.0%	8.5%	54.1%	34.7%	0.0%
経済法学科	1.5%	2.6%	10.6%	54.8%	30.4%	0.0%

経済学部（令和4年度前学期） 科目分類ごと

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
基本科目	0.2%	0.0%	0.2%	4.6%	94.9%	0.0%
基幹科目	1.0%	0.6%	1.8%	11.3%	85.3%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
展開科目	1.4%	1.0%	0.9%	15.5%	81.2%	0.0%
コア科目	1.7%	2.6%	3.1%	15.3%	77.3%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後にいったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
基本科目	13.3%	43.8%	32.5%	7.6%	2.8%	0.0%
基幹科目	11.6%	42.6%	37.7%	6.4%	1.7%	0.0%
基礎科目	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
展開科目	11.2%	36.9%	43.3%	7.2%	1.4%	0.0%
コア科目	9.6%	32.8%	48.0%	7.9%	1.7%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
基本科目	18.9%	4.2%	21.6%	28.7%	17.3%	9.3%	0.0%
基幹科目	8.8%	4.7%	23.5%	30.0%	20.3%	12.7%	0.0%
基礎科目	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
展開科目	11.3%	5.5%	24.4%	28.6%	23.4%	6.9%	0.0%
コア科目	13.5%	7.0%	25.8%	25.8%	21.4%	6.6%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	3.1%	0.5%	2.5%	15.1%	58.1%	20.7%	0.0%
基幹科目	0.8%	1.0%	2.0%	13.8%	56.3%	26.1%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
展開科目	2.0%	1.1%	1.7%	15.6%	59.4%	20.1%	0.0%
コア科目	1.3%	0.0%	1.3%	16.2%	59.4%	21.8%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	35.9%	0.8%	1.4%	14.4%	31.2%	16.4%	0.0%
基幹科目	28.5%	0.8%	1.0%	11.3%	35.7%	22.7%	0.0%
基礎科目	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
展開科目	34.1%	0.7%	1.4%	12.1%	37.4%	14.2%	0.0%
コア科目	38.4%	0.0%	0.4%	11.8%	34.1%	15.3%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
基本科目	1.8%	0.0%	1.3%	0.1%	96.8%	0.0%
基幹科目	1.1%	1.0%	13.0%	2.7%	82.2%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
展開科目	0.3%	0.9%	9.2%	1.9%	87.8%	0.0%
コア科目	1.7%	0.0%	5.2%	0.4%	92.6%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/把握が不十分	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	8.7%	1.6%	3.8%	19.6%	51.4%	14.9%	0.0%
基幹科目	7.0%	0.8%	1.6%	14.4%	57.4%	18.8%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
展開科目	7.0%	0.3%	2.3%	17.8%	57.2%	15.4%	0.0%
コア科目	7.0%	0.0%	3.1%	17.0%	59.4%	13.5%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない/把握が不十分	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	16.5%	0.4%	0.9%	8.5%	54.1%	19.5%	0.0%
基幹科目	9.4%	0.9%	2.0%	9.0%	55.2%	23.4%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
展開科目	12.2%	0.0%	0.9%	8.9%	58.0%	20.1%	0.0%
コア科目	14.8%	0.0%	0.0%	8.3%	59.4%	17.5%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

基本科目	2.4%	4.1%	11.3%	58.9%	23.3%	0.0%
基幹科目	1.7%	3.3%	11.6%	55.0%	28.4%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
展開科目	1.6%	3.6%	17.1%	57.5%	20.2%	0.0%
コア科目	0.0%	1.3%	12.7%	61.1%	24.9%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	5.9%	12.7%	30.0%	36.0%	15.4%	0.0%
基幹科目	7.2%	12.6%	30.7%	36.6%	13.0%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
展開科目	7.0%	11.8%	30.7%	38.0%	12.5%	0.0%
コア科目	10.9%	14.4%	25.8%	36.2%	12.7%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	7.6%	2.5%	6.3%	18.9%	46.6%	18.1%	0.0%
基幹科目	7.4%	1.4%	5.1%	15.5%	45.9%	24.8%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
展開科目	10.5%	1.7%	7.5%	25.0%	40.5%	14.9%	0.0%
コア科目	8.7%	0.4%	2.2%	13.5%	47.2%	27.9%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	1.4%	4.8%	11.8%	56.4%	25.7%	0.0%
基幹科目	1.1%	2.2%	11.0%	50.7%	35.0%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
展開科目	1.1%	2.9%	11.9%	59.1%	25.0%	0.0%
コア科目	0.0%	1.3%	12.7%	61.1%	24.9%	0.0%
融合科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部（令和4年度後学期） 科目分類ごと

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	0.6%	0.4%	2.7%	10.2%	86.1%	0.0%
基礎科目	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%
展開科目	2.1%	0.4%	4.6%	12.1%	80.9%	0.0%
コア科目	0.7%	0.0%	5.4%	11.4%	82.6%	0.0%
融合科目	0.6%	0.2%	3.0%	9.0%	87.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	8.9%	46.0%	36.2%	6.9%	2.1%	0.0%
基礎科目	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%
展開科目	10.6%	47.5%	35.8%	5.0%	1.1%	0.0%
コア科目	9.4%	40.9%	41.6%	6.7%	1.3%	0.0%
融合科目	9.2%	41.0%	41.1%	6.6%	2.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	10.9%	4.9%	25.7%	27.0%	20.7%	10.7%	0.0%
基礎科目	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
展開科目	9.6%	2.5%	24.8%	30.9%	19.5%	12.8%	0.0%
コア科目	6.7%	5.4%	32.9%	27.5%	14.8%	12.8%	0.0%
融合科目	7.5%	4.8%	25.6%	26.5%	19.9%	15.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	2.4%	0.5%	1.6%	11.7%	58.6%	25.2%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
展開科目	1.8%	0.4%	1.1%	14.2%	57.8%	24.8%	0.0%
コア科目	0.7%	0.7%	0.7%	10.7%	57.0%	30.2%	0.0%
融合科目	2.5%	1.9%	3.5%	13.3%	52.5%	26.4%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	35.1%	0.7%	1.6%	11.0%	32.6%	18.9%	0.0%
基礎科目	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%
展開科目	35.1%	0.4%	1.4%	7.4%	34.8%	20.9%	0.0%
コア科目	36.9%	0.0%	1.3%	5.4%	33.6%	22.8%	0.0%
融合科目	32.9%	1.0%	1.9%	10.1%	33.2%	20.8%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	1.9%	5.7%	37.4%	2.6%	52.4%	0.0%
基礎科目	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
展開科目	0.7%	0.0%	2.8%	0.7%	95.7%	0.0%
コア科目	0.0%	3.4%	27.5%	0.0%	69.1%	0.0%
融合科目	7.3%	6.9%	36.7%	1.6%	47.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/把握が不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	8.6%	0.4%	1.4%	13.4%	58.4%	17.8%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%
展開科目	8.2%	1.4%	1.1%	15.2%	55.0%	19.1%	0.0%
コア科目	4.7%	0.0%	2.7%	19.5%	52.3%	20.8%	0.0%
融合科目	8.4%	0.8%	2.9%	17.7%	51.3%	18.9%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない/把握が不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	11.9%	0.1%	0.7%	7.6%	57.0%	22.7%	0.0%
基礎科目	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
展開科目	11.7%	0.7%	0.0%	8.5%	53.2%	25.9%	0.0%
コア科目	8.7%	0.0%	0.7%	10.7%	51.0%	28.9%	0.0%
融合科目	11.3%	1.6%	1.9%	10.7%	51.4%	23.1%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	0.7%	2.0%	11.3%	57.9%	28.1%	0.0%
基礎科目	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%
展開科目	0.7%	1.8%	13.1%	55.7%	28.7%	0.0%
コア科目	0.7%	0.0%	9.4%	55.7%	34.2%	0.0%
融合科目	1.6%	3.0%	12.1%	54.4%	28.9%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	7.8%	10.2%	28.6%	36.5%	16.8%	0.0%
基礎科目	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%
展開科目	11.3%	12.4%	32.3%	30.9%	13.1%	0.0%
コア科目	8.7%	10.1%	30.2%	30.9%	20.1%	0.0%
融合科目	12.6%	10.9%	31.7%	30.4%	14.4%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	7.8%	1.5%	4.1%	13.3%	44.7%	28.6%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
展開科目	13.5%	3.2%	6.0%	23.4%	38.3%	15.6%	0.0%
コア科目	8.1%	0.7%	3.4%	20.8%	40.3%	26.8%	0.0%
融合科目	9.3%	3.0%	6.7%	19.7%	40.7%	20.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基幹科目	0.6%	2.1%	9.0%	57.9%	30.4%	0.0%
基礎科目	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
展開科目	0.4%	1.4%	10.3%	52.1%	35.8%	0.0%
コア科目	0.0%	2.0%	6.7%	55.0%	36.2%	0.0%
融合科目	1.6%	3.2%	11.7%	52.4%	31.1%	0.0%

理工学部（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	88.9%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%
都市工学科	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	90.0%	0.0%
理工学科	0.2%	0.4%	1.2%	7.4%	90.7%	0.0%
数理	0.3%	0.0%	2.0%	15.3%	82.4%	0.0%
物理	3.1%	5.3%	4.7%	14.0%	72.9%	0.0%
知能・情報	0.6%	0.1%	0.2%	2.2%	96.9%	0.0%
機械・メカ	0.4%	0.4%	0.7%	4.7%	93.8%	0.0%
電気・電子	0.1%	0.8%	0.5%	9.1%	89.4%	0.0%
基盤・建築	1.4%	0.7%	1.8%	6.5%	89.5%	0.0%
生命・応用	0.0%	0.2%	0.6%	3.8%	95.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	11.1%	11.1%	55.6%	22.2%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	22.2%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	8.3%	66.7%	0.0%	25.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%
都市工学科	10.0%	50.0%	20.0%	5.0%	15.0%	0.0%
理工学科	9.8%	31.3%	39.8%	14.8%	4.4%	0.0%
数理	5.0%	26.9%	49.8%	11.3%	7.0%	0.0%
物理	8.1%	33.6%	32.7%	16.2%	9.3%	0.0%
知能・情報	3.4%	19.9%	38.8%	23.5%	14.4%	0.0%
機械・メカ	17.8%	31.4%	32.6%	10.4%	7.9%	0.0%
電気・電子	2.1%	22.3%	51.0%	11.6%	13.0%	0.0%
基盤・建築	7.4%	29.9%	32.4%	14.8%	15.5%	0.0%
生命・応用	2.0%	19.4%	37.8%	22.3%	18.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
機能物質化学科	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
電気電子工学科	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
都市工学科	15.0%	5.0%	30.0%	15.0%	15.0%	20.0%	0.0%
理工学科	13.6%	10.1%	28.8%	24.8%	15.9%	6.9%	0.0%
数理	9.0%	7.3%	32.2%	27.6%	14.0%	10.0%	0.0%
物理	12.8%	9.0%	21.2%	20.6%	17.8%	18.7%	0.0%
知能・情報	11.7%	6.1%	27.3%	23.1%	18.7%	12.9%	0.0%
機械・メカ	14.0%	7.7%	23.9%	28.2%	17.9%	8.3%	0.0%
電気・電子	8.1%	5.2%	23.2%	36.9%	18.2%	8.4%	0.0%
基盤・建築	9.4%	4.4%	20.4%	36.6%	19.3%	9.9%	0.0%
生命・応用	10.6%	2.2%	28.0%	28.7%	15.8%	14.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
電気電子工学科	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%
理工学科	4.1%	0.6%	2.7%	24.7%	55.2%	12.6%	0.0%
数理	2.3%	0.7%	1.0%	17.3%	51.8%	26.9%	0.0%
物理	1.6%	0.3%	0.9%	18.4%	45.8%	33.0%	0.0%
知能・情報	2.7%	0.8%	1.6%	12.9%	56.9%	25.1%	0.0%
機械・メカ	6.3%	1.1%	3.1%	22.9%	51.5%	15.1%	0.0%
電気・電子	0.7%	0.8%	2.0%	15.0%	62.0%	19.5%	0.0%
基盤・建築	1.8%	1.0%	1.1%	17.3%	54.6%	24.1%	0.0%
生命・応用	2.3%	1.8%	3.1%	17.5%	52.7%	22.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	-------------	----------	--------	-----------	------	------------	------

数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	44.4%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%
都市工学科	15.0%	5.0%	0.0%	20.0%	5.0%	55.0%	0.0%	0.0%
理工学科	46.9%	0.6%	1.8%	13.8%	27.3%	9.6%	0.0%	0.0%
数理	23.6%	1.0%	0.0%	8.3%	42.2%	24.9%	0.0%	0.0%
物理	23.4%	0.3%	1.9%	13.4%	28.0%	33.0%	0.0%	0.0%
知能・情報	20.5%	0.5%	1.2%	10.1%	37.9%	29.8%	0.0%	0.0%
機械・メカ	26.0%	1.1%	2.6%	17.2%	37.6%	15.6%	0.0%	0.0%
電気・電子	18.2%	0.6%	1.9%	13.6%	43.0%	22.7%	0.0%	0.0%
基盤・建築	19.4%	0.5%	1.3%	13.6%	41.3%	24.0%	0.0%	0.0%
生命・応用	19.0%	1.7%	2.3%	13.8%	39.5%	23.7%	0.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
機械システム工学科	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	83.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	75.0%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	95.0%	0.0%
理工学科	9.3%	35.7%	0.4%	3.8%	50.8%	0.0%
数理	5.3%	1.7%	17.6%	2.3%	73.1%	0.0%
物理	1.6%	2.5%	0.0%	0.0%	96.0%	0.0%
知能・情報	7.4%	18.7%	9.5%	7.9%	56.5%	0.0%
機械・メカ	13.7%	8.4%	4.5%	7.5%	66.0%	0.0%
電気・電子	0.6%	2.0%	10.4%	1.1%	85.9%	0.0%
基盤・建築	1.2%	9.7%	25.5%	1.2%	62.3%	0.0%
生命・応用	0.6%	4.0%	5.2%	0.8%	89.4%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/そのほか	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	83.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%
都市工学科	0.0%	5.0%	5.0%	35.0%	10.0%	45.0%	0.0%
理工学科	10.1%	0.7%	2.5%	19.1%	57.0%	10.7%	0.0%
数理	3.7%	0.7%	2.3%	20.3%	56.5%	16.6%	0.0%
物理	8.1%	1.2%	5.9%	20.9%	39.6%	24.3%	0.0%
知能・情報	5.5%	0.8%	1.9%	14.6%	55.0%	22.2%	0.0%
機械・メカ	8.3%	0.7%	1.9%	19.8%	55.8%	13.4%	0.0%
電気・電子	2.5%	0.9%	5.5%	19.3%	59.4%	12.3%	0.0%
基盤・建築	3.6%	0.7%	4.0%	20.7%	55.4%	15.6%	0.0%
生命・応用	2.9%	1.1%	6.1%	18.7%	50.7%	20.4%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/そのほか	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
電気電子工学科	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%
都市工学科	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	15.0%	55.0%	0.0%
理工学科	14.9%	0.3%	0.8%	13.0%	57.6%	13.3%	0.0%
数理	8.6%	0.7%	1.0%	15.9%	52.2%	21.6%	0.0%
物理	12.1%	0.0%	0.3%	15.3%	40.8%	31.5%	0.0%
知能・情報	9.0%	0.5%	0.8%	7.9%	56.9%	24.9%	0.0%
機械・メカ	11.8%	1.0%	1.5%	14.9%	54.5%	16.4%	0.0%
電気・電子	7.3%	0.1%	0.9%	11.3%	58.9%	21.6%	0.0%
基盤・建築	7.1%	0.3%	0.3%	12.0%	58.3%	22.1%	0.0%
生命・応用	8.4%	0.9%	1.4%	12.7%	54.2%	22.3%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%

知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%	44.4%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
都市工学科	5.0%	0.0%	25.0%	10.0%	60.0%	0.0%
理工学科	1.9%	4.2%	19.7%	56.5%	17.7%	0.0%
数理	1.0%	4.3%	17.3%	50.8%	26.6%	0.0%
物理	1.2%	2.2%	17.4%	44.9%	34.3%	0.0%
知能・情報	2.0%	2.8%	15.3%	49.8%	30.0%	0.0%
機械・メカ	2.3%	3.7%	23.4%	53.6%	16.9%	0.0%
電気・電子	0.9%	2.0%	15.2%	60.6%	21.2%	0.0%
基盤・建築	1.1%	2.9%	16.3%	55.0%	24.7%	0.0%
生命・応用	4.5%	3.5%	17.1%	49.3%	25.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
機能物質化学科	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
電気電子工学科	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%
都市工学科	5.0%	5.0%	30.0%	5.0%	55.0%	0.0%
理工学科	19.9%	17.8%	29.4%	26.4%	6.5%	0.0%
数理	4.0%	7.6%	26.2%	36.5%	25.6%	0.0%
物理	6.5%	9.7%	21.5%	31.5%	30.8%	0.0%
知能・情報	10.5%	12.1%	21.7%	31.1%	24.5%	0.0%
機械・メカ	9.4%	7.7%	30.3%	36.6%	16.0%	0.0%
電気・電子	6.2%	8.4%	24.6%	42.1%	18.6%	0.0%
基盤・建築	6.5%	7.3%	26.8%	38.6%	20.8%	0.0%
生命・応用	6.6%	6.6%	28.4%	36.6%	21.8%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
機能物質化学科	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	44.4%	0.0%
機械システム工学科	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	83.3%	0.0%
電気電子工学科	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	15.0%	55.0%	0.0%
理工学科	4.3%	5.4%	10.6%	25.3%	41.3%	13.2%	0.0%
数理	13.3%	1.0%	2.0%	15.3%	39.9%	28.6%	0.0%
物理	4.4%	2.2%	4.4%	20.9%	34.9%	33.3%	0.0%
知能・情報	2.7%	2.3%	5.5%	14.9%	47.3%	27.4%	0.0%
機械・メカ	6.5%	3.1%	6.8%	24.8%	41.5%	17.3%	0.0%
電気・電子	1.3%	1.3%	3.4%	13.4%	50.3%	30.4%	0.0%
基盤・建築	6.2%	0.6%	3.1%	18.0%	48.7%	23.5%	0.0%
生命・応用	6.3%	3.7%	5.5%	18.4%	42.1%	24.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
都市工学科	5.0%	0.0%	25.0%	15.0%	55.0%	0.0%
理工学科	1.5%	4.2%	18.2%	57.1%	19.1%	0.0%
数理	0.7%	3.0%	14.6%	50.5%	31.2%	0.0%
物理	1.2%	2.8%	18.7%	40.5%	36.8%	0.0%
知能・情報	2.8%	2.8%	11.5%	52.2%	30.7%	0.0%
機械・メカ	2.3%	2.3%	22.7%	52.6%	20.1%	0.0%
電気・電子	0.7%	1.5%	14.2%	55.8%	27.8%	0.0%
基盤・建築	0.7%	2.9%	14.4%	55.3%	26.8%	0.0%
生命・応用	3.8%	3.2%	16.4%	49.6%	26.9%	0.0%

理工学部（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学科	7.7%	0.0%	0.0%	61.5%	30.8%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
理工学科	0.6%	0.4%	1.4%	8.6%	89.0%	0.0%
数理	0.0%	0.0%	2.1%	13.2%	84.7%	0.0%
物理	3.9%	1.0%	4.8%	15.9%	74.4%	0.0%
知能・情報	0.5%	0.5%	0.5%	6.8%	91.8%	0.0%
機械・メカ	1.0%	0.8%	1.5%	6.0%	90.7%	0.0%
電気・電子	0.5%	0.2%	0.7%	15.5%	83.1%	0.0%
基盤・建築	0.0%	0.9%	0.4%	8.5%	90.3%	0.0%
生命・応用	0.2%	0.4%	0.8%	2.5%	96.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学科	7.7%	15.4%	38.5%	30.8%	7.7%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
都市工学科	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
理工学科	5.3%	26.9%	44.7%	17.7%	5.4%	0.0%
数理	3.2%	14.7%	56.3%	15.3%	10.5%	0.0%
物理	5.3%	29.0%	37.7%	18.4%	9.7%	0.0%
知能・情報	2.9%	16.0%	38.0%	22.5%	20.6%	0.0%
機械・メカ	6.9%	30.7%	37.7%	13.9%	10.7%	0.0%
電気・電子	5.6%	27.7%	44.5%	12.7%	9.4%	0.0%
基盤・建築	6.7%	30.3%	37.0%	11.4%	14.6%	0.0%
生命・応用	3.5%	22.0%	43.7%	20.2%	10.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学科	7.7%	23.1%	30.8%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	44.4%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
機械システム工学科	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
理工学科	9.2%	5.4%	23.8%	31.6%	18.2%	11.7%	0.0%
数理	11.1%	5.8%	23.2%	28.9%	18.4%	12.6%	0.0%
物理	12.1%	9.7%	20.8%	19.3%	19.3%	18.8%	0.0%
知能・情報	12.2%	8.2%	19.8%	27.9%	20.1%	11.7%	0.0%
機械・メカ	9.9%	4.1%	15.2%	31.4%	24.8%	14.5%	0.0%
電気・電子	9.1%	5.1%	29.3%	31.9%	16.4%	8.2%	0.0%
基盤・建築	12.5%	4.9%	16.8%	35.6%	22.9%	7.4%	0.0%
生命・応用	9.0%	4.7%	23.1%	31.6%	15.7%	15.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
知能情報システム学科	7.7%	0.0%	7.7%	23.1%	61.5%	0.0%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
理工学科	3.6%	0.8%	2.0%	20.7%	52.9%	20.0%	0.0%
数理	4.7%	0.5%	2.6%	16.8%	45.3%	30.0%	0.0%
物理	3.4%	0.5%	0.0%	13.5%	46.4%	36.2%	0.0%
知能・情報	5.4%	0.5%	2.2%	14.7%	52.8%	24.4%	0.0%
機械・メカ	2.1%	2.1%	3.6%	16.0%	55.2%	20.8%	0.0%
電気・電子	1.4%	2.3%	1.9%	17.6%	54.8%	22.0%	0.0%
基盤・建築	2.9%	1.4%	1.3%	13.5%	61.0%	19.9%	0.0%
生命・応用	2.2%	3.1%	2.2%	14.7%	55.9%	22.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	-------------	----------	--------	-----------	------	------------	------

数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学科	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	61.5%	0.0%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	77.8%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
都市工学科	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
理工学科	30.8%	0.6%	1.6%	14.1%	34.5%	18.4%	0.0%
数理	33.7%	0.0%	1.1%	9.5%	33.7%	22.1%	0.0%
物理	23.2%	0.0%	0.0%	8.7%	32.4%	35.7%	0.0%
知能・情報	20.3%	1.0%	0.8%	11.1%	39.3%	27.6%	0.0%
機械・メカ	17.7%	1.3%	3.0%	12.9%	38.3%	26.8%	0.0%
電気・電子	20.4%	1.9%	1.0%	13.4%	42.8%	20.4%	0.0%
基盤・建築	26.0%	0.7%	1.4%	11.9%	41.9%	18.1%	0.0%
生命・応用	24.5%	2.9%	1.2%	9.6%	40.0%	21.8%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数理科学科	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%
物理科学科	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%
知能情報システム学科	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	61.5%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
機械システム工学科	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気電子工学科	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
理工学科	9.0%	11.2%	12.8%	3.0%	64.0%	0.0%
数理	7.4%	1.6%	13.2%	0.5%	77.4%	0.0%
物理	1.0%	1.4%	0.0%	0.0%	97.6%	0.0%
知能・情報	10.6%	14.1%	18.7%	7.9%	48.7%	0.0%
機械・メカ	0.2%	0.7%	7.6%	0.5%	91.1%	0.0%
電気・電子	0.5%	7.0%	0.0%	0.2%	92.3%	0.0%
基盤・建築	0.5%	0.0%	11.6%	1.1%	86.8%	0.0%
生命・応用	0.8%	0.2%	0.2%	0.2%	98.6%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/そのほか	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学科	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	61.5%	0.0%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
都市工学科	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学科	7.8%	0.7%	2.3%	19.5%	54.0%	15.6%	0.0%
数理	3.7%	0.5%	2.1%	17.9%	54.2%	21.6%	0.0%
物理	7.7%	3.4%	6.3%	14.5%	45.9%	22.2%	0.0%
知能・情報	7.1%	1.4%	1.7%	16.5%	53.1%	20.1%	0.0%
機械・メカ	5.1%	3.0%	3.0%	11.9%	58.3%	18.7%	0.0%
電気・電子	6.6%	1.0%	3.3%	20.2%	54.3%	14.5%	0.0%
基盤・建築	7.2%	0.4%	2.2%	14.4%	62.3%	13.5%	0.0%
生命・応用	6.3%	3.1%	3.5%	18.6%	51.6%	16.9%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/そのほか	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学科	15.4%	0.0%	0.0%	30.8%	46.2%	7.7%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
理工学科	10.0%	0.7%	0.8%	13.1%	55.2%	20.2%	0.0%
数理	8.4%	1.1%	1.1%	10.0%	53.7%	25.8%	0.0%
物理	14.0%	0.0%	1.0%	6.8%	46.9%	31.4%	0.0%
知能・情報	11.1%	0.6%	1.4%	11.4%	51.2%	24.2%	0.0%
機械・メカ	7.4%	1.0%	3.5%	11.7%	56.2%	20.2%	0.0%
電気・電子	8.4%	1.2%	2.1%	11.9%	55.3%	21.1%	0.0%
基盤・建築	9.0%	0.2%	1.4%	9.4%	60.8%	19.1%	0.0%
生命・応用	8.2%	2.5%	1.0%	12.0%	55.9%	20.4%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%

知能情報システム学科	0.0%	0.0%	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
都市工学科	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
理工学科	1.9%	3.7%	19.1%	52.2%	23.1%	0.0%
数理	1.1%	3.2%	15.3%	51.6%	28.9%	0.0%
物理	0.5%	2.9%	11.6%	48.8%	36.2%	0.0%
知能・情報	3.0%	3.6%	14.4%	50.6%	28.4%	0.0%
機械・メカ	3.1%	4.6%	16.2%	50.1%	26.0%	0.0%
電気・電子	2.3%	4.9%	18.7%	51.0%	23.2%	0.0%
基盤・建築	0.9%	3.2%	14.3%	60.6%	20.9%	0.0%
生命・応用	2.4%	4.5%	15.1%	52.7%	25.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	15.4%	38.5%	30.8%	15.4%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	55.6%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
都市工学科	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学科	12.1%	12.9%	29.6%	31.9%	13.6%	0.0%
数理	12.1%	8.9%	16.3%	40.5%	22.1%	0.0%
物理	7.2%	3.9%	30.0%	32.9%	26.1%	0.0%
知能・情報	14.1%	10.6%	25.8%	33.8%	15.7%	0.0%
機械・メカ	4.3%	8.4%	20.7%	43.1%	23.5%	0.0%
電気・電子	8.2%	10.8%	26.4%	33.2%	21.5%	0.0%
基盤・建築	6.7%	9.6%	26.2%	38.8%	18.8%	0.0%
生命・応用	4.7%	8.4%	28.4%	40.6%	17.8%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	15.4%	30.8%	38.5%	15.4%	0.0%
機能物質化学科	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
都市工学科	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学科	0.9%	2.7%	5.8%	20.6%	45.0%	25.0%	0.0%
数理	11.1%	0.5%	2.1%	13.7%	40.5%	32.1%	0.0%
物理	12.1%	1.4%	3.4%	12.1%	39.1%	31.9%	0.0%
知能・情報	3.8%	3.5%	5.5%	17.0%	43.3%	26.9%	0.0%
機械・メカ	4.3%	2.5%	4.6%	16.7%	45.3%	26.6%	0.0%
電気・電子	5.6%	4.0%	5.6%	17.8%	42.6%	24.4%	0.0%
基盤・建築	7.2%	1.3%	4.2%	15.9%	50.4%	21.1%	0.0%
生命・応用	4.3%	5.3%	5.3%	14.1%	46.1%	24.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	0.0%	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
都市工学科	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学科	1.8%	3.1%	18.8%	50.4%	25.8%	0.0%
数理	1.1%	2.1%	17.9%	46.8%	32.1%	0.0%
物理	0.0%	1.9%	13.0%	44.0%	41.1%	0.0%
知能・情報	2.1%	2.5%	14.9%	49.9%	30.6%	0.0%
機械・メカ	3.3%	4.1%	15.7%	48.3%	28.6%	0.0%
電気・電子	3.1%	3.0%	18.3%	49.7%	25.8%	0.0%
基盤・建築	0.9%	2.3%	13.0%	59.2%	24.5%	0.0%
生命・応用	2.9%	3.9%	13.5%	54.3%	25.3%	0.0%

農学部（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.1%	0.1%	0.3%	4.2%	95.2%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	0.2%	0.5%	6.9%	92.4%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.2%	1.7%	98.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	2.0%	0.0%	1.0%	8.3%	88.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	15.8%	31.3%	34.0%	9.0%	9.9%	0.0%
食資源環境科学コース	9.3%	32.3%	35.2%	14.5%	8.8%	0.0%
生命機能科学コース	3.1%	34.2%	38.3%	15.7%	8.6%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	14.6%	45.9%	32.7%	2.9%	3.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	22.0%	7.2%	23.2%	19.7%	13.2%	14.7%	0.0%
食資源環境科学コース	16.6%	6.9%	22.3%	28.5%	14.5%	11.2%	0.0%
生命機能科学コース	10.8%	5.3%	26.6%	33.1%	17.9%	6.3%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	26.8%	10.7%	22.0%	17.1%	15.6%	7.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	4.5%	0.7%	0.7%	12.3%	49.1%	32.7%	0.0%
食資源環境科学コース	3.8%	1.2%	1.4%	14.3%	54.9%	24.5%	0.0%
生命機能科学コース	1.2%	0.0%	1.5%	11.6%	66.9%	18.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	11.2%	0.0%	2.0%	13.7%	47.3%	25.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	20.4%	0.8%	0.5%	5.0%	38.8%	34.4%	0.0%
食資源環境科学コース	23.0%	0.5%	1.4%	8.1%	38.0%	29.0%	0.0%
生命機能科学コース	27.7%	0.1%	0.6%	9.9%	41.4%	20.3%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	34.6%	0.0%	0.0%	7.3%	31.2%	26.8%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.3%	0.3%	0.5%	0.7%	98.3%	0.0%
食資源環境科学コース	0.5%	0.5%	6.9%	0.2%	91.9%	0.0%
生命機能科学コース	0.5%	2.1%	8.6%	0.8%	88.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	1.0%	0.5%	1.0%	0.5%	97.1%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を説明していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	11.9%	0.1%	1.9%	12.6%	47.9%	25.6%	0.0%
食資源環境科学コース	6.2%	0.7%	1.2%	9.7%	59.6%	22.6%	0.0%
生命機能科学コース	6.0%	0.0%	1.3%	12.9%	65.8%	13.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	12.7%	0.0%	0.0%	11.2%	50.7%	25.4%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	22.0%	0.4%	0.4%	6.4%	43.8%	27.0%
食資源環境科学コース	13.8%	0.5%	0.7%	8.1%	54.4%	22.6%
生命機能科学コース	9.9%	0.1%	0.5%	6.2%	63.1%	20.2%
国際・地域マネジメントコース	23.9%	0.0%	1.0%	8.8%	42.4%	23.9%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	1.3%	1.6%	7.4%	49.5%	40.1%	0.0%
食資源環境科学コース	1.7%	3.1%	13.8%	48.9%	32.5%	0.0%
生命機能科学コース	0.7%	1.3%	10.3%	61.8%	25.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	1.0%	13.2%	54.1%	31.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	6.5%	8.7%	24.0%	31.4%	29.4%	0.0%
食資源環境科学コース	6.9%	8.1%	24.5%	37.8%	22.8%	0.0%
生命機能科学コース	8.2%	13.7%	27.9%	31.7%	18.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	3.4%	9.3%	26.3%	35.1%	25.9%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	11.4%	1.3%	2.8%	13.0%	40.1%	31.4%	0.0%
食資源環境科学コース	12.8%	1.4%	2.4%	13.1%	43.2%	27.1%	0.0%
生命機能科学コース	10.5%	1.1%	5.3%	21.8%	42.6%	18.7%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	9.8%	3.9%	6.8%	26.8%	31.7%	21.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.8%	1.1%	7.0%	42.9%	48.2%	0.0%
食資源環境科学コース	0.7%	1.9%	10.5%	54.2%	32.8%	0.0%
生命機能科学コース	0.4%	1.7%	8.1%	62.8%	27.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.5%	2.4%	10.7%	42.4%	43.9%	0.0%

農学部（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.4%	0.3%	0.6%	6.5%	92.2%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%
生命機能科学コース	0.4%	0.1%	0.4%	6.2%	92.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	90.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	13.1%	36.7%	30.2%	13.3%	6.6%	0.0%
食資源環境科学コース	9.1%	31.1%	38.4%	16.7%	4.7%	0.0%
生命機能科学コース	8.7%	31.7%	36.5%	11.5%	11.6%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.3%	36.4%	39.4%	8.5%	8.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見していない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	16.5%	7.3%	24.6%	19.4%	16.3%	15.9%	0.0%
食資源環境科学コース	8.8%	4.7%	24.8%	27.4%	22.6%	11.6%	0.0%
生命機能科学コース	10.9%	5.6%	22.5%	26.5%	21.3%	13.2%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	14.5%	6.7%	13.3%	37.0%	14.5%	13.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	4.3%	0.5%	1.5%	11.4%	48.2%	34.1%	0.0%
食資源環境科学コース	2.2%	0.0%	1.3%	9.7%	59.1%	27.7%	0.0%
生命機能科学コース	3.1%	0.5%	2.6%	16.8%	51.5%	25.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	3.6%	0.0%	1.2%	8.5%	45.5%	41.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	24.4%	0.6%	0.4%	7.9%	32.8%	33.9%	0.0%
食資源環境科学コース	20.4%	0.3%	0.9%	9.4%	38.1%	30.8%	0.0%
生命機能科学コース	24.5%	0.3%	2.1%	13.7%	34.7%	24.8%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	21.2%	0.0%	0.0%	8.5%	29.1%	41.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	1.9%	6.4%	2.9%	0.5%	88.3%	0.0%
食資源環境科学コース	0.6%	0.3%	11.9%	0.0%	87.1%	0.0%
生命機能科学コース	0.6%	2.5%	0.8%	0.3%	95.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	1.2%	4.2%	0.0%	0.0%	94.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を説明していないため不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	9.3%	0.6%	1.1%	11.0%	47.2%	30.7%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	5.0%	0.0%	1.6%	12.3%	61.0%	20.1%	0.0%	0.0%
生命機能科学コース	4.7%	1.3%	3.1%	19.5%	51.7%	19.7%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.3%	0.0%	0.6%	12.1%	49.1%	30.9%	0.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	14.7%	0.5%	0.6%	8.9%	41.8%	33.4%
食資源環境科学コース	10.7%	0.0%	0.0%	9.7%	57.2%	22.3%
生命機能科学コース	7.6%	0.1%	0.8%	12.8%	52.5%	26.1%
国際・地域マネジメントコース	15.2%	0.0%	0.6%	5.5%	50.9%	27.9%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.9%	0.8%	10.3%	44.6%	43.4%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	0.6%	6.6%	58.8%	34.0%	0.0%
生命機能科学コース	1.7%	3.1%	18.1%	49.4%	27.7%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	1.2%	11.5%	44.8%	42.4%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	7.9%	9.7%	21.8%	28.2%	32.4%	0.0%
食資源環境科学コース	3.8%	7.9%	13.8%	41.8%	32.7%	0.0%
生命機能科学コース	8.4%	11.8%	29.2%	29.8%	20.8%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	10.3%	13.9%	25.5%	20.0%	30.3%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	12.2%	0.5%	2.0%	13.0%	37.2%	34.9%	0.0%
食資源環境科学コース	9.4%	0.9%	2.5%	17.6%	41.5%	28.0%	0.0%
生命機能科学コース	4.3%	2.6%	8.0%	24.2%	37.5%	23.4%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	5.5%	0.0%	0.0%	7.3%	44.2%	43.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.9%	0.3%	7.5%	41.5%	49.9%	0.0%
食資源環境科学コース	0.3%	0.0%	6.0%	57.2%	36.5%	0.0%
生命機能科学コース	1.9%	2.5%	15.0%	50.1%	30.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	1.8%	3.0%	45.5%	49.7%	0.0%

学校教育学研究科（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	98.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	31.3%	37.4%	24.2%	7.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	2.0%	4.0%	29.3%	30.3%	26.3%	8.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	2.0%	3.0%	4.0%	44.4%	46.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	3.0%	2.0%	0.0%	3.0%	36.4%	55.6%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	92.9%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.0%	2.0%	4.0%	71.7%	21.2%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	6.1%	0.0%	1.0%	13.1%	47.5%	32.3%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	3.0%	2.0%	43.4%	51.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	2.0%	3.0%	34.3%	60.6%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.0%	4.0%	7.1%	36.4%	51.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	2.0%	1.0%	2.0%	39.4%	55.6%	0.0%

学校教育学研究科（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	66.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	41.7%	50.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	58.3%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	66.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	75.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	83.3%	0.0%

地域デザイン研究科（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	11.5%	38.5%	23.1%	26.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	3.8%	34.6%	26.9%	34.6%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	50.0%	42.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	50.0%	42.3%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
地域デザイン研究科	3.8%	0.0%	15.4%	7.7%	73.1%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	46.2%	50.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	50.0%	46.2%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	3.8%	50.0%	46.2%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	3.8%	50.0%	46.2%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	46.2%	46.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	7.7%	42.3%	50.0%	0.0%

地域デザイン研究科（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	94.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	5.3%	0.0%	21.1%	26.3%	47.4%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	21.1%	63.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	89.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないものがある	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	21.1%	73.7%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していないものがある	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	21.1%	73.7%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	95.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	97.6%	0.0%
医科学コース	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
専攻共通	0.0%	15.3%	40.7%	18.6%	25.4%	0.0%
生体医工学コース専門	2.1%	10.4%	8.3%	8.3%	70.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.4%	19.0%	33.3%	9.5%	35.7%	0.0%
医科学コース	0.0%	7.1%	42.9%	7.1%	42.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	7.1%	42.9%	50.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見していない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
専攻共通	0.0%	1.7%	27.1%	23.7%	27.1%	20.3%	0.0%
生体医工学コース専門	6.3%	6.3%	16.7%	8.3%	8.3%	54.2%	0.0%
健康機能分子科学コース	9.5%	4.8%	33.3%	28.6%	14.3%	9.5%	0.0%
医科学コース	14.3%	0.0%	21.4%	21.4%	28.6%	14.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	35.7%	7.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	3.4%	27.1%	47.5%	22.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	16.7%	77.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	50.0%	42.9%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	35.7%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.3%	35.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	23.7%	0.0%	1.7%	33.9%	28.8%	11.9%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	8.3%	89.6%	0.0%
健康機能分子科学コース	4.8%	0.0%	0.0%	7.1%	23.8%	64.3%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
専攻共通	10.2%	88.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	91.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	2.4%	7.1%	9.5%	81.0%	0.0%
医科学コース	7.1%	21.4%	14.3%	21.4%	35.7%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	20.3%	57.6%	20.3%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	29.2%	68.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	57.1%	33.3%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバス以外の内容を授業で使っていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	18.6%	59.3%	22.0%	0.0%
生体医工学コース専門	2.1%	0.0%	0.0%	6.3%	18.8%	72.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	7.1%	0.0%	0.0%	9.5%	50.0%	33.3%	0.0%
医科学コース	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	3.4%	6.8%	16.9%	52.5%	20.3%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	2.1%	20.8%	77.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	19.0%	40.5%	40.5%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	64.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

専攻共通	3.4%	8.5%	57.6%	20.3%	10.2%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	4.2%	12.5%	83.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	16.7%	28.6%	54.8%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	28.6%	21.4%	50.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	3.4%	16.9%	35.6%	30.5%	13.6%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	22.9%	72.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	33.3%	54.8%	0.0%
医科学コース	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	64.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.7%	1.7%	11.9%	59.3%	25.4%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	79.2%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	4.8%	33.3%	61.9%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	64.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%

先進健康科学研究科（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	96.6%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	10.3%	24.1%	13.8%	51.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	4.1%	14.3%	30.6%	18.4%	32.7%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	26.7%	33.3%	40.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	6.9%	8.6%	19.0%	24.1%	3.4%	37.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	20.4%	16.3%	32.7%	20.4%	6.1%	4.1%	0.0%
医科学コース	28.6%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	6.7%	13.3%	46.7%	33.3%	0.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	1.7%	0.0%	5.2%	31.0%	62.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	10.2%	0.0%	0.0%	14.3%	32.7%	42.9%	0.0%
医科学コース	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	73.3%	26.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
生体医工学コース専門	1.7%	1.7%	0.0%	5.2%	22.4%	69.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	38.8%	55.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
専攻共通	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	6.9%	22.4%	3.4%	1.7%	65.5%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.0%	0.0%	18.4%	4.1%	75.5%	0.0%
医科学コース	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	48.3%	44.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.0%	0.0%	0.0%	18.4%	51.0%	28.6%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバス以外の内容を授業で取り扱った	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	6.9%	0.0%	0.0%	12.1%	31.0%	50.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.2%	0.0%	0.0%	16.3%	36.7%	38.8%	0.0%
医科学コース	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	53.3%	33.3%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
生体医工学コース専門	1.7%	0.0%	8.6%	36.2%	53.4%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	16.3%	36.7%	46.9%	0.0%
医科学コース	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

専攻共通	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース専門	0.0%	3.4%	12.1%	20.7%	63.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	10.2%	44.9%	44.9%	0.0%
医科学コース	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
生体医工学コース専門	1.7%	0.0%	1.7%	5.2%	31.0%	60.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	10.2%	0.0%	0.0%	12.2%	34.7%	42.9%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.3%	46.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
生体医工学コース専門	1.7%	0.0%	1.7%	20.7%	75.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	12.2%	30.6%	57.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

工学系研究科（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
博士後期課程	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
博士後期課程	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	99.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	98.5%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	98.7%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	96.7%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	29.4%	47.1%	23.5%	0.0%
物理学コース	3.6%	17.9%	46.4%	7.1%	25.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	18.8%	28.1%	25.0%	28.1%	0.0%
知能情報工学コース	2.0%	18.0%	18.0%	22.0%	40.0%	0.0%
機能材料化学コース	2.9%	10.5%	37.1%	21.0%	28.6%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	19.1%	26.5%	25.0%	29.4%	0.0%
機械システム工学コース	2.6%	35.1%	28.6%	16.9%	16.9%	0.0%
電気電子工学コース	1.1%	15.4%	36.3%	16.5%	30.8%	0.0%
都市基盤工学コース	2.3%	15.9%	29.5%	11.4%	40.9%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	8.2%	18.4%	20.4%	53.1%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数学コース	52.9%	0.0%	11.8%	23.5%	0.0%	11.8%	0.0%
物理学コース	14.3%	28.6%	10.7%	39.3%	0.0%	7.1%	0.0%
データサイエンスコース	3.1%	18.8%	28.1%	25.0%	6.3%	18.8%	0.0%
知能情報工学コース	10.0%	12.0%	32.0%	24.0%	8.0%	14.0%	0.0%
機能材料化学コース	18.1%	3.8%	19.0%	20.0%	25.7%	13.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	13.2%	0.0%	10.3%	26.5%	22.1%	27.9%	0.0%
機械システム工学コース	9.1%	2.6%	26.0%	36.4%	14.3%	11.7%	0.0%
電気電子工学コース	8.8%	4.4%	13.2%	15.4%	22.0%	36.3%	0.0%
都市基盤工学コース	15.9%	4.5%	22.7%	25.0%	13.6%	18.2%	0.0%
建築環境デザインコース	8.2%	4.1%	8.2%	8.2%	28.6%	42.9%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	25.0%	33.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	47.1%	0.0%
物理学コース	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%	50.0%	39.3%	0.0%
データサイエンスコース	6.3%	0.0%	3.1%	21.9%	50.0%	18.8%	0.0%
知能情報工学コース	4.0%	0.0%	4.0%	14.0%	50.0%	28.0%	0.0%
機能材料化学コース	11.4%	0.0%	0.0%	4.8%	54.3%	29.5%	0.0%
機械エネルギー工学コース	4.4%	0.0%	0.0%	11.8%	48.5%	35.3%	0.0%
機械システム工学コース	1.3%	0.0%	0.0%	26.0%	39.0%	33.8%	0.0%
電気電子工学コース	1.1%	1.1%	2.2%	14.3%	37.4%	44.0%	0.0%
都市基盤工学コース	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	43.2%	54.5%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	36.7%	59.2%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	52.9%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
データサイエンスコース	18.8%	0.0%	6.3%	9.4%	31.3%	34.4%	0.0%
知能情報工学コース	16.0%	0.0%	6.0%	6.0%	32.0%	40.0%	0.0%
機能材料化学コース	5.7%	0.0%	0.0%	7.6%	41.0%	45.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	20.6%	0.0%	0.0%	8.8%	42.6%	27.9%	0.0%
機械システム工学コース	18.2%	0.0%	0.0%	19.5%	28.6%	33.8%	0.0%
電気電子工学コース	7.7%	1.1%	0.0%	12.1%	29.7%	49.5%	0.0%
都市基盤工学コース	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	40.9%	54.5%	0.0%
建築環境デザインコース	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.7%	61.2%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	25.0%	50.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	82.4%	0.0%
物理学コース	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	92.9%	0.0%

データサイエンスコース	12.5%	34.4%	12.5%	9.4%	31.3%	0.0%
知能情報工学コース	8.0%	22.0%	18.0%	12.0%	40.0%	0.0%
機能材料化学コース	6.7%	28.6%	8.6%	2.9%	53.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%	97.1%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	98.7%	0.0%
電気電子工学コース	4.4%	12.1%	0.0%	4.4%	79.1%	0.0%
都市基盤工学コース	4.5%	0.0%	6.8%	2.3%	86.4%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
博士後期課程	0.0%	58.3%	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	58.8%	29.4%
物理学コース	3.6%	0.0%	0.0%	17.9%	53.6%	25.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	9.4%	18.8%	53.1%	18.8%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	4.0%	12.0%	60.0%	24.0%
機能材料化学コース	6.7%	0.0%	0.0%	8.6%	62.9%	21.9%
機械エネルギー工学コース	8.8%	0.0%	0.0%	4.4%	54.4%	32.4%
機械システム工学コース	5.2%	0.0%	1.3%	20.8%	55.8%	16.9%
電気電子工学コース	2.2%	1.1%	0.0%	13.2%	52.7%	30.8%
都市基盤工学コース	2.3%	0.0%	0.0%	9.1%	52.3%	36.4%
建築環境デザインコース	2.0%	0.0%	0.0%	8.2%	38.8%	51.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	58.3%	33.3%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	47.1%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	35.3%
物理学コース	10.7%	0.0%	0.0%	14.3%	50.0%	25.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	3.1%	15.6%	43.8%	37.5%
知能情報工学コース	4.0%	0.0%	6.0%	12.0%	44.0%	34.0%
機能材料化学コース	14.3%	0.0%	0.0%	16.2%	40.0%	29.5%
機械エネルギー工学コース	10.3%	0.0%	0.0%	5.9%	50.0%	33.8%
機械システム工学コース	10.4%	0.0%	0.0%	16.9%	45.5%	27.3%
電気電子工学コース	5.5%	0.0%	0.0%	9.9%	48.4%	36.3%
都市基盤工学コース	9.1%	0.0%	2.3%	0.0%	54.5%	34.1%
建築環境デザインコース	8.2%	0.0%	2.0%	0.0%	38.8%	51.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	5.9%	52.9%	41.2%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	64.3%	35.7%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	6.3%	21.9%	37.5%	34.4%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	4.0%	16.0%	46.0%	34.0%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	18.1%	48.6%	33.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	14.7%	51.5%	33.8%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	29.9%	40.3%	29.9%	0.0%
電気電子工学コース	1.1%	1.1%	23.1%	39.6%	35.2%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	2.3%	4.5%	40.9%	52.3%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	2.0%	36.7%	61.2%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	41.7%	25.0%	33.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	23.5%	0.0%	5.9%	41.2%	29.4%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	14.3%	39.3%	46.4%	0.0%
データサイエンスコース	3.1%	12.5%	21.9%	37.5%	25.0%	0.0%
知能情報工学コース	2.0%	10.0%	14.0%	42.0%	32.0%	0.0%
機能材料化学コース	1.9%	3.8%	25.7%	31.4%	37.1%	0.0%
機械エネルギー工学コース	2.9%	2.9%	14.7%	42.6%	36.8%	0.0%
機械システム工学コース	6.5%	6.5%	22.1%	36.4%	28.6%	0.0%
電気電子工学コース	3.3%	0.0%	20.9%	38.5%	37.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	4.5%	40.9%	54.5%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	36.7%	63.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	29.4%	58.8%	0.0%
物理学コース	3.6%	0.0%	3.6%	21.4%	35.7%	35.7%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	3.1%	9.4%	21.9%	25.0%	40.6%	0.0%
知能情報工学コース	2.0%	2.0%	8.0%	20.0%	30.0%	38.0%	0.0%
機能材料化学コース	1.9%	0.0%	1.0%	21.0%	37.1%	39.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	1.5%	0.0%	1.5%	17.6%	41.2%	38.2%	0.0%

機械システム工学コース	2.6%	1.3%	3.9%	18.2%	39.0%	35.1%	0.0%
電気電子工学コース	2.2%	3.3%	5.5%	17.6%	37.4%	34.1%	0.0%
都市基盤工学コース	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	36.4%	59.1%	0.0%
建築環境デザインコース	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.7%	65.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	41.7%	25.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	58.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	53.6%	46.4%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	3.1%	18.8%	46.9%	31.3%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	2.0%	16.0%	44.0%	38.0%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	2.9%	55.2%	41.9%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	8.8%	50.0%	41.2%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	13.0%	53.2%	33.8%	0.0%
電気電子工学コース	3.3%	0.0%	13.2%	44.0%	39.6%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	2.3%	36.4%	61.4%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
博士後期課程	0.0%	8.3%	8.3%	41.7%	41.7%	0.0%

理工学研究科（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	97.1%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	98.5%	0.0%
機能材料化学コース	1.1%	0.0%	2.3%	3.4%	93.2%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	95.9%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	98.1%	0.0%
電気電子工学コース	0.8%	0.0%	0.8%	1.6%	96.8%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	95.7%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	30.8%	38.5%	30.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%
データサイエンスコース	2.9%	25.7%	28.6%	22.9%	20.0%	0.0%
知能情報工学コース	1.5%	26.2%	24.6%	18.5%	29.2%	0.0%
機能材料化学コース	2.3%	21.6%	26.1%	19.3%	30.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	10.2%	20.4%	12.2%	57.1%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	3.8%	32.1%	26.4%	37.7%	0.0%
電気電子工学コース	5.6%	22.2%	27.8%	12.7%	31.7%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	4.3%	21.7%	30.4%	43.5%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	4.3%	52.2%	43.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数学コース	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%
物理学コース	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	7.1%	50.0%	0.0%
データサイエンスコース	11.4%	11.4%	28.6%	25.7%	14.3%	8.6%	0.0%
知能情報工学コース	9.2%	7.7%	30.8%	26.2%	16.9%	9.2%	0.0%
機能材料化学コース	21.6%	5.7%	27.3%	25.0%	15.9%	4.5%	0.0%
機械エネルギー工学コース	2.0%	8.2%	16.3%	8.2%	28.6%	36.7%	0.0%
機械システム工学コース	11.3%	3.8%	24.5%	24.5%	17.0%	18.9%	0.0%
電気電子工学コース	7.9%	4.0%	15.9%	19.8%	15.1%	37.3%	0.0%
都市基盤工学コース	13.0%	4.3%	13.0%	26.1%	8.7%	34.8%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%	44.4%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	4.3%	13.0%	26.1%	56.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	53.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	2.9%	2.9%	20.0%	60.0%	14.3%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	1.5%	3.1%	21.5%	50.8%	23.1%	0.0%
機能材料化学コース	1.1%	0.0%	2.3%	10.2%	55.7%	30.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	2.0%	6.1%	34.7%	57.1%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	47.2%	41.5%	0.0%
電気電子工学コース	3.2%	2.4%	0.8%	11.1%	34.9%	47.6%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	34.8%	56.5%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%
博士後期課程	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	43.5%	47.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	53.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%
データサイエンスコース	14.3%	0.0%	5.7%	17.1%	45.7%	17.1%	0.0%
知能情報工学コース	7.7%	0.0%	3.1%	20.0%	41.5%	27.7%	0.0%
機能材料化学コース	4.5%	0.0%	1.1%	4.5%	46.6%	43.2%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	28.6%	63.3%	0.0%
機械システム工学コース	1.9%	0.0%	0.0%	11.3%	35.8%	50.9%	0.0%
電気電子工学コース	13.5%	2.4%	0.0%	6.3%	30.2%	47.6%	0.0%
都市基盤工学コース	13.0%	0.0%	0.0%	8.7%	17.4%	60.9%	0.0%
建築環境デザインコース	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	26.1%	65.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数学コース	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	76.9%	0.0%
物理学コース	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	85.7%	0.0%

データサイエンスコース	17.1%	51.4%	0.0%	0.0%	31.4%	0.0%
知能情報工学コース	15.4%	36.9%	1.5%	4.6%	41.5%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	12.5%	3.4%	1.1%	83.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	6.1%	8.2%	0.0%	10.2%	75.5%	0.0%
機械システム工学コース	1.9%	0.0%	1.9%	3.8%	92.5%	0.0%
電気電子工学コース	2.4%	7.1%	4.8%	4.8%	81.0%	0.0%
都市基盤工学コース	4.3%	13.0%	8.7%	4.3%	69.6%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	55.6%	0.0%
博士後期課程	0.0%	21.7%	21.7%	4.3%	52.2%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	38.5%	46.2%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	2.9%	8.6%	74.3%	14.3%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	1.5%	7.7%	69.2%	21.5%
機能材料化学コース	4.5%	0.0%	1.1%	8.0%	65.9%	20.5%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	2.0%	4.1%	36.7%	57.1%
機械システム工学コース	5.7%	0.0%	1.9%	7.5%	54.7%	30.2%
電気電子工学コース	2.4%	1.6%	0.8%	9.5%	42.1%	43.7%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	8.7%	4.3%	43.5%	43.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.2%	47.8%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	46.2%
物理学コース	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	64.3%
データサイエンスコース	5.7%	0.0%	0.0%	11.4%	68.6%	14.3%
知能情報工学コース	3.1%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	16.9%
機能材料化学コース	9.1%	1.1%	0.0%	8.0%	65.9%	15.9%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	36.7%	59.2%
機械システム工学コース	7.5%	0.0%	0.0%	3.8%	45.3%	43.4%
電気電子工学コース	5.6%	0.0%	0.8%	9.5%	38.1%	46.0%
都市基盤工学コース	8.7%	0.0%	0.0%	13.0%	39.1%	39.1%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.5%	56.5%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	7.7%	0.0%	38.5%	53.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	11.4%	74.3%	14.3%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	12.3%	67.7%	20.0%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	1.1%	11.4%	50.0%	37.5%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.0%	4.1%	40.8%	53.1%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	3.8%	5.7%	43.4%	47.2%	0.0%
電気電子工学コース	2.4%	1.6%	8.7%	39.7%	47.6%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	13.0%	30.4%	56.5%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	8.7%	52.2%	39.1%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	7.7%	23.1%	7.7%	61.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%
データサイエンスコース	5.7%	2.9%	22.9%	45.7%	22.9%	0.0%
知能情報工学コース	3.1%	6.2%	18.5%	46.2%	26.2%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	6.8%	14.8%	38.6%	39.8%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.0%	14.3%	26.5%	57.1%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	1.9%	17.0%	39.6%	41.5%	0.0%
電気電子工学コース	2.4%	4.0%	13.5%	31.7%	48.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	13.0%	21.7%	65.2%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	8.7%	43.5%	47.8%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%	53.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	5.7%	25.7%	45.7%	22.9%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	4.6%	18.5%	52.3%	24.6%	0.0%
機能材料化学コース	8.0%	0.0%	2.3%	22.7%	39.8%	27.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	12.2%	28.6%	59.2%	0.0%

機械システム工学コース	0.0%	0.0%	1.9%	9.4%	43.4%	45.3%	0.0%
電気電子工学コース	7.1%	3.2%	1.6%	17.5%	22.2%	48.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	21.7%	26.1%	52.2%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	52.2%	34.8%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	7.7%	0.0%	30.8%	61.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	8.6%	65.7%	25.7%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	9.2%	60.0%	30.8%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	9.1%	52.3%	38.6%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	8.2%	38.8%	53.1%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	7.5%	47.2%	45.3%	0.0%
電気電子工学コース	2.4%	1.6%	8.7%	27.0%	60.3%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	4.3%	39.1%	56.5%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	60.9%	39.1%	0.0%

農学研究科（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	1.8%	0.0%	0.0%	0.6%	97.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	5.4%	21.6%	38.3%	16.2%	18.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	21.6%	6.0%	29.3%	18.0%	10.2%	15.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.6%	0.0%	0.6%	7.2%	46.1%	42.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.4%	0.0%	0.0%	1.2%	43.7%	52.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
農学研究科	0.6%	0.6%	12.6%	11.4%	74.9%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	12.6%	0.0%	0.0%	8.4%	47.9%	31.1%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	18.6%	0.6%	0.0%	8.4%	40.7%	31.7%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.6%	0.0%	9.0%	52.1%	38.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.2%	0.6%	14.4%	31.7%	52.1%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.4%	0.0%	1.8%	10.8%	41.9%	43.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	6.6%	46.7%	46.7%	0.0%

農学研究科（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	1.6%	0.0%	1.6%	3.9%	93.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	5.4%	12.4%	26.4%	28.7%	27.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	15.5%	2.3%	17.8%	24.0%	27.9%	12.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.8%	0.0%	0.8%	8.5%	52.7%	37.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.1%	0.0%	0.8%	2.3%	49.6%	44.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
農学研究科	7.8%	3.1%	4.7%	3.9%	80.6%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	4.7%	0.0%	2.3%	3.9%	62.8%	26.4%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	6.2%	0.0%	0.8%	10.1%	53.5%	29.5%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.8%	6.2%	55.0%	38.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.8%	7.8%	45.7%	45.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.3%	0.0%	0.0%	10.9%	48.1%	38.8%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	2.3%	48.8%	48.8%	0.0%

全学教育機構（令和4年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.5%	0.1%	0.8%	6.2%	92.4%	0.0%
情報リテラシー科目	0.3%	0.1%	2.0%	9.5%	88.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.2%	1.0%	1.3%	11.2%	85.4%	0.0%
文化の分野	1.2%	1.0%	2.5%	10.1%	85.2%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	0.3%	1.3%	7.3%	90.2%	0.0%
環境コース	0.4%	0.0%	1.2%	10.4%	88.0%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.8%	0.0%	4.2%	94.9%	0.0%
生活と科学コース	0.0%	0.3%	0.6%	7.3%	91.7%	0.0%
人間と社会コース	0.5%	2.8%	3.7%	20.5%	72.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.3%	3.1%	96.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.8%	0.4%	0.8%	7.1%	90.8%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.3%	0.3%	0.6%	7.8%	90.9%	0.0%
体育実技	1.8%	0.0%	0.0%	0.6%	97.7%	0.0%
大学院教養教育P	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	97.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	5.9%	31.9%	41.3%	15.5%	5.5%	0.0%
情報リテラシー科目	12.3%	39.6%	27.9%	13.2%	6.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	13.5%	46.8%	30.0%	7.5%	2.3%	0.0%
文化の分野	12.0%	39.5%	31.3%	13.3%	3.8%	0.0%
現代社会の分野	9.3%	35.0%	34.5%	13.1%	8.2%	0.0%
環境コース	11.6%	32.5%	41.0%	10.0%	4.8%	0.0%
文化と共生コース	3.4%	28.0%	24.6%	27.1%	16.9%	0.0%
生活と科学コース	4.1%	29.3%	38.2%	21.3%	7.0%	0.0%
人間と社会コース	6.5%	45.1%	29.3%	12.6%	6.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	9.0%	30.9%	38.9%	19.4%	1.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	6.3%	39.6%	41.3%	10.0%	2.9%	0.0%
サブスペシャルティコース	6.0%	35.4%	36.1%	15.7%	6.9%	0.0%
体育実技	72.5%	17.0%	7.0%	1.8%	1.8%	0.0%
大学院教養教育P	5.6%	46.2%	32.9%	7.2%	8.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	13.9%	7.7%	26.4%	26.7%	16.9%	8.4%	0.0%
情報リテラシー科目	16.8%	8.0%	28.8%	24.4%	14.1%	7.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	14.2%	7.4%	24.6%	28.1%	16.8%	8.8%	0.0%
文化の分野	11.6%	6.3%	24.6%	30.6%	18.1%	8.8%	0.0%
現代社会の分野	9.5%	5.7%	25.1%	31.7%	16.8%	11.2%	0.0%
環境コース	9.6%	10.4%	29.7%	28.1%	13.3%	8.8%	0.0%
文化と共生コース	11.9%	5.1%	27.1%	29.7%	16.9%	9.3%	0.0%
生活と科学コース	10.8%	3.8%	22.6%	33.1%	18.2%	11.5%	0.0%
人間と社会コース	9.3%	7.4%	24.2%	30.7%	20.9%	7.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	21.2%	10.4%	26.7%	29.2%	8.7%	3.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.4%	5.8%	24.2%	37.9%	19.2%	7.5%	0.0%
サブスペシャルティコース	7.5%	6.3%	27.6%	32.6%	17.2%	8.8%	0.0%
体育実技	18.7%	10.5%	33.9%	21.1%	7.6%	8.2%	0.0%
大学院教養教育P	9.6%	5.6%	23.7%	30.1%	13.7%	17.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	3.6%	1.2%	2.4%	18.2%	53.0%	21.5%	0.0%
情報リテラシー科目	3.1%	0.9%	2.1%	16.1%	54.6%	23.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.8%	0.6%	1.3%	17.3%	55.2%	22.9%	0.0%
文化の分野	2.8%	0.5%	1.7%	12.9%	55.3%	26.7%	0.0%
現代社会の分野	2.1%	0.4%	1.8%	13.7%	57.8%	24.2%	0.0%
環境コース	2.4%	2.0%	5.2%	21.3%	53.8%	15.3%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	0.8%	0.0%	10.2%	52.5%	35.6%	0.0%
生活と科学コース	1.9%	0.3%	1.6%	15.6%	56.4%	24.2%	0.0%
人間と社会コース	1.4%	1.4%	3.7%	17.7%	58.1%	17.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	4.2%	1.0%	1.4%	16.3%	50.0%	27.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.3%	1.3%	0.8%	14.2%	58.8%	23.8%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.6%	1.6%	1.9%	10.0%	55.5%	29.5%	0.0%
体育実技	2.9%	0.0%	0.6%	4.7%	49.1%	42.7%	0.0%
大学院教養教育P	1.2%	1.2%	3.2%	17.3%	49.4%	27.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	26.1%	1.0%	1.3%	10.5%	38.1%	23.0%	0.0%
情報リテラシー科目	22.6%	0.7%	1.8%	8.4%	38.5%	27.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	32.6%	0.3%	0.6%	12.7%	34.6%	19.2%	0.0%
文化の分野	28.3%	0.4%	1.1%	10.2%	35.3%	24.6%	0.0%

現代社会の分野	34.6%	0.5%	0.9%	12.3%	32.2%	19.5%	0.0%
環境コース	26.5%	2.8%	2.4%	14.9%	37.3%	16.1%	0.0%
文化と共生コース	11.0%	0.0%	0.8%	4.2%	40.7%	43.2%	0.0%
生活と科学コース	26.1%	0.6%	0.6%	12.4%	38.9%	21.3%	0.0%
人間と社会コース	15.8%	0.9%	3.3%	14.4%	41.4%	24.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	39.9%	0.0%	2.4%	14.2%	26.4%	17.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	24.2%	1.3%	0.4%	12.5%	45.0%	16.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	20.1%	1.3%	1.6%	4.4%	38.9%	33.9%	0.0%
体育実技	20.5%	1.2%	0.0%	4.1%	25.7%	48.5%	0.0%
大学院教養教育P	23.3%	1.2%	3.2%	18.1%	30.1%	24.1%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
外国語科目	0.5%	0.1%	23.9%	2.6%	72.9%	0.0%
情報リテラシー科目	1.4%	2.3%	18.3%	2.7%	75.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.2%	24.6%	3.0%	0.9%	69.3%	0.0%
文化の分野	12.9%	13.1%	2.5%	1.6%	69.8%	0.0%
現代社会の分野	3.9%	20.8%	8.2%	0.9%	66.2%	0.0%
環境コース	2.0%	3.2%	6.4%	3.2%	85.1%	0.0%
文化と共生コース	1.7%	0.0%	11.9%	1.7%	84.7%	0.0%
生活と科学コース	1.3%	3.2%	39.2%	5.7%	50.6%	0.0%
人間と社会コース	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	97.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.7%	47.6%	0.3%	0.0%	50.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%	98.8%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.6%	0.9%	21.9%	0.3%	76.2%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
大学院教養教育P	0.8%	3.6%	84.3%	1.6%	9.6%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	9.4%	0.6%	1.8%	17.5%	55.1%	15.7%
情報リテラシー科目	9.2%	0.2%	0.9%	15.4%	55.8%	18.5%
自然科学と技術の分野	10.8%	0.9%	2.9%	15.7%	53.8%	15.9%
文化の分野	6.9%	0.9%	2.5%	14.0%	56.7%	19.1%
現代社会の分野	5.9%	0.6%	1.0%	13.8%	59.5%	19.2%
環境コース	6.4%	0.4%	1.6%	21.3%	57.4%	12.9%
文化と共生コース	5.1%	1.7%	2.5%	17.8%	53.4%	19.5%
生活と科学コース	7.3%	0.3%	2.2%	16.9%	55.1%	18.2%
人間と社会コース	5.1%	0.9%	3.3%	21.9%	56.7%	12.1%
医療・福祉と社会コース	7.3%	0.3%	1.7%	12.8%	62.8%	14.9%
地域・佐賀学コース	4.2%	0.0%	0.8%	16.3%	62.9%	15.8%
サブスペシャルティコース	5.3%	0.9%	2.2%	10.3%	63.0%	18.2%
体育実技	5.8%	0.0%	0.6%	5.8%	49.7%	38.0%
大学院教養教育P	3.6%	0.4%	2.0%	17.7%	57.8%	18.5%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	14.4%	0.5%	1.0%	11.3%	52.9%	20.0%
情報リテラシー科目	16.0%	0.2%	1.0%	8.2%	52.9%	21.6%
自然科学と技術の分野	13.4%	0.4%	1.2%	8.0%	55.0%	22.1%
文化の分野	10.4%	1.0%	0.6%	10.0%	53.0%	25.1%
現代社会の分野	9.9%	0.2%	1.1%	8.1%	54.7%	26.0%
環境コース	10.0%	0.4%	2.4%	12.0%	54.2%	20.9%
文化と共生コース	11.0%	0.8%	0.8%	7.6%	44.1%	35.6%
生活と科学コース	8.6%	0.6%	0.3%	7.0%	60.2%	23.2%
人間と社会コース	10.7%	0.5%	0.5%	13.0%	57.2%	18.1%
医療・福祉と社会コース	23.3%	0.3%	1.0%	9.7%	44.1%	21.5%
地域・佐賀学コース	7.5%	0.8%	1.7%	8.8%	60.4%	20.8%
サブスペシャルティコース	8.2%	0.9%	1.3%	6.9%	54.2%	28.5%
体育実技	14.6%	0.0%	0.0%	5.8%	40.9%	38.6%
大学院教養教育P	9.6%	0.4%	0.4%	12.0%	52.2%	25.3%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.3%	4.0%	17.3%	53.1%	23.4%	0.0%
情報リテラシー科目	1.6%	3.8%	13.6%	53.3%	27.6%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.0%	2.3%	14.5%	55.5%	26.8%	0.0%
文化の分野	1.1%	2.2%	7.7%	52.7%	36.3%	0.0%
現代社会の分野	0.8%	1.3%	11.0%	56.6%	30.2%	0.0%
環境コース	2.4%	3.2%	22.9%	54.2%	17.3%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	3.4%	8.5%	44.9%	43.2%	0.0%
生活と科学コース	2.5%	2.9%	15.3%	55.7%	23.6%	0.0%
人間と社会コース	1.4%	6.0%	27.9%	47.9%	16.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.3%	1.0%	12.8%	56.9%	28.8%	0.0%

地域・佐賀学コース	1.3%	2.9%	15.0%	61.3%	19.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.9%	3.1%	7.5%	52.0%	35.4%	0.0%
体育実技	1.2%	1.2%	6.4%	40.4%	50.9%	0.0%
大学院教養教育P	2.0%	4.8%	16.9%	51.0%	25.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.6%	3.0%	9.6%	41.4%	43.5%	0.0%
情報リテラシー科目	12.6%	17.1%	31.8%	28.6%	10.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	15.2%	18.3%	31.0%	24.0%	11.6%	0.0%
文化の分野	7.7%	10.8%	21.7%	35.1%	24.7%	0.0%
現代社会の分野	12.5%	17.1%	29.2%	27.6%	13.6%	0.0%
環境コース	4.8%	6.0%	24.5%	39.0%	25.7%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.8%	7.6%	37.3%	54.2%	0.0%
生活と科学コース	8.3%	10.5%	22.6%	30.9%	27.7%	0.0%
人間と社会コース	1.4%	7.0%	19.1%	44.2%	28.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	10.8%	17.7%	31.3%	24.3%	16.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	6.3%	7.1%	14.6%	37.5%	34.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.3%	3.8%	18.2%	38.9%	37.9%	0.0%
体育実技	7.0%	3.5%	28.7%	28.7%	32.2%	0.0%
大学院教養教育P	5.2%	6.4%	32.1%	37.3%	18.9%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	8.5%	1.9%	4.8%	17.2%	42.8%	24.8%	0.0%
情報リテラシー科目	4.8%	2.6%	6.0%	17.7%	42.1%	26.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	10.3%	2.0%	4.4%	19.0%	42.3%	22.1%	0.0%
文化の分野	10.8%	0.9%	3.0%	12.6%	42.3%	30.4%	0.0%
現代社会の分野	5.3%	2.9%	6.8%	20.7%	38.2%	26.1%	0.0%
環境コース	4.8%	6.4%	10.4%	22.9%	40.2%	15.3%	0.0%
文化と共生コース	2.5%	1.7%	1.7%	14.4%	37.3%	42.4%	0.0%
生活と科学コース	1.3%	5.1%	8.6%	23.9%	39.8%	21.3%	0.0%
人間と社会コース	0.5%	1.9%	1.4%	19.5%	50.2%	26.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	6.9%	2.1%	7.6%	21.9%	41.3%	20.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.8%	2.5%	7.9%	15.4%	41.7%	26.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	3.1%	1.6%	3.8%	15.7%	40.8%	35.1%	0.0%
体育実技	40.9%	1.2%	0.0%	21.1%	13.5%	23.4%	0.0%
大学院教養教育P	0.4%	2.4%	8.4%	30.9%	38.2%	19.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.6%	3.6%	13.9%	51.6%	29.3%	0.0%
情報リテラシー科目	1.6%	2.7%	12.3%	53.6%	29.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.9%	2.2%	11.8%	56.6%	28.5%	0.0%
文化の分野	1.0%	2.1%	8.1%	48.4%	40.5%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	1.6%	9.2%	52.8%	35.5%	0.0%
環境コース	2.0%	4.8%	16.5%	58.2%	18.5%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	0.8%	10.2%	40.7%	47.5%	0.0%
生活と科学コース	2.5%	3.5%	15.9%	52.9%	25.2%	0.0%
人間と社会コース	2.8%	3.3%	22.3%	51.2%	20.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.7%	2.1%	8.3%	53.8%	35.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.7%	2.5%	9.6%	55.8%	30.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.3%	2.2%	5.6%	41.7%	49.2%	0.0%
体育実技	1.2%	0.0%	5.8%	27.5%	65.5%	0.0%
大学院教養教育P	2.4%	4.4%	16.1%	47.8%	29.3%	0.0%

全学教育機構（令和4年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.7%	0.7%	1.2%	9.7%	87.6%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.4%	1.0%	0.8%	10.6%	86.1%	0.0%
文化の分野	2.1%	0.7%	2.2%	11.0%	84.0%	0.0%
現代社会の分野	1.3%	0.7%	1.1%	11.1%	85.7%	0.0%
環境コース	1.0%	0.0%	0.5%	6.2%	92.3%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	0.0%	16.3%	83.7%	0.0%
生活と科学コース	1.6%	0.8%	0.4%	9.0%	88.2%	0.0%
人間と社会コース	0.6%	0.0%	3.9%	17.8%	77.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.4%	11.8%	87.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.5%	0.5%	9.3%	89.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.2%	0.8%	2.8%	9.5%	85.8%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%	91.6%	0.0%
大学院教養教育P	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	96.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	4.4%	29.7%	42.1%	18.8%	4.9%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.4%	45.5%	33.6%	8.3%	3.3%	0.0%
文化の分野	15.3%	40.8%	29.7%	10.8%	3.3%	0.0%
現代社会の分野	16.1%	41.2%	27.6%	7.8%	7.2%	0.0%
環境コース	10.0%	31.1%	34.9%	11.5%	12.4%	0.0%
文化と共生コース	1.2%	22.1%	31.4%	19.8%	25.6%	0.0%
生活と科学コース	5.7%	34.7%	40.4%	13.9%	5.3%	0.0%
人間と社会コース	9.4%	38.3%	33.3%	13.9%	5.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	5.5%	56.5%	33.2%	4.1%	0.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.2%	33.5%	46.4%	11.3%	3.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	8.3%	32.0%	37.5%	17.8%	4.3%	0.0%
体育実技	39.9%	34.3%	18.2%	4.9%	2.8%	0.0%
大学院教養教育P	12.7%	20.6%	30.2%	23.0%	13.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	11.4%	6.7%	25.6%	28.5%	16.7%	11.2%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.3%	5.0%	23.1%	29.3%	21.7%	11.7%	0.0%
文化の分野	10.3%	5.7%	25.1%	32.5%	16.0%	10.4%	0.0%
現代社会の分野	10.4%	5.5%	23.1%	28.8%	20.5%	11.6%	0.0%
環境コース	11.5%	6.7%	19.1%	36.4%	14.8%	11.5%	0.0%
文化と共生コース	14.0%	9.3%	24.4%	29.1%	14.0%	9.3%	0.0%
生活と科学コース	11.0%	5.7%	21.2%	33.1%	18.4%	10.6%	0.0%
人間と社会コース	8.9%	9.4%	25.0%	30.0%	15.6%	11.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	11.8%	5.5%	30.3%	35.1%	11.1%	6.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.7%	4.1%	25.3%	35.1%	22.2%	7.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.1%	5.9%	28.5%	29.2%	15.4%	9.9%	0.0%
体育実技	13.3%	9.8%	25.2%	21.0%	15.4%	15.4%	0.0%
大学院教養教育P	7.9%	6.3%	11.9%	35.7%	21.4%	16.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	3.6%	0.9%	2.0%	15.3%	53.7%	24.4%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.4%	0.9%	1.3%	16.6%	54.5%	24.2%	0.0%
文化の分野	4.0%	0.7%	1.5%	12.9%	56.1%	24.7%	0.0%
現代社会の分野	2.7%	0.7%	1.6%	14.8%	55.0%	25.2%	0.0%
環境コース	5.3%	1.4%	4.3%	15.3%	47.8%	25.8%	0.0%
文化と共生コース	1.2%	0.0%	2.3%	5.8%	52.3%	38.4%	0.0%
生活と科学コース	4.9%	0.4%	1.2%	13.1%	57.6%	22.9%	0.0%
人間と社会コース	1.7%	1.1%	1.7%	18.9%	48.9%	27.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.8%	0.7%	0.4%	15.1%	58.3%	23.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.5%	0.5%	1.5%	12.4%	61.3%	23.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	2.0%	1.6%	2.8%	11.1%	56.5%	26.1%	0.0%
体育実技	3.5%	0.0%	0.7%	4.2%	43.4%	48.3%	0.0%
大学院教養教育P	2.4%	0.8%	2.4%	19.8%	51.6%	23.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	25.5%	0.6%	1.2%	9.7%	38.4%	24.6%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	35.4%	0.3%	1.9%	14.6%	30.2%	17.6%	0.0%
文化の分野	31.8%	0.4%	0.8%	10.8%	33.1%	23.1%	0.0%

現代社会の分野	31.4%	0.6%	1.2%	13.5%	33.6%	19.7%	0.0%
環境コース	23.9%	1.9%	2.4%	11.5%	34.4%	25.8%	0.0%
文化と共生コース	5.8%	0.0%	0.0%	5.8%	39.5%	48.8%	0.0%
生活と科学コース	27.3%	0.8%	1.2%	8.2%	43.3%	19.2%	0.0%
人間と社会コース	13.9%	1.7%	1.7%	13.3%	37.2%	32.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	41.3%	0.7%	0.0%	14.4%	28.4%	15.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	28.9%	0.0%	1.5%	8.2%	37.1%	24.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	17.8%	1.2%	2.4%	5.9%	40.3%	32.4%	0.0%
体育実技	20.3%	0.0%	0.0%	3.5%	35.7%	40.6%	0.0%
大学院教養教育P	14.3%	1.6%	1.6%	19.8%	42.9%	19.8%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
外国語科目	1.4%	0.3%	17.9%	2.0%	78.3%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	19.7%	40.9%	0.2%	1.3%	37.9%	0.0%
文化の分野	6.4%	31.4%	9.2%	1.7%	51.4%	0.0%
現代社会の分野	1.8%	27.6%	2.8%	1.0%	66.9%	0.0%
環境コース	1.0%	0.5%	5.3%	3.3%	90.0%	0.0%
文化と共生コース	5.8%	0.0%	2.3%	5.8%	86.0%	0.0%
生活と科学コース	14.7%	0.0%	15.5%	8.2%	61.6%	0.0%
人間と社会コース	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	99.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.0%	1.1%	0.4%	0.0%	91.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.0%	1.0%	0.0%	0.5%	97.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	1.2%	9.1%	0.8%	88.9%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
大学院教養教育P	5.6%	54.0%	1.6%	0.8%	38.1%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし	
外国語科目	8.3%	1.3%	1.7%	15.9%	54.6%	18.0%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	7.1%	0.5%	2.4%	14.7%	55.6%	19.7%	0.0%
文化の分野	6.9%	1.3%	2.5%	14.0%	56.0%	19.3%	0.0%
現代社会の分野	7.5%	0.7%	1.3%	14.4%	57.8%	18.4%	0.0%
環境コース	8.6%	0.5%	1.0%	13.4%	56.0%	20.6%	0.0%
文化と共生コース	4.7%	0.0%	0.0%	8.1%	62.8%	24.4%	0.0%
生活と科学コース	9.0%	0.8%	1.6%	13.5%	58.8%	16.3%	0.0%
人間と社会コース	3.9%	1.7%	2.2%	18.3%	53.9%	20.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	5.9%	0.0%	0.7%	14.4%	61.3%	17.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.6%	0.0%	0.0%	11.3%	68.0%	16.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	5.9%	2.0%	1.6%	8.7%	63.2%	18.6%	0.0%
体育実技	5.6%	0.0%	0.0%	4.2%	52.4%	37.8%	0.0%
大学院教養教育P	1.6%	0.8%	1.6%	12.7%	61.9%	21.4%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし	
外国語科目	11.9%	0.6%	1.4%	10.5%	50.4%	25.1%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	8.4%	0.5%	0.7%	9.9%	56.2%	24.4%	0.0%
文化の分野	9.3%	1.1%	1.5%	8.8%	51.8%	27.5%	0.0%
現代社会の分野	10.0%	0.1%	1.3%	10.1%	53.3%	25.1%	0.0%
環境コース	10.5%	0.5%	1.0%	13.9%	50.7%	23.4%	0.0%
文化と共生コース	8.1%	0.0%	0.0%	4.7%	47.7%	39.5%	0.0%
生活と科学コース	11.0%	0.8%	0.8%	11.0%	59.6%	16.7%	0.0%
人間と社会コース	8.3%	0.6%	0.0%	8.9%	54.4%	27.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	10.3%	0.0%	0.7%	8.9%	56.5%	23.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	6.2%	0.5%	2.1%	9.3%	58.8%	23.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.5%	0.8%	1.2%	5.1%	56.1%	25.3%	0.0%
体育実技	13.3%	0.0%	0.7%	3.5%	44.1%	38.5%	0.0%
大学院教養教育P	6.3%	0.8%	0.8%	11.1%	55.6%	25.4%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.7%	3.0%	15.9%	52.5%	26.9%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.3%	1.5%	13.5%	54.8%	29.8%	0.0%
文化の分野	1.3%	1.4%	11.1%	51.9%	34.3%	0.0%
現代社会の分野	1.3%	1.6%	11.8%	55.4%	30.0%	0.0%
環境コース	1.9%	4.3%	19.6%	48.8%	25.4%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	2.3%	7.0%	41.9%	48.8%	0.0%
生活と科学コース	1.6%	2.4%	18.0%	55.5%	22.4%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	4.4%	20.0%	51.1%	24.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.4%	0.4%	10.3%	62.0%	26.9%	0.0%

地域・佐賀学コース	0.0%	2.6%	8.2%	60.8%	28.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	2.4%	2.0%	10.7%	53.8%	31.2%	0.0%
体育実技	0.0%	1.4%	6.3%	45.5%	46.9%	0.0%
大学院教養教育P	1.6%	2.4%	15.1%	56.3%	24.6%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.5%	3.4%	10.3%	42.4%	41.5%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	14.7%	13.2%	30.7%	27.5%	14.0%	0.0%
文化の分野	13.1%	10.8%	27.1%	28.5%	20.6%	0.0%
現代社会の分野	10.9%	15.8%	26.4%	28.2%	18.7%	0.0%
環境コース	4.3%	2.4%	14.4%	30.1%	48.8%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	5.8%	30.2%	64.0%	0.0%
生活と科学コース	8.6%	2.4%	21.6%	35.5%	31.8%	0.0%
人間と社会コース	5.0%	10.0%	21.7%	29.4%	33.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	6.3%	12.9%	36.9%	32.8%	11.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	7.2%	10.3%	27.3%	32.5%	22.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	3.2%	7.9%	11.9%	32.4%	44.7%	0.0%
体育実技	1.4%	3.5%	20.3%	34.3%	40.6%	0.0%
大学院教養教育P	5.6%	6.3%	26.2%	42.1%	19.8%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	6.5%	1.5%	4.3%	16.5%	44.4%	26.8%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	5.4%	1.5%	5.4%	24.7%	42.3%	20.7%	0.0%
文化の分野	5.0%	3.1%	5.8%	18.3%	42.9%	24.9%	0.0%
現代社会の分野	9.2%	2.2%	3.5%	18.5%	40.9%	25.7%	0.0%
環境コース	4.8%	5.3%	5.3%	20.1%	36.4%	28.2%	0.0%
文化と共生コース	1.2%	0.0%	2.3%	7.0%	36.0%	53.5%	0.0%
生活と科学コース	4.5%	2.0%	3.7%	21.6%	47.3%	20.8%	0.0%
人間と社会コース	1.1%	1.7%	5.6%	16.7%	45.0%	30.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	2.2%	0.4%	5.9%	25.1%	49.1%	17.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.2%	2.1%	7.7%	20.1%	40.2%	24.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	5.5%	2.4%	5.1%	17.4%	39.5%	30.0%	0.0%
体育実技	15.4%	0.7%	4.9%	16.1%	37.1%	25.9%	0.0%
大学院教養教育P	4.8%	2.4%	11.1%	23.8%	38.9%	19.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.0%	2.9%	12.1%	52.3%	30.8%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.7%	1.3%	11.4%	53.5%	33.1%	0.0%
文化の分野	1.0%	1.4%	9.2%	48.9%	39.6%	0.0%
現代社会の分野	1.1%	1.9%	10.1%	53.2%	33.7%	0.0%
環境コース	2.4%	3.3%	17.7%	46.9%	29.7%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	1.2%	3.5%	37.2%	58.1%	0.0%
生活と科学コース	1.2%	1.6%	9.4%	60.0%	27.8%	0.0%
人間と社会コース	1.7%	4.4%	16.1%	46.7%	31.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.4%	0.4%	7.7%	52.8%	38.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	4.1%	8.8%	53.1%	34.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	2.8%	1.2%	8.7%	48.2%	39.1%	0.0%
体育実技	0.0%	1.4%	3.5%	32.9%	62.2%	0.0%
大学院教養教育P	1.6%	1.6%	14.3%	51.6%	31.0%	0.0%